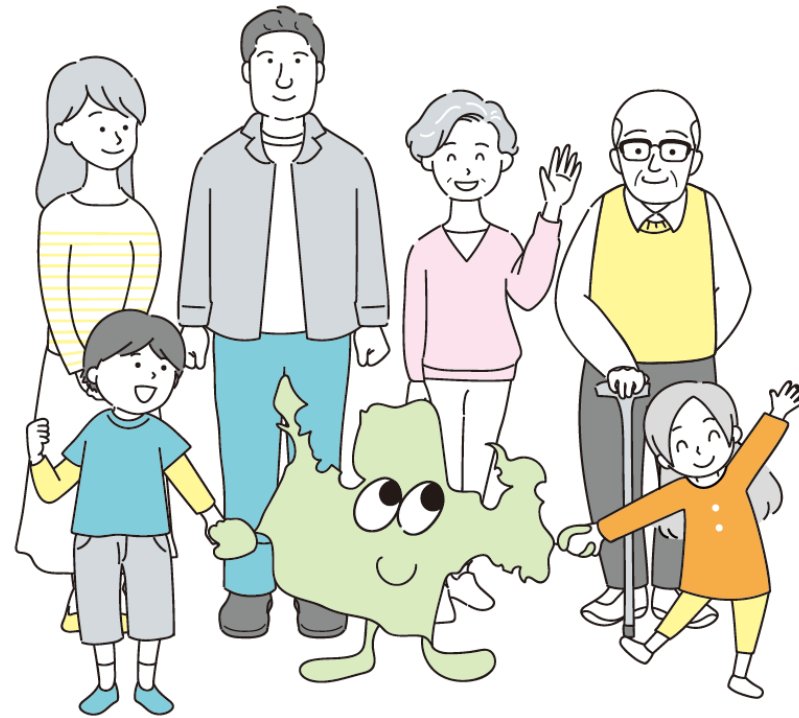


# 調布市民意識調査報告書

令和7年度版



令和8年3月

調 布 市



## 目次

第1章 調査の目的と概要	1	スポーツ振興について	76
1 調査の目的	3	地域コミュニティについて	78
2 本報告書の特徴	3	産業・農業・観光について	85
3 調査の内容（設問の構成）	3	芸術・歴史文化について	97
4 調査方法及び調査期間	5	良好な市街地について	99
5 回答の結果	5	道路・交通について	107
6 地域区分	6	住環境づくり・地球温暖化対策について	116
7 報告書を見る際の注意事項	6	平和について	121
第2章 回答者の属性	7	児童虐待・人権・男女共同参画について	123
第3章 調査結果	15	市民参加について	131
1 調査結果の概要	17	市政等の情報について	132
(1) 回答者の属性	17	行政のデジタル化について	137
(2) 今後の定住意向	17	(4) 公共施設	138
(3) 市政全般に対する満足度・優先度	17	【参考】 調査票	141
(4) まちづくり指標	19		
2 集計結果	26		
(1) まちの魅力と今後の定住意向	26		
(2) 市政全般（くらし）	31		
(3) 日ごろの意識や行動	53		
防災について	53		
防犯対策について	58		
各種相談について	61		
地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について	62		
生活支援について	68		
健康づくりについて	69		
生涯学習について	74		



# 第1章 調査の目的と概要

---



1 調査の目的

調布市は、調布市基本構想（令和5年度～令和12年度）（以下「基本構想」という。）及び調布市基本計画（令和5年度～令和8年度）（以下「基本計画」という。）に基づき、総合かつ計画的なまちづくりを進めています。

調布市基本計画では、計画期間中の各施策の成果を図る目安として「まちづくり指標」を設定しています。

調布市民意識調査は、「まちづくり指標」の現状値や、市民が日常感じているくらしの満足度、市の施策に関する市民ニーズ等を把握し、今後の市政・まちづくりに活用することを目的としています。

また、調布市は基本計画と連動させ、「調布市まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「総合戦略」という。）を整理しており、国のまち・ひと・しごと創生基本方針を踏まえ、調布市における地方創生の取組を示しています。

総合戦略においても、施策の効果を検証するため、成果指標を設けており、本調査により数値を把握することとしています。

2 本報告書の特徴

「まちづくり指標」の現状値を把握

基本計画の分野別計画では、全30施策、98項目のまちづくり指標を設定しています。そのうち、本調査により把握するものは19施策32指標となっています。

また、5つの重点プロジェクトの到達点として、15指標を設定しており、うち12指標を本調査により把握しています。

これらの指標について令和7年度における現状値を把握するとともに、経年変化の比較を、表やグラフを用いて、分かりやすく記載しています。

満足度と優先度の画面から分析

効果的・効率的に行財政運営を進めるため、市民が普段のくらしの中で感じている、市政全般に対する満足度と合わせて、今後において解決、改善、向上に向け取り組むべきと思う施策の優先度を把握することにより、今後、重点的に力を入れて改善すべき分野を分析しています。

総合戦略に位置付けた「基本目標における数値目標」及び「重要業績評価指標(KPI※)」の現状値を把握

総合戦略では、施策の効果を客観的に検証するため、基本目標ごとに数値目標を、また、施策ごとに重要業績評価指標(KPI)を設定しています。

総合戦略におけるKPIは、基本計画で設定しているまちづくり指標と連動しているため、本調査では、KPI全98指標のうち、32指標の現状値を把握します。

※重要業績評価指標(KPI)…Key Performance Indicatorの略。各施策の効果を客観的に検証するため、施策ごとに設定する成果指標をいう。

【図表 基本構想・基本計画・総合戦略の計画期間】

年度 (西暦)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)
基本構想	基本構想							
基本計画	現行基本計画				次期基本計画			
総合戦略	総合戦略							
市長任期								

3 調査の内容（設問の構成）

調査の設問は、「あなたご自身のこと」、「まちの魅力と今後の定住意向」、「市政全般（くらし）」、「日ごろの意識や行動」、「公共施設」の5区分で構成されており、具体的な設問内容は以下のとおりです。

【図表 設問の構成】

問	設問 内容	基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁	
<b>回答者の属性等</b>				
1	性別		9	
2	年齢（令和7年10月1日現在）		9	
3	家族構成		9	
4	同居する家族		9	
5	職業		10	
5-1	通勤（就業）・通学先		10	
6	普段閲覧・活用しているSNS		10	
7	居住する住居形態		10	
8	現在の居住地域		11	
9	居住年数		11	
10	以前の居住地域		11	
10-1	調布市に住んだきっかけ		12	
10-2	家族構成や家族の状況が変わった理由		12	
<b>まちの魅力と今後の定住意向</b>				
11	あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。		26	
12	あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。		27	
12-1	あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。		28	
12-2	「事情が許せば転出したい」「転出するつもりでいる」と思う理由		30	
<b>市政全般（くらし）</b>				
13	次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。		31	
	基本目標1	地震への災害対策 風水害などへの災害対策 火災などへの消防対策 防犯対策	○ ○ ○ ○	36
	基本目標2	子育て支援サービス ひとり親家庭への生活・経済面の支援 小・中学校の教育 青少年の非行防止や健全育成対策 社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	○ ○ ○ ○ ○	37
	基本目標3	高齢者の福祉 障害者の福祉 労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組 健康診断などの保健サービス 医療体制の充実 共生社会の充実・パラハートちようふの取組	○ ○ ○ ○ ○ ○	39

第1章 調査の目的と概要

設 問		基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁
問	内 容		
基本目標4	図書館	○	40
	たづくりを中心とした生涯学習		
	スポーツ振興		
基本目標5	公民館	○	41
	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援		
	人権に関する啓発・相談		
	女性の社会参加・参画		
基本目標6	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組		43
	平和・国際交流の取組		
	日常の買い物の利便さ	○	
	市内工業・商業などの活力		
	市内中小企業に対する支援		
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興		
	調布花火		
基本目標7	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	○	45
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動		
	歴史・文化財の保存や継承		
	街並み・景観		
	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい		
基本目標8	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）		47
	道路の整備（新設、幅幅を伴う改良）		
	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）		
	緑の保全・創出や自然環境の保護	○	
行革プラン2023	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組		48
	公園や遊び場		
	ごみ処理やリサイクル		
	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	○	
	市民参加と協働の取組		
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信		
	ホームページの見やすさ		
	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組		
	窓口・電話における職員への対応		
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組		
行政サービスのデジタル化の取組			
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組			
行政評価の取組			
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など			
13-1	あなたは、問13の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。		51
<b>日ごろの意識や行動</b>			
14	あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。	○	53
14-1	「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。		57

第1章 調査の目的と概要

設 問		基本計画 まちづくり 指標 (R5～R8)	報告書 掲載頁
問	内 容		
15	あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。	○	58
16	あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。		58
17	あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺被害等防止のためにどのような対策をしていますか。	○	60
18	あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。		61
18-1	消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。		61
19	あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。		62
20	あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」など）についてどのように感じますか。		67
21	あなたは、障害がある人と会話したり手助けした経験がありますか。		67
22	共生社会の充実を図り、障害があっても住みやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。		68
23	あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。		68
24	あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。	○	69
25	あなたは、定期的に歯科検診・がん検診を受けていますか。	○	70
26	あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ）を吸いますか。		72
27	あなたは、調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。		73
28	あなたは、この1年間に、生涯学習に取り組みましたか。	○	74
29	あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。		75
30	あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。	○	75
31	あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。	○	76
32	あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会がありますか。	○	78
33	あなたは、「地区協議会」を知っていますか。		79
34	あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。	○	80
34-1	参加した団体、活動、場所。		81
35	あなたは、この1年間に次のイベントや施設・場所に行ったことがありますか。		85
36	あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が50年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。	○	92
37	買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。		92
38	あなたは、普段の買い物で商店街を利用していますか。		94
39	あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。		95
40	あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。		95
41	あなたは、市内に農地が必要だと思いますか。		96
42	あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。		97
42-1	文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所。	○	98
43	あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。	○	99
44	あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。	○	101
44-1	優れた景観だと思う場所。		102
45	あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。	○	102
46	あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。	○	103

問	設問 内容	基本計画 まちづくり 指標 (R5~R8)	報告書 掲載頁
47-1	あなたは、その駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。	○	105
48	あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。	○	107
49	あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。	○	108
50	あなたは、市内でシェアサイクルを利用したことはありますか。		113
51	あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。	○	114
52	あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用していますか。		115
53	あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。	○	116
54	あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備を設置していますか。		117
55	あなたは、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家とならないための対策が必要だと思いませんか。	○	118
55-1	あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。		119
56	あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。	○	120
57	あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。	○	121
57-1	それはどんな時ですか。		122
57-2	それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。		122
58	あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。	○	123
59	あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。		125
60	次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。		126
61	あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。		128
62	あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。		130
63	あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。		131
64	あなたは、どのような市民参加の手法なら参加できますか。		131
65	あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法は何かですか。		132
66	市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。		136
67	あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。		137
<b>公共施設</b>			
68	あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。		138
69	現在のグリーンホールの「質の高い文化芸術の鑑賞の場」であり、「市民の文化芸術の発表の場」である」というコンセプトについて、どう思いませんか。		139
70	新たなグリーンホールの整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。		139

4 調査方法及び調査期間

調査対象者

市内在住の満16歳以上の市民を対象とし、住民基本台帳から、性別・年齢・地域別の人口構成に合わせて、3,000人を無作為に抽出しました。

配布と回収

郵送により調査票の配布及び回答された調査票の回収を行いました。  
あわせて、インターネットを活用した回答の回収も行いました。

調査期間

令和7年12月1日（月）～令和7年12月25日（木）

5 回答の結果

調査票の配布数は3,000件、回答数は1,370件（うち、インターネット回答462件）、回答率は45.7%であり、各属性の回答結果は以下のとおりです。

【図表 属性ごとの回答結果】

属性	対象者数※1		配付数※2		回答数		回答率 (%) (b/a)	
	実数 (人)	構成比 (%)	実数(票) (a)	構成比 (%)	実数(票) (b)	構成比 (%)		
総数(16歳以上)	205,095	100.0	3,000	100.0	1,370	100.0	45.7	
性別	男性	98,810	48.2	1,464	48.8	574	41.9	39.2
	女性	106,285	51.8	1,536	51.2	777	56.7	50.6
	回答しない (無効回答)	—	—	—	—	6	0.4	—
		—	—	—	—	13	0.9	—
年齢	16～19歳	8,326	4.1	119	4.0	30	2.2	25.2
	20～29歳	27,476	13.4	405	13.5	90	6.6	22.2
	30～39歳	28,325	13.8	415	13.8	165	12.0	39.8
	40～49歳	34,867	17.0	507	16.9	212	15.5	41.8
	50～59歳	38,684	18.9	569	19.0	270	19.7	47.5
	60～69歳	26,094	12.7	385	12.8	228	16.6	59.2
	70歳以上 (無効回答)	41,323	20.1	600	20.0	365	26.6	60.8
年齢 内訳	60～64歳	15,115	7.4	—	—	125	9.1	—
	65～69歳	10,979	5.4	—	—	103	7.5	—
	70～74歳	10,433	5.1	—	—	172	12.6	—
	75歳以上	30,890	15.1	—	—	193	14.1	—
地域	西部地域	36,369	17.7	535	17.8	254	18.5	47.5
	北部地域	43,303	21.1	639	21.3	295	21.5	46.2
	南部地域	73,769	36.0	1,074	35.8	482	35.2	44.9
	東部地域 (無効回答)	51,190	25.0	752	25.1	325	23.7	43.2
		—	—	—	—	14	1.0	—
地域 内訳	南部地域 (中心市街地)	33,183	16.2	—	—	229	16.7	—
	南部地域 (中心市街地以外)	40,586	19.8	—	—	253	18.5	—

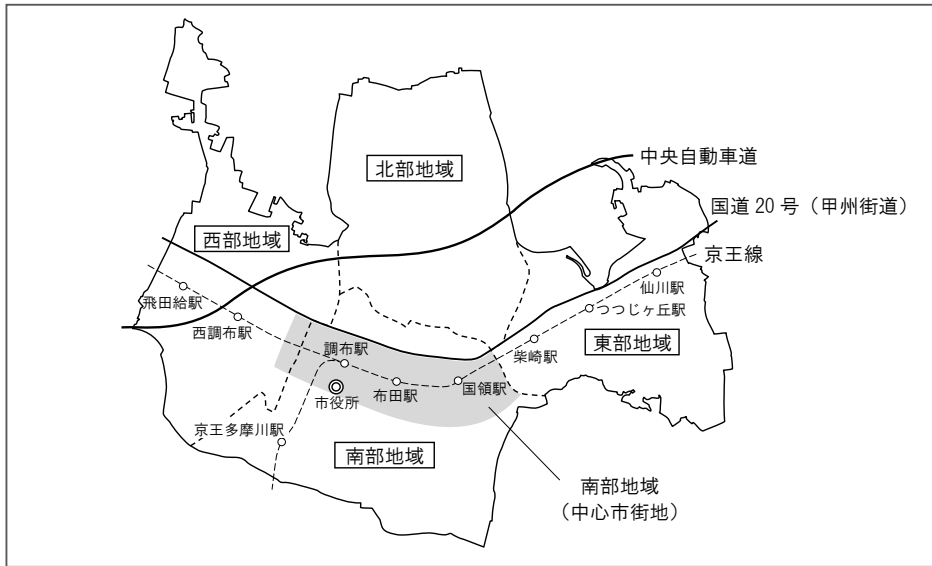
※1 令和7年10月1日現在の16歳以上の住民基本台帳登録者数（日本人のみ）

※2 宛名不明等の理由により返送された分を含む

6 地域区分

本調査における地域区分は、以下のとおりです。

【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】



1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域 (中心市街地)	4 南部地域 (中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1~3 丁目 上石原 1~3 丁目 富士見町 1~4 丁目 下石原 1~3 丁目 多摩川 1~2 丁目 野水 1~2 丁目 西町	佐須町 1~5 丁目 柴崎 1~2 丁目 調布ヶ丘 3~4 丁目 深大寺元町 1~5 丁目 深大寺北町 1~7 丁目 深大寺東町 1~8 丁目 深大寺南町 1~5 丁目	小島町 1~2 丁目 布田 1~4 丁目 国領町 1~5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5~6 丁目 国領町 6~7 丁目 染地 1~3 丁目 多摩川 3~7 丁目 調布ヶ丘 1~2 丁目 八雲台 1~2 丁目	菊野台 1~3 丁目 東つつじヶ丘 1~3 丁目 西つつじヶ丘 1~4 丁目 入間町 1~3 丁目 仙川町 1~3 丁目 緑ヶ丘 1~2 丁目 若葉町 1~3 丁目

<参考> 回答率の推移

調査年度	回答率	調査対象者	うち、インターネット回答率
平成 28 年度	48.7%	満 16 歳以上	-
平成 29 年度	45.0%	満 16 歳以上	13.2%
平成 30 年度	45.1%	満 16 歳以上	17.1%
令和元年度	44.7%	満 16 歳以上	-
令和 2 年度	45.0%	満 16 歳以上	-
令和 3 年度	36.1%	満 16 歳以上	7.1%
令和 4 年度	39.8%	満 16 歳以上	11.4%
令和 5 年度	40.4%	満 16 歳以上	15.3%
令和 6 年度	40.3%	満 16 歳以上	17.9%
令和 7 年度	45.7%	満 16 歳以上	33.7%

7 報告書を見る際の注意事項

(1) 集計方法

○本調査では、回答全体 (n=1,370) をまとめて集計した「単純集計」のほか、過去の調査結果との「経年比較」や、性別や年齢層などの属性ごとに区分して集計した「クロス集計」を行っています。なお、属性によっては、回答数が少ないため、本調査の結果が調布市における当該属性の傾向と異なる可能性があることをご理解のうえ、調査結果をご覧ください。

(2) 数値の端数処理方法

○回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、百分率の合計が100%にならない場合や、内訳の合計が、表示されている値と一致しない場合があります。  
○上記比率の分母となる回答総数は、「n」として掲載しています。

(3) その他

○本文及び図表において、設問選択肢の表記の長いものについては、煩雑さを避けるために、一部で表記を簡略化しています。  
○一般的に、意識調査を実施する際に1,100件程度を対象とすれば母集団全体(本調査では市の人口に相当)の意見との誤差は±3%以内に収まるとされています。本調査の対象者数約3,000人(回答数1,370件)は調査結果を見るうえで、統計上有効な数値であると考えられます。

(参考) 意識調査の必要サンプル数の計算方法

一般的な統計理論では、「〇〇について賛成か、反対か」という設問の場合、必要サンプル数は以下の式で求められます。

$$\text{必要なサンプル数} = \text{信頼水準の2乗} \times \text{回答比率} \times (1 - \text{回答比率}) \div \text{目標誤差}(\%) \text{の2乗}$$

(本調査の必要サンプル数： $(1.96)^2 \times 0.5 \times (1 - 0.5) \div (0.03)^2 \doteq 1,067$ (票))

信頼水準：正しく判断できる確率のこと。一般的に国などが行っている標本調査では、95%に対応する「1.96」という値が用いられる。

回答比率：賛成または反対の回答比率として設定するもの。通常は、調査対象者数が最大となる「0.5」を用いる。

目標誤差：標本調査(サンプリング調査)と全数調査の結果の間に生じる誤差(標本誤差)の目標値。本調査では±3.0%以内とするので、「0.03」とする。

資料：総務省統計局ホームページ

## 第2章 回答者の属性

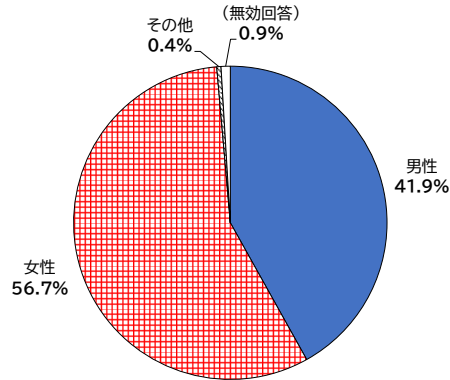
---



(1) 性別

<全体 (n=1,370) >

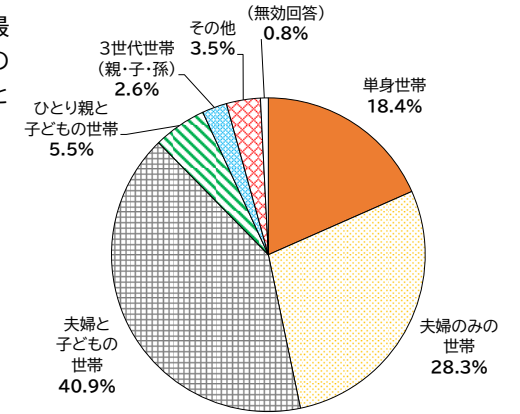
○回答者の性別は、男性が41.9%、女性が56.7%であり、女性が男性を14.8ポイント上回っています。



(3) 家族構成

<全体 (n=1,370) >

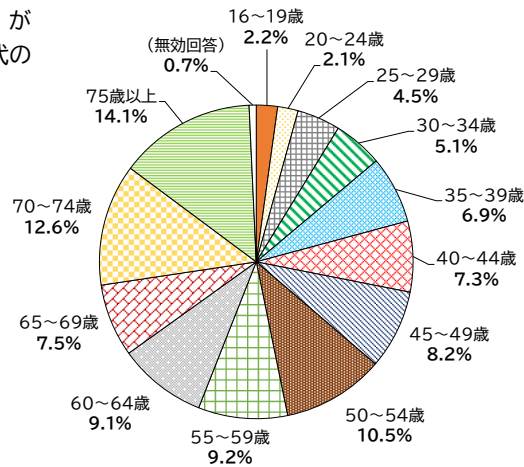
○「夫婦と子どもの世帯」が40.9%と最も高く、次いで「夫婦のみの世帯」の28.3%、「単身世帯」の18.4%の順となっています。



(2) 年齢

<全体 (n=1,370) >

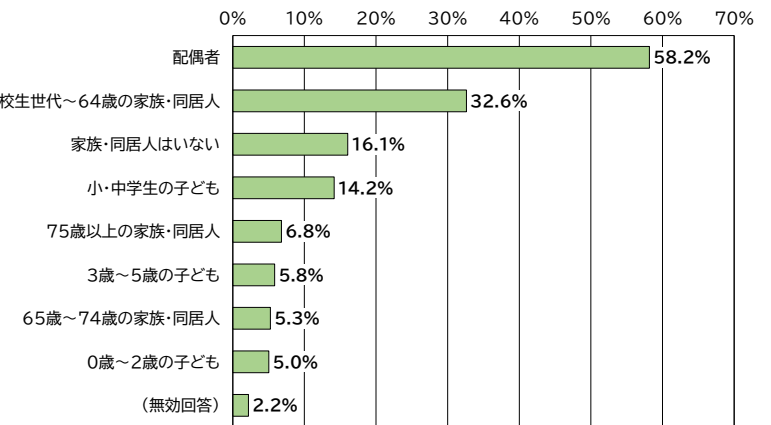
○70歳以上(70~74歳, 75歳以上)が最も高く、次いで50歳代, 60歳代の順となっています。



(4) 同居する家族

<全体 (n=1,370) >

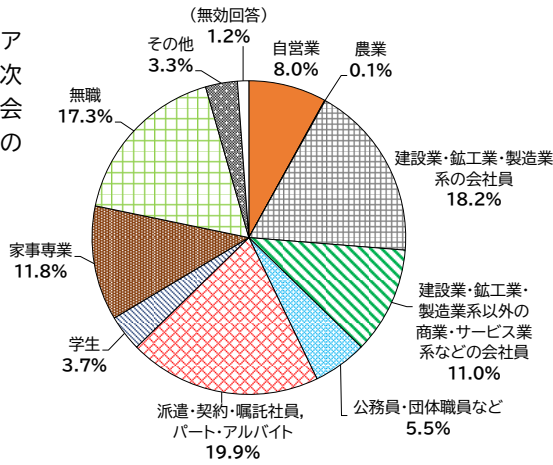
○「配偶者」が58.2%と最も高く、次いで「高校生世代~64歳の家族・同居人」の32.6%、「家族・同居人はいない」の16.1%の順となっています。



(5) 職業

<全体 (n=1,370) >

○「派遣・契約・嘱託社員，パート・アルバイト」が19.9%と最も高く，次いで「建設業・鉱工業・製造業系の会社員」の18.2%，「無職」の17.3%の順となっています。

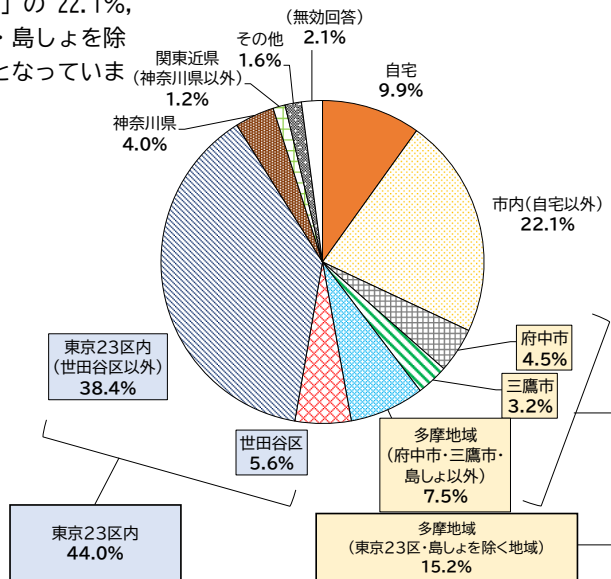


(5-1) 通勤（就業）・通学先

<全体 (n=910) >

(職業が「自営業」「農業」「建設業・鉱工業・製造業系の会社員」「建設業・鉱工業・製造業系以外の商業・サービス業系などの会社員」「公務員・団体職員など」「派遣・契約・嘱託社員，パート・アルバイト」「学生」である回答者のみ)

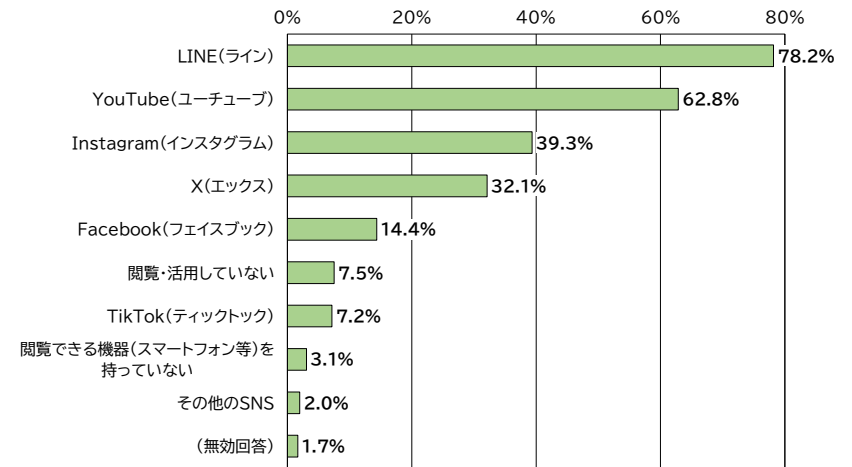
○「東京23区内」が44.0%と最も高く，次いで「市内（自宅以外）」の22.1%，「多摩地域（東京23区・島しょを除く地域）」の15.2%の順となっています。



(6) 普段閲覧・活用している SNS

<全体 (n=1,370) >

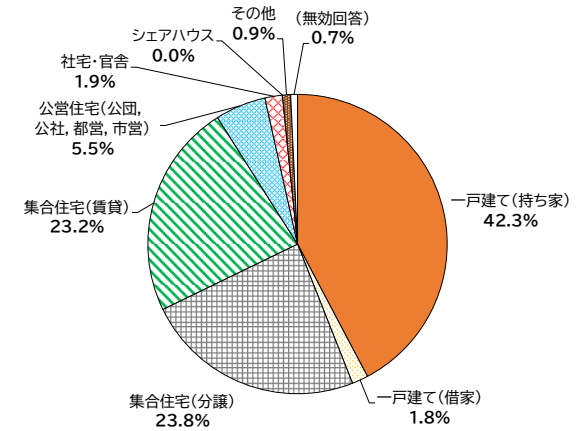
○「LINE (ライン)」が78.2%と最も高く，次いで「YouTube (ユーチューブ)」の62.8%，「Instagram (インスタグラム)」の39.3%の順となっています。



(7) 居住する住居形態

<全体 (n=1,370) >

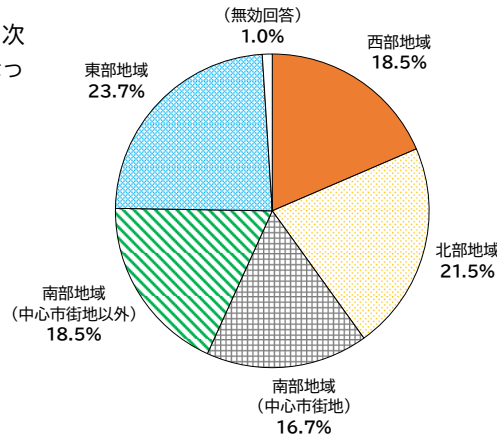
○「一戸建て（持ち家）」が42.3%と最も高く，次いで「集合住宅（分譲）」の23.8%，「集合住宅（賃貸）」の23.2%の順となっています。



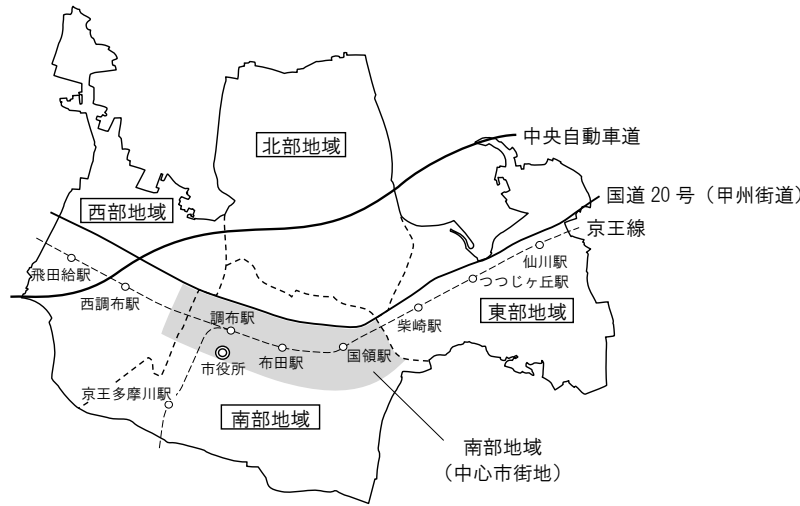
(8) 現在の居住地域

<全体 (n=1,370) >

○「東部地域」が23.7%と最も高く、次いで「北部地域」の21.5%の順となっています。



【図表 各地域の位置と対象となる町丁目】

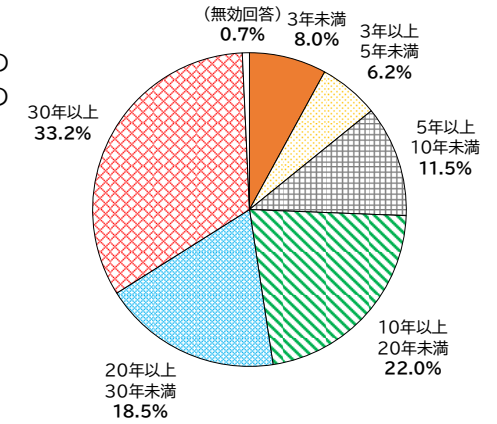


1 西部地域	2 北部地域	3 南部地域(中心市街地)	4 南部地域(中心市街地以外)	5 東部地域
飛田給 1~3 丁目 上石原 1~3 丁目 富士見町 1~4 丁目 下石原 1~3 丁目 多摩川 1~2 丁目 野水 1~2 丁目 西町	佐須町 1~5 丁目 柴崎 1~2 丁目 調布ヶ丘 3~4 丁目 深大寺元町 1~5 丁目 深大寺北町 1~7 丁目 深大寺東町 1~8 丁目 深大寺南町 1~5 丁目	小島町 1~2 丁目 布田 1~4 丁目 国領町 1~5・8 丁目	小島町 3 丁目 布田 5~6 丁目 国領町 6~7 丁目 染地 1~3 丁目 多摩川 3~7 丁目 調布ヶ丘 1~2 丁目 八雲台 1~2 丁目	菊野台 1~3 丁目 東つつじヶ丘 1~3 丁目 西つつじヶ丘 1~4 丁目 入間町 1~3 丁目 仙川町 1~3 丁目 緑ヶ丘 1~2 丁目 若葉町 1~3 丁目

(9) 居住年数

<全体 (n=1,370) >

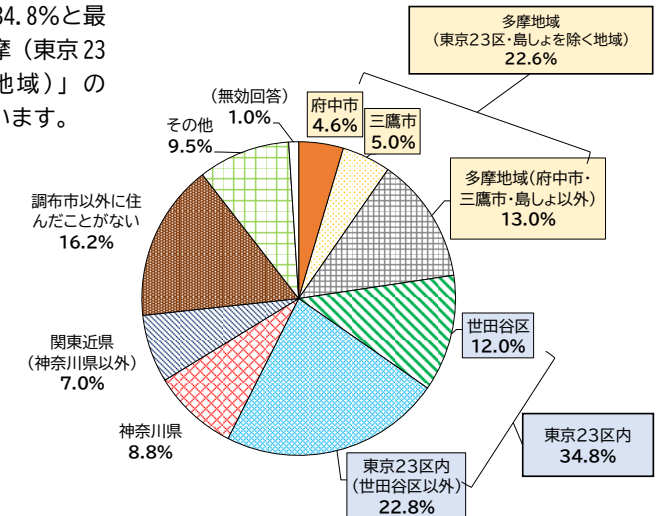
○「30年以上」が33.2%と最も高く、次いで「10年以上 20年未満」の22.0%、「20年以上 30年未満」の18.5%の順となっています。



(10) 以前の居住地域

<全体 (n=1,370) >

○「東京23区内」が34.8%と最も高く、次いで「多摩(東京23区・島しょを除く地域)」の22.6%の順となっています。

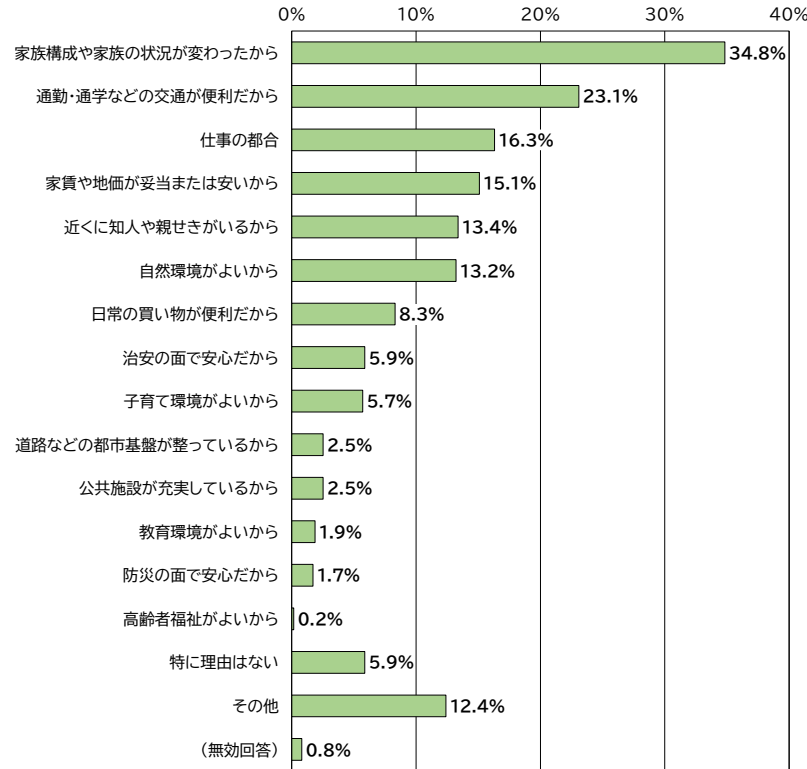


(10-1) 調布市に住んだきっかけ

<全体 (n=1,226) >

(以前の居住地が「府中市」「三鷹市」「多摩地域 (府中市・三鷹市・島しょ以外)」「世田谷区」「東京 23 区内 (世田谷区以外)」「神奈川県」「関東近県 (神奈川県以外)」「その他」である回答者のみ)

○「家族構成や家族の状況が変わったから」が 34.8%と最も高く、次いで「通勤・通学などの交通が便利だから」の 23.1%、「仕事の都合」の 16.3%の順となっています。



<同居人別>

○「家族・同居人はいない」を除く全てにおいて、「家族構成や家族の状況が変わったから」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳~2歳の子ども	3歳~5歳の子ども	小・中学生の子ども	高校生世代~64歳の家族・同居人	65歳~74歳の家族・同居人	75歳以上の家族・同居人	家族・同居人はいない
全体	1,226	747	67	73	180	380	53	73	204
家族構成や家族の状況が変わったから	427	316	43	35	78	135	18	22	34
家賃や地価が妥当または安いから	185	114	16	13	26	51	2	8	32
仕事の都合	200	113	8	9	26	63	10	8	43
通勤・通学などの交通が便利だから	283	174	23	20	47	78	9	5	56
日常の買い物便利だから	102	67	8	5	15	26	2	2	19
近くに知人や親せきがいるから	164	109	11	13	35	52	2	5	25
教育環境がよいから	23	17	6	2	3	7	0	0	1
子育て環境がよいから	70	56	15	14	20	27	0	1	2
高齢者福祉がよいから	2	0	0	0	0	1	0	0	1
自然環境がよいから	162	106	9	7	25	62	5	5	23
道路などの都市基盤が整っているから	31	19	1	1	5	7	0	0	4
公共施設が充実しているから	31	17	3	2	7	7	0	0	6
防災の面で安心だから	21	17	1	4	7	11	0	0	0
治安の面で安心だから	72	44	6	6	12	18	1	2	12
特に理由はない	72	33	1	1	6	19	6	9	17
その他	152	82	7	9	20	53	9	18	24
(無効回答)	10	5	0	1	1	4	2	1	1

回答割合が最も高い: [Dark Gray Box]

回答割合が2番目に高い: [Light Gray Box]

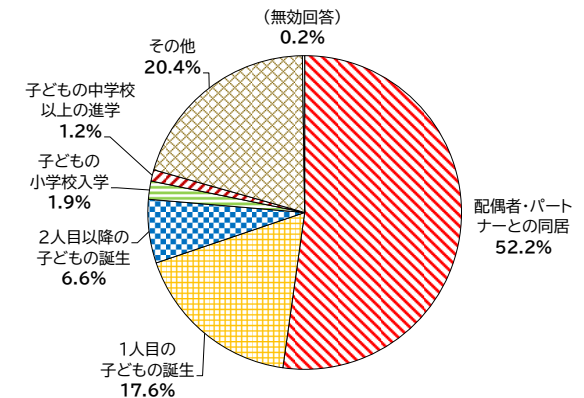
(上段:実数(人), 下段:構成比)

(10-2) 家族構成や家族の状況が変わった理由

<全体 (n=427) >

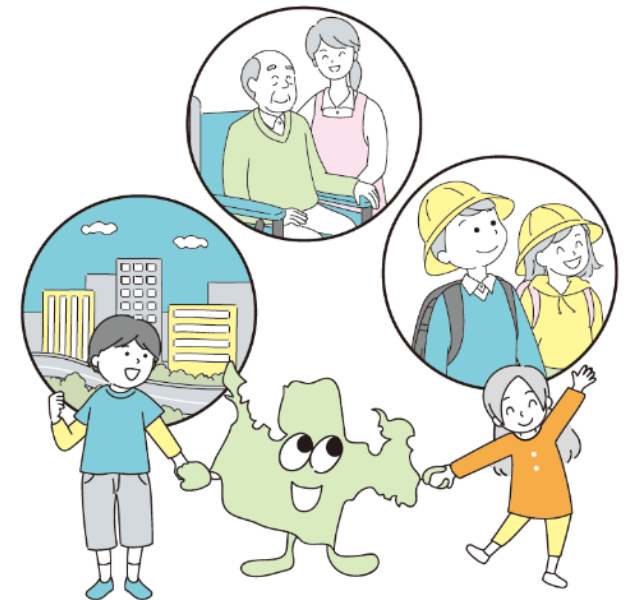
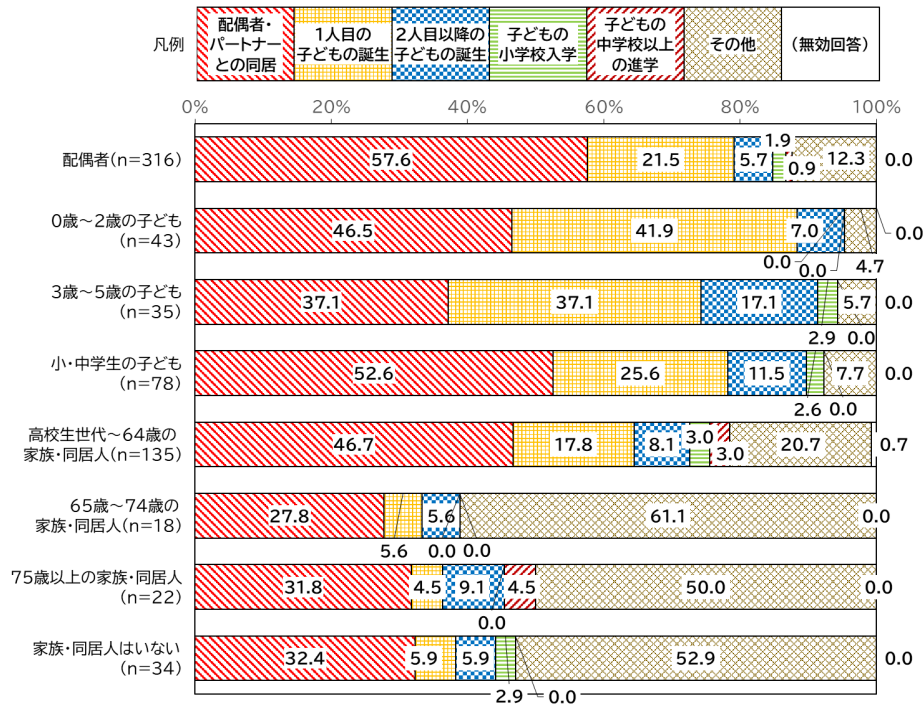
(「家族構成や家族の状況が変わったから」の回答者のみ)

○「配偶者・パートナーとの同居」が 52.2%と最も高く、次いで「1人目の子どもの誕生」の 17.6%、「2人目以降の子どもの誕生」の 6.6%の順となっています。



<同居人別>

○同居人が、0歳～2歳の子ども、3歳～5歳の子どもの場合、「1人目の子どもの誕生」が約40%となっています。





## 第3章 調査結果

---

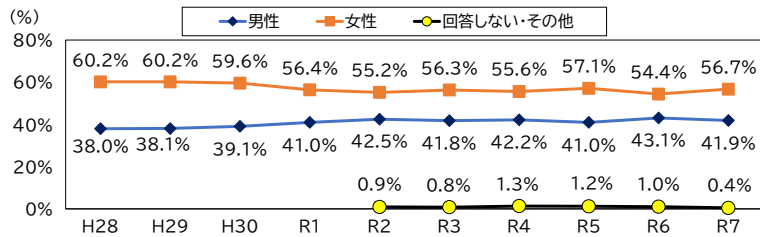


1 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

ア 性別

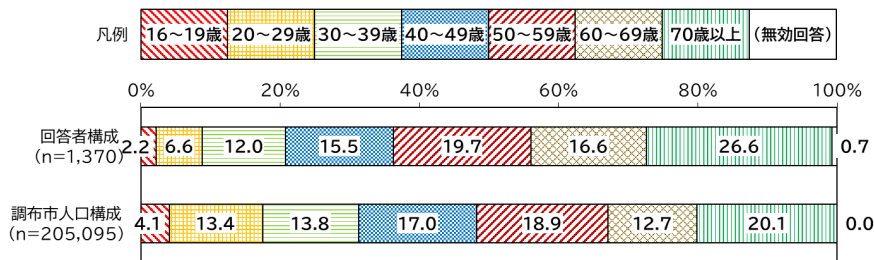
○回答者の性別構成比は、過去の傾向と同様、女性が男性を上回っています。



※「回答しない」は、令和7年度から「その他」に変更

イ 年齢層別

○回答者の年齢層別構成比は、令和7年10月1日現在の16歳以上の調布市人口（日本人のみ）と比べて、40歳代までは低く、50歳以上は高くなっています。



ウ その他

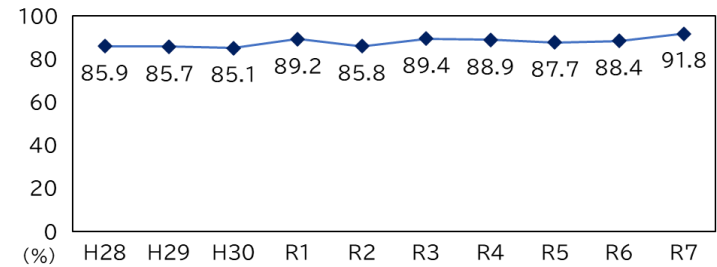
○回答者のその他の属性の特徴は以下のとおりです。

【図表 各属性において割合が高い上位3項目】

属性	割合が高い回答		
	第1位	第2位	第3位
職業	派遣・契約・嘱託社員, パート・アルバイト 19.9%	建設業・鉱工業・ 製造業系の会社員 18.2%	無職 17.3%
通勤(就業)・ 通学先	東京23区内 44.0%	市内(自宅以外) 22.1%	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域) 15.2%
住居形態	一戸建て(持ち家) 42.3%	集合住宅(分譲) 23.8%	集合住宅(賃貸) 23.2%
居住年数	30年以上 33.2%	10年以上20年未満 22.0%	20年以上30年未満 18.5%
前居住地	東京23区内 34.8%	多摩地域 (東京23区・島しょを除く地域) 22.6%	神奈川県 8.8%

(2) 今後の定住意向

○調布市に住み続けたい人（「住み続けるつもりである」＋「事情が許せば住み続けたい」）は91.8%であり、令和6年度より3.4ポイント増加しています。



(3) 市政全般に対する満足度・優先度

ア 現在の満足度

<満足度・不満足度が高い項目>

○市民が普段のくらしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する満足度\*（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）を見ると、昨年度は第8位であった「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」が第1位となっています。

○一方、不満足度（「不満である」＋「どちらかといえば不満である」）において、第1位は昨年度に引き続き「道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）」であり、第3位までは昨年度と同じ項目及び順位となっています。

【図表 満足度及び不満足度が高い上位5項目】

	順位	項目	割合	令和6年度 順位/割合(%)
満足	1	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	86.8%	8位/79.3
	2	調布花火	86.7%	1位/83.8
	3	歴史・文化財の保存や継承	85.7%	7位/79.6
	4	窓口・電話における職員の対応	85.0%	6位/79.7
	5	「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	84.9%	3位/80.6
不満	1	道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)	41.2%	1位/43.8
	2	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)	35.8%	2位/38.7
	3	自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など, ハード面の整備)	30.7%	3位/35.1
	4	公園や遊び場	23.7%	5位/29.7
	5	ホームページの見やすさ	23.0%	7位/28.3

※満足度は、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の4段階で評価

<満足度の経年比較>

- 全項目の満足度の平均値について経年推移を見ると、令和7年度（76.6%）は令和6年度（70.6%）より6ポイント増加しています。また、直近5箇年（令和2年度～令和6年度）の平均値を6ポイント上回っています。
- 満足度は、直近5箇年（令和2年度～令和6年度）の平均値と比較して、全て増加しています。9ポイント以上増加したのは、「子育て支援サービス」、「街並み・景観」、「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」、「職員数の見直しや職員給与の適正化の取組」、「行政サービスのデジタル化の取組」の5項目です。

【図表 全項目の満足度の平均値】

R2	R3	R4	R5	R6	過去平均値 <sup>※</sup>	R7
71.3%	70.0%	70.5%	70.5%	70.6%	70.6%	76.6%

【図表 満足度の経年推移】

	項目	R2	R3	R4	R5	R6	過去平均値 <sup>※1</sup>	R7	増減 <sup>※2</sup> (ポイント)
基本目標 1	地震への災害対策	69.4%	67.6%	68.3%	72.2%	70.2%	69.5%	77.4%	7.9
	風水害などへの災害対策	65.3%	67.6%	68.9%	70.8%	68.8%	68.3%	76.9%	8.6
	火災などへの消防対策	75.6%	74.7%	75.2%	78.7%	76.0%	76.0%	81.0%	5.0
基本目標 2	防災対策	69.2%	70.2%	70.2%	70.8%	61.5%	68.4%	74.5%	6.1
	子育て支援サービス	64.7%	68.3%	69.0%	65.2%	66.9%	66.8%	76.2%	9.4
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	64.6%	64.0%	65.9%	64.7%	66.0%	65.0%	73.4%	8.4
	小・中学校の教育	63.9%	67.7%	68.8%	65.7%	66.8%	66.6%	75.5%	8.9
	青少年の非行防止や健全育成対策	65.4%	67.3%	68.4%	66.9%	66.4%	66.9%	74.5%	7.6
基本目標 3	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども、若者への支援	58.0%	60.5%	62.7%	60.7%	61.1%	60.6%	68.9%	8.3
	高齢者の福祉	70.7%	69.5%	70.2%	68.6%	69.1%	69.6%	72.8%	3.2
	障害者の福祉	69.5%	68.0%	70.1%	69.6%	70.5%	69.5%	73.6%	4.1
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	66.3%	66.3%	67.1%	66.9%	66.7%	66.7%	71.9%	5.2
	健康診断などの保健サービス	75.3%	74.8%	77.6%	77.4%	78.4%	76.7%	79.3%	2.6
基本目標 4	医療体制の充実	73.0%	70.6%	71.3%	71.5%	71.0%	71.5%	74.2%	2.7
	共生社会の充実・パラハートちようふの取組	-	69.4%	71.1%	70.0%	69.4%	70.0%	75.5%	5.5
	図書館	80.4%	79.6%	80.7%	82.2%	80.4%	80.7%	83.5%	2.8
	たづくりを中心とした生涯学習	77.6%	78.0%	77.4%	79.3%	78.9%	78.2%	81.9%	3.7
基本目標 5	スポーツ振興	77.2%	76.3%	77.8%	78.5%	77.7%	77.5%	84.0%	6.5
	公民館	75.4%	74.3%	74.4%	74.0%	74.0%	74.4%	78.5%	4.1
	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	71.3%	69.5%	68.8%	71.6%	72.0%	70.6%	77.3%	6.7
	人権に関する啓発・相談	73.8%	72.5%	73.8%	70.4%	72.1%	72.5%	78.0%	5.5
	女性の社会参加・参画	70.3%	68.4%	71.4%	68.3%	69.2%	69.5%	76.1%	6.6
基本目標 6	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	-	67.4%	68.2%	66.7%	67.5%	67.5%	75.0%	7.5
	平和・国際交流の取組	75.5%	73.5%	76.0%	68.8%	71.5%	73.1%	78.0%	4.9
	日常の買い物の利便さ	83.6%	83.3%	82.2%	81.9%	82.4%	82.7%	83.3%	0.6
	市内工業・商業などの活力	67.6%	66.6%	67.7%	67.8%	68.3%	67.6%	72.7%	5.1
	市内中小企業に対する支援	66.3%	67.8%	66.9%	66.5%	67.0%	66.9%	72.5%	5.6
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	81.4%	80.9%	81.3%	79.1%	79.3%	80.4%	86.8%	6.4
	調布花火	81.5%	79.5%	73.7%	83.1%	83.8%	80.3%	86.7%	6.4
	「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)を進める取組	78.2%	78.6%	76.6%	79.5%	80.6%	78.7%	84.9%	6.2
	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	79.4%	79.4%	77.9%	80.4%	79.7%	79.4%	82.6%	3.2
	歴史・文化財の保存や継承	80.4%	79.1%	79.5%	79.9%	79.6%	79.7%	85.7%	6.0
基本目標 7	街並み・景観	74.7%	69.2%	69.6%	70.9%	72.3%	71.3%	81.1%	9.8
	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気にぎわい	75.0%	71.5%	70.3%	70.2%	74.3%	72.3%	80.1%	7.8
	自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)	62.8%	58.4%	57.9%	61.5%	59.2%	60.0%	65.3%	5.3
基本目標 8	道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)	53.5%	51.9%	51.0%	52.2%	51.2%	52.0%	56.1%	4.1
	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)	58.6%	54.6%	56.3%	54.9%	55.8%	56.0%	61.0%	5.0
	緑の保全・創出や自然環境の保護	81.5%	76.1%	77.7%	75.4%	76.4%	77.4%	81.9%	4.5
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	-	65.0%	63.0%	64.8%	64.5%	64.3%	73.9%	9.6
	公園や遊び場	70.6%	66.8%	68.1%	64.3%	64.1%	66.8%	71.8%	5.0
行革プラン 2023	ごみ処理やリサイクル	82.8%	81.6%	80.1%	80.4%	78.6%	80.7%	83.6%	2.9
	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	79.5%	78.8%	76.8%	74.7%	75.4%	77.0%	80.4%	3.4
	市民参加と協働の取組	72.2%	70.5%	70.8%	72.4%	72.7%	71.7%	79.4%	7.7
	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	71.7%	71.6%	72.0%	71.9%	73.1%	72.1%	79.6%	7.5
	ホームページの見やすさ	63.7%	60.8%	61.8%	61.4%	65.6%	62.7%	69.9%	7.2
	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	68.4%	68.8%	68.6%	69.2%	70.0%	69.0%	77.1%	8.1
	窓口・電話における職員の対応	76.5%	77.0%	79.6%	79.5%	79.7%	78.5%	85.0%	6.5
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	64.8%	64.1%	67.2%	69.0%	68.6%	66.7%	76.4%	9.7
	行政サービスのデジタル化の取組	-	60.5%	61.6%	63.1%	63.1%	62.1%	71.7%	9.6
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	67.8%	64.6%	67.1%	65.7%	65.5%	66.1%	73.4%	7.3
行政評価の取組	66.1%	63.4%	65.5%	63.6%	64.9%	64.7%	72.6%	7.9	
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	63.1%	61.1%	63.3%	62.4%	63.1%	62.6%	69.1%	6.5	

※1 令和2年度～令和6年度の平均値

※2 令和7年度の実績値から過去5年間の平均値を引いた値

イ 今後の優先度

<優先度が高い項目>

- 市民が普通の暮らしの中で感じている市政全般に関する52項目に対する優先度※1を見ると、第1位は昨年度第2位だった「地震への災害対策」となっています。
- 一方、他を優先すべき項目を見ると、令和6年度は10位であった「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援」が5位となっています。

【図表 優先度が高い上位5項目/他の取組を優先する上位5項目】

	順位	項目	割合	令和6年度 順位/割合(%)
優先※2	1	地震への災害対策	64.5%	2位/62.5
	2	防犯対策	62.4%	1位/65.9
	3	風水害などへの災害対策	60.7%	3位/59.7
	4	道路の整備(新設, 拡幅を伴う改良)	56.6%	4位/53.7
	5	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修, 清掃, 点検等)	56.1%	5位/53.4
他を優先※3	1	公民館	69.2%	1位/66.7
	2	たづくりを中心とした生涯学習	67.6%	3位/65.6
	3	スポーツ振興	67.4%	2位/66.5
	4	調布花火	67.1%	3位/65.6
	5	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	66.9%	10位/62.1

- ※1 優先度は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の4段階で評価
- ※2 「優先」は、「最優先かつ重点的に取り組むべきである」、「優先して取り組むべきである」の割合の合計で評価
- ※3 「他を優先」は、「現状の取組を維持すればよい」、「他の取組を優先すべきである」の割合の合計で評価

(4) まちづくり指標

- 基本計画の重点プロジェクトにおけるまちづくり指標に該当している12指標13項目のうち、令和7年度時点で目標値を達成している項目は6項目となりました。
- 基本計画の施策におけるまちづくり指標に該当している32指標33項目のうち、令和7年度時点で目標値を達成している項目は7項目となりました。
- 現状値と目標値の差が10ポイント以上ある指標は、「ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合」、「すこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合」、「市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合」、「地域活動に参加している市民の割合」、「身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合」、「1年間で文化芸術を鑑賞、または自ら文化芸術活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合」、「バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合」、「空き家等とならないために予防策が必要であると感じている市民の割合」の10指標です。
- 現状値と目標値の差が5ポイント以内の指標は、「高齢者の福祉に満足している市民の割合」、「障害者の福祉に満足している市民の割合」、「定期的にかん検診を受けている人の割合」、「社会教育施設の満足度(図書館)」、「社会教育施設の満足度(公民館)」、「日常の買い物が便利と感じている市民の割合」、「数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合」、「市内に優れた景観があると感じている市民の割合」、「中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合」、「自宅等から目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合」、「普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合」、「市内の公共交通機関(電車・バス)を利用しやすいと感じている市民の割合」、「環境に配慮した取組を行っている市民の割合」、「騒音や悪臭等の公害対策について不満を感じる市民の割合」の14指標です。

【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差(重点プロジェクト)】

	指標	調査結果		目標値 (R8年度)	現状値と 目標値 の差	
		R4年度 (基準値)	R7年度 (現状値)			
重点 プロジェクト	重点1 調布市の地震, 風水害への災害対策に満足している市民の割合	地震	67.6%★	77.4%	75.0%	2.4
		風水害	67.6%★	76.9%	75.0%	1.9
	重点2 特殊詐欺被害防止のため何らかの対策をしている市民の割合	子育て支援サービスに満足している市民の割合	81.9%☆	84.9%	90.0%	▲5.1
		小・中学校の教育に満足している市民の割合	68.3%★	76.2%	75.0%	1.2
		社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合	67.7%★	75.5%	75.0%	0.5
	重点3 高齢者の福祉に満足している市民の割合	高齢者の福祉に満足している市民の割合	69.5%★	72.8%	75.5%	▲2.7
		障害者の福祉に満足している市民の割合	68.0%★	73.6%	75.5%	▲1.9
	重点4 定期的にかん検診を受けている人の割合	定期的にかん検診を受けている人の割合	47.1%	51.1%	55.0%	▲3.9
		中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	68.8%	78.2%	80.0%	▲1.8
	重点5 「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	76.6%★	84.9%	80.0%	4.9
緑や自然環境の保全に満足している市民の割合		76.1%★	81.9%	90.0%	▲8.1	
	市内に優れた景観があると感じている市民の割合	81.9%	85.4%	90.0%	▲4.6	

- ※基準値のうち、★については、令和3年度の実績値
- ※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(調査期間:R4.12.12~R4.12.28)」による把握値
- ※目標値を達成した項目は、網掛け表示にしています。

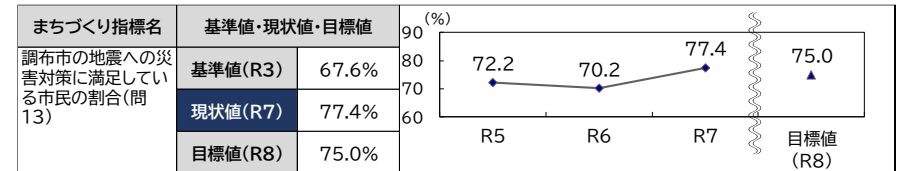
【図表 まちづくり指標の現状値と目標値の差（基本目標）】

基本目標	指標	調査結果		目標値 (R8年度)	現状値と 目標値の 差	
		R4年度 (基準値)	R7年度 (現状値)			
基本目標1	施策01 災害時の情報を入手することができる市民の割合	87.1%	85.3%	92.0%	▲6.7	
	施策02 ローリングストックの考えによる備蓄食料等を実践している市民の割合	63.7%	59.9%	70.0%	▲10.1	
基本目標2	特殊詐欺被害防止のため何らかの対策をしている市民の割合	81.9% <sup>☆</sup>	84.9%	90.0%	▲5.1	
	子育て支援サービスに満足している市民の割合	68.3% <sup>★</sup>	76.2%	75.0%	▲1.2	
基本目標3	すこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合	49.8% <sup>★</sup>	37.7%	60.0%	▲22.3	
	施策05 社会生活を営むうえで困難を抱える子ども・若者への支援に満足している市民の割合	41.0% <sup>☆</sup>	68.9%	53.0%	▲15.9	
基本目標4	施策11 健康だと感じている市民の割合	69.8%	72.9%	80.0%	▲7.1	
	定期的にかん検診を受けている人の割合	47.1%	51.1%	55.0%	▲3.9	
基本目標5	1年間に生涯学習をした人の割合	37.5%	28.4%	40.0%	▲11.6	
	施策12 社会教育施設の満足度	図書館	80.7%	83.5%	85.0%	▲1.5
		公民館	74.4%	78.5%	80.0%	▲1.5
	学習の成果をまちづくりに生かしている市民の割合	13.8%	13.4%	25.0%	▲11.6	
施策13 運動を週に1回以上行っている市民の割合	69.0%	73.0%	73.0%	±0.0		
基本目標6	施策14 市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合	33.0% <sup>☆</sup>	26.1%	50.0%	▲23.9	
	地域活動に参加している市民の割合	15.3%	17.2%	33.0%	▲15.8	
基本目標7	施策16 身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合	76.5% <sup>☆</sup>	57.6%	90.0%	▲32.4	
	施策17 日常の買い物に便利と感じている市民の割合	82.2%	83.3%	85.0%	▲1.7	
基本目標8	「映画のまち調布」を進める取組に満足している市民の割合	76.6%	84.9%	80.0%	▲4.9	
	施策19 数々の水木作品が調布市で生み出されたことを認知している市民の割合	96.5% <sup>☆</sup>	95.8%	98.5%	▲2.7	
基本目標9	施策20 1年間で文化芸術を鑑賞、または自ら文化芸術活動を行った市民のうち、市内公共施設を利用した割合	42.5%	48.8%	65.0%	▲16.2	
	施策22 住みやすいと感じている市民の割合	93.8%	95.6%	95.0%	▲0.6	
基本目標10	市内に優れた景観があると感じている市民の割合	81.9%	85.4%	90.0%	▲4.6	
	施策23 中心市街地が魅力的であると感じている市民の割合	68.8%	78.2%	80.0%	▲1.8	
	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合	70.3%	71.6%	80.0%	▲8.4	
	深大寺周辺の景観が優れていると感じている市民の割合	89.4%	91.0%	90.0%	▲1.0	
基本目標11	施策24 バリアフリー対応住宅に住んでいると答えた市民の割合	52.7%	49.6%	65.0%	▲15.4	
	空き家等とならないために予防策が必要であると感じている市民の割合	72.7%	68.1%	80.0%	▲11.9	
基本目標12	施策25 自宅等から目的地まで円滑に移動できる道路ネットワークが形成されていると感じている市民の割合	60.9%	67.5%	70.0%	▲2.5	
	駅周辺の利便性が高いと感じている市民の割合（つつじヶ丘駅・柴崎駅利用者）	38.1%	46.3%	40.0%	▲6.3	
基本目標13	普段利用している道路が通行しやすいと感じている市民の割合	63.8%（徒歩）	66.9%（徒歩）	70.0%（徒歩）	▲3.1	
	施策26 市内の公共交通機関（電車・バス）を利用しやすいと感じている市民の割合	78.5%	78.2%	80.0%	▲1.8	
基本目標14	施策27 環境に配慮した取組を行っている市民の割合	98.3% <sup>☆</sup>	95.7%	99.0%	▲3.3	
	施策30 騒音や悪臭等の公害対策について不満を感じる市民の割合	14.4%	14.5%	12.0%	▲2.5	

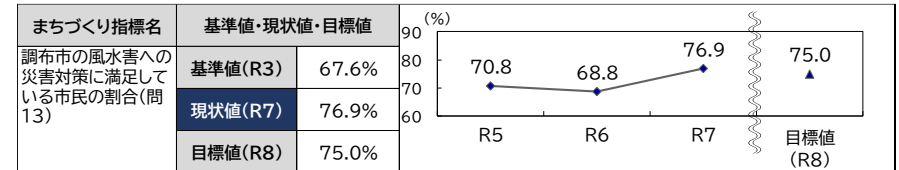
※基準値のうち、★については、令和3年度の実績値  
 ※基準値のうち、☆については「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（調査期間：R4.12.12～R4.12.28）」による把握値  
 ※目標値を達成した項目は、網掛け表示にしています。

○令和4年度（基準値）から令和7年度にかけて5ポイント以上減少した指標は、「すこやかなどで児童虐待に関する相談を受け付けていることを知っている市民の割合」、「1年間に生涯学習をした人の割合」、「市民同士のつながりによる地域活動が行われていると実感している市民の割合」、「身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合」の4指標です。

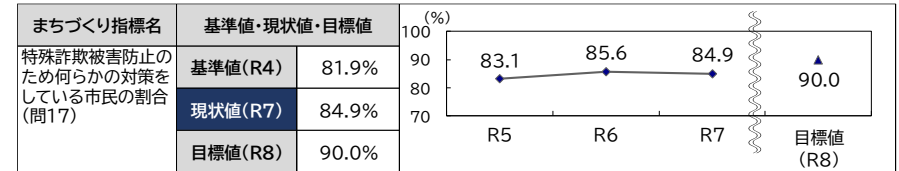
重点プロジェクト1 安全・安心に暮らせるまち



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

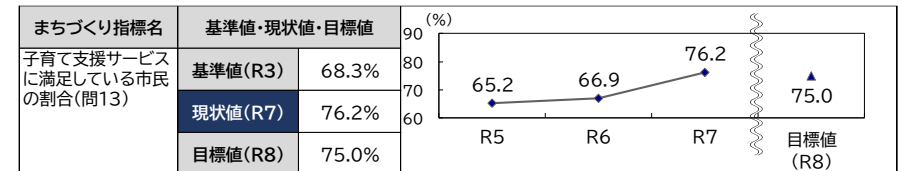


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

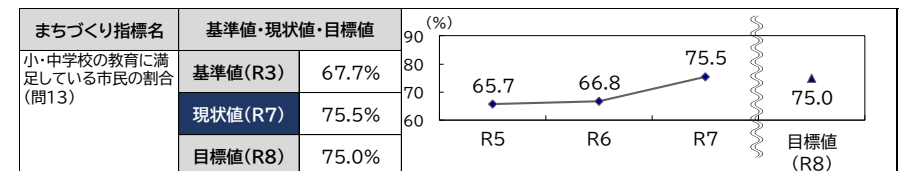


※指標の算出方法：行っている対策を1つ以上選択した人の割合  
 ※基準値（R4）については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4.12.12～12.28）」による把握値

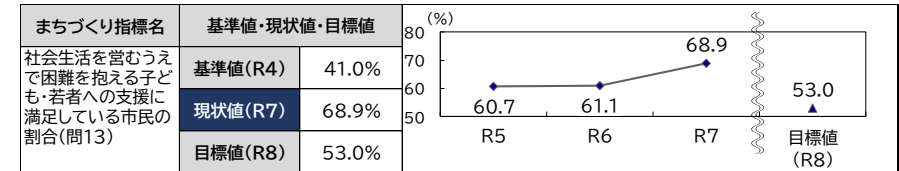
重点プロジェクト2 調布の宝である子どもたちを応援するまち



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

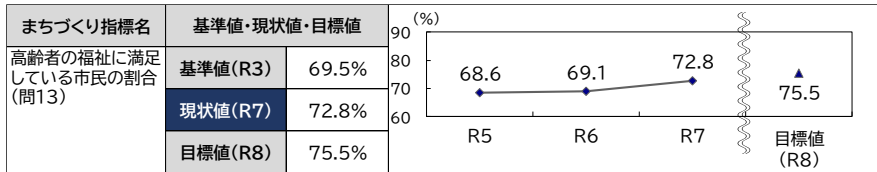


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

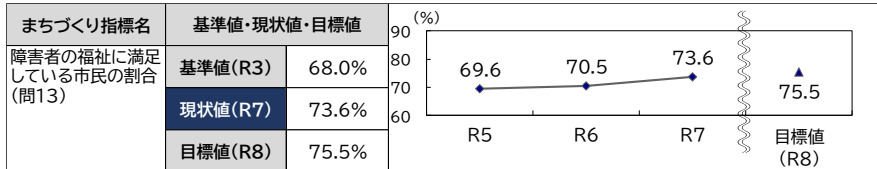


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合  
 ※基準値（R4）については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4.12.12～12.28）」による把握値

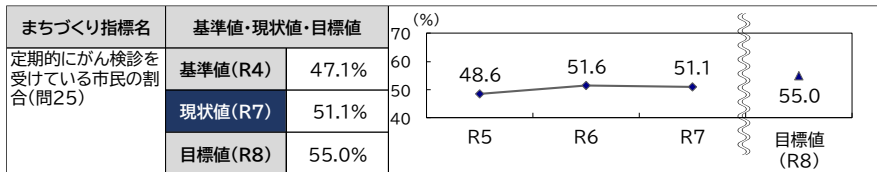
重点プロジェクト3 誰もが自分らしく安心して住み続けられるまち



※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

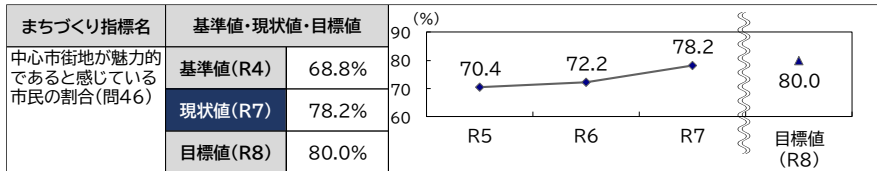


※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

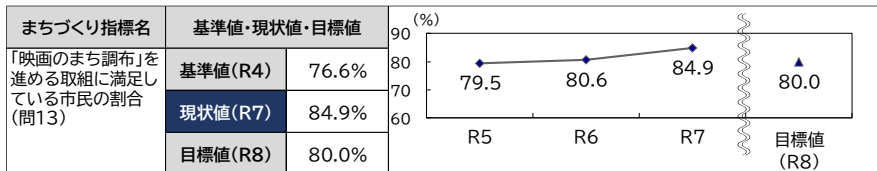


※指標の算出方法:「受けている」と回答した人の割合

重点プロジェクト4 にぎわいと交流のある活気に満ちたまち

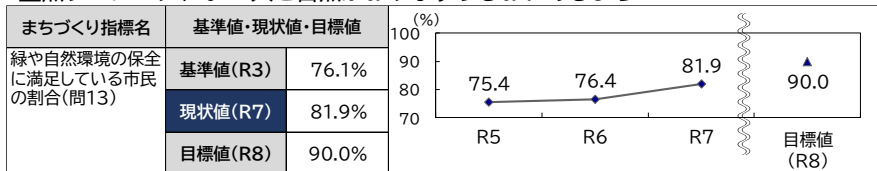


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

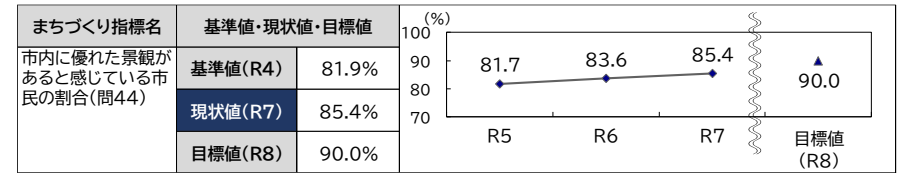


※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

重点プロジェクト5 人と自然がおりなすうるおいあるまち

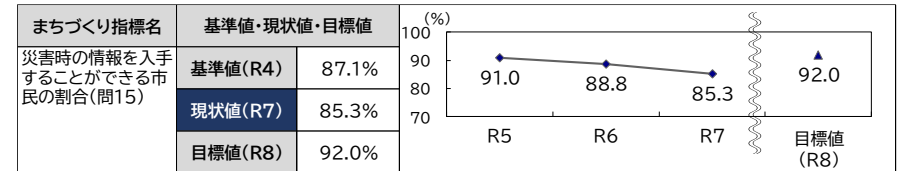


※指標の算出方法:「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

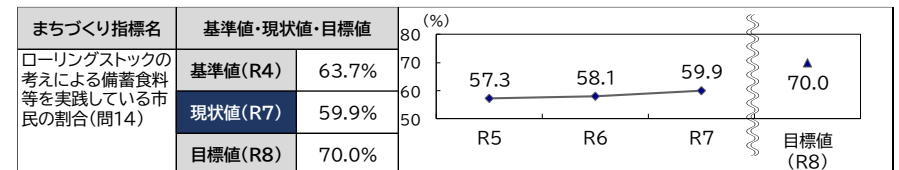


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策01 災害に強いまちづくり

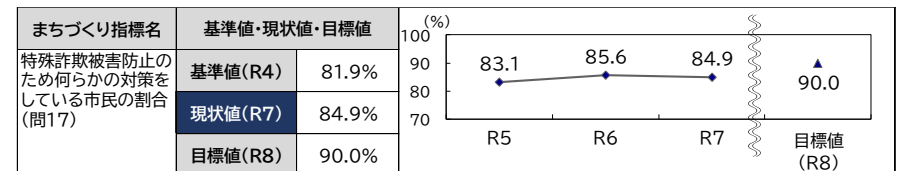


※指標の算出方法:情報を入手する手段を1つ以上選択した人の割合



※指標の算出方法:「十分に取り組んでいる」「少し取り組んでいる」と回答した人の割合

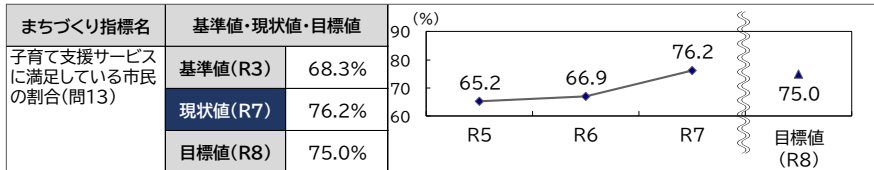
施策02 防犯対策・消費者安全対策の推進



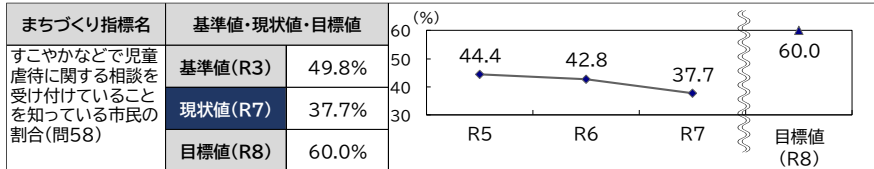
※指標の算出方法:対策している項目を1つ以上選択した人の割合

※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12~12.28)」による把握値

施策03 子ども・子育て家庭の支援

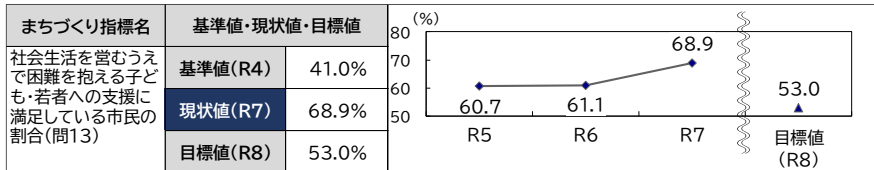


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



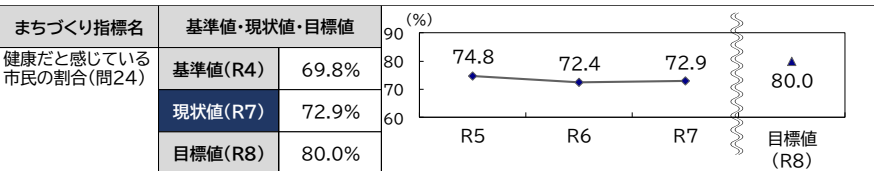
※指標の算出方法：「知っている」と回答した人の割合

施策05 青少年の健全育成

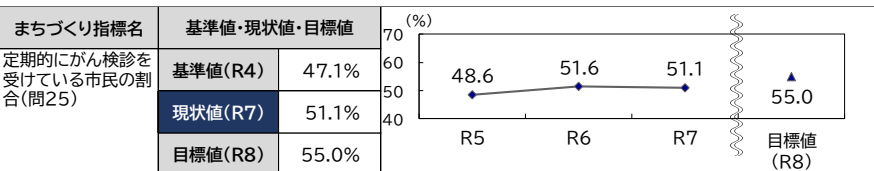


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合  
※基準値 (R4) については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査 (R4. 12. 12 ~ 12. 28)」による把握値

施策11 生涯を通した健康づくり

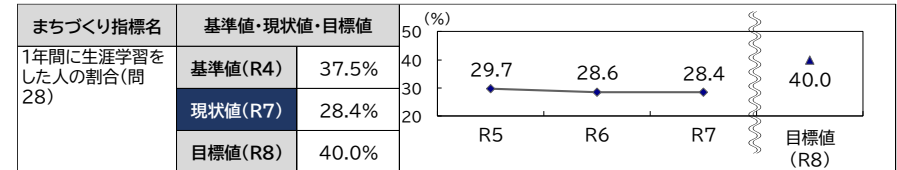


※指標の算出方法：「感じている」「どちらかといえば感じている」と回答した人の割合

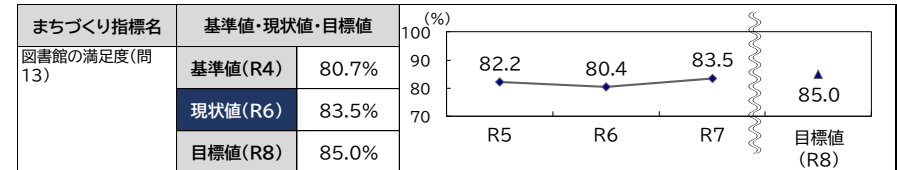


※指標の算出方法：「受けている」と回答した人の割合

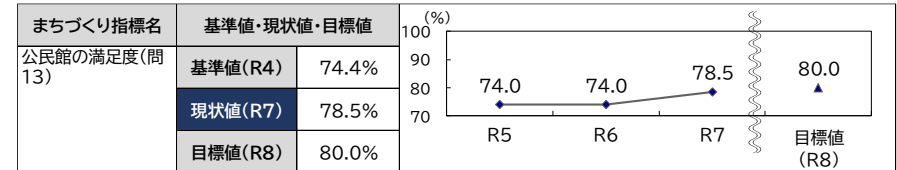
施策12 生涯学習のまちづくり



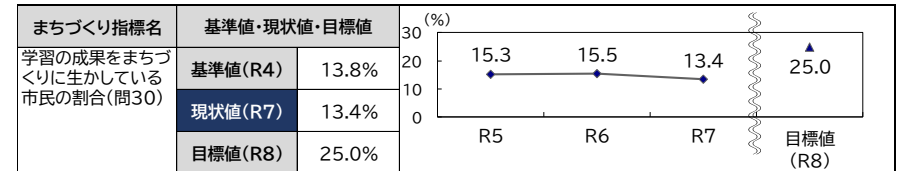
※指標の算出方法：「月1回以上取り組んだ」「年に数回程度取り組んだ」「年1回取り組んだ」と回答した人の割合



※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

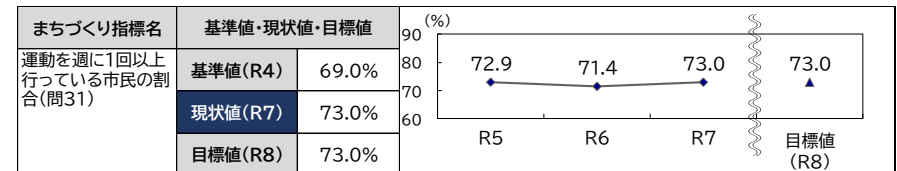


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



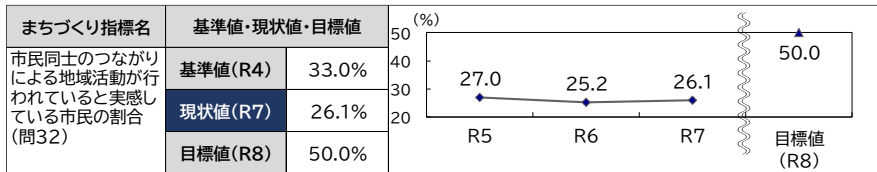
※指標の算出方法：「生かしている」「どちらかといえば生かしている」と回答した人の割合

施策13 市民スポーツの振興

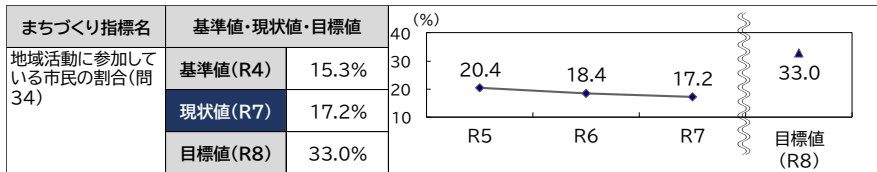


※指標の算出方法：1つ以上の項目について「週2回以上している」「週1回程度している」と回答した人の割合

施策14 地域コミュニティの醸成

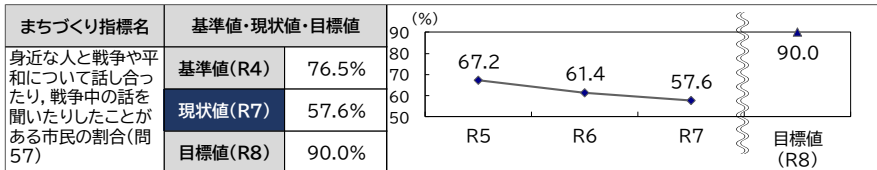


※指標の算出方法：「よくある」「ある」と回答した人の割合  
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値



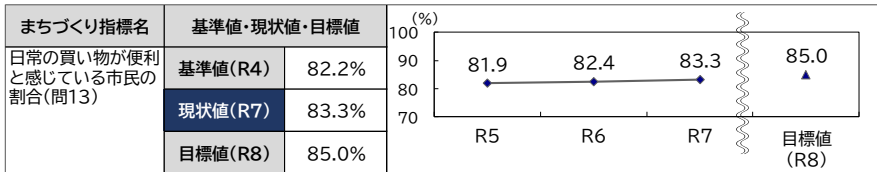
※指標の算出方法：「ほぼ毎日参加している」「週1回程度参加している」「月1回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した人の割合

施策16 平和施策・国際交流の推進



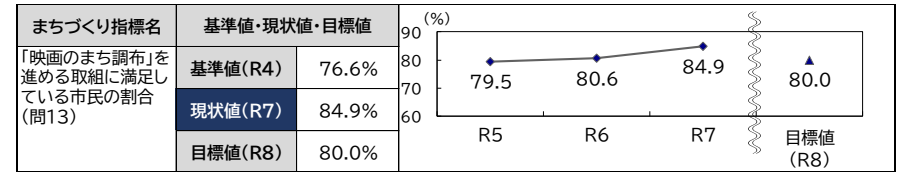
※指標の算出方法：「ある」と回答した人の割合  
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策17 活力ある産業の推進

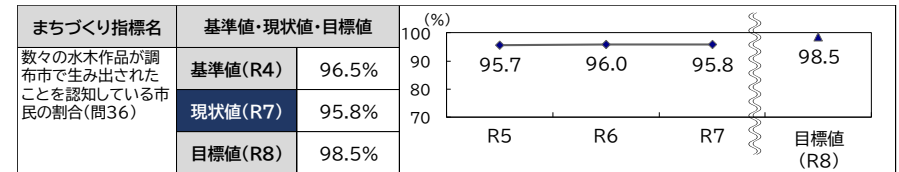


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

施策19 魅力ある観光の振興

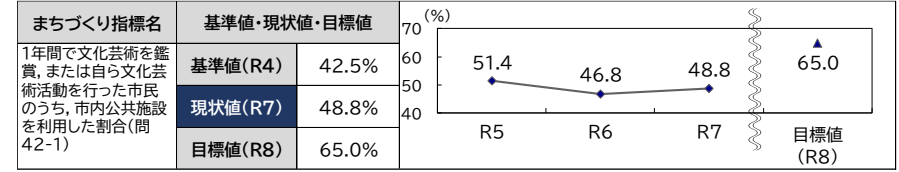


※指標の算出方法：「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合



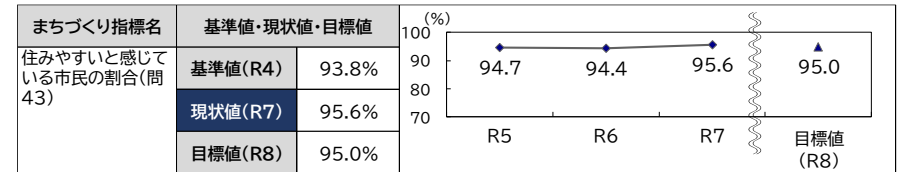
※指標の算出方法：「知っている」と回答した人の割合  
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12～12.28)」による把握値

施策20 文化芸術の振興

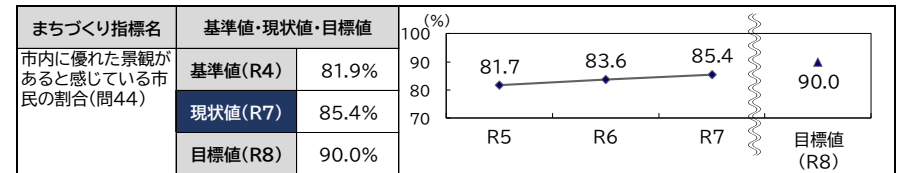


※指標の算出方法：問42で「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」「文化芸術を鑑賞した」「自ら文化芸術活動を行った」と回答した人のうち、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場以外の市内公共施設」と回答した人の割合

施策22 良好な市街地の形成

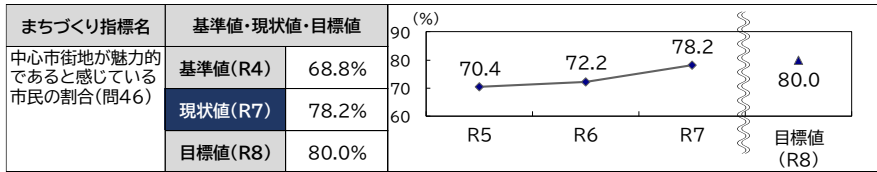


※指標の算出方法：「住みよい」「どちらかといえば住みよい」と回答した人の割合

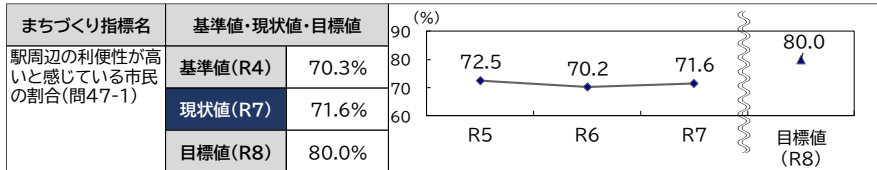


※指標の算出方法：「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

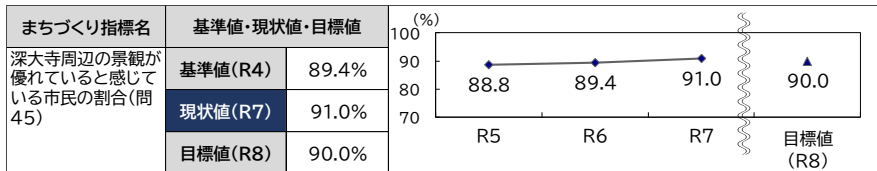
施策 23 地域特色を生かした都市空間の形成



※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

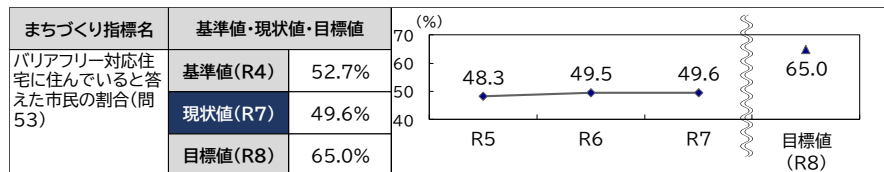


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

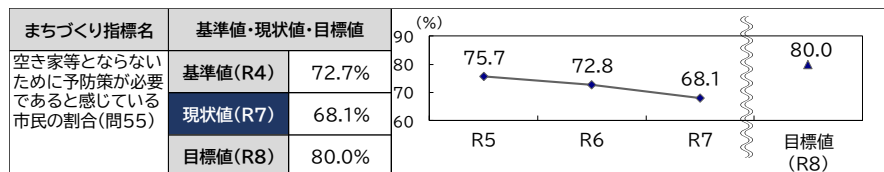


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 24 良好な住環境づくり

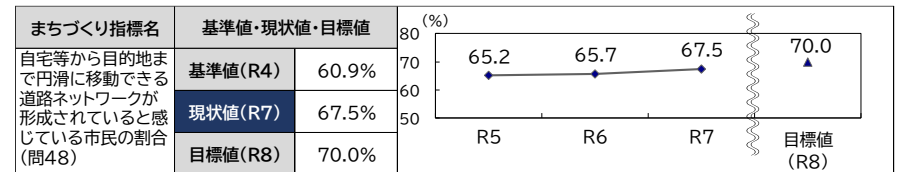


※指標の算出方法:「バリアフリー対応になっている」「一部、バリアフリー対応になっている」と回答した人の割合

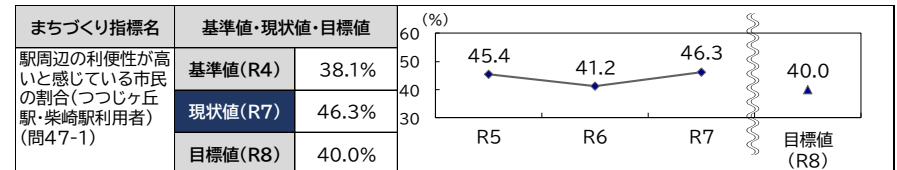


※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

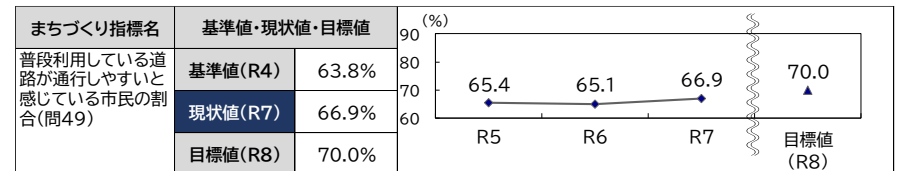
施策 25 利便性の高い交通体系の確立



※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

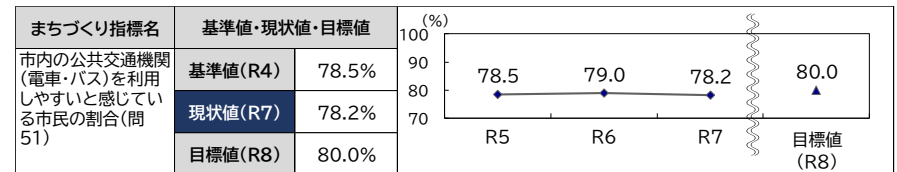


※指標の算出方法:問47で「つつじヶ丘駅」「柴崎駅」と回答した人のうち、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合



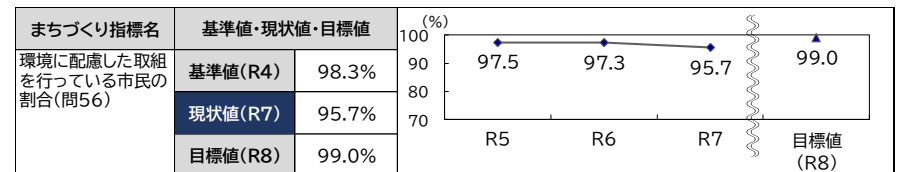
※指標の算出方法:「歩きやすい」「ある程度歩きやすい」と回答した人の割合

施策 26 快適な公共交通環境の整備



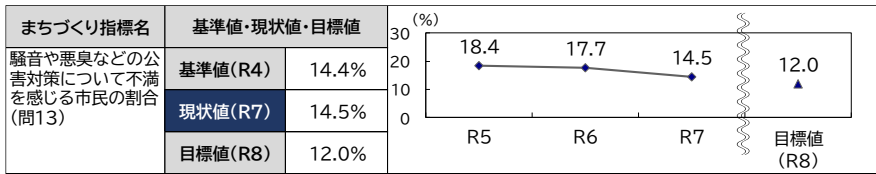
※指標の算出方法:「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合

施策 27 脱炭素社会へ向けた地球温暖化対策と環境保全の推進



※指標の算出方法:行っている取組を1つ以上選択した人の割合  
 ※基準値(R4)については、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査(R4.12.12~12.28)」による把握値

施策30 快適な生活環境づくり



※指標の算出方法：「どちらかといえば不満である」「不満である」と回答した人の割合



2 集計結果

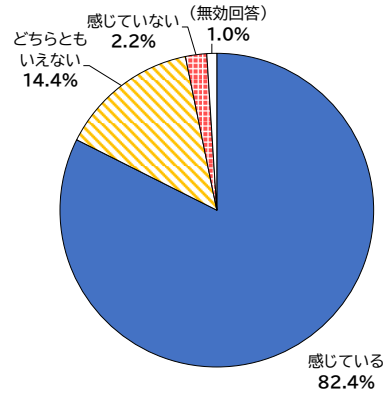
(1) まちの魅力と今後の定住意向

【まちの魅力と今後の定住意向について】

問11) あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか

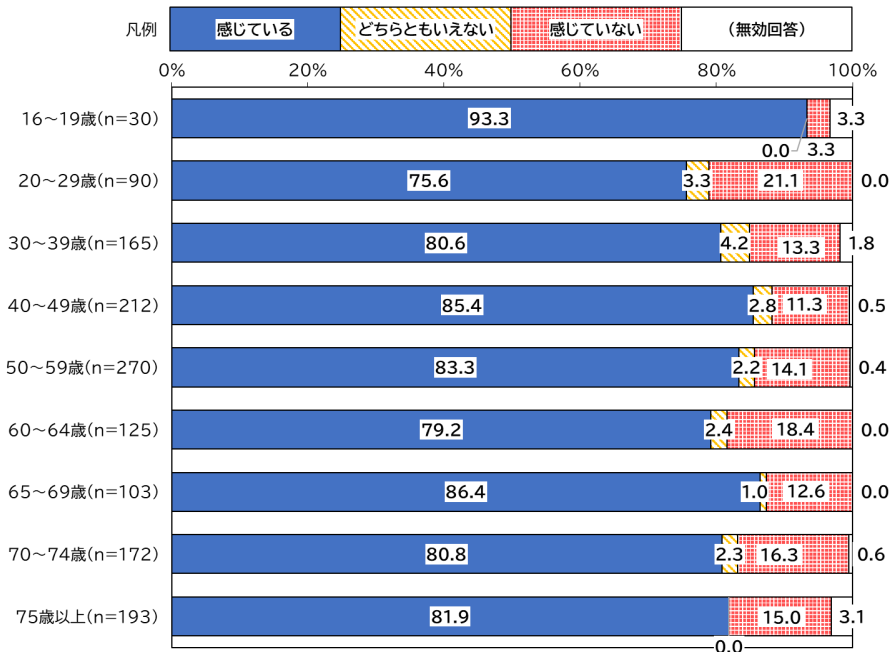
<全体 (n=1,370) >

○「感じている」が82.4%で、令和6年度(78.3%)に比べて4.1ポイント増加しています。



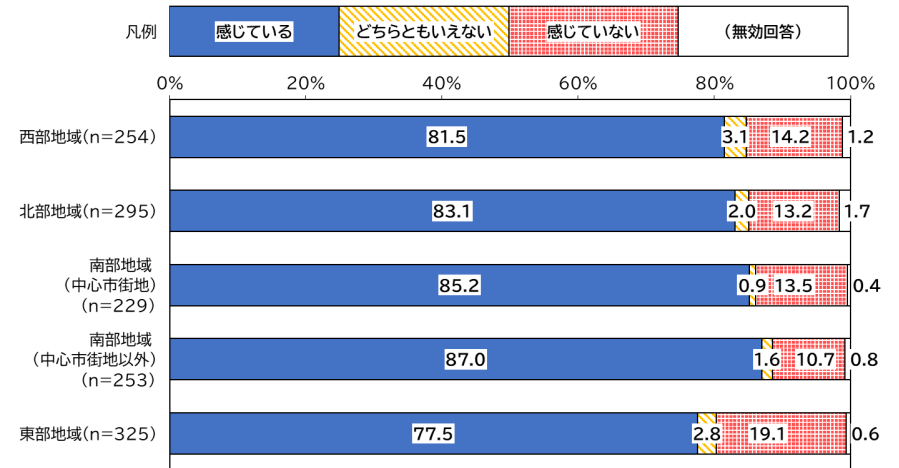
<年齢層別>

○どの年齢層でも「感じている」が7割を上回っており、20歳代と60~64歳を除く全てにおいて、8割を超えています。



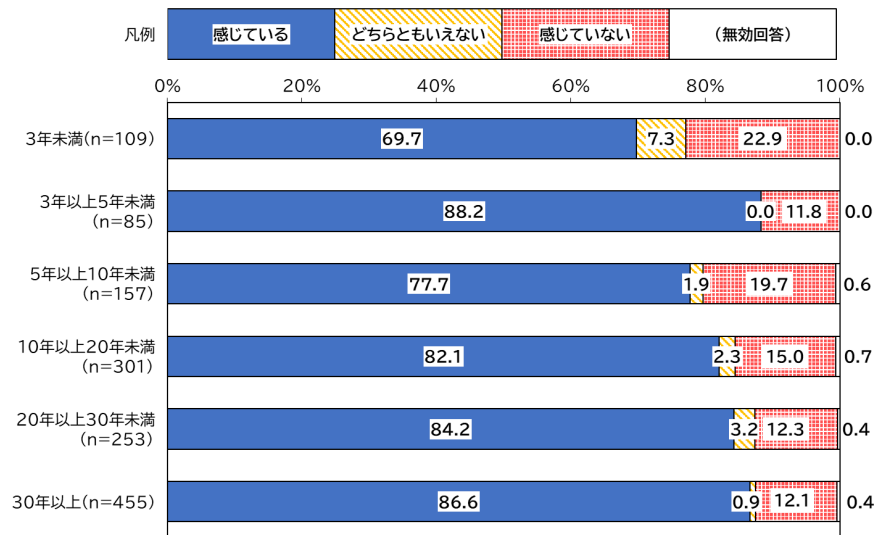
<地域別>

○いずれの地域でも、「感じている」が7割を上回っており、東部地域を除く4地域では8割を超えています。



<居住年数別>

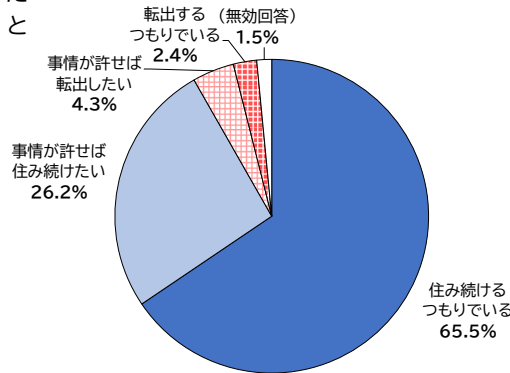
○3年未満を除く全てにおいて、「感じている」が7割を上回っています。



問 12) あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。

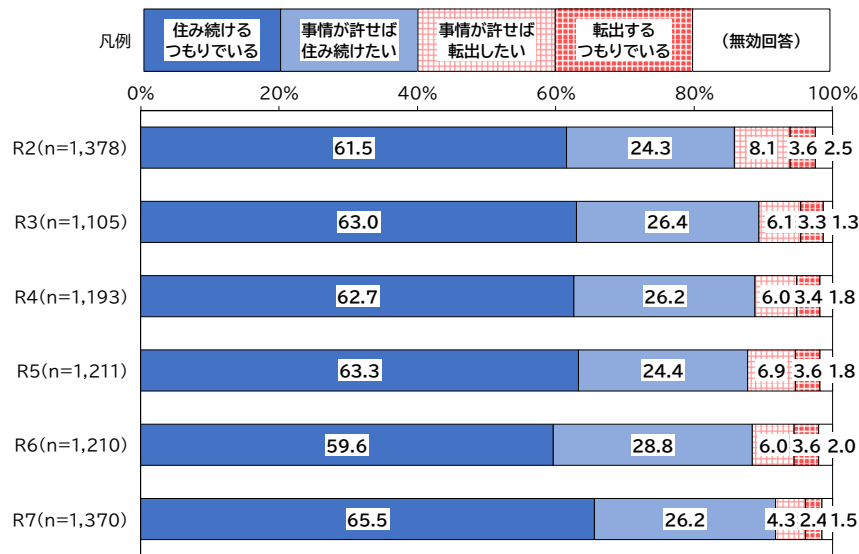
<全体 (n=1,370) >

○「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」が 65.5%、「事情が許せば住み続けたい」が 26.2%で、合計すると 91.7%を占めています。



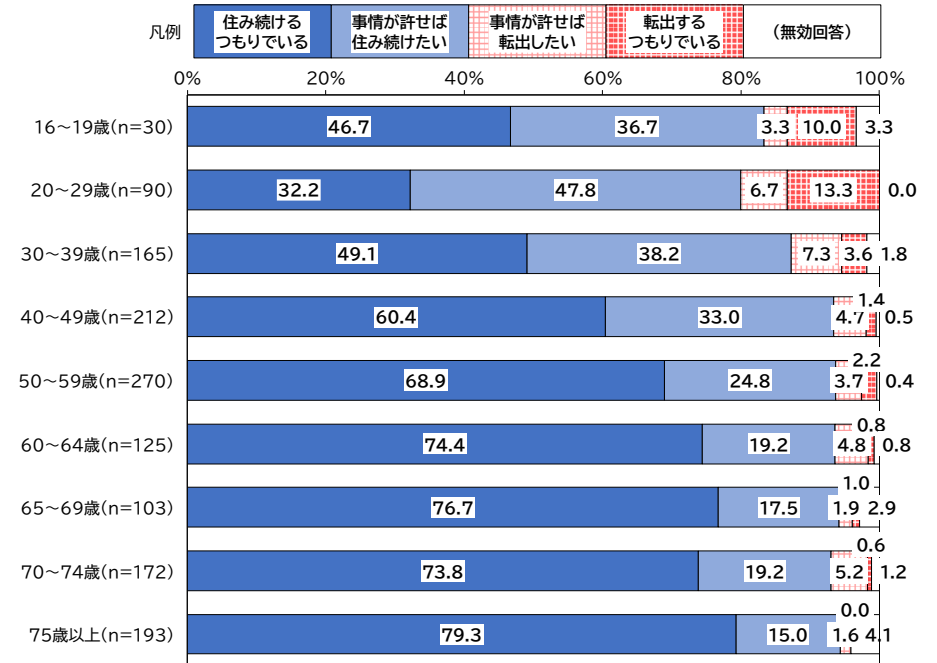
<経年比較>

○「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」の合計 (91.7%) は、令和6年度 (88.4%) より 3.3 ポイント増加しています。



<年齢層別>

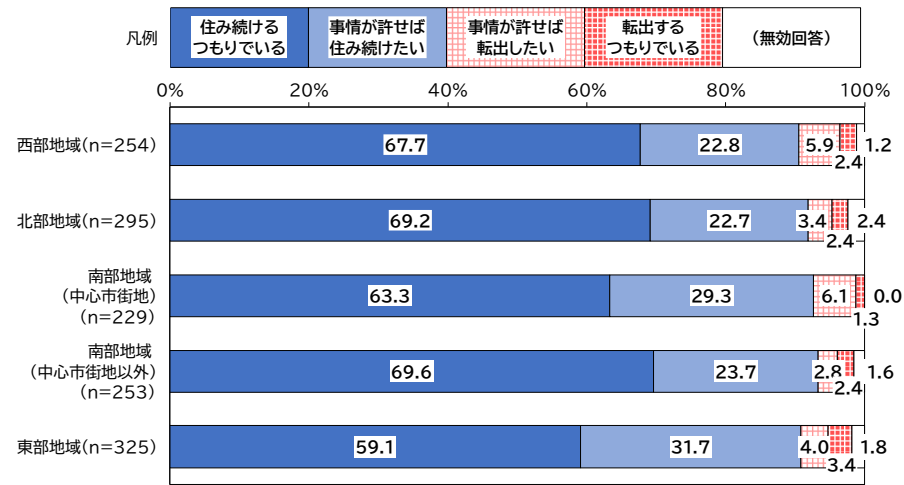
○75 歳以上が「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が 94.3%と最も高く、次いで65~69歳の94.2%、50~59歳の93.7%の順となっています。  
 ○一方、「転出するつもりである」と「事情が許せば転出したい」の合計は 20~29 歳が 20.0%と最も高くなっています。



※「転出したい理由」の<年齢層別>については、30 ページ参照。

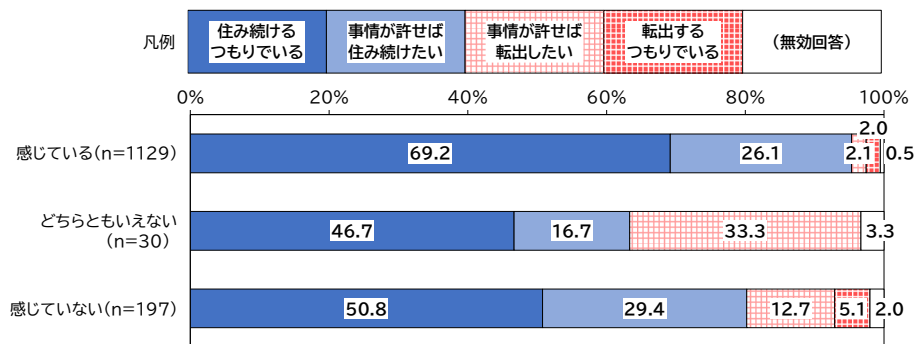
<地域別>

○いずれの地域でも、「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」の合計が90%を超えています。



<まちへの愛着別>

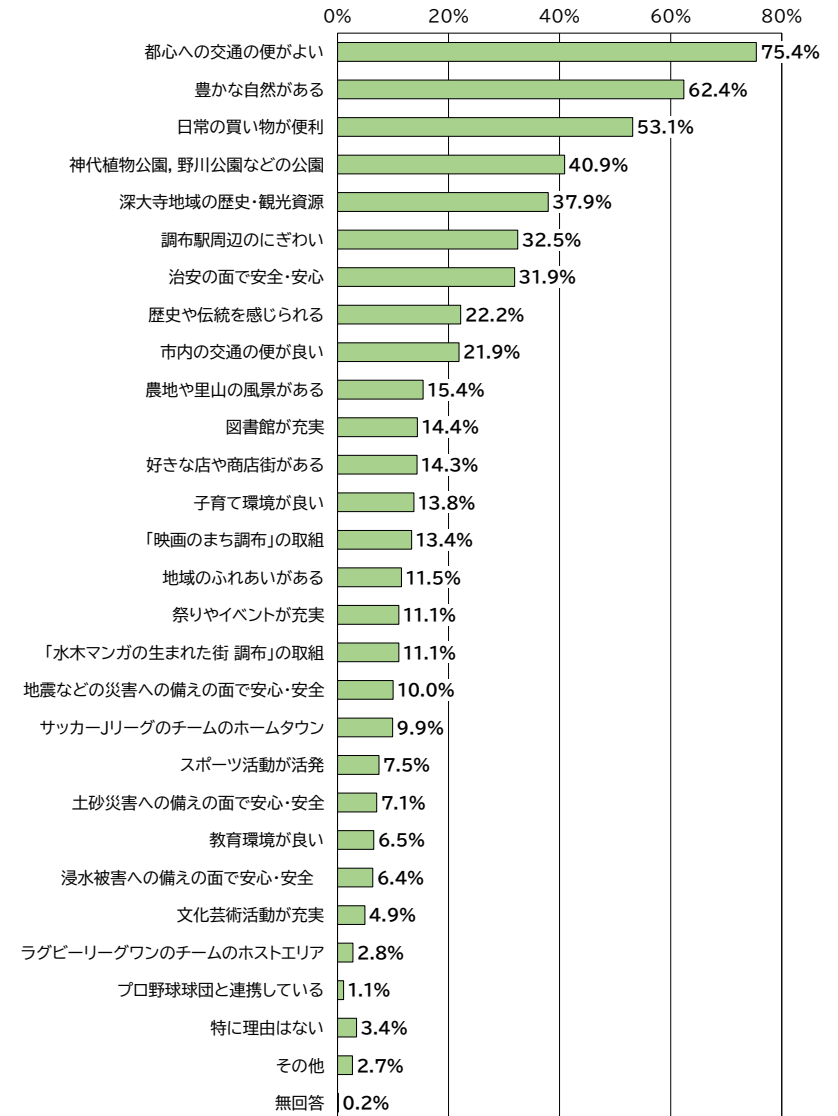
○愛着を「感じている」人のうち、「住み続けるつもりである」と「事情が許せば住み続けたい」人の合計は95.3%となっています。



問12-1) 問12で「住み続けるつもりである」または「事情が許せば住み続けたい」のいずれかを選んだ方にうかがいます。あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思いますか。

<全体(n=1,257)>

○「都心への交通の便がよい」が75.4%で最も高く、次いで「豊かな自然がある」の62.4%、「日常の買い物便利」の53.1%の順となっています。



※「調布市から転出意向のある方の転出意向理由」については、30ページ参照

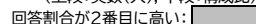
<年齢層別>

○全ての年齢層で「都心への交通の便がよい」が最も高く、次いで10歳代は「調布駅周辺のにぎわい」、30歳代は「日常の買い物が便利」となっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,257	25	72	144	198	253	117	97	160	182
歴史や伝統を感じられる	279	6	16	34	41	53	25	26	40	35
豊かな自然がある	784	9	40	76	127	165	70	74	100	117
調布駅周辺のにぎわい	408	10	27	68	79	85	31	31	29	43
都心への交通の便がよい	948	19	53	110	142	195	83	79	122	137
市内の交通の便が良い	275	6	12	17	49	44	25	17	41	57
地震などの災害への備えの面で安心・安全	126	0	6	8	23	22	9	15	20	22
浸水被害への備えの面で安心・安全	80	0	2	4	8	11	6	8	21	19
土砂災害への備えの面で安心・安全	89	0	1	5	11	20	8	7	16	20
治安の面で安全・安心	401	9	18	60	72	83	34	28	36	54
地域のふれあいがある	145	1	9	15	19	18	9	16	25	29
祭りやイベントが充実	139	4	15	21	28	20	9	13	14	11
スポーツ活動が活発	94	2	5	12	21	16	6	10	10	12
日常の買い物が便利	668	8	31	84	112	124	57	59	82	103
好きな店や商店街がある	180	5	17	26	36	31	14	15	17	15
深大寺地域の歴史・観光資源	477	5	17	51	66	102	48	42	68	74
神代植物公園、野川公園などの公園	514	7	22	45	71	98	39	49	86	92
教育環境が良い	82	1	6	12	19	15	5	6	5	11
子育て環境が良い	173	1	11	36	52	34	7	7	10	13
農地や里山の風景がある	194	2	4	16	26	36	22	21	31	33
文化芸術活動が充実	62	1	4	6	5	3	5	8	9	17
図書館が充実	181	1	8	14	25	32	16	22	26	33
「映画のまち調布」の取組	168	5	11	19	24	34	13	20	19	20
「水木マンガの生まれた街 調布」の取組	139	7	8	13	29	18	13	16	20	12
サッカーリーグのチームのホームタウン	125	4	9	11	28	27	9	14	13	10
ラグビーリーグワンのチームのホストエリア	35	0	3	2	10	7	6	2	2	3
プロ野球球団と連携している	14	0	0	4	2	1	0	1	1	5
特に理由はない	43	3	0	3	3	8	6	2	8	10
その他	34	0	3	4	6	6	7	2	3	3
(無効回答)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 

回答割合が2番目に高い: 

<地域別>

○まちの魅力や個性・特色は地域ごとに傾向が異なっており、北部地域以外の地域では「都心への交通の便がよい」が最も高く、北部地域では「豊かな自然がある」が最も高くなっています。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	1,257	230	271	212	236	295
歴史や伝統を感じられる	279	53	88	34	43	58
豊かな自然がある	784	137	210	104	144	180
調布駅周辺のにぎわい	408	75	76	98	93	60
都心への交通の便がよい	948	168	190	157	192	232
市内の交通の便が良い	275	36	48	54	66	65
地震などの災害への備えの面で安心・安全	126	24	28	21	21	32
浸水被害への備えの面で安心・安全	80	14	22	12	9	22
土砂災害への備えの面で安心・安全	89	17	29	16	9	17
治安の面で安全・安心	401	71	87	66	68	102
地域のふれあいがある	145	26	37	18	25	36
祭りやイベントが充実	139	25	40	30	21	19
スポーツ活動が活発	94	26	21	12	12	23
日常の買い物が便利	668	115	103	150	136	156
好きな店や商店街がある	180	27	22	27	44	57
深大寺地域の歴史・観光資源	477	75	152	73	70	100
神代植物公園、野川公園などの公園	514	89	163	72	77	103
教育環境が良い	82	9	30	11	10	19
子育て環境が良い	173	29	44	24	36	38
農地や里山の風景がある	194	27	66	25	28	44
文化芸術活動が充実	62	10	10	8	16	14
図書館が充実	181	37	29	31	39	40
「映画のまち調布」の取組	168	27	34	39	42	23
「水木マンガの生まれた街 調布」の取組	139	35	27	33	18	23
サッカーリーグのチームのホームタウン	125	37	24	19	22	22
ラグビーリーグワンのチームのホストエリア	35	9	10	5	2	9
プロ野球球団と連携している	14	1	1	2	5	5
特に理由はない	43	9	10	7	8	9
その他	34	4	6	10	8	6
(無効回答)	2	0	1	1	0	0

(上段:実数(人), 下段:構成比)

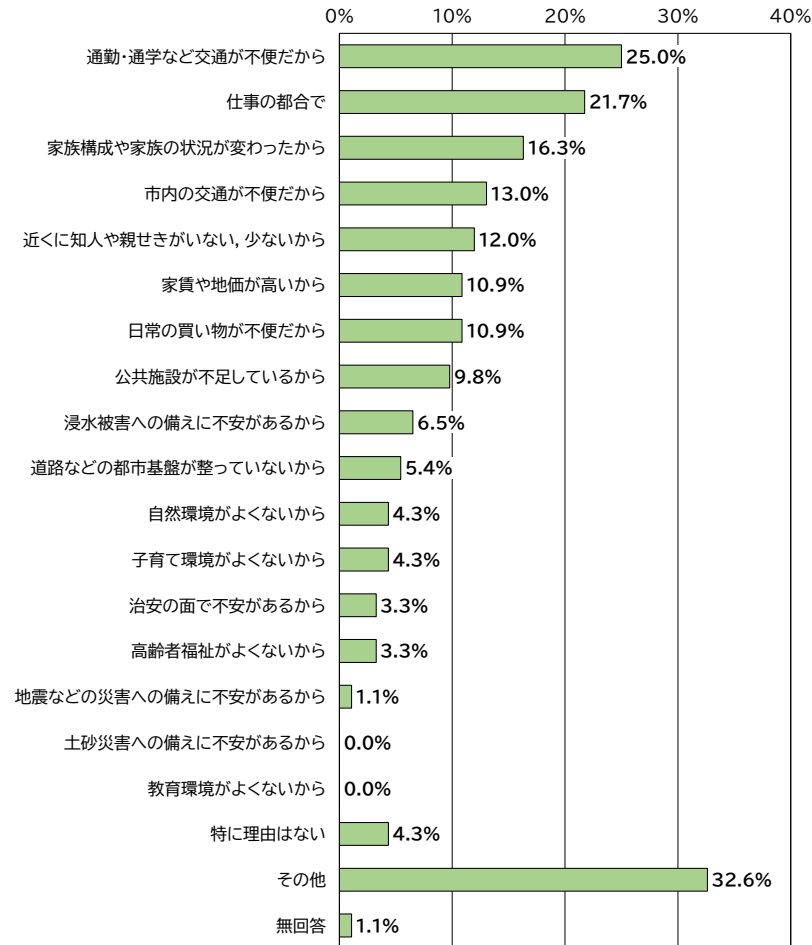
回答割合が最も高い: 

回答割合が2番目に高い: 

問 12-2) 問 12で「事情が許せば転出したい」または「転出するつもりである」のいずれかを選んだ方にうかがいます。そう思う理由について、あてはまるものに○をつけてください。

<全体 (n=92) >

○「その他」以外では、「通勤・通学など交通が不便だから」が25.0%で最も高く、次いで「仕事の都合で」の21.7%、「家族構成や家族の状況が変わったから」の16.3%の順となっています。



※「調布市に定住意向のある方が感じている調布のまちの魅力や個性・特色」については、28 ページ参照。

<年齢層別>

○転出したい理由は年齢層ごとに傾向が異なります。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	92	4	18	18	13	16	7	3	10	3
家族構成や家族の状況が変わったから	15	0	1	4	1	4	0	0	3	2
家賃や地価が高いから	10	0	1	2	3	2	0	0	2	0
仕事の都合で	20	2	9	3	3	3	0	0	0	0
通勤・通学など交通が不便だから	23	2	6	7	5	2	1	0	0	0
市内の交通が不便だから	12	0	1	3	1	3	0	1	3	0
地震などの災害への備えに不安があるから	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
浸水被害への備えに不安があるから	6	0	0	2	3	0	1	0	0	0
土砂災害への備えに不安があるから	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
治安の面で不安があるから	3	0	0	1	0	0	1	1	0	0
近くに知人や親せきがない、少ないから	11	0	1	3	3	1	1	0	2	0
高齢者福祉がよくないから	3	0	0	0	0	0	1	0	1	1
自然環境がよくないから	4	0	2	1	0	0	0	1	0	0
日常の買い物不便だから	10	0	1	3	2	1	1	1	1	0
公共施設が不足しているから	9	0	2	3	1	1	2	0	0	0
道路などの都市基盤が整っていないから	5	0	0	0	1	2	0	0	2	0
教育環境がよくないから	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
子育て環境がよくないから	4	0	2	2	0	0	0	0	0	0
特に理由はない	4	0	2	0	0	1	0	0	1	0
その他	30	0	3	5	6	6	4	2	2	2
(無効回答)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ]

<地域別>

○転出したい理由は地域ごとに傾向が異なります。

選択肢	合計	西部地域	北部地域	南部地域 (中心市街地)	南部地域 (中心市街地以外)	東部地域
全体	92	21	17	17	13	24
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
家族構成や家族の状況が変わったから	15	2	3	1	2	7
	16.3%	9.5%	17.6%	5.9%	15.4%	29.2%
家賃や地価が高いから	10	3	1	2	0	4
	10.9%	14.3%	5.9%	11.8%	0.0%	16.7%
仕事の都合で	20	6	5	4	0	5
	21.7%	28.6%	29.4%	23.5%	0.0%	20.8%
通勤・通学など交通が不便だから	23	2	6	7	5	3
	25.0%	9.5%	35.3%	41.2%	38.5%	12.5%
市内の交通が不便だから	12	3	2	3	0	4
	13.0%	14.3%	11.8%	17.6%	0.0%	16.7%
地震などの災害への備えに不安があるから	1	0	0	0	0	1
	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%
浸水被害への備えに不安があるから	6	3	0	0	2	1
	6.5%	14.3%	0.0%	0.0%	15.4%	4.2%
土砂災害への備えに不安があるから	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
治安の面で不安があるから	3	1	0	1	1	0
	3.3%	4.8%	0.0%	5.9%	7.7%	0.0%
近くに知人や親せきがない、少ないから	11	1	2	2	1	5
	12.0%	4.8%	11.8%	11.8%	7.7%	20.8%
高齢者福祉がよくないから	3	1	0	1	0	1
	3.3%	4.8%	0.0%	5.9%	0.0%	4.2%
自然環境がよくないから	4	0	0	3	0	1
	4.3%	0.0%	0.0%	17.6%	0.0%	4.2%
日常の買い物不便だから	10	1	4	2	0	3
	10.9%	4.8%	23.5%	11.8%	0.0%	12.5%
公共施設が不足しているから	9	1	1	3	0	4
	9.8%	4.8%	5.9%	17.6%	0.0%	16.7%
道路などの都市基盤が整っていないから	5	1	1	0	0	3
	5.4%	4.8%	5.9%	0.0%	0.0%	12.5%
教育環境がよくないから	0	0	0	0	0	0
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
子育て環境がよくないから	4	0	0	1	0	3
	4.3%	0.0%	0.0%	5.9%	0.0%	12.5%
特に理由はない	4	2	0	0	1	1
	4.3%	9.5%	0.0%	0.0%	7.7%	4.2%
その他	30	6	2	8	6	8
	32.6%	28.6%	11.8%	47.1%	46.2%	33.3%
(無効回答)	1	0	1	0	0	0
	1.1%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%

(上段:実数(人),下段:構成比)

回答割合が最も高い:           

回答割合が2番目に高い:           

(2) 市政全般(くらし)

【市政全般(くらし)に対する満足度・優先度について】

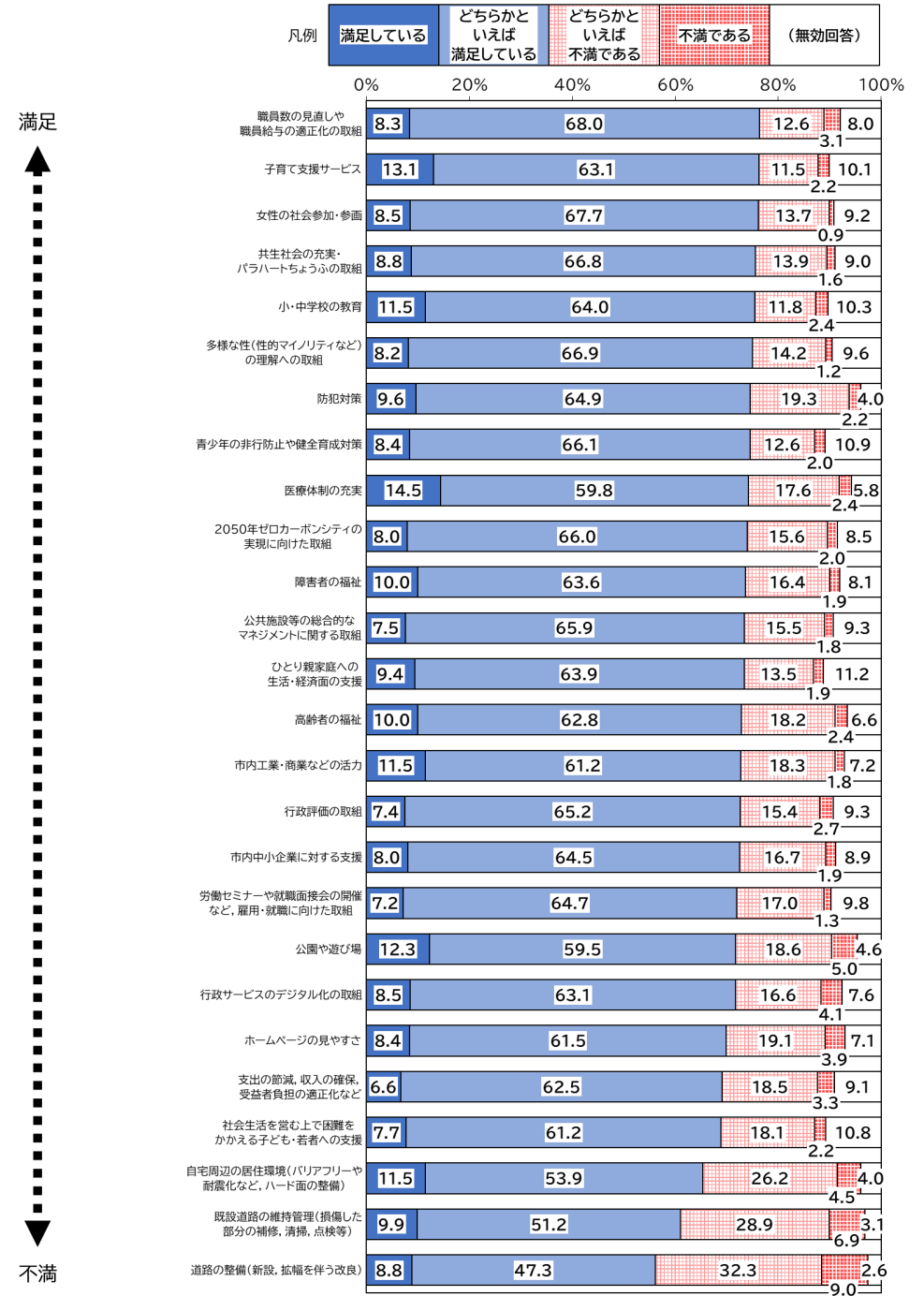
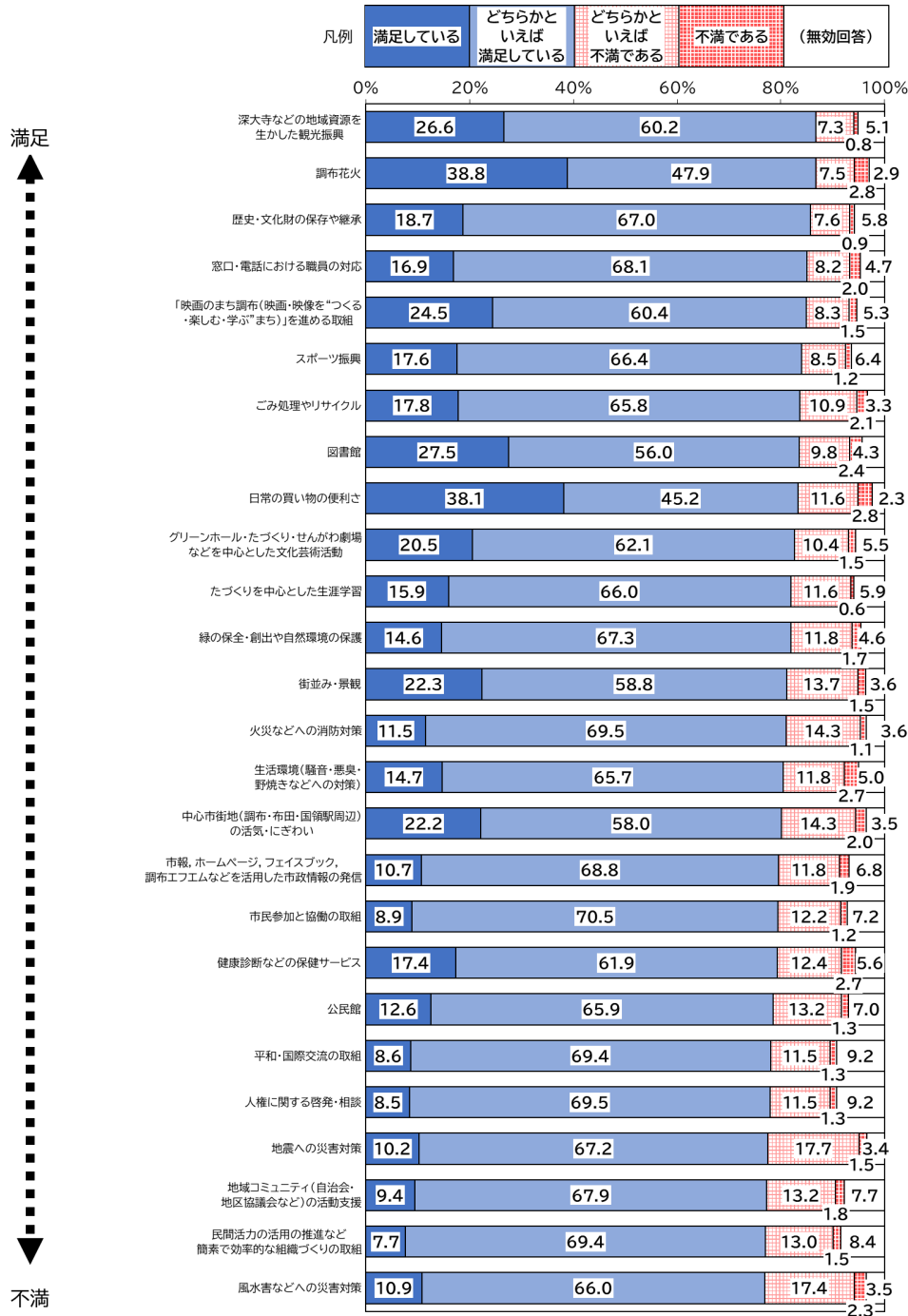
問13) 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものに○をつけてください。

- ①満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか
- ②優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

現在の満足度と今後の優先度

<現在の満足度>

- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」が86.8%で最も高く、次いで「調布花火」の86.7%、「歴史・文化財の保存や継承」の85.7%の順となっています。これら3項目を含めた52項目全てにおいて「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計が半数を上回っています。
- 「満足している」は、「調布花火」が38.8%で最も高く、次いで「日常の買い物の便利さ」の38.1%、「図書館」の27.5%の順となっています。
- 「不満である」と「どちらかといえば不満である」の合計は、「道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)」が41.3%で最も高く、次いで「既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)」の35.8%、「自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備)」の30.7%の順となっています。
- 「不満である」は、「道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)」が9.0%で最も高くなっていますが、いずれも10%を下回っています。



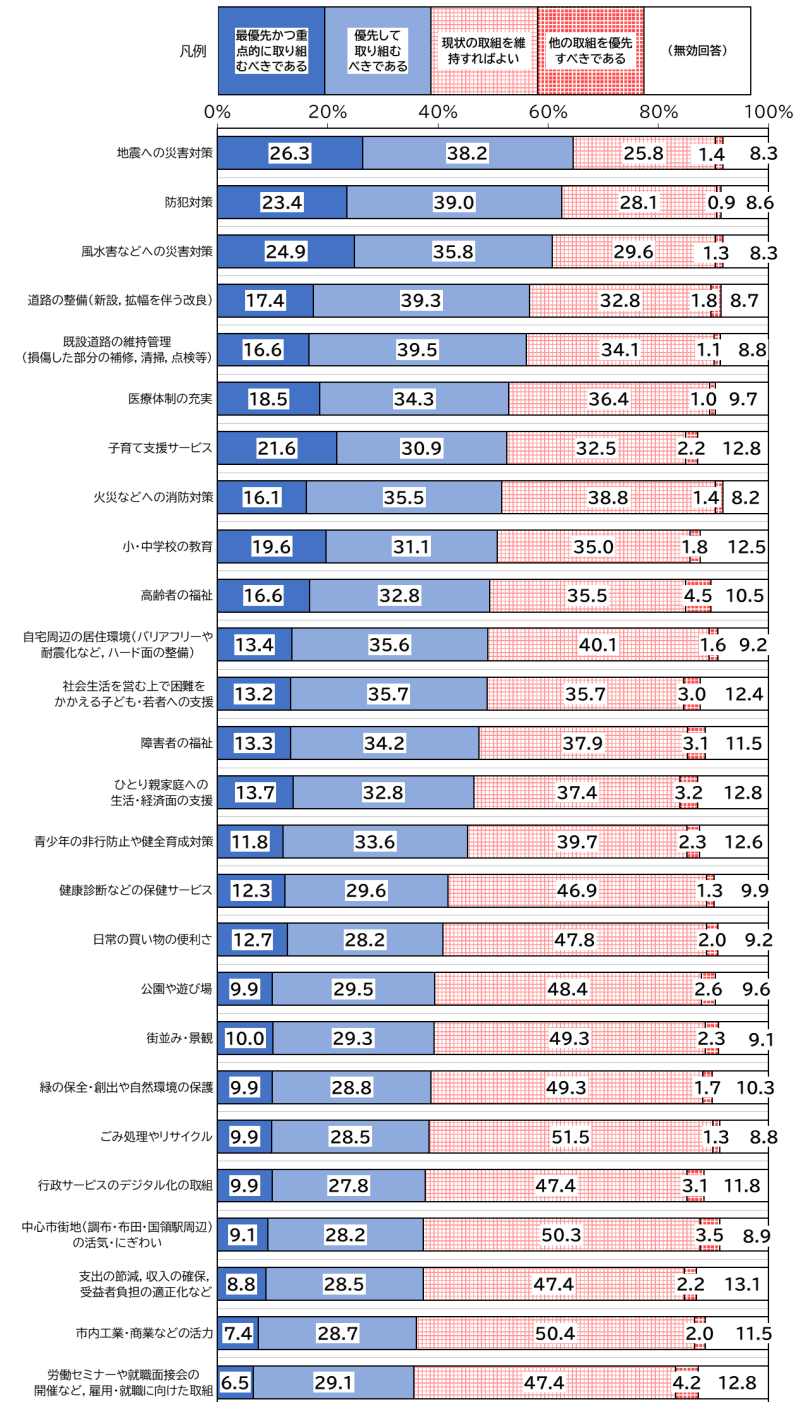
<今後の優先度>

- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震への災害対策」が64.5%で最も高く、次いで「防犯対策」の62.4%、「風水害などへの災害対策」の60.7%の順となっています。
- 「最優先かつ重点的に取り組むべきである」は、「地震への災害対策」が26.3%で最も高く、次いで「風水害などへの災害対策」の24.9%、「防犯対策」の23.4%の順となっています。
- 「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計は、「公民館」が69.2%で最も高く、次いで「たづくりを中心とした生涯学習」の67.6%、「スポーツ振興」の67.3%の順となっています。これら3項目を含めた34項目で、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。
- 「他の取組を優先すべきである」は、「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」が9.4%で最も高く、次いで「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」の7.4%の順となっています。

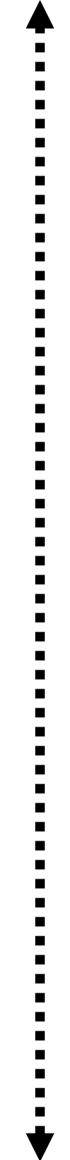
最優先・重点的



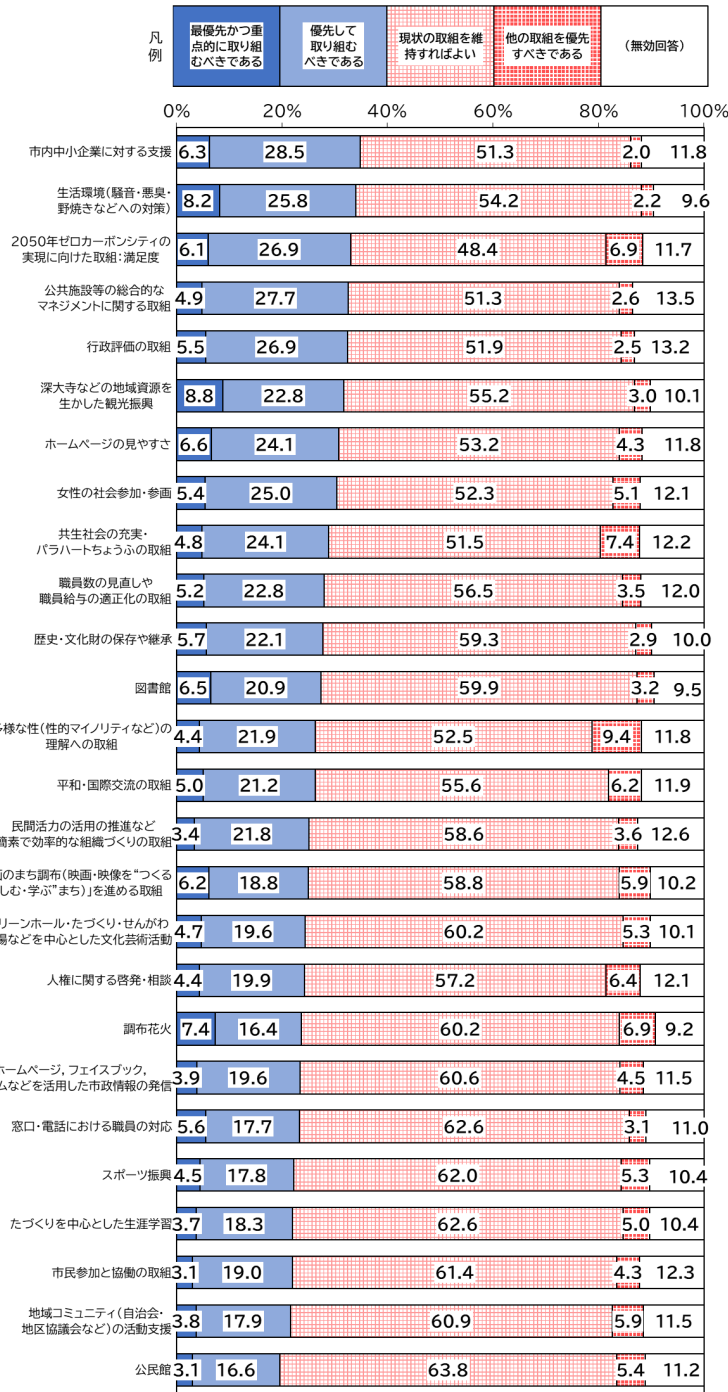
他の取組を優先



優先的・  
重点的



他の取組  
を優先



<満足度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 7 年度の回答結果の加重平均(重み付け)により満足度平均スコア※を算出したところ、全ての項目でプラスとなっており、中でも「調布花火」が 1.157 と最も高くなっています。次いで「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」が 1.101、「日常の買い物の便利さ」が 1.067 の順となっています。

※ {「満足している」回答者数×2+「どちらかといえば満足している」回答者数×1+「どちらかといえば不満である」回答者数×(-1)+「不満である」回答者数×(-2)} / (全回答者数-無効回答数) で算出

【図表 満足度の平均スコア】

分野別計画	項目	(スコア / 順位)
第1節	地震への災害対策	0.693 34
	風水害などへの災害対策	0.682 36
	火災などへの消防対策	0.789 23
第2節	防犯対策	0.630 44
	子育て支援サービス	0.816 17
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.738 30
	小・中学校の教育	0.784 24
第3節	青少年の非行防止や健全育成対策	0.744 28
	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.607 45
	高齢者の福祉	0.641 43
	障害者の福祉	0.691 35
第4節	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.659 41
	健康診断などの保健サービス	0.835 15
	医療体制の充実	0.703 33
	共生社会の充実・パラハートちようふの取組	0.739 29
第5節	図書館	1.008 5
	たづくりを中心とした生涯学習	0.904 10
	スポーツ振興	0.970 7
第6節	公民館	0.808 18
	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	0.759 26
	人権に関する啓発・相談	0.796 21
	女性の社会参加・参画	0.760 25
第7節	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	0.736 31
	平和・国際交流の取組	0.799 20
	日常の買い物の便利さ	1.067 3
	市内工業・商業などの活力	0.670 39
第8節	市内中小企業に対する支援	0.659 40
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	1.101 2
	調布花火	1.157 1
	「映画のまち調布」を進める取組	1.036 4
行革プラン2023	グリーンホールなどを中心とした文化芸術活動	0.951 8
	歴史・文化財の保存や継承	1.007 6
	街並み・景観	0.899 11
	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気にぎわい	0.870 13
第9節	自宅周辺の居住環境	0.434 50
	道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)	0.151 52
	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)	0.290 51
	緑の保全・創出や自然環境の保護	0.852 14
第10節	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.681 38
	公園や遊び場	0.580 47
	ごみ処理やリサイクル	0.892 12
	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	0.821 16
第11節	市民参加と協働の取組	0.795 22
	市報、ホームページなどを活用した市政情報の発信	0.802 19
	ホームページの見やすさ	0.554 49
	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.750 27
第12節	窓口・電話における職員の対応	0.940 9
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.715 32
	行政サービスのデジタル化の取組	0.600 46
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.682 37
第13節	行政評価の取組	0.653 42
	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	0.557 48

※ [ ] は、上位又は下位 3 項目

<優先度の平均スコア>

○全 52 項目について、令和 7 年度の回答結果の加重平均（重み付け）により優先度平均スコア※を算出したところ、プラスとなっているのは 17 項目で、「地震への災害対策」が 0.679 と最も高く、次いで「防犯対策」の 0.613、「風水害などへの災害対策」の 0.582 の順となっています。

○一方、「公民館（-0.584）」や「地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援」（-0.534）」などの 35 項目は、優先度平均スコアがマイナスになっています。

※ {「最優先かつ重点的に取り組むべきである」回答者数×2+「優先して取り組むべきである」回答者数×1+「現状の取組を維持すればよい」回答者数×(-1)+「他の取組を優先すべきである」回答者数×(-2)} / (回答者数-無効回答数) で算出

【図表 優先度の平均スコア】

		(スコア/順位)	
第1節	地震への災害対策	0.679	1
	風水害などへの災害対策	0.582	3
	火災などへの消防対策	0.286	9
第2節	防犯対策	0.613	2
	子育て支援サービス	0.427	4
	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.189	13
	小・中学校の教育	0.364	8
	青少年の非行防止や健全育成対策	0.147	15
第3節	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.233	11
	高齢者の福祉	0.240	10
	障害者の福祉	0.187	14
	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	-0.156	26
	健康診断などの保健サービス	0.050	16
第4節	医療体制の充実	0.365	7
	共生社会の充実・パラハートちよふの取組	-0.372	38
	図書館	-0.357	37
	たづくりを中心とした生涯学習	-0.523	50
	スポーツ振興	-0.513	49
第5節	公民館	-0.584	52
	地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	-0.534	51
	人権に関する啓発・相談	-0.472	45
	女性の社会参加・参画	-0.304	34
	多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	-0.461	43
第6節	平和・国際交流の取組	-0.417	39
	日常の買い物の利便性	0.019	17
	市内工業・商業などの活力	-0.123	25
	市内中小企業に対する支援	-0.162	27
	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	-0.230	31
	調布花火	-0.472	46
	「映画のまち調布」を進める取組	-0.439	41
	グリーンホールなどを中心とした文化芸術活動	-0.463	44
第7節	歴史・文化財の保存や継承	-0.351	36
	街並み・景観	-0.051	20
	中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気にぎわい	-0.119	24
	自宅周辺の居住環境	0.211	12
第8節	道路の整備(新設、拡幅を伴う改良)	0.411	5
	既設道路の維持管理(損傷した部分の補修、清掃、点検等)	0.398	6
	緑の保全・創出や自然環境の保護	-0.044	18
	2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	-0.263	32
	公園や遊び場	-0.046	19
行革 プラン 2023	ごみ処理やリサイクル	-0.066	21
	生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	-0.181	28
	市民参加と協働の取組	-0.512	48
	市報、ホームページなどを活用した市政情報の発信	-0.478	47
	ホームページの見やすさ	-0.277	33
	民間活力の活用や推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	-0.425	40
	窓口・電話における職員の対応	-0.449	42
	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	-0.344	35
	行政サービスのデジタル化の取組	-0.068	23
	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	-0.221	30
行政評価の取組	-0.218	29	
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	-0.066	22	

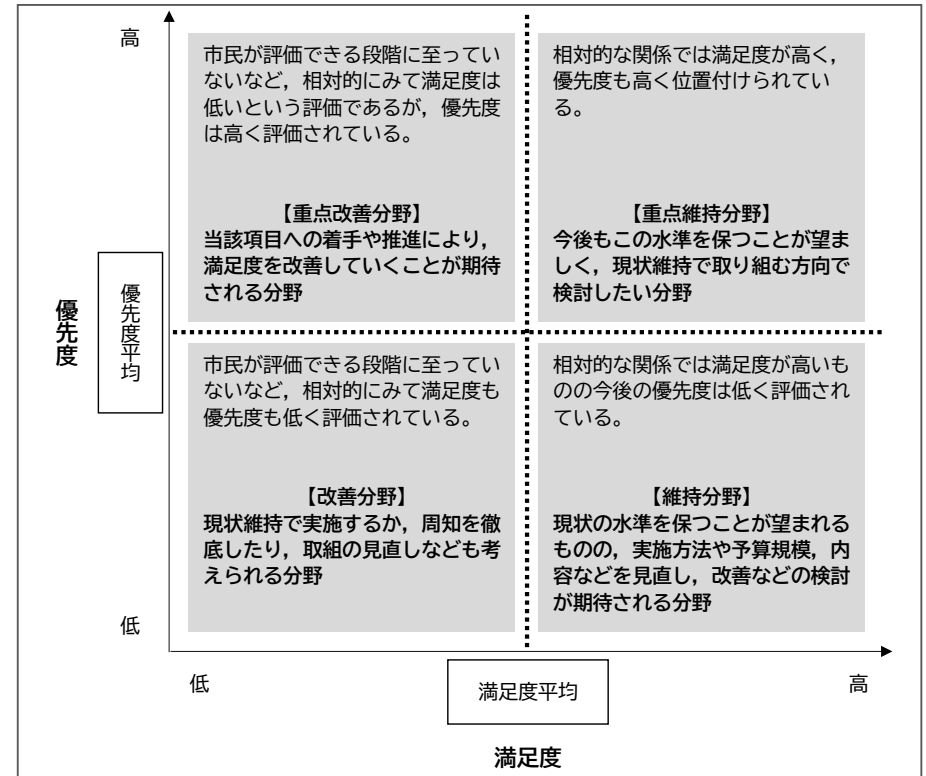
※ [ ] は、上位又は下位 3 項目

満足度と優先度の比較

○満足度（満足度平均スコア）を横軸、優先度（優先度平均スコア）を縦軸にとり、4つの区分に分類しました。

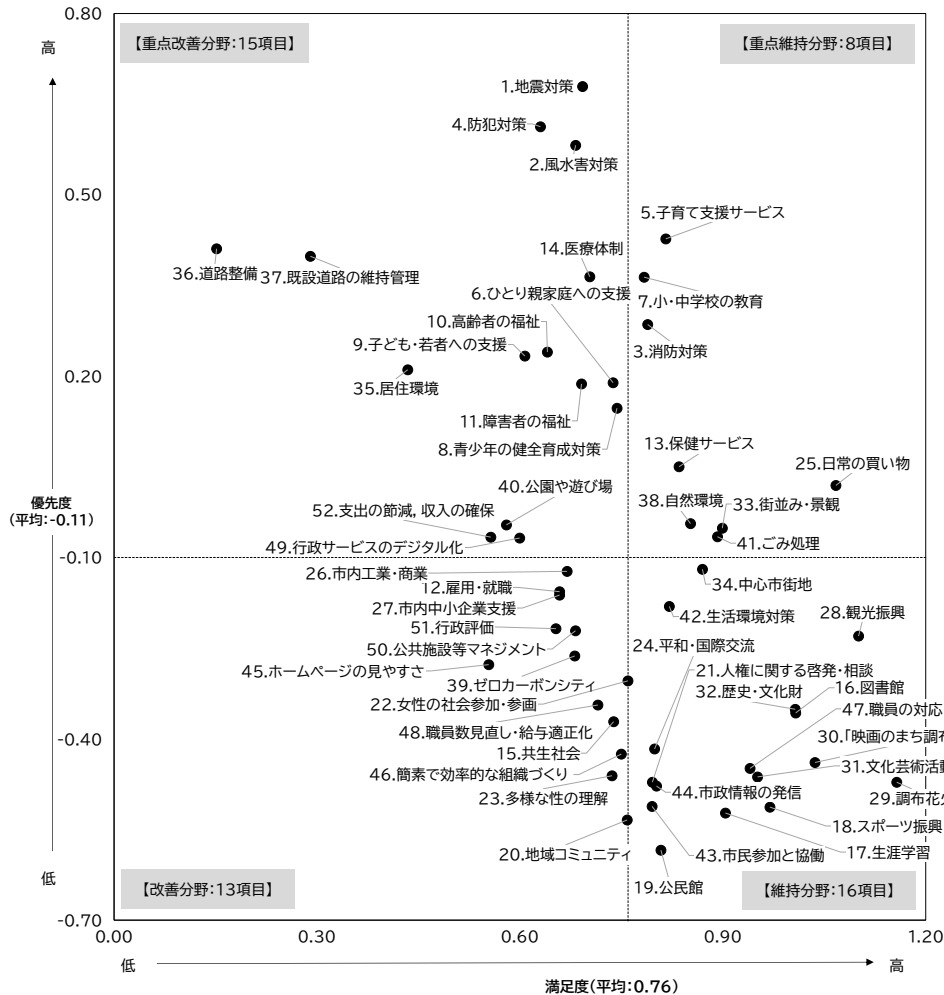
○4区分のうち、左上の区分は、優先度が高いものの、満足度が低く、ニーズが相対的に高い項目となっています。一方、右下の区分は、満足度が高いものの、優先度が低く、ニーズが相対的に低い項目となっています。

【図表 満足度・優先度散布図の概念】



- 本調査の満足度・優先度散布図を見ると、52項目はおおむね左上の「重点改善分野」（満足度：低，優先度：高）から右下の「維持分野」（満足度：高，優先度：低）にかけて分布しており，優先度が高い分野ほど，満足度が低い傾向にあることが分かります。
- ニーズが高い，左上の「重点改善分野」には15項目が該当しています。

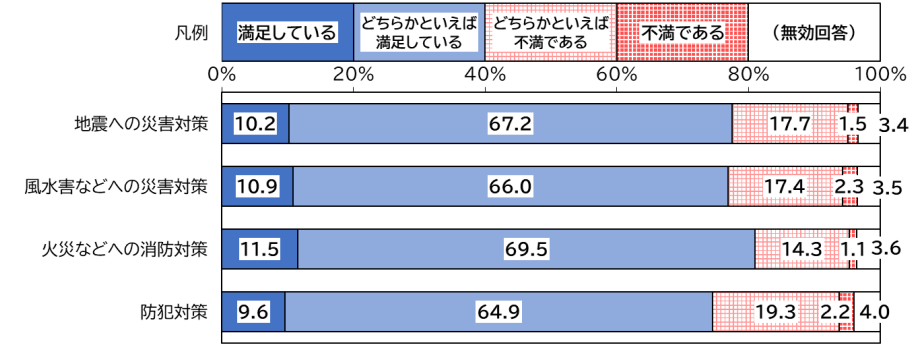
【図表 満足度・優先度散布図】



基本目標1 安全に安心して住み続けられるために  
 (「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.01~04)

<満足度>

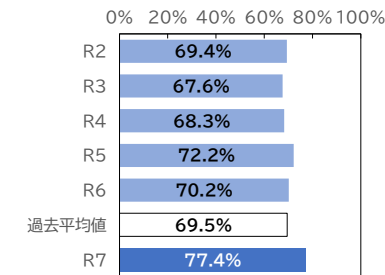
- 「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「火災などへの消防対策」(81.0%)，「地震への災害対策」(77.4%)，「風水害などへの災害対策」(76.9%)，「防犯対策」(74.5%)の順となっており，4項目全てで70%を超えています。



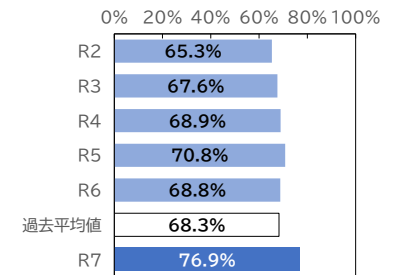
<満足度の経年推移>

- 令和7年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は，全ての項目において過去の平均を上回っています。

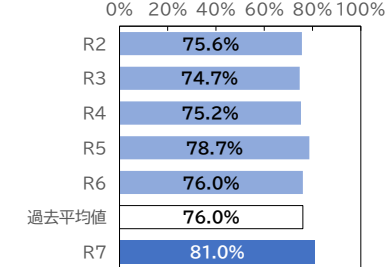
地震への災害対策



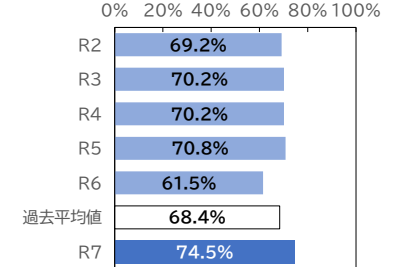
風水害などへの災害対策



火災などへの消防対策

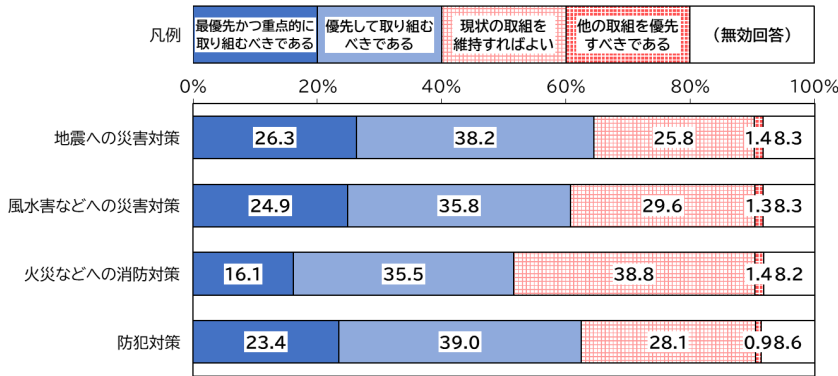


防犯対策



<優先度>

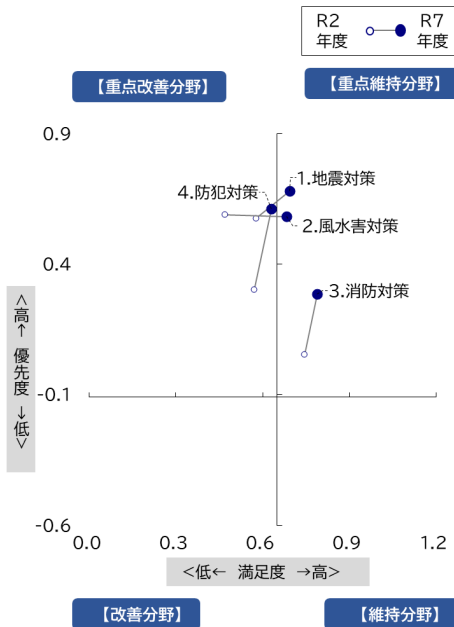
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「地震への災害対策」（64.5%）,「防犯対策」（62.4%）,「風水害などへの災害対策」（60.7%）,「火災などへの消防対策」（51.6%）の順に高くなっています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 1 安全に安心して住み続けられるために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「防犯対策」が該当しています。
- 令和2年度の調査結果と比べ、いずれの項目も満足度は高くなっています。

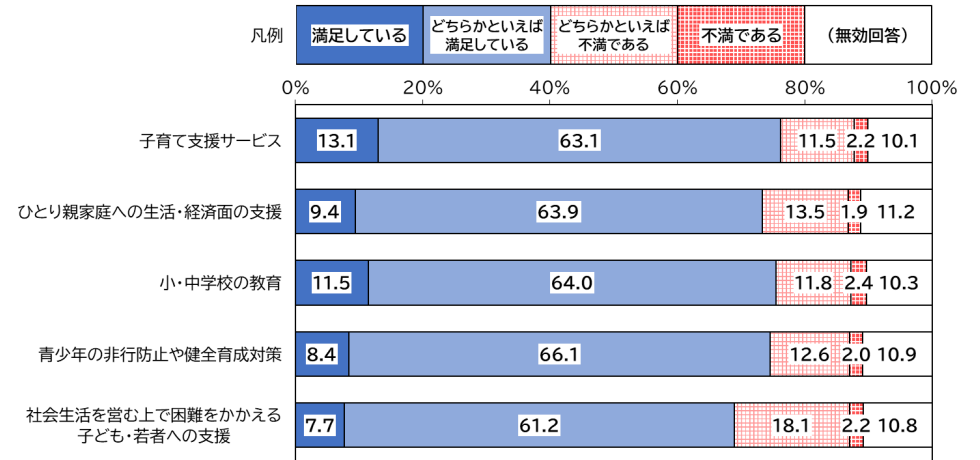
	取組項目	満足度	優先度
1	地震への災害対策	0.69	0.68
2	風水害などへの災害対策	0.68	0.58
3	火災などへの消防対策	0.79	0.29
4	防犯対策	0.63	0.61



基本目標2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるように（「市政全般（くらし）」）についての取組項目No.05～09

<満足度>

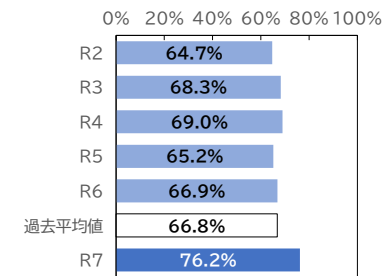
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「子育て支援サービス」（76.2%）,「小・中学校の教育」（75.5%）,「青少年の非行防止や健全育成対策」（74.5%）の順となっており、5項目全てで60%を超えています。



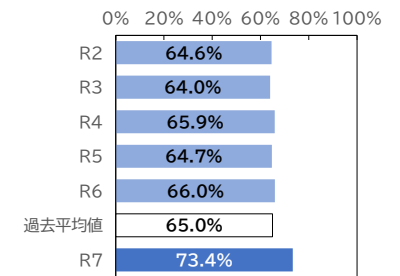
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、5項目全てにおいて過去の平均を上回っています。

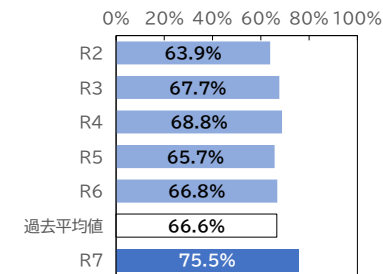
子育て支援サービス



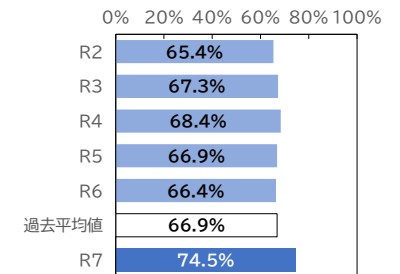
ひとり親家庭への生活・経済面の支援



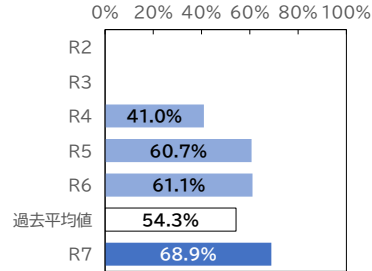
小・中学校の教育



青少年の非行防止や健全育成対策



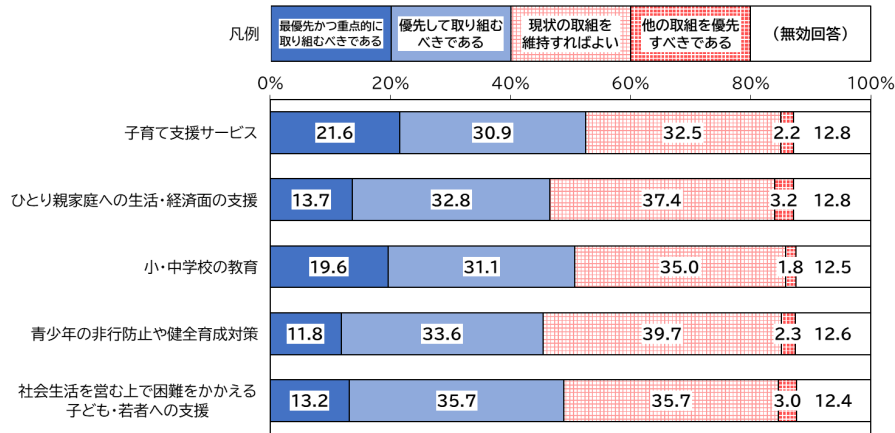
社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援



※「社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者への支援」は、「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4.12.12～12.28）」から新設した調査項目です。

<優先度>

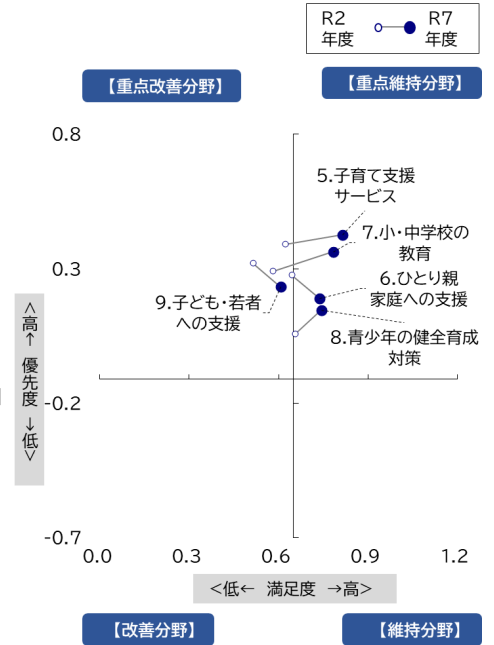
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「子育て支援サービス」（52.5%）、「小・中学校の教育」（50.7%）、「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」（48.9%）の順に高くなっています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標 2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために」の各項目は、総じて優先度が高くなっています。
- 優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」が該当します。
- 令和 2 年度の調査結果と比べ、「子育て支援サービス」、「ひとり親家庭への生活・経済面の支援」、「小・中学校の教育」は重点改善分野から重点維持分野へ移行しています。

取組項目	満足度	優先度
5 子育て支援サービス	0.82	0.43
6 ひとり親家庭への生活・経済面の支援	0.74	0.19
7 小・中学校の教育	0.78	0.36
8 青少年の非行防止や健全育成対策	0.74	0.15
9 社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	0.61	0.23

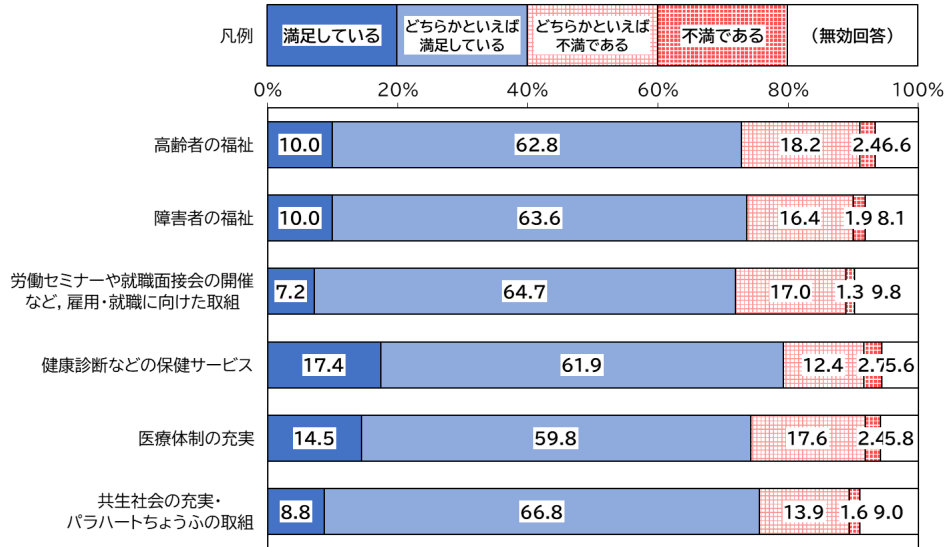


※「社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援」は「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査（R4.12.12～12.28）」から新設した調査項目です。そのため、令和 4 年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために  
 「市政全般（くらし）」についての取組項目No.10～15)

<満足度>

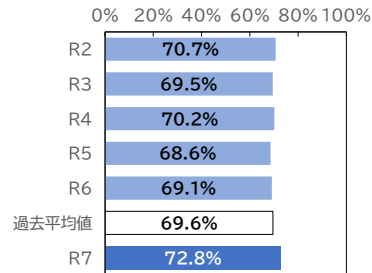
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「健康診断などの保健サービス」(79.3%)、「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」(75.6%)、「医療体制の充実」(74.3%)の順となっており、6項目全てで70%を超えています。



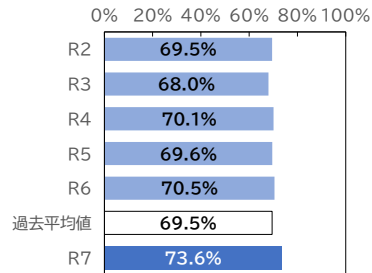
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、全ての項目で過去の平均を上回っています。

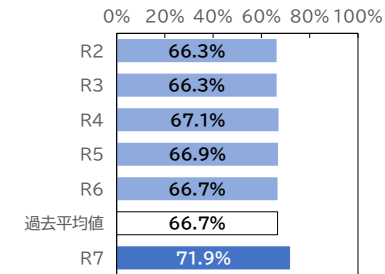
高齢者の福祉



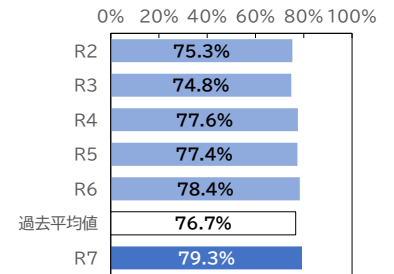
障害者の福祉



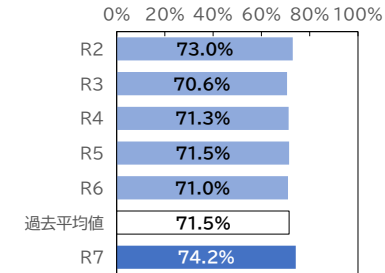
労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組



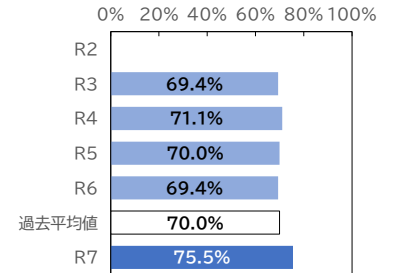
健康診断などの保健サービス



医療体制の充実



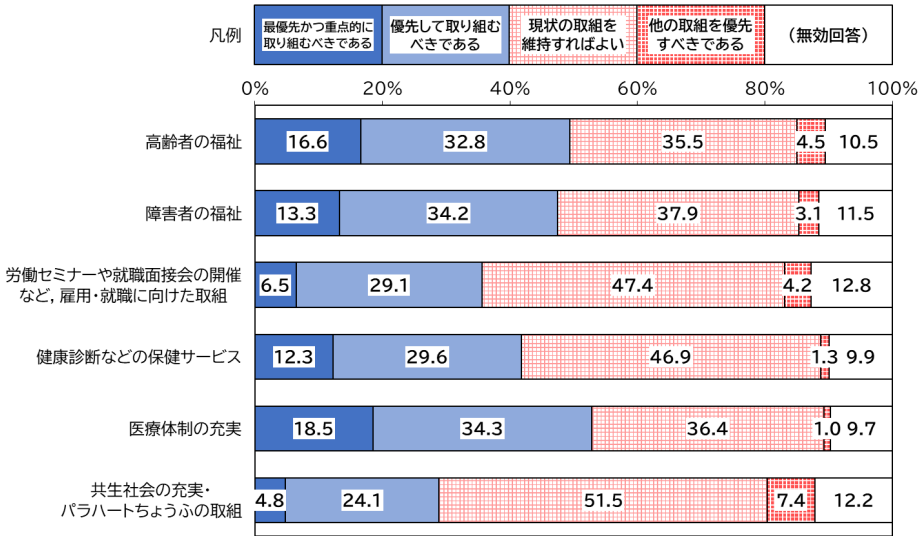
共生社会の充実・パラハートちょうふの取組



※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「医療体制の充実」(52.8%),「高齢者の福祉」(49.4%),「障害者の福祉」(47.5%)の順に高くなっています。

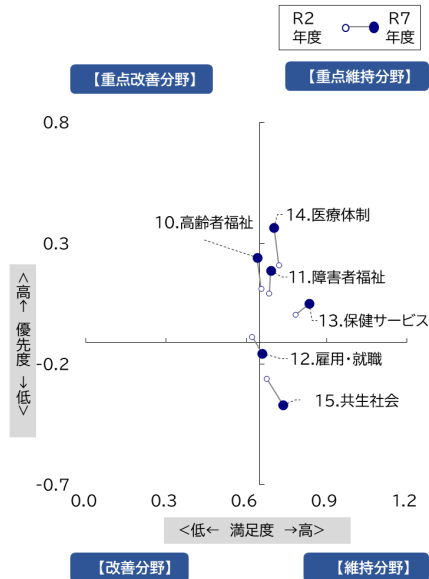


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標 3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために」の6項目中、「高齢者の福祉」が、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

○令和2年度の調査結果と比べ、「高齢者の福祉」は重点維持分野から重訂改善分野、「労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組」は重点改善分野から維持分野へ移行しています。

取組項目	満足度	優先度
10 高齢者の福祉	0.64	0.24
11 障害者の福祉	0.69	0.19
12 労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	0.66	-0.16
13 健康診断などの保健サービス	0.84	0.05
14 医療体制の充実	0.70	0.36
15 共生社会の充実・パラハートちょうふの取組	0.74	-0.37



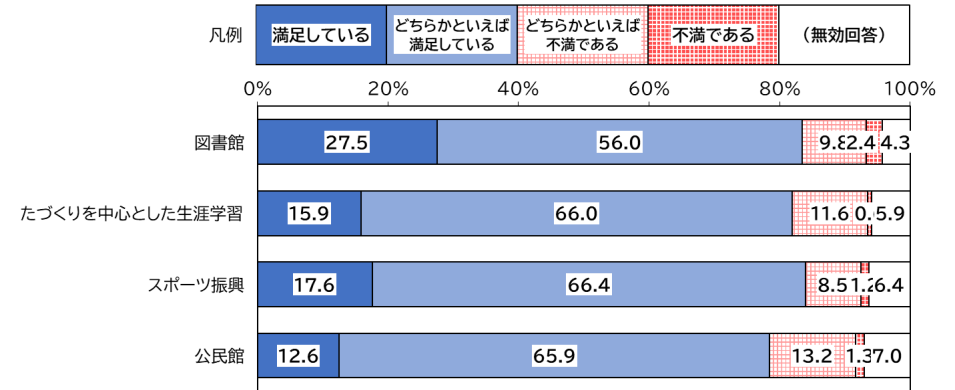
※「共生社会の充実・パラハートちょうふの取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標 4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日過ごすために

(「市政全般(くらし)」についての取組項目No.16~19)

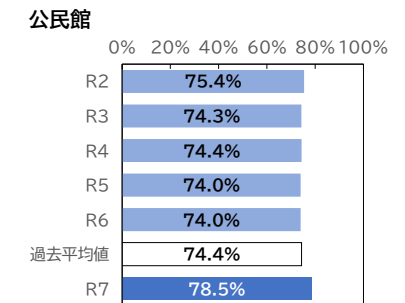
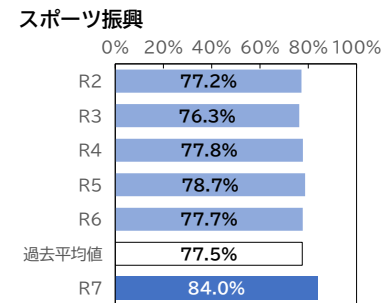
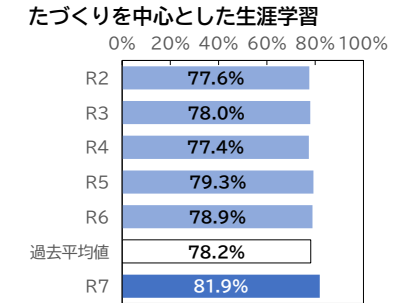
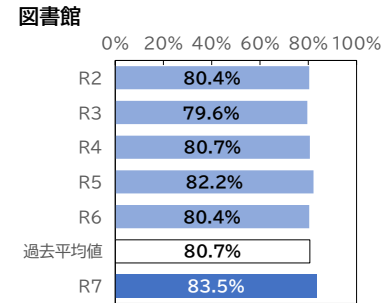
<満足度>

○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「スポーツ振興」(84.0%),「図書館」(83.5%),「たづくりを中心とした生涯学習」(81.9%),「公民館」(78.5%)の順となっており、いずれも70%を超えています。



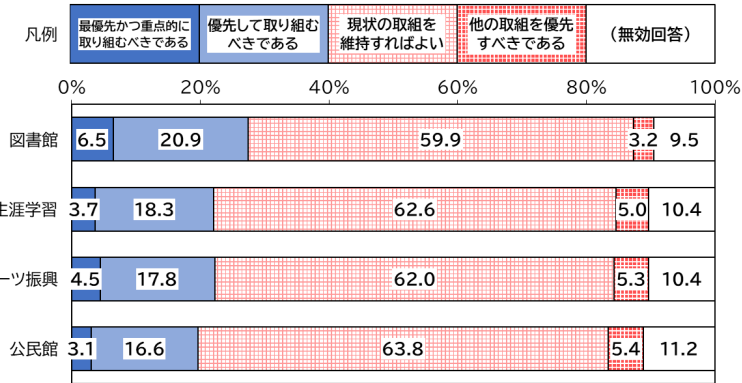
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、全ての項目で過去の平均を上回っています。



<優先度>

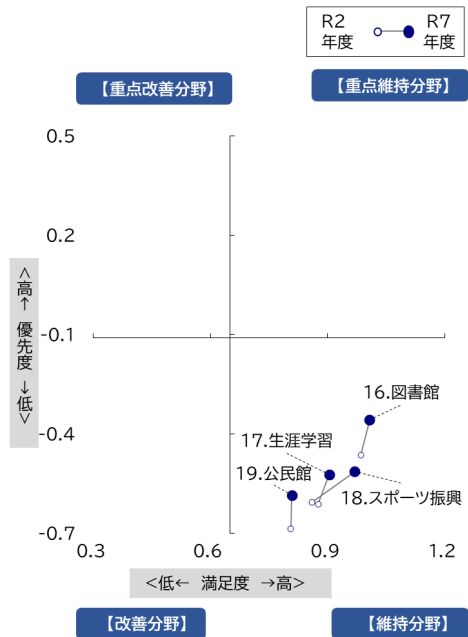
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも30%を下回っています。なお、全ての項目において「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために」の各項目は、全て満足度が高く、優先度が低い「維持分野」に該当しています。  
○令和2年度の調査結果と比べ、全ての項目で優先度が高まっています。

取組項目	満足度	優先度
16 図書館	1.01	-0.36
17 たづくりを中心とした生涯学習	0.90	-0.52
18 スポーツ振興	0.97	-0.51
19 公民館	0.81	-0.58

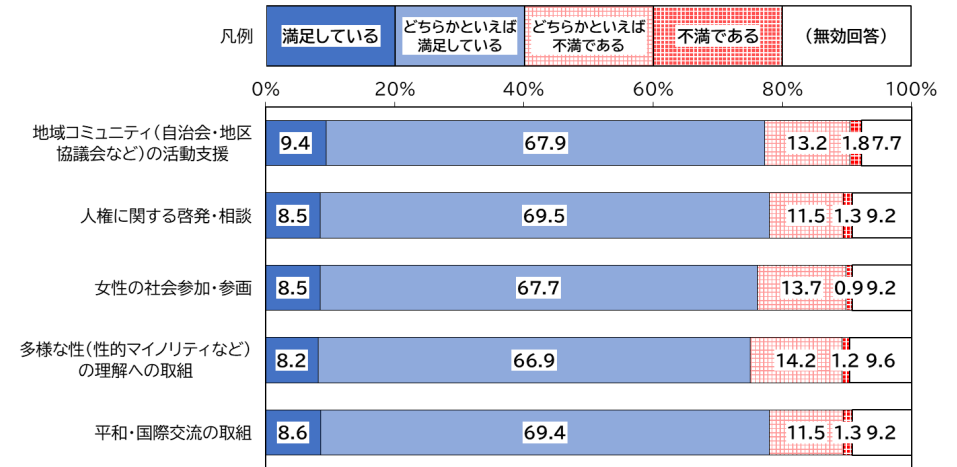


基本目標5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために

(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.20~24)

<満足度>

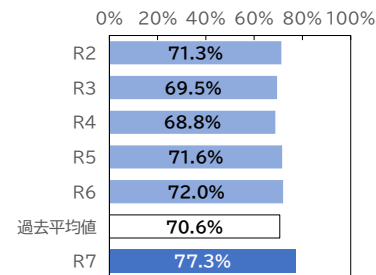
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「人権に関する啓発・相談」(78.0%)、「平和・国際交流の取組」(78.0%)、「地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援」(77.3%)の順となっており、全項目で70%を超えています。



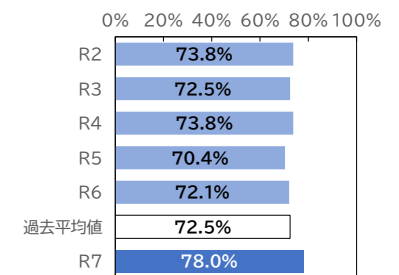
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度(「満足している」+「どちらかといえば満足している」)は、全ての項目で過去の平均を上回っています。

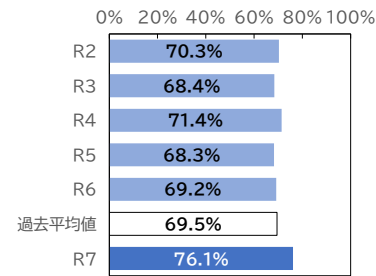
地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援



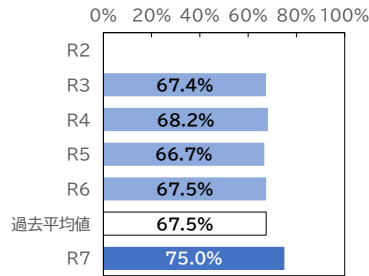
人権に関する啓発・相談



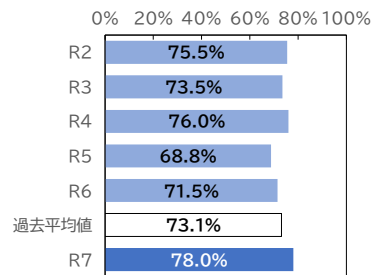
女性の社会参加・参画



多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組



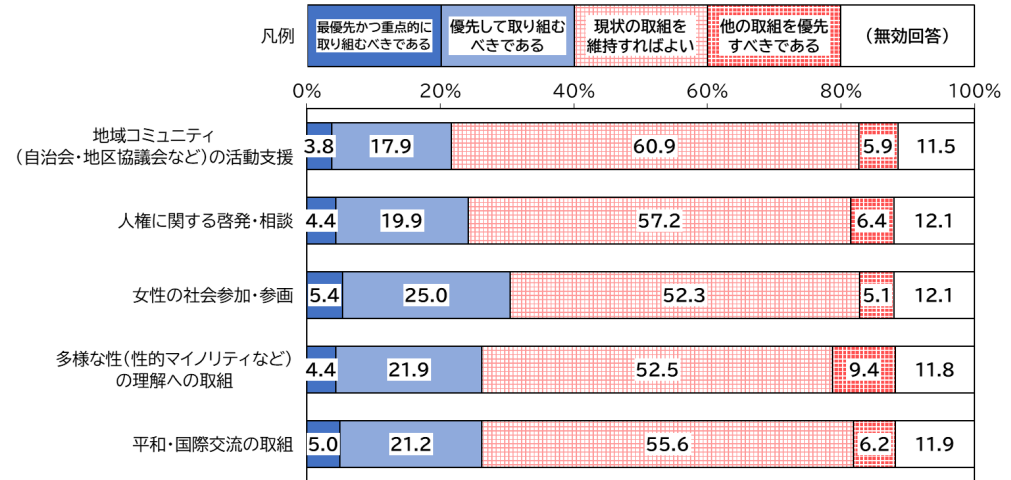
平和・国際交流の取組



※「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

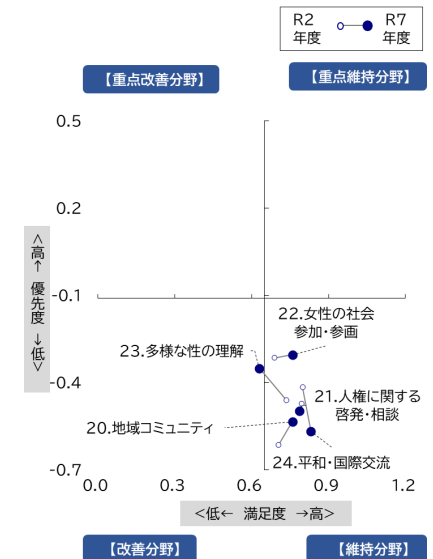
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「女性の社会参加・参画」（30.4%）以外は30%を下回っています。また、5項目全てで、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

- 「基本目標5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために」の5項目中、「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」の1項目が、満足度及び優先度がともに低い「改善分野」に該当しています。
- 令和2年度の調査結果と比べ、「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は維持分野から改善分野に移行しています。

取組項目	満足度	優先度
20 地域コミュニティ(自治会・地区協議会など)の活動支援	0.76	-0.53
21 人権に関する啓発・相談	0.80	-0.47
22 女性の社会参加・参画	0.76	-0.30
23 多様な性(性的マイノリティなど)の理解への取組	0.74	-0.46
24 平和・国際交流の取組	0.80	-0.42

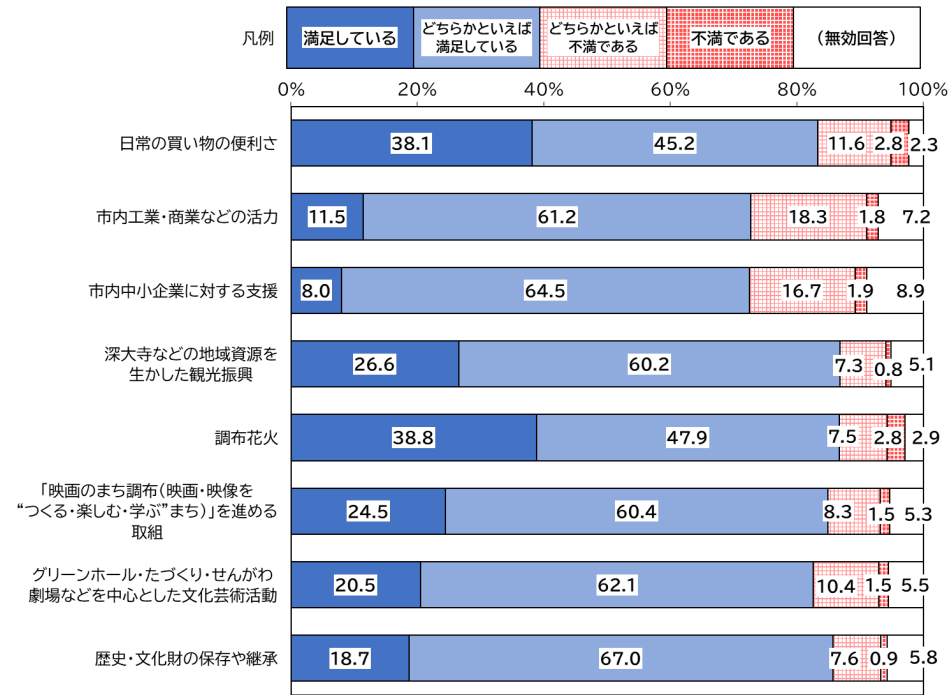


※「多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標 6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために  
 「市政全般（くらし）」についての取組項目No.25～32)

<満足度>

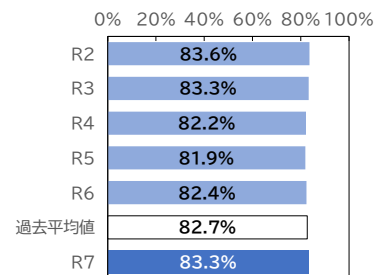
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「深大寺などの地域資源を生かした観光振興」（86.8%）、「調布花火」（86.7%）、「歴史・文化財の保存や継承」（85.7%）の順となっており、8項目全てで70%を超えています。



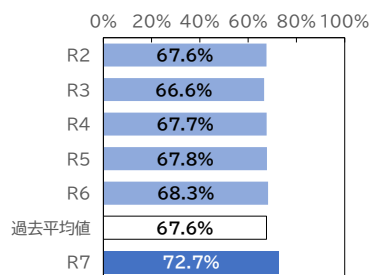
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

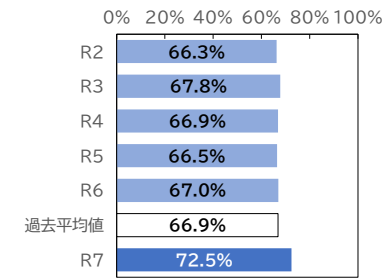
日常の買い物の便利さ



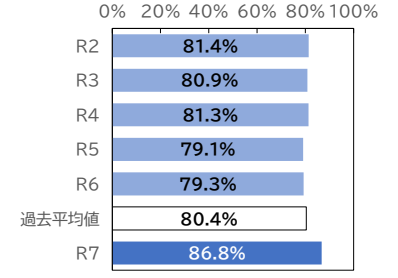
市内工業・商業などの活力



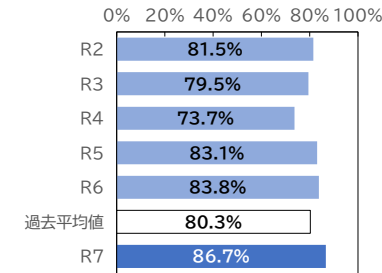
市内中小企業に対する支援



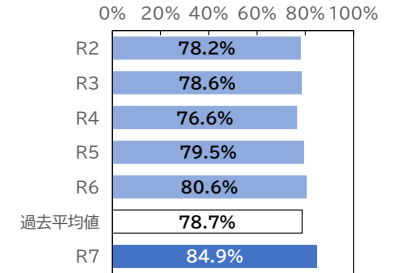
深大寺などの地域資源を生かした観光振興



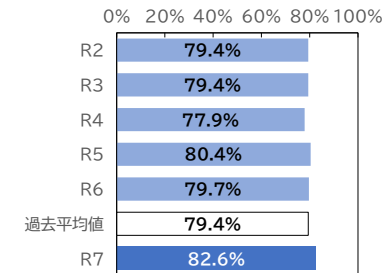
調布花火



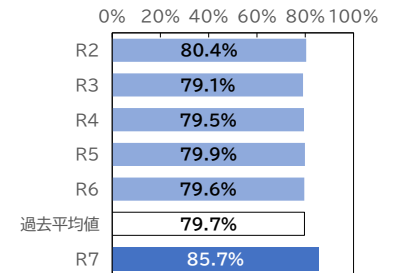
「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組



グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動



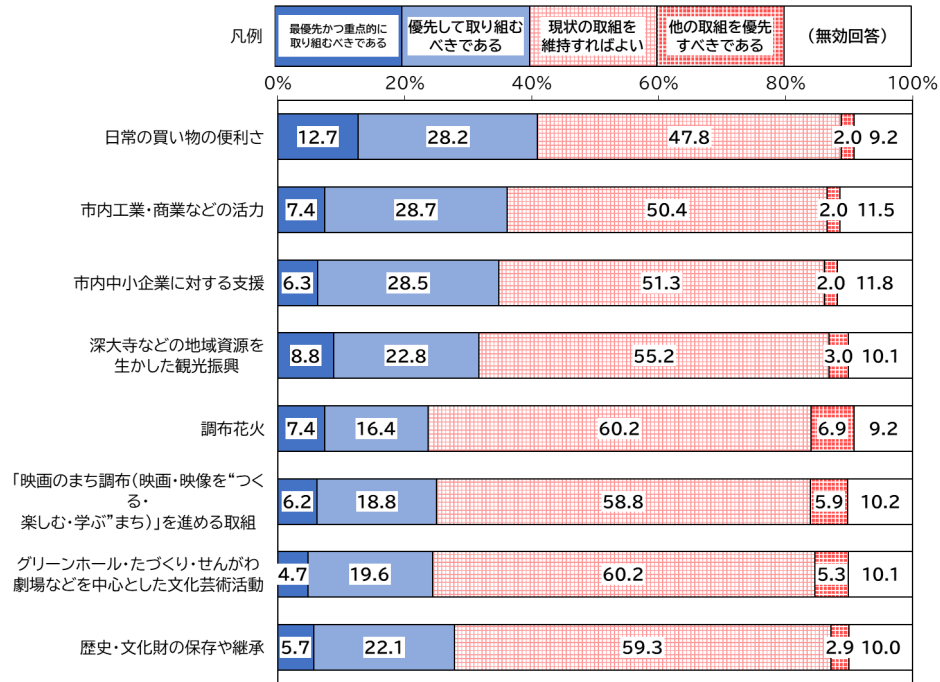
歴史・文化財の保存や継承



※「調布花火」は、令和3年度までは「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」、令和4年度は「調布花火（映画のまち調布花火）」としていた調査項目です。そのため、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目における令和2年度からの推移を参考に掲載しています。

<優先度>

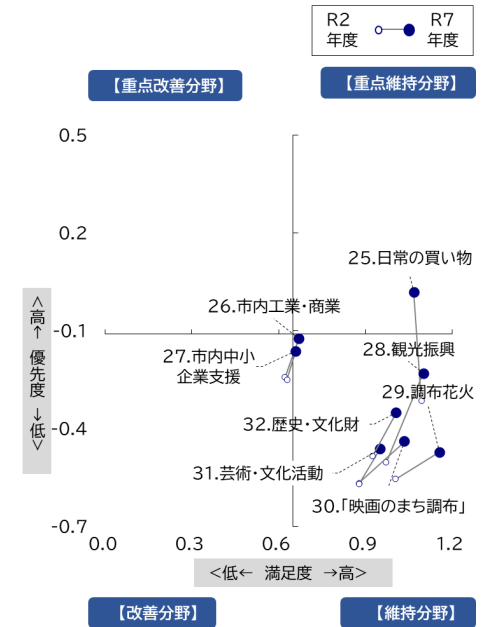
○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「日常の買い物の便利さ」（40.9%）を除き、いずれも40%を下回っており、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために」の全8項目中7項目が、「維持分野」に該当しています。  
○令和2年度の調査結果と比べ、ほとんどの項目で満足度、優先度が高まっています。このうち、令和2年度に維持分野に該当していた「日常の買い物の便利さ」は重点維持分野に、改善分野に該当していた「市内工業・商業などの活力」、「市内中小企業に対する支援」は維持分野に移行しています。

取組項目	満足度	優先度
25 日常の買い物の便利さ	1.07	0.02
26 市内工業・商業などの活力	0.67	-0.12
27 市内中小企業に対する支援	0.66	-0.16
28 深大寺などの地域資源を生かした観光振興	1.10	-0.23
29 調布花火	1.16	-0.47
30 「映画のまち調布(映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち)」を進める取組	1.04	-0.44
31 グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	0.95	-0.46
32 歴史・文化財の保存や継承	1.01	-0.35



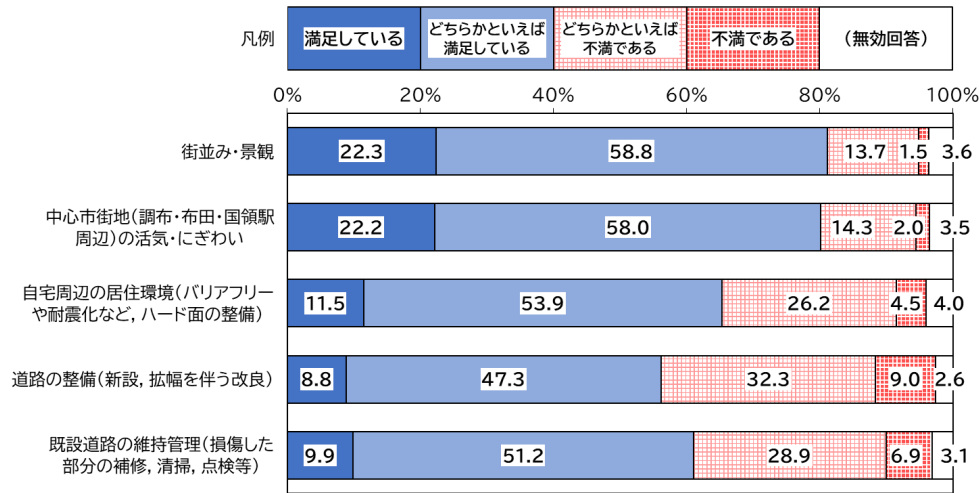
※「調布花火」は、令和3年度までは「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」、令和4年度は「調布花火（映画のまち調布花火）」としていた調査項目です。そのため、「調布市花火大会（映画のまち調布花火）」としていた調査項目における令和2年度からの推移を参考に掲載しています。

基本目標7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために

（「市政全般（くらし）」についての取組項目No.33～37）

<満足度>

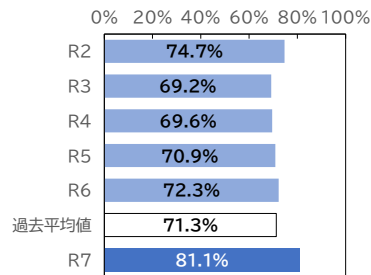
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「街並み・景観」（81.1%）、「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（80.2%）、「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）」（65.4%）、「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）」（61.1%）の順となっており、5項目全てで半数を上回っています。



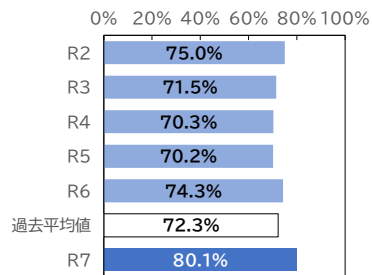
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度（「満足している」＋「どちらかといえば満足している」）は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

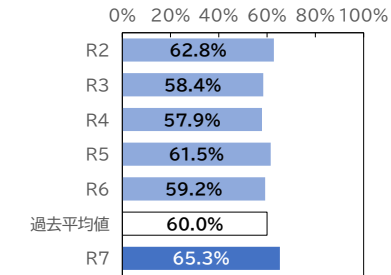
街並み・景観



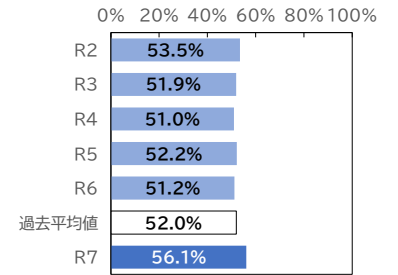
中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい



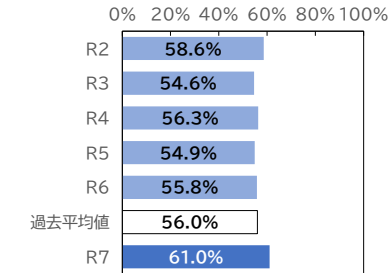
自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）



道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）

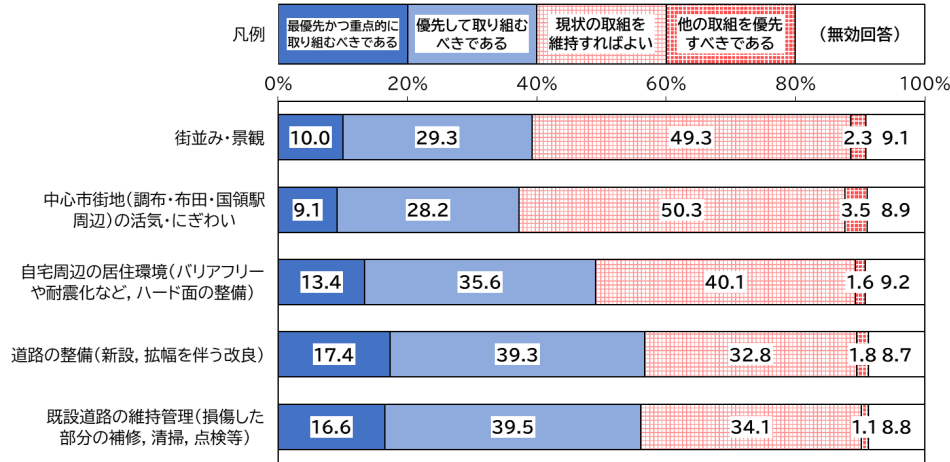


既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）



<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」（56.7%），「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」（56.1%），「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）」（49.0%），「街並み・景観」（39.3%），「中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい」（37.3%）の順となっています。

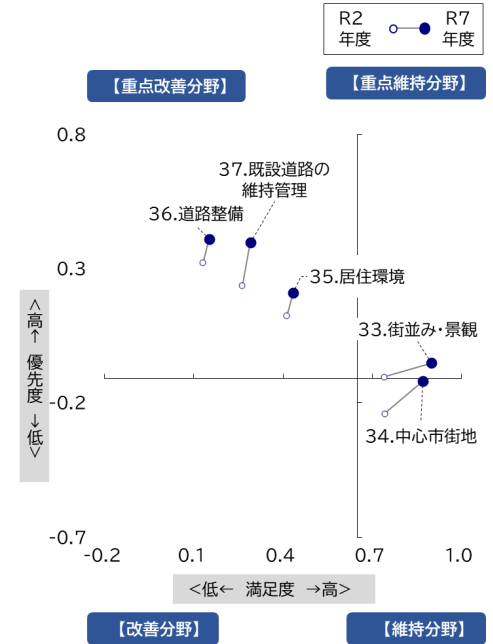


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために」の5項目中、「自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備）」、「道路の整備（新設，拡幅を伴う改良）」、「既設道路の維持管理（損傷した部分の補修，清掃，点検等）」の3項目が，優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。

○令和2年度の調査結果と比べ，いずれの項目も満足度及び優先度が高くなっています。

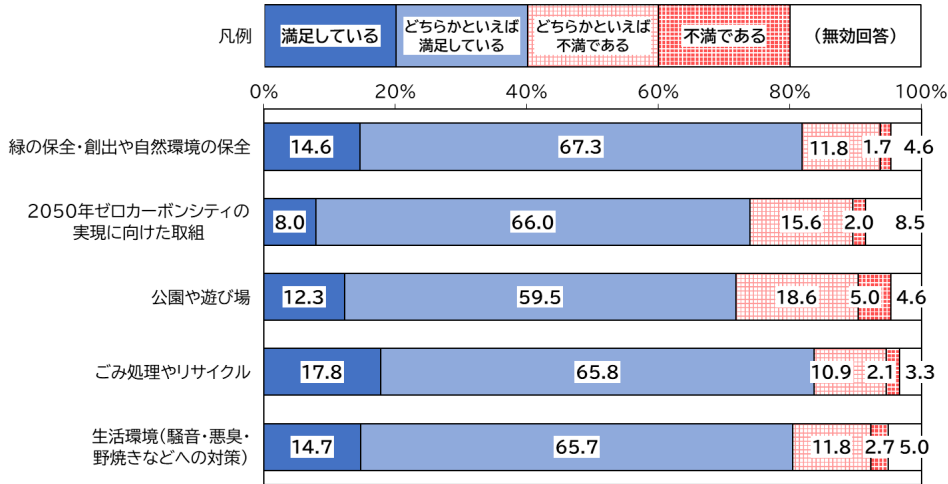
取組項目	満足度	優先度
33 街並み・景観	0.90	-0.05
34 中心市街地(調布・布田・国領駅周辺)の活気・にぎわい	0.87	-0.12
35 自宅周辺の居住環境(バリアフリーや耐震化など，ハード面の整備)	0.43	0.21
36 道路の整備(新設，拡幅を伴う改良)	0.15	0.41
37 既設道路の維持管理(損傷した部分の補修，清掃，点検等)	0.29	0.40



基本目標 8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために  
 「市政全般（くらし）」についての取組項目No.38～42)

<満足度>

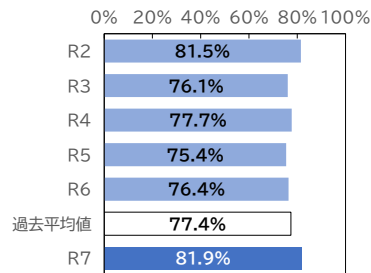
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「ごみ処理やリサイクル」(83.6%),「緑の保全・創出や自然環境の保護」(81.9%),「生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）」(80.4%)の順となっています。



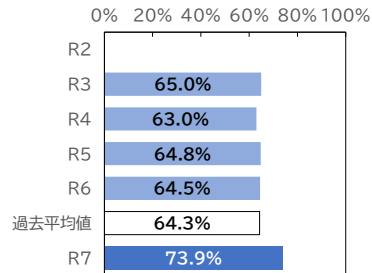
<満足度の経年推移>

○令和 7 年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

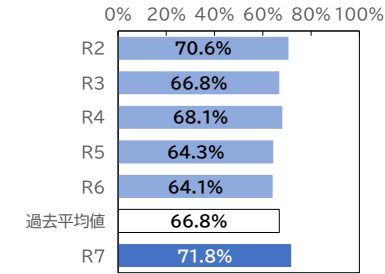
緑の保全・創出や自然環境の保護



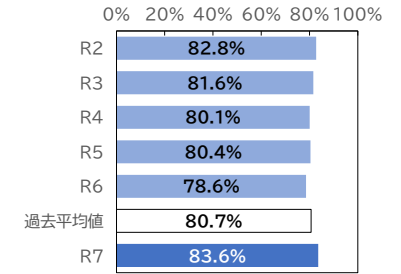
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組



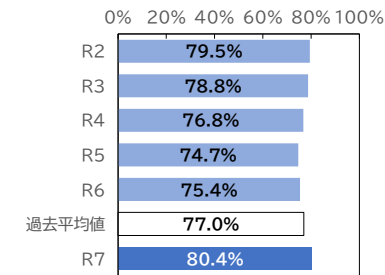
公園や遊び場



ごみ処理やリサイクル



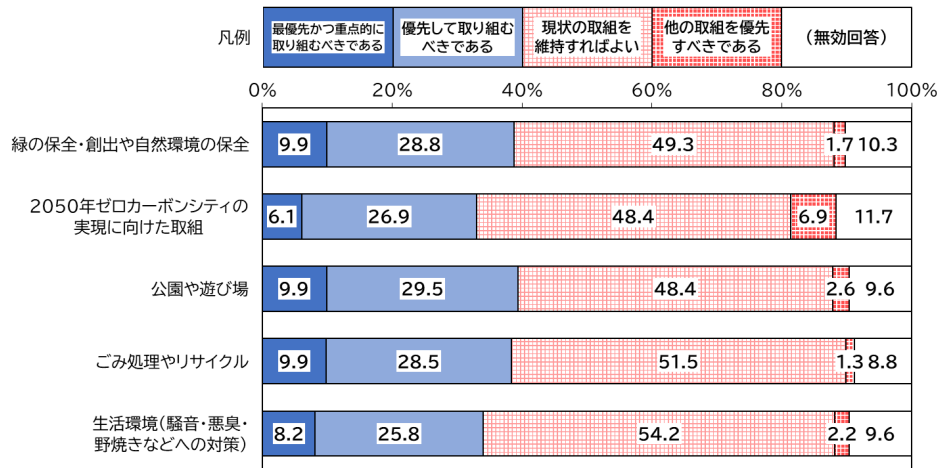
生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）



※「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも40%を下回っています。

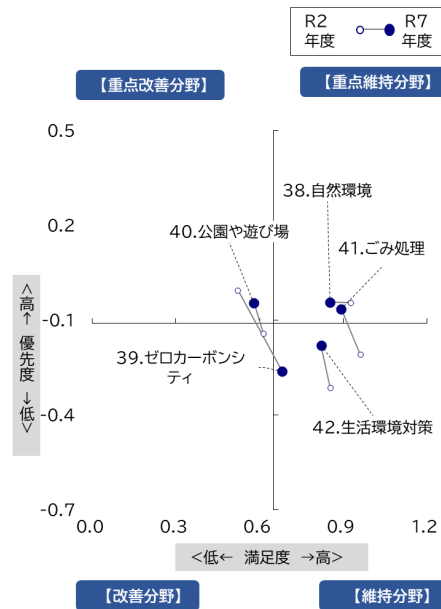


<満足度・優先度平均スコア>

○「基本目標8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために」の5項目中、「公園や遊び場」の1項目が、優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」に該当しています。また、満足度が高く、優先度も高い「重点維持分野」には、「緑の保全・創出や自然環境の保全」、「ごみ処理やリサイクル」が該当しています。

○令和2年度の調査結果と比べ、「公園や遊び場」は改善分野から重点改善分野へ、「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は重点改善分野から維持分野へ、「ごみ処理やリサイクル」は維持分野から重点維持分野に移行しています。

取組項目	満足度	優先度
38 緑の保全・創出や自然環境の保全	0.85	-0.04
39 2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	0.68	-0.26
40 公園や遊び場	0.58	-0.05
41 ごみ処理やリサイクル	0.89	-0.07
42 生活環境(騒音・悪臭・野焼きなどへの対策)	0.82	-0.18

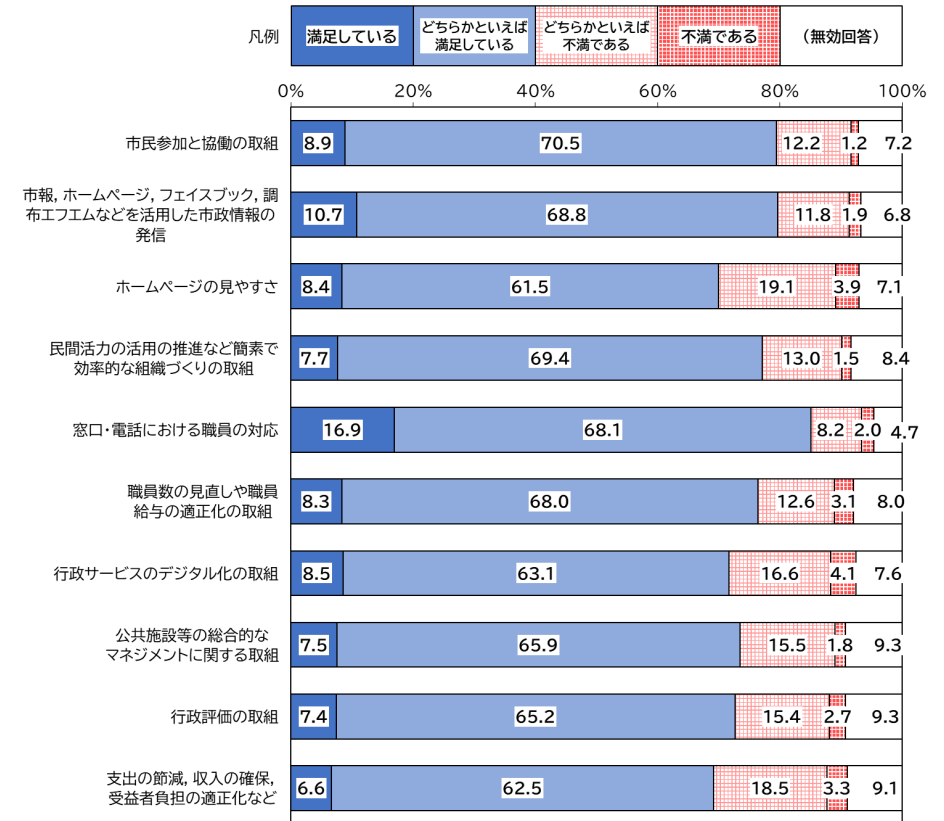


※「2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」は令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。

行革プラン2023(「市政全般(くらし)」)についての取組項目No.43~52

<満足度>

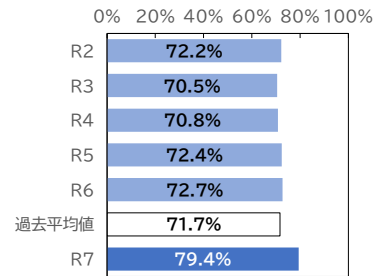
○「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計は、「窓口・電話における職員の対応」(85.0%),「市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」(79.5%),「市民参加と協働の取組」(79.4%)の順となっており、全項目において60%を超えています。



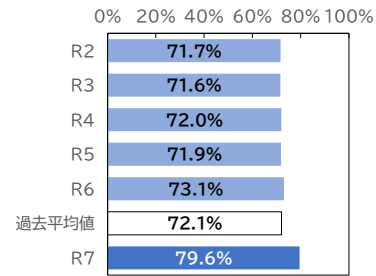
<満足度の経年推移>

○令和7年度の満足度（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）は、全ての項目において過去の平均を上回っています。

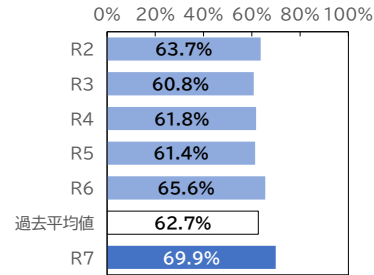
市民参加と協働の取組



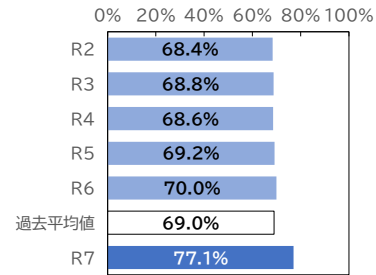
市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信



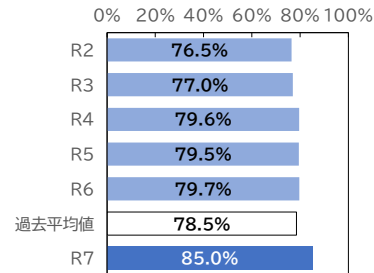
ホームページの見やすさ



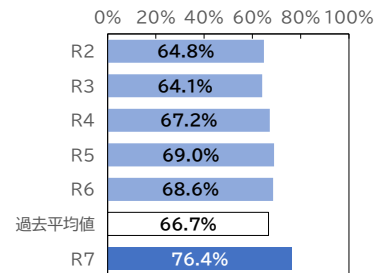
民間活力の活用の推進など効率的な組織づくりの取組



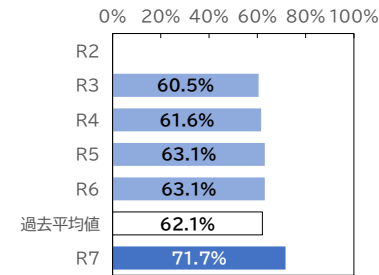
窓口・電話における職員の対応



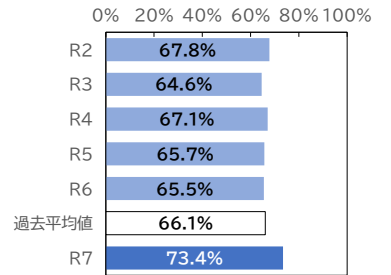
職員数の見直しや職員給与の適正化の取組



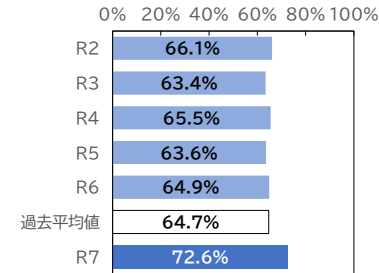
行政サービスのデジタル化の取組



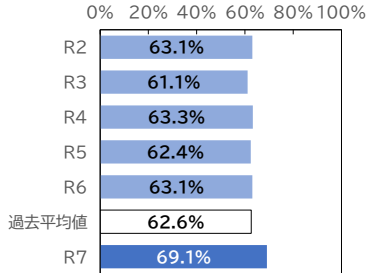
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組



行政評価の取組



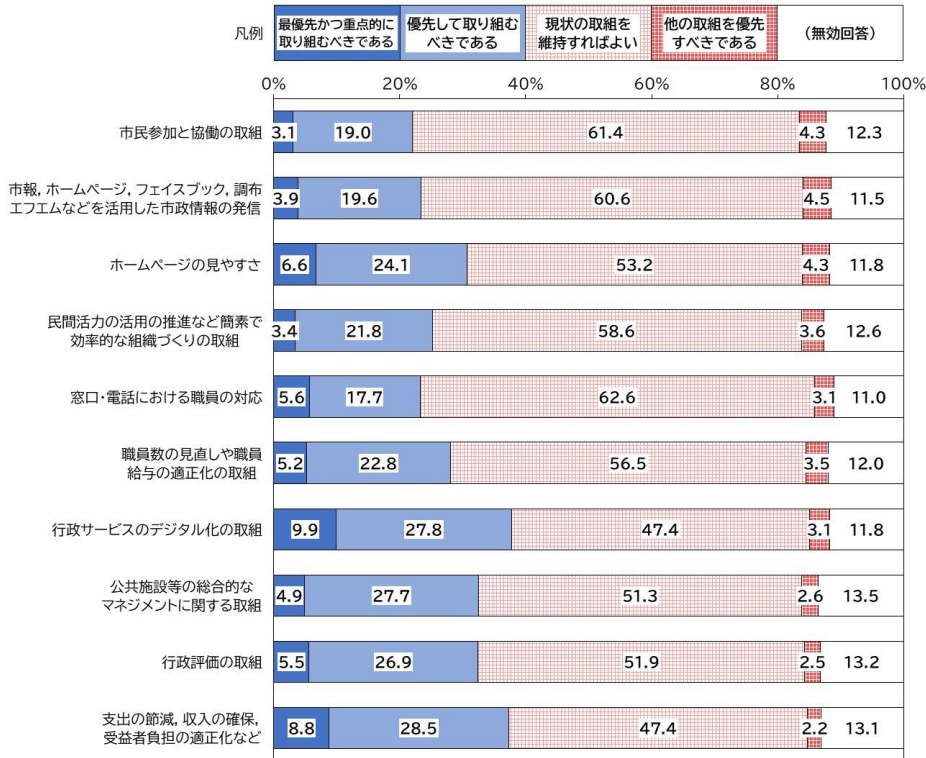
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など



※「行政サービスのデジタル化の取組」は令和3年度に新設した調査項目です。

<優先度>

○「最優先かつ重点的に取り組むべきである」と「優先して取り組むべきである」の合計は、いずれも40%を下回っています。なお、「支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など」を除く9項目では、「現状の取組を維持すればよい」と「他の取組を優先すべきである」の合計が半数を上回っています。



<満足度・優先度平均スコア>

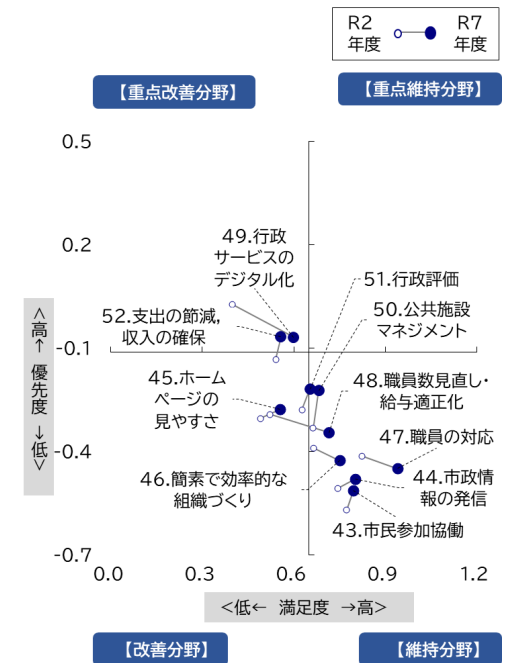
○「行革プラン 2023」の各項目は、10項目中、「ホームページの見やすさ」、「市報，ホームページ，フェイスブック，調布エフエムなどを活用した市政情報の発信」を除く8項目は、優先度が横ばいか、低くなっています。

○優先度が高いにもかかわらず満足度が低い「重点改善分野」には、「行政サービスのデジタル化の取組」、「支出の節減，収入の確保，受益者負担の適正化など」が該当しています。

○令和2年度の調査結果と比べ、いずれも満足度は高くなっています。「支出の節減，収入の確保，受益者負担の適性かなど」は改善分野から重点改善分野に移行しています。

	取組項目	満足度	優先度
43	市民参加と協働の取組	0.80	-0.51
44	市報, ホームページ, フェイスブック, 調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	0.80	-0.48
45	ホームページの見やすさ	0.55	-0.28
46	民間活力の活用などの推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	0.75	-0.43
47	窓口・電話における職員の対応	0.94	-0.45
48	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	0.72	-0.34
49	行政サービスのデジタル化の取組	0.60	-0.07
50	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	0.68	-0.22
51	行政評価の取組	0.65	-0.22
52	支出の節減, 収入の確保, 受益者負担の適正化など	0.56	-0.07

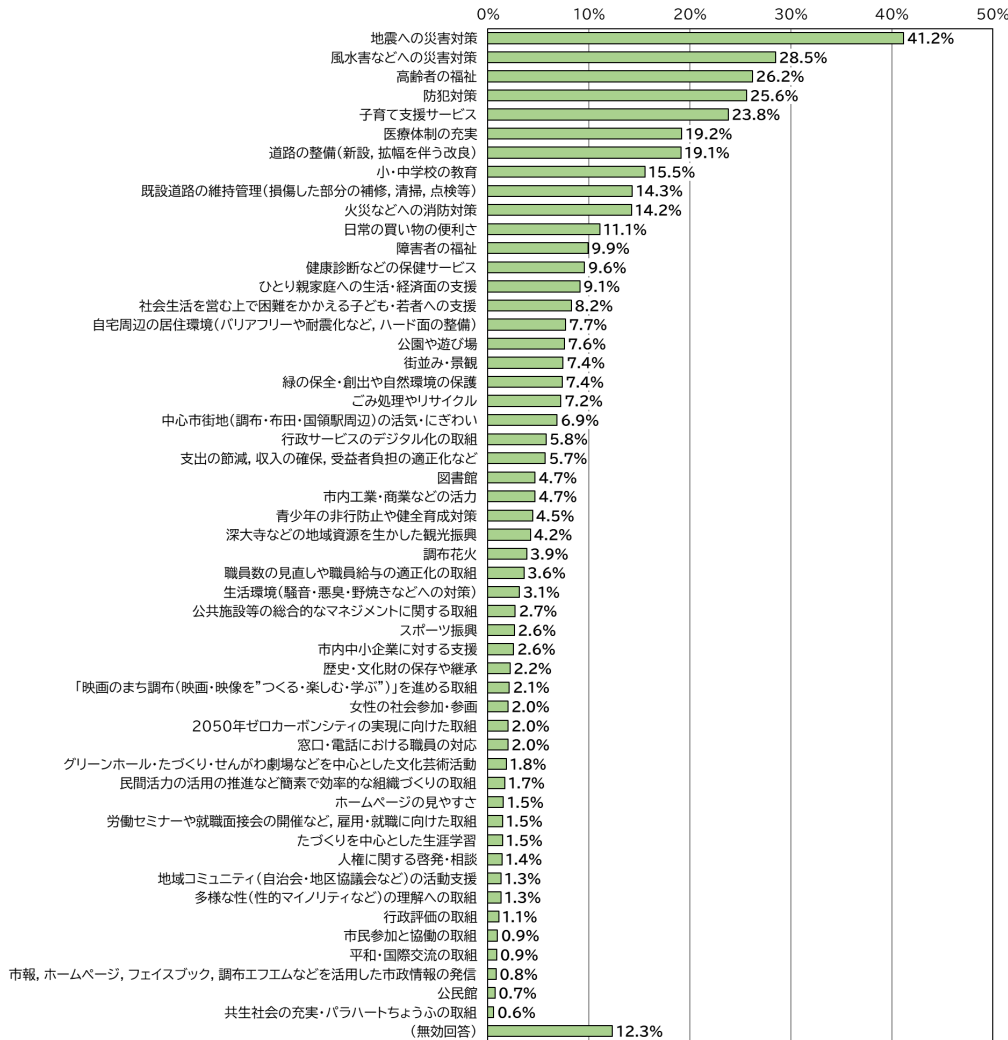
※「行政サービスのデジタル化の取組」は、令和3年度に新設した調査項目です。そのため、令和3年度からの推移を参考に掲載しています。



問 13-1) あなたは、問 13 の No. 1～No. 52 までの取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。

<全体（n=1,370）>

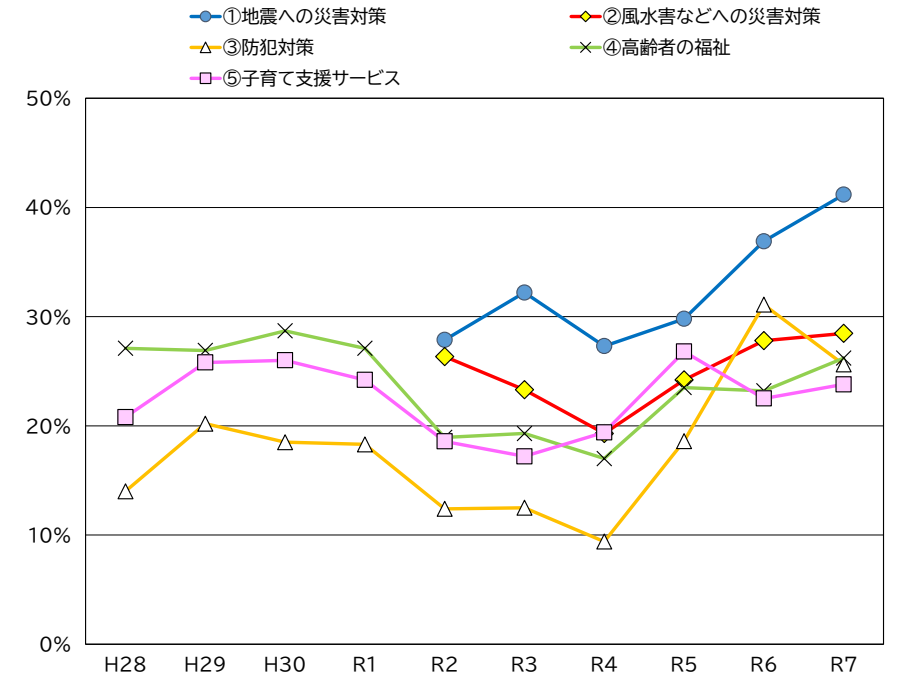
○「地震への災害対策」が 41.2%で最も高く、次いで「風水害などへの災害対策」の 28.5%、「高齢者の福祉」の 26.2%となっています。



<経年比較>

○平成2年度から令和7年度まで、「地震への災害対策」※1が最も高くなっています。

【図表 令和7年度における上位5項目の経年比較】



	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
①地震への災害対策					27.9%	32.2%	27.3%	29.8%	36.9%	41.2%
②風水害などへの災害対策					26.3%	23.3%	19.3%	24.2%	27.8%	28.5%
③防犯対策	14.0%	20.2%	18.5%	18.3%	12.4%	12.5%	9.4%	18.6%	31.1%	25.6%
④高齢者の福祉	27.1%	26.9%	28.7%	27.1%	18.9%	19.3%	17.0%	23.5%	23.2%	26.2%
⑤子育て支援サービス	20.8%	25.8%	26.0%	24.2%	18.6%	17.2%	19.4%	26.8%	22.5%	23.8%

参考:令和元年度までの項目

⑥(参考)地震、風水害などへの災害対策	36.2%	33.6%	43.0%	46.2%	令和元年度1位
---------------------	-------	-------	-------	-------	---------

※1 平成30年度までは「地震などの災害対策」、令和元年度は「地震、風水害などへの災害対策」、令和2年度以降は「地震への災害対策」

<年齢層別>

○30～39歳は「子育て支援サービス」、60～64歳及び75歳以上は「高齢者の福祉」、それ以外の年齢層は「地震への災害対策」が最も高くなっています（60～64歳は「地震への災害対策」も同率1位）。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
地震への災害対策	564	12	42	68	96	128	46	41	70	58
	41.2%	40.0%	46.7%	41.2%	45.3%	47.4%	36.8%	39.8%	40.7%	30.1%
風水害などへの災害対策	390	5	24	47	69	100	42	27	40	33
	28.5%	16.7%	26.7%	28.5%	32.5%	37.0%	33.6%	26.2%	23.3%	17.1%
火災などへの消防対策	195	4	11	23	34	55	18	10	19	20
	14.2%	13.3%	12.2%	13.9%	16.0%	20.4%	14.4%	9.7%	11.0%	10.4%
防犯対策	351	11	23	41	61	85	34	35	36	24
	25.6%	36.7%	25.6%	24.8%	28.8%	31.5%	27.2%	34.0%	20.9%	12.4%
子育て支援サービス	326	8	37	90	76	38	17	19	21	19
	23.8%	26.7%	41.1%	54.5%	35.8%	14.1%	13.6%	18.4%	12.2%	9.8%
ひとり親家庭への生活・経済面の支援	125	2	13	16	20	22	16	7	13	16
	9.1%	6.7%	14.4%	9.7%	9.4%	8.1%	12.8%	6.8%	7.6%	8.3%
小・中学校の教育	213	7	13	48	74	32	7	6	13	13
	15.5%	23.3%	14.4%	29.1%	34.9%	11.9%	5.6%	5.8%	7.6%	6.7%
青少年の非行防止や健全育成対策	61	1	1	7	13	8	6	7	7	10
	4.5%	3.3%	1.1%	4.2%	6.1%	3.0%	4.8%	6.8%	4.1%	5.2%
社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者への支援	113	3	4	13	14	23	10	9	17	20
	8.2%	10.0%	4.4%	7.9%	6.6%	8.5%	8.0%	8.7%	9.9%	10.4%
高齢者の福祉	359	4	11	17	37	73	46	39	63	65
	26.2%	13.3%	12.2%	10.3%	17.5%	27.0%	36.8%	37.9%	36.6%	33.7%
障害者の福祉	136	2	6	16	16	25	18	12	17	24
	9.9%	6.7%	6.7%	9.7%	7.5%	9.3%	14.4%	11.7%	9.9%	12.4%
労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	20	0	0	0	9	5	0	0	3	2
	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	1.9%	0.0%	0.0%	1.7%	1.0%
健康診断などの保健サービス	131	1	9	9	21	33	15	7	16	18
	9.6%	3.3%	10.0%	5.5%	9.9%	12.2%	12.0%	6.8%	9.3%	9.3%
医療体制の充実	263	1	8	23	48	66	26	23	37	27
	19.2%	3.3%	8.9%	13.9%	22.6%	24.4%	20.8%	22.3%	21.5%	14.0%
共生社会の充実・パラハートちようふの取組	8	1	0	1	0	0	2	1	3	0
	0.6%	3.3%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.6%	1.0%	1.7%	0.0%
図書館	64	1	2	13	11	17	6	0	7	6
	4.7%	3.3%	2.2%	7.9%	5.2%	6.3%	4.8%	0.0%	4.1%	3.1%
たづくりを中心とした生涯学習	20	2	0	2	0	4	2	0	5	5
	1.5%	6.7%	0.0%	1.2%	0.0%	1.5%	1.6%	0.0%	2.9%	2.6%
スポーツ振興	36	2	5	4	6	9	3	2	2	3
	2.6%	6.7%	5.6%	2.4%	2.8%	3.3%	2.4%	1.9%	1.2%	1.6%
公民館	10	0	0	2	3	1	1	0	0	3
	0.7%	0.0%	0.0%	1.2%	1.4%	0.4%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%
地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	18	1	0	2	0	3	2	4	1	5
	1.3%	3.3%	0.0%	1.2%	0.0%	1.1%	1.6%	3.9%	0.6%	2.6%
人権に関する啓発・相談	19	3	1	2	4	1	2	2	2	2
	1.4%	10.0%	1.1%	1.2%	1.9%	0.4%	1.6%	1.9%	1.2%	1.0%
女性の社会参加・参画	27	2	0	3	10	1	1	2	7	1
	2.0%	6.7%	0.0%	1.8%	4.7%	0.4%	0.8%	1.9%	4.1%	0.5%
多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	18	1	0	2	7	4	1	0	1	2
	1.3%	3.3%	0.0%	1.2%	3.3%	1.5%	0.8%	0.0%	0.6%	1.0%
平和・国際交流の取組	12	1	1	1	4	1	0	1	1	2
	0.9%	3.3%	1.1%	0.6%	1.9%	0.4%	0.0%	1.0%	0.6%	1.0%
日常的な買い物の便利さ	152	3	13	34	25	30	12	5	12	18
	11.1%	10.0%	14.4%	20.6%	11.8%	11.1%	9.6%	4.9%	7.0%	9.3%

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
市内工業・商業などの活力	64	0	4	7	20	5	8	5	9	6
	4.7%	0.0%	4.4%	4.2%	9.4%	1.9%	6.4%	4.9%	5.2%	3.1%
市内中小企業に対する支援	35	0	3	5	8	8	1	0	5	5
	2.6%	0.0%	3.3%	3.0%	3.8%	3.0%	0.8%	0.0%	2.9%	2.6%
深大寺などの地域資源を生かした観光振興	58	2	7	5	7	13	3	5	8	7
	4.2%	6.7%	7.8%	3.0%	3.3%	4.8%	2.4%	4.9%	4.7%	3.6%
調布花火	53	2	14	9	7	13	0	2	3	3
	3.9%	6.7%	15.6%	5.5%	3.3%	4.8%	0.0%	1.9%	1.7%	1.6%
「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	29	0	2	9	1	5	6	0	4	1
	2.1%	0.0%	2.2%	5.5%	0.5%	1.9%	4.8%	0.0%	2.3%	0.5%
グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	25	0	1	0	1	8	3	1	4	6
	1.8%	0.0%	1.1%	0.0%	0.5%	3.0%	2.4%	1.0%	2.3%	3.1%
歴史・文化財の保存や継承	30	0	2	3	3	7	4	4	3	4
	2.2%	0.0%	2.2%	1.8%	1.4%	2.6%	3.2%	3.9%	1.7%	2.1%
街並み・景観	102	4	8	14	16	19	9	9	12	10
	7.4%	13.3%	8.9%	8.5%	7.5%	7.0%	7.2%	8.7%	7.0%	5.2%
中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気にぎわい	94	3	7	15	18	20	7	5	12	7
	6.9%	10.0%	7.8%	9.1%	8.5%	7.4%	5.6%	4.9%	7.0%	3.6%
自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	105	1	8	8	13	23	12	7	16	17
	7.7%	3.3%	8.9%	4.8%	6.1%	8.5%	9.6%	6.8%	9.3%	8.8%
道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	262	6	17	35	38	49	16	25	44	30
	19.1%	20.0%	18.9%	21.2%	17.9%	18.1%	12.8%	24.3%	25.6%	15.5%
既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	196	5	11	20	28	41	12	21	33	24
	14.3%	16.7%	12.2%	12.1%	13.2%	15.2%	9.6%	20.4%	19.2%	12.4%
緑の保全・創出や自然環境の保護	101	0	5	6	8	17	7	14	19	24
	7.4%	0.0%	5.6%	3.6%	3.8%	6.3%	5.6%	13.6%	11.0%	12.4%
2050年ゼロカーボンシティの実現に向けた取組	27	0	1	2	3	1	4	2	6	8
	2.0%	0.0%	1.1%	1.2%	1.4%	0.4%	3.2%	1.9%	3.5%	4.1%
公園や遊び場	104	3	8	19	23	12	4	10	12	13
	7.6%	10.0%	8.9%	11.5%	10.8%	4.4%	3.2%	9.7%	7.0%	6.7%
ごみ処理やリサイクル	99	3	5	5	15	19	10	8	14	20
	7.2%	10.0%	5.6%	3.0%	7.1%	7.0%	8.0%	7.8%	8.1%	10.4%
生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	43	1	2	7	12	9	3	3	1	5
	3.1%	3.3%	2.2%	4.2%	5.7%	3.3%	2.4%	2.9%	0.6%	2.6%
市民参加と協働の取組	13	0	1	3	1	2	0	0	3	3
	0.9%	0.0%	1.1%	1.8%	0.5%	0.7%	0.0%	0.0%	1.7%	1.6%
市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	11	0	0	1	0	3	0	1	3	3
	0.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	1.0%	1.7%	1.6%
ホームページの見やすさ	21	0	3	4	2	7	1	1	2	1
	1.5%	0.0%	3.3%	2.4%	0.9%	2.6%	0.8%	1.0%	1.2%	0.5%
民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	23	0	1	0	1	5	0	2	3	10
	1.7%	0.0%	1.1%	0.0%	0.5%	1.9%	0.0%	1.9%	1.7%	5.2%
窓口・電話における職員の対応	27	0	3	0	5	8	2	3	5	1
	2.0%	0.0%	3.3%	0.0%	2.4%	3.0%	1.6%	2.9%	2.9%	0.5%
職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	49	1	0	5	6	8	5	5	8	10
	3.6%	3.3%	0.0%	3.0%	2.8%	3.0%	4.0%	4.9%	4.7%	5.2%
行政サービスのデジタル化の取組	79	2	4	13	12	17	11	3	9	8
	5.8%	6.7%	4.4%	7.9%	5.7%	6.3%	8.8%	2.9%	5.2%	4.1%
公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組	37	1	2	2	4	8	2	5	6	6
	2.7%	3.3%	2.2%	1.2%	1.9%	3.0%	1.6%	4.9%	3.5%	3.1%
行政評価の取組	15	0	1	0	1	3	0	2	3	4
	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.5%	1.1%	0.0%	1.9%	1.7%	2.1%
支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	78	2	5	7	8	15	10	8	8	14
	5.7%	6.7%	5.6%	4.2%	3.8%	5.6%	8.0%	7.8%	4.7%	7.3%
(無効回答)	169	2	5	8	10	24	21	11	30	55
	12.3%	6.7%	5.6%	4.8%	4.7%	8.9%	16.8%	10.7%	17.4%	28.5%

回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ] (上段:実数(人), 下段:構成比)

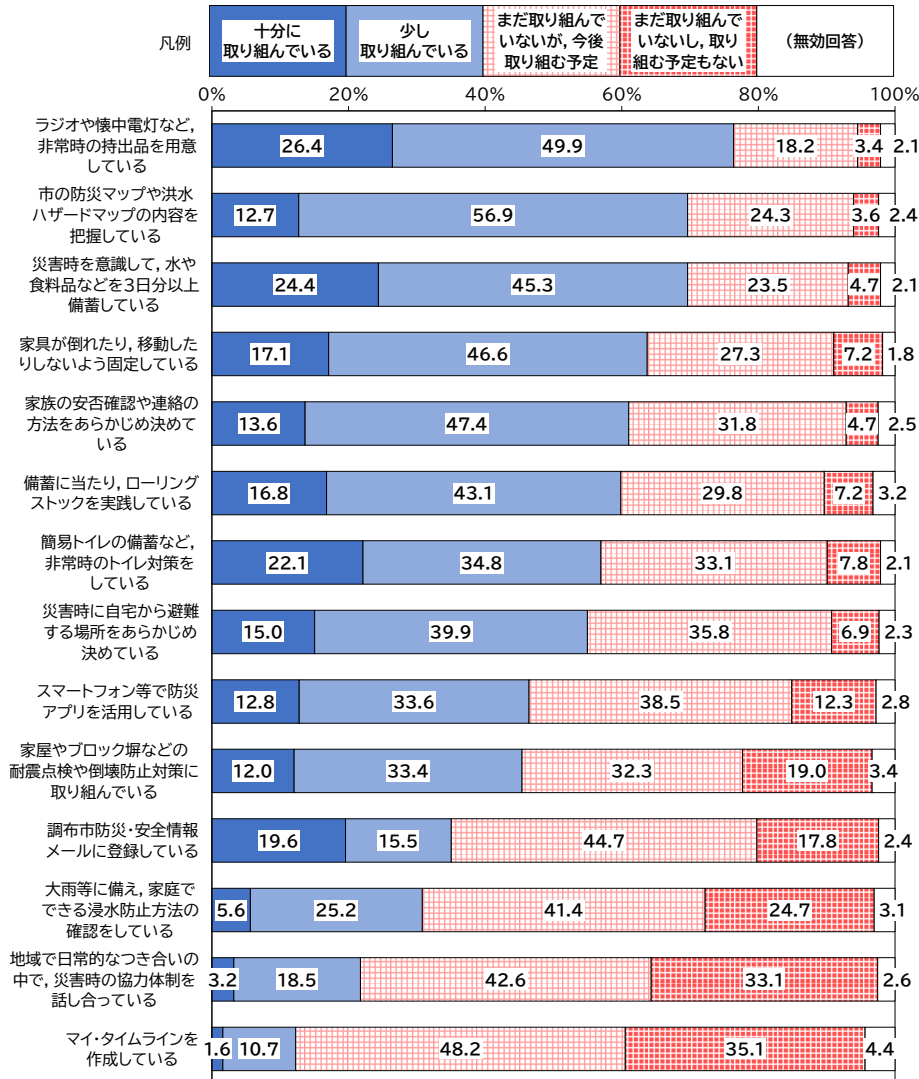
(3) 日ごろの意識や行動

【防災について】

問 14) あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。

<全体 (n=1,370) >

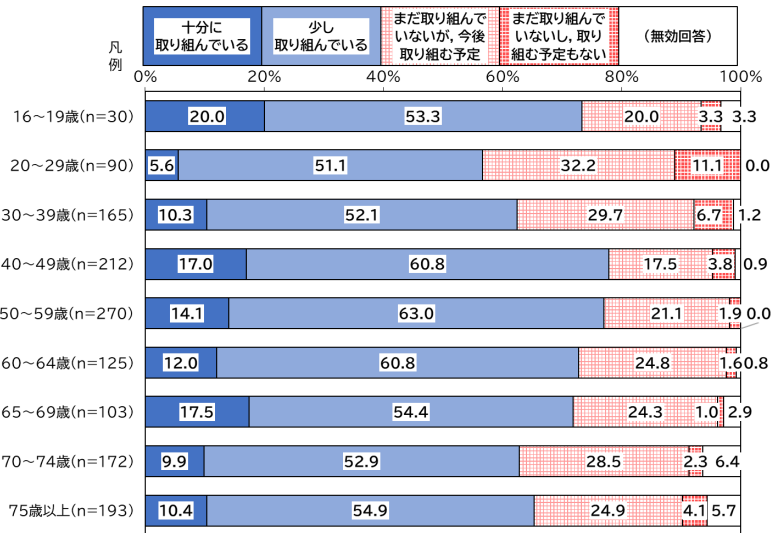
○「十分に取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計は、「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」が76.3%と最も高く、次いで、「災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している」の69.7%、「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」の69.6%の順となっています。



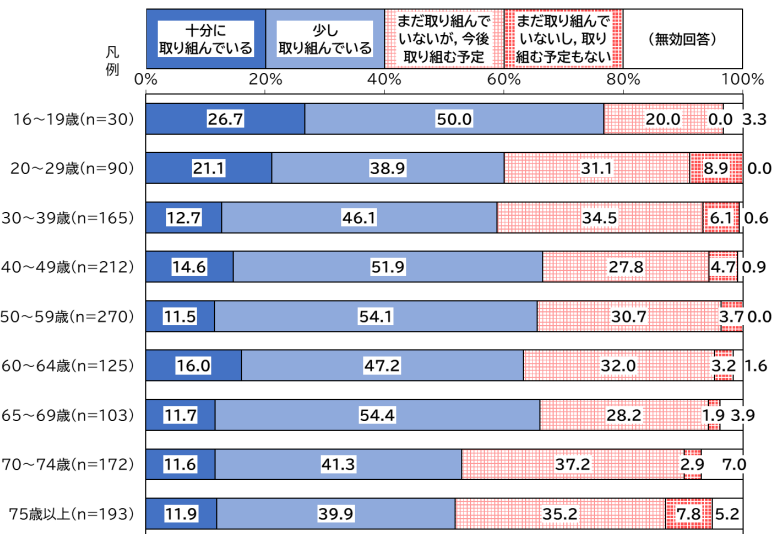
<年齢層別>

○「市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している」では、10歳代、40~69歳で「十分に取り組んでいる」と「少し取り組んでいる」の合計が70%を超えて高くなっています。また、「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」では、20~39歳を除く全ての年代で70%を超えています。

1 市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している

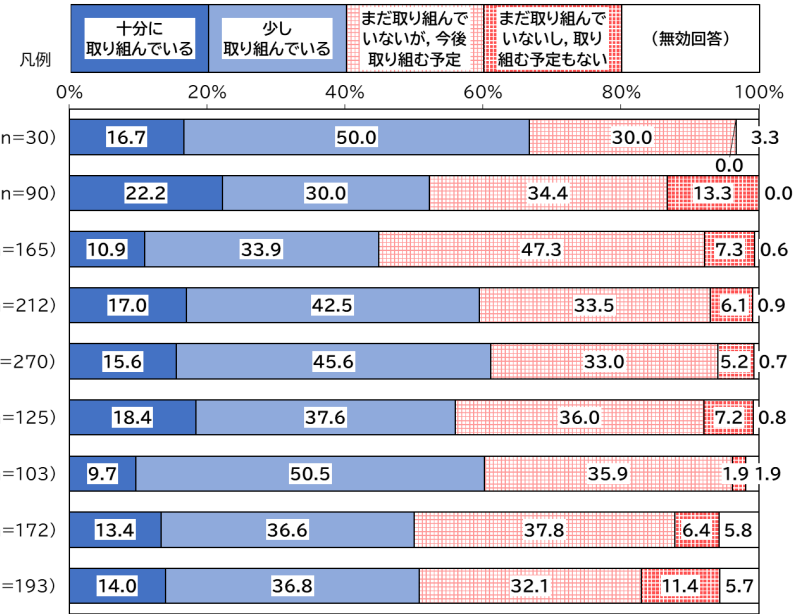
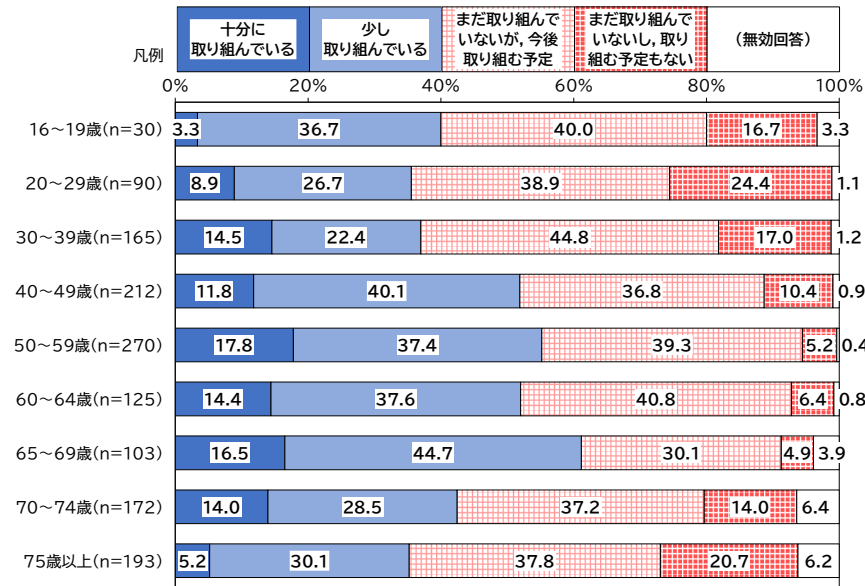


2 家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている



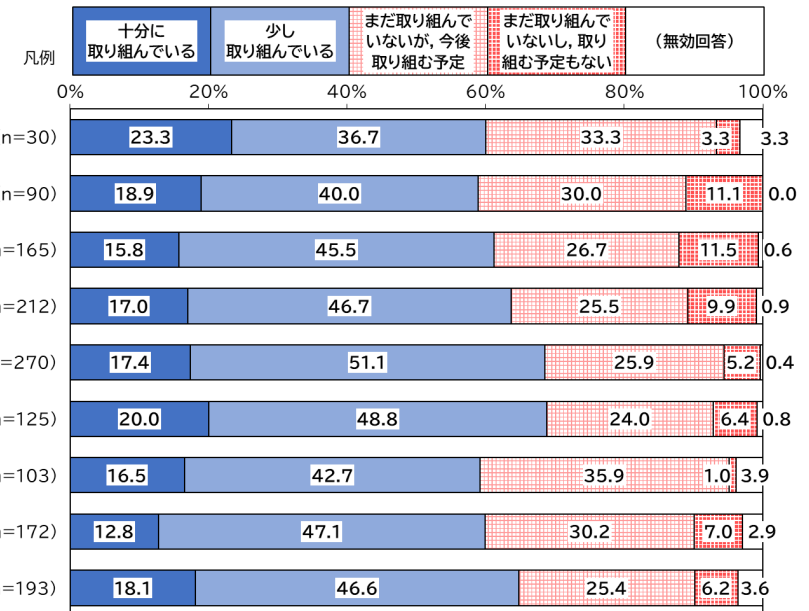
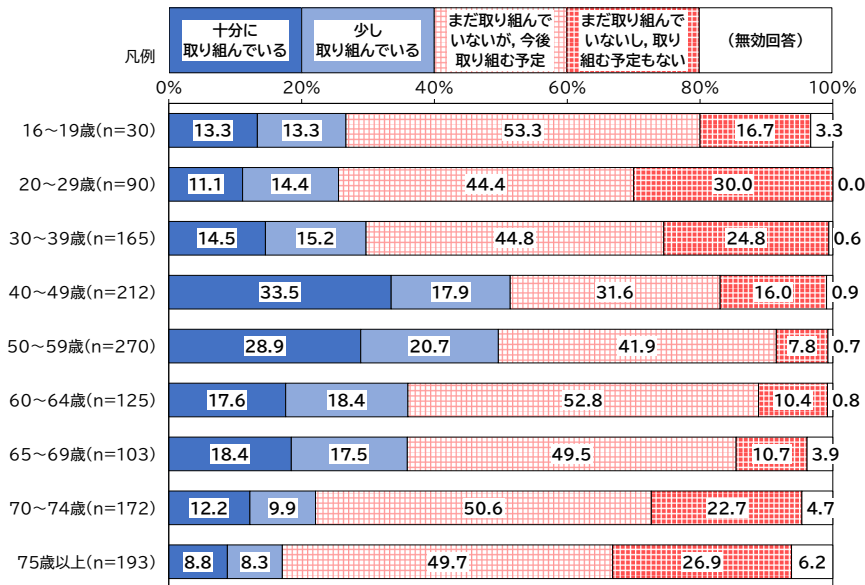
3 スマートフォン等で防災アプリを活用している

5 災害時に自宅から避難する場所（避難所、自宅の上層階、親族や友人・知人宅）をあらかじめ決めている

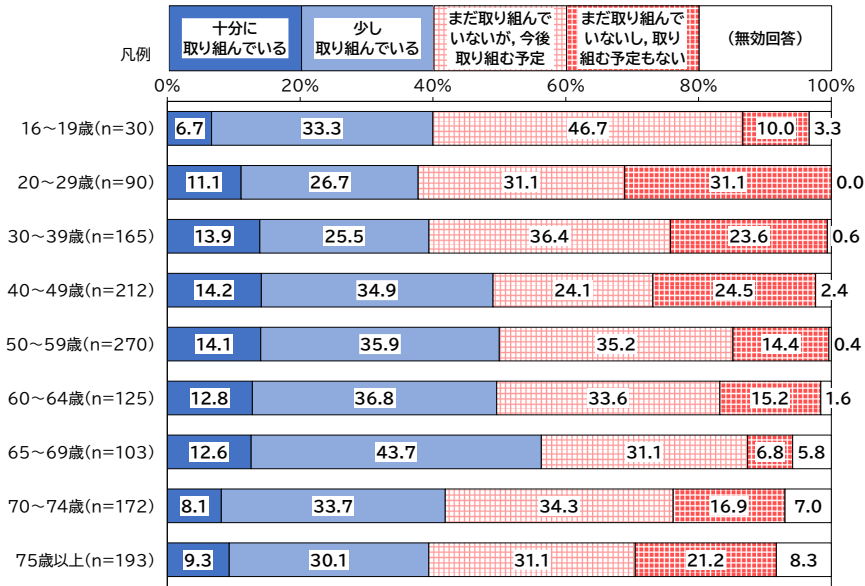


4 調布市防災・安全情報メールに登録している

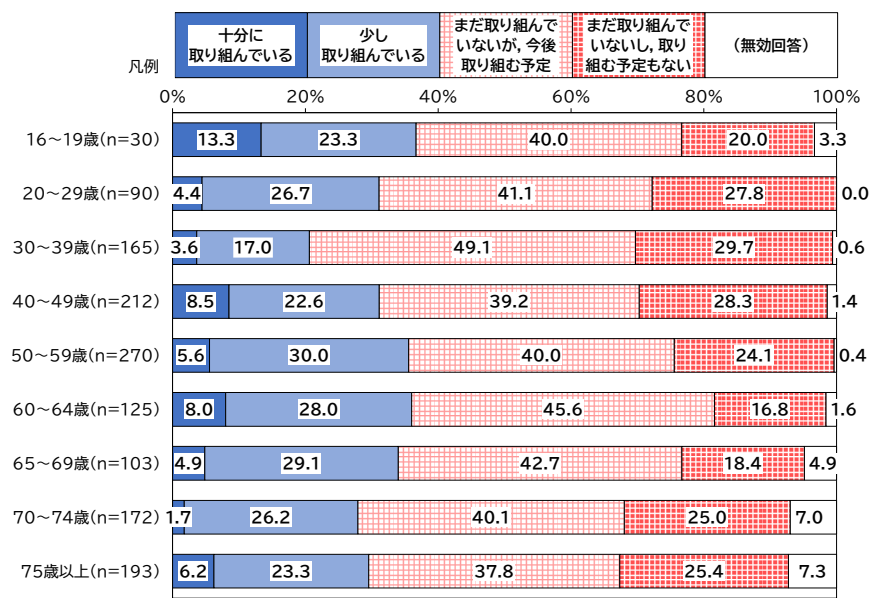
6 家具が倒れたり、移動したりしないよう固定している



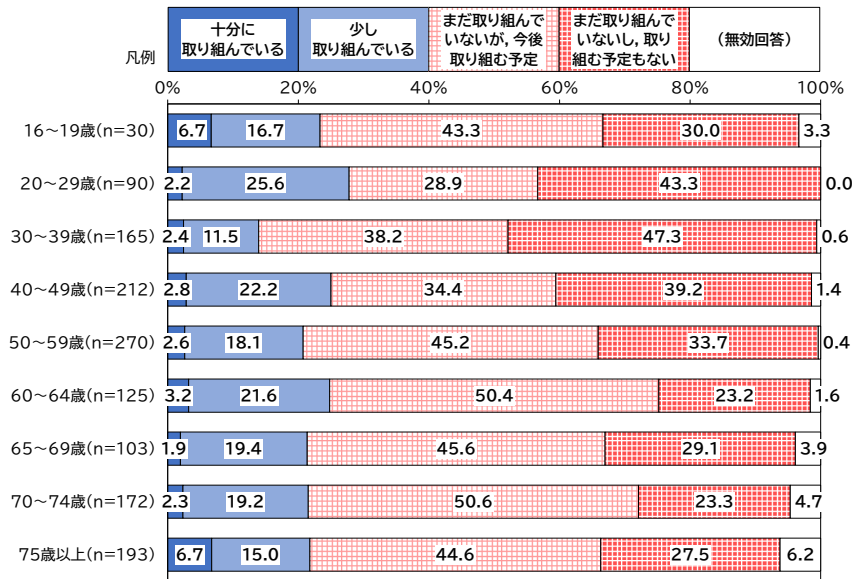
7 家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる



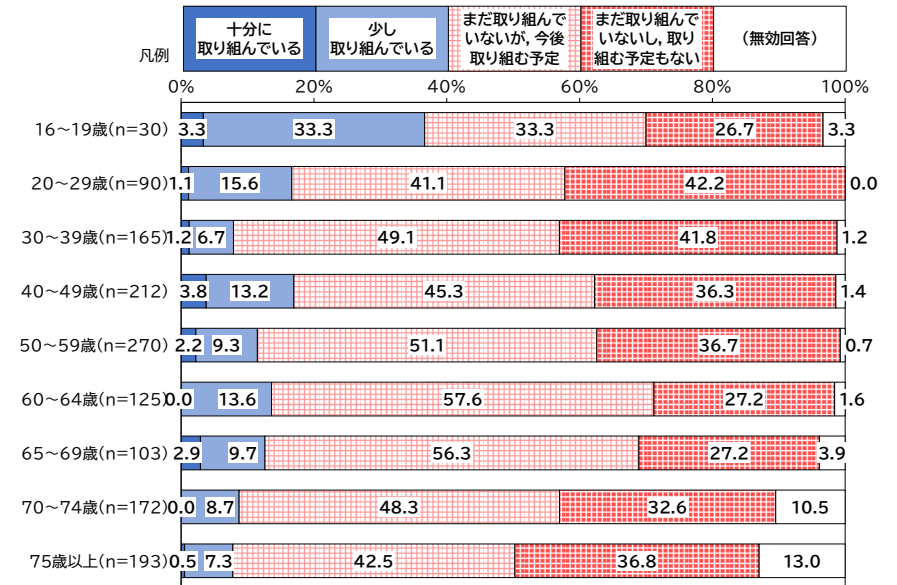
9 大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている



8 地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている

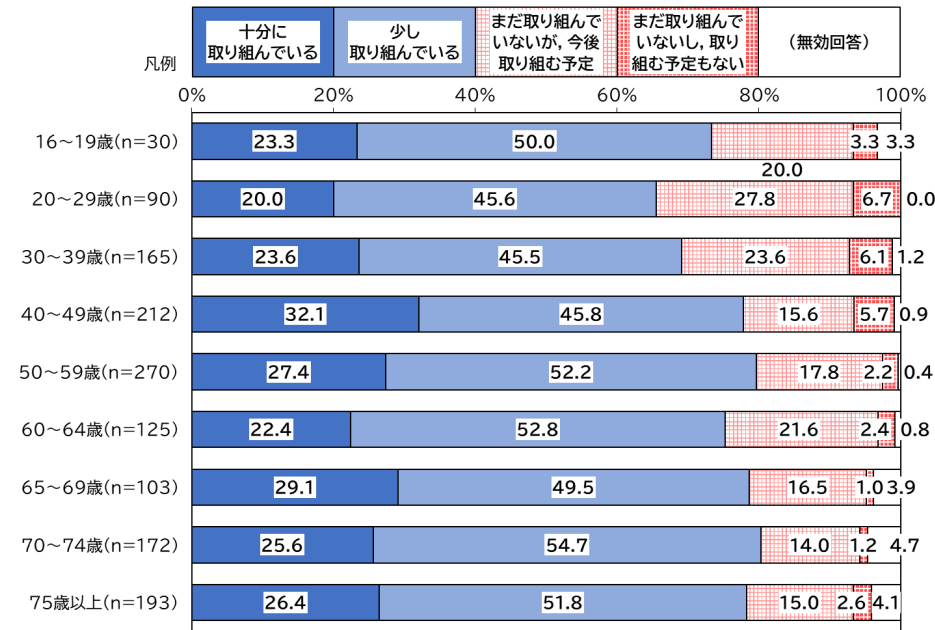


10 マイ・タイムライン※を作成している

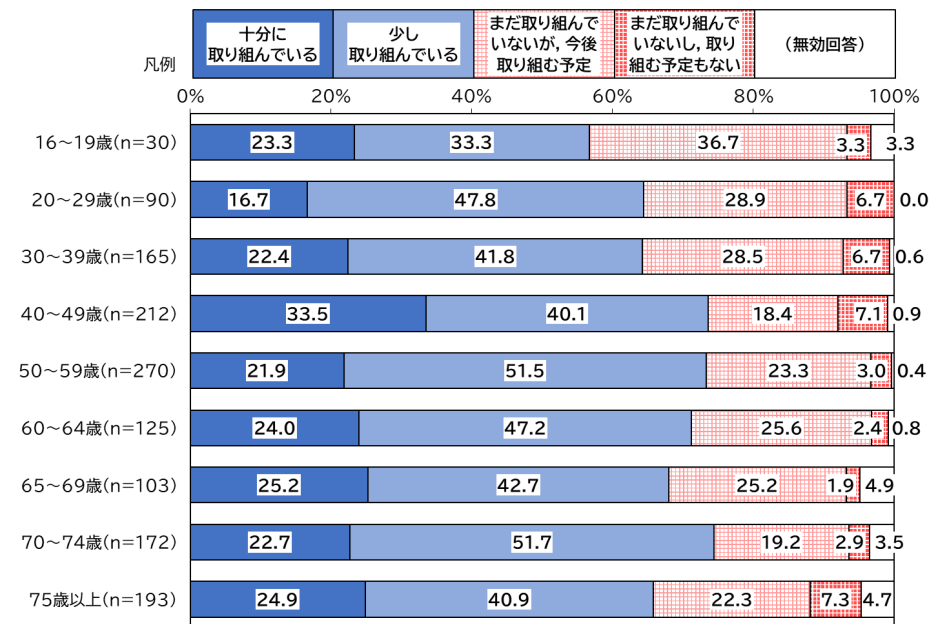


※マイ・タイムラインとは、台風や大雨の水害等、これから起きるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」、「誰が」、「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自分自身の防災行動計画のことです。

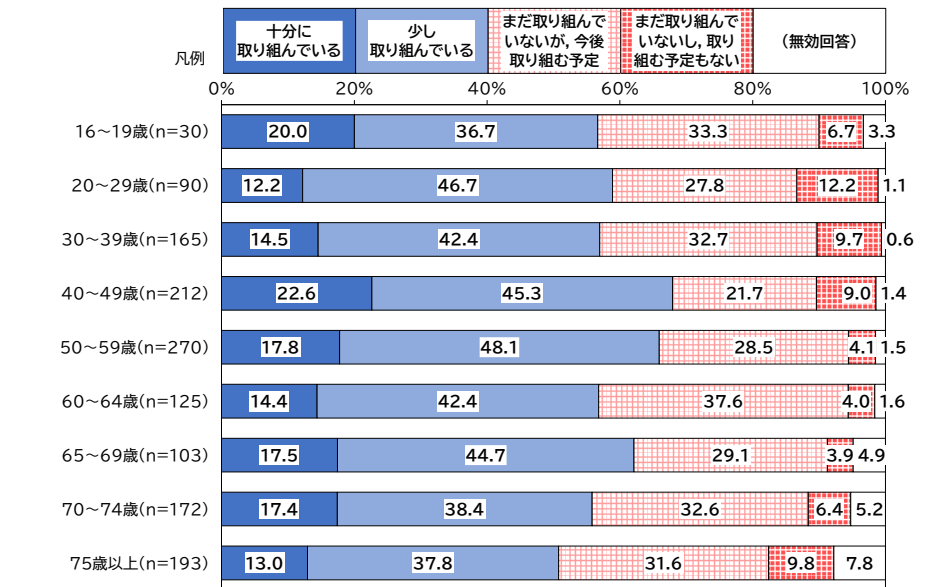
11 ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している



12 災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している

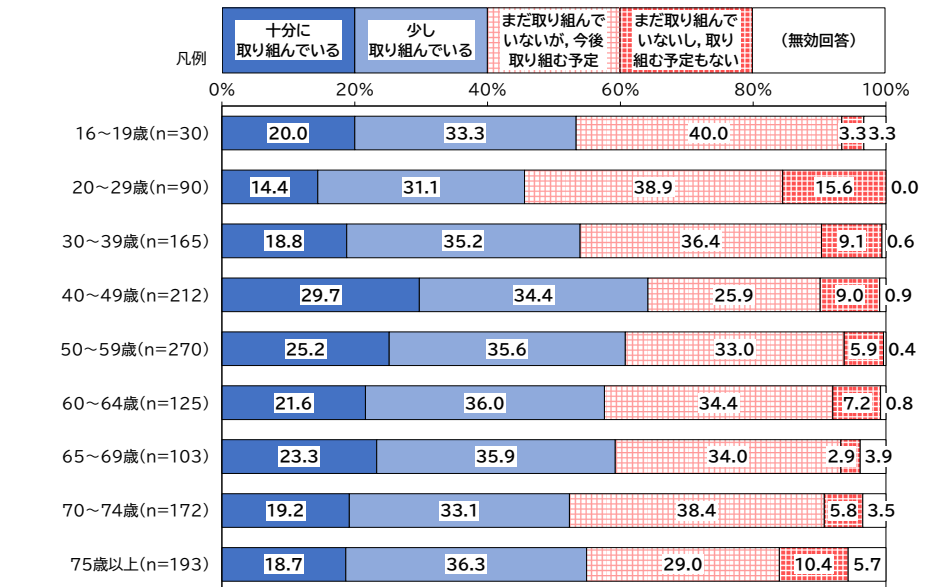


13 備蓄に当たり、ローリングストック※を実践している



※ローリングストックとは、普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充して、常に一定量の食品・日用品を備蓄することです。

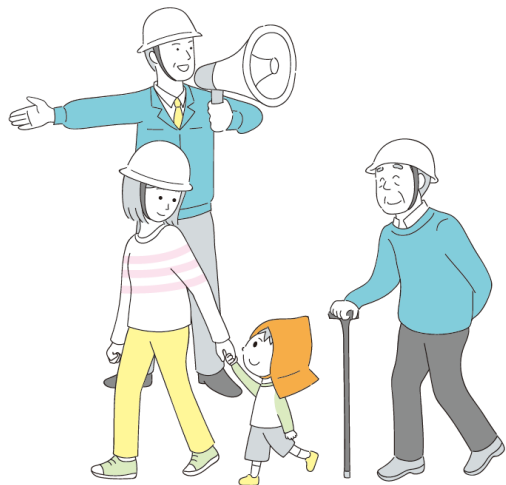
14 簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 防災対策についてのご意見・ご提案】(36件)

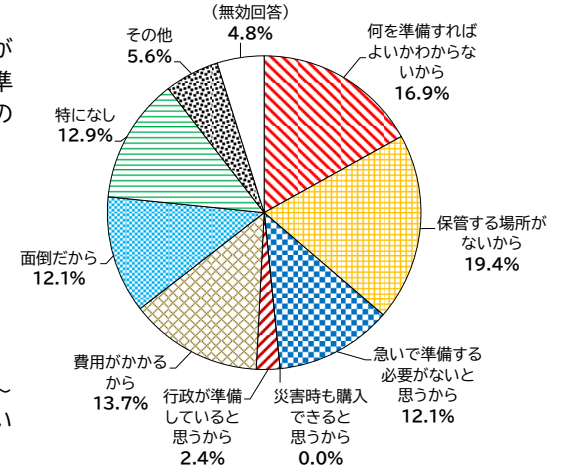
- ・防災も大事だが、いざ災害が起きた時の素早い対応を望む
- ・防災グッズの店の情報が欲しい
- ・避難所にペット同伴可能か明記してほしい。
- ・障害者は避難所には行きづらい。
- ・災害時の避難場所などを知るイベントを駅前で行うと良いと思います。ちょっとした災害グッズなどをその際に配ると集客でき、他の市から来た人も調布の災害対策に魅力を感じると思います。



問 14-1) 問 14 の「ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している」「災害時を意識して、水や食料品などを3日分以上備蓄している」「簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている」について、「まだ取り組んでいないし、取り組む予定もない」と回答した主な理由をお聞かせください。

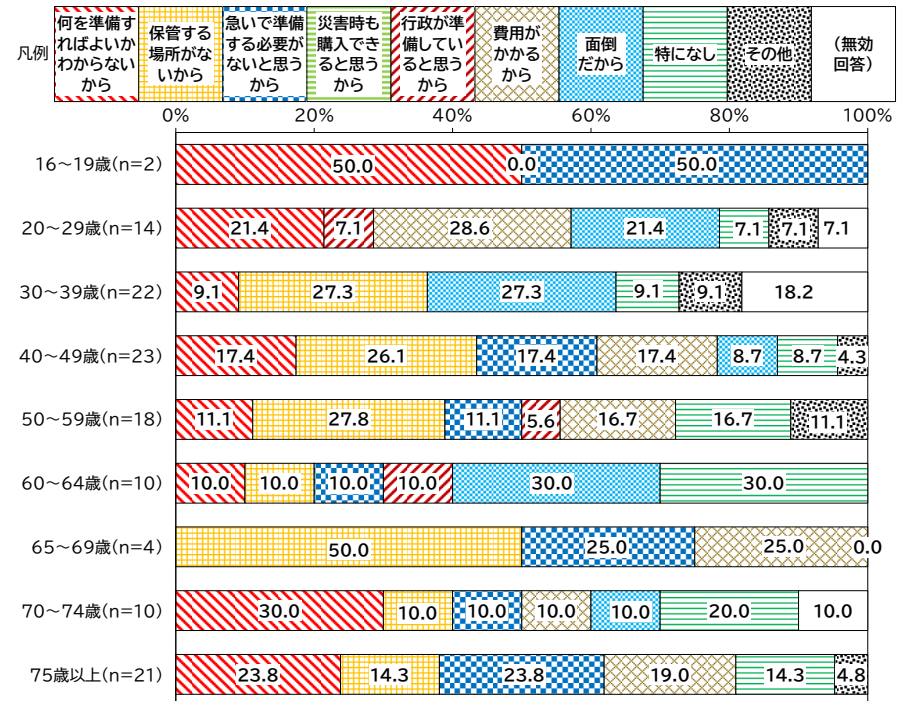
<全体 (n=124) >

○「保管する場所がないから」が19.4%で最も高く、次いで「何を準備すればよいかわからないから」の16.9%の順となっています。



<年齢層別>

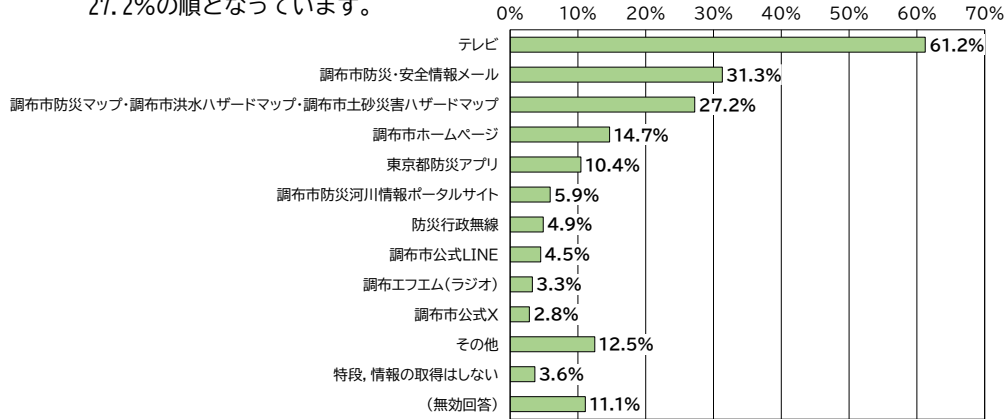
○「保管する場所がないから」は30～59歳、65～69歳で25%を超えています。



問 15) あなたは台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。

<全体 (n=1,370) >

○「テレビ」が61.2%で最も高く、次いで「調布市防災・安全情報メール」の31.3%、「調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ」の27.2%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、「テレビ」が最も高く、これに次ぐものとしては、59歳以下、65~69歳で「調布市防災・安全情報メール」、60~64歳、70歳以上で「調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ」となっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
調布市防災・安全情報メール	429	12	22	46	84	104	32	40	43	43
調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ・調布市土砂災害ハザードマップ	373	6	15	30	52	81	33	31	60	63
調布市防災河川情報ポータルサイト	81	2	4	4	16	23	6	9	6	10
調布市ホームページ	201	4	9	26	37	40	26	14	23	22
調布市公式X	39	1	10	11	10	5	1	0	0	1
調布市公式LINE	62	0	5	10	12	12	9	6	1	6
防災行政無線	67	1	3	3	8	10	3	7	15	16
テレビ	839	16	41	85	115	151	78	67	129	150
調布エフエム(ラジオ)	45	1	1	4	3	6	4	4	11	10
東京都防災アプリ	143	3	8	15	19	25	18	12	24	19
その他	171	4	18	38	45	30	12	6	10	7
特段、情報の取得はしない	50	1	5	10	7	8	4	0	3	12
(無効回答)	152	3	7	13	21	31	16	18	24	17

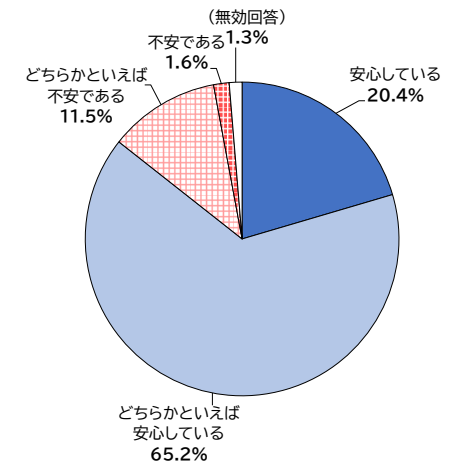
(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い: [濃い青]  
 回答割合が2番目に高い: [薄い青]

【防犯対策について】

問 16) あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。

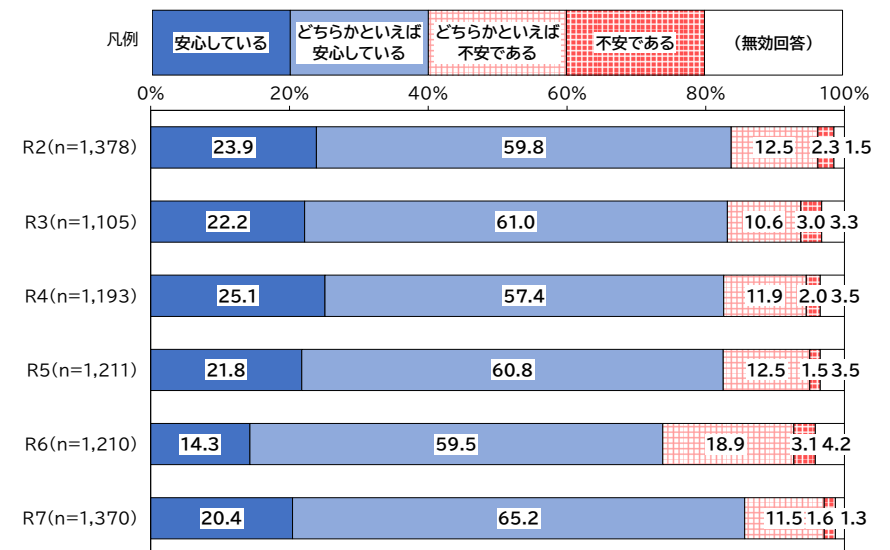
<全体 (n=1,370) >

○「安心している」は20.4%、「どちらかといえば安心している」は65.2%であり、合計85.6%を占めています。



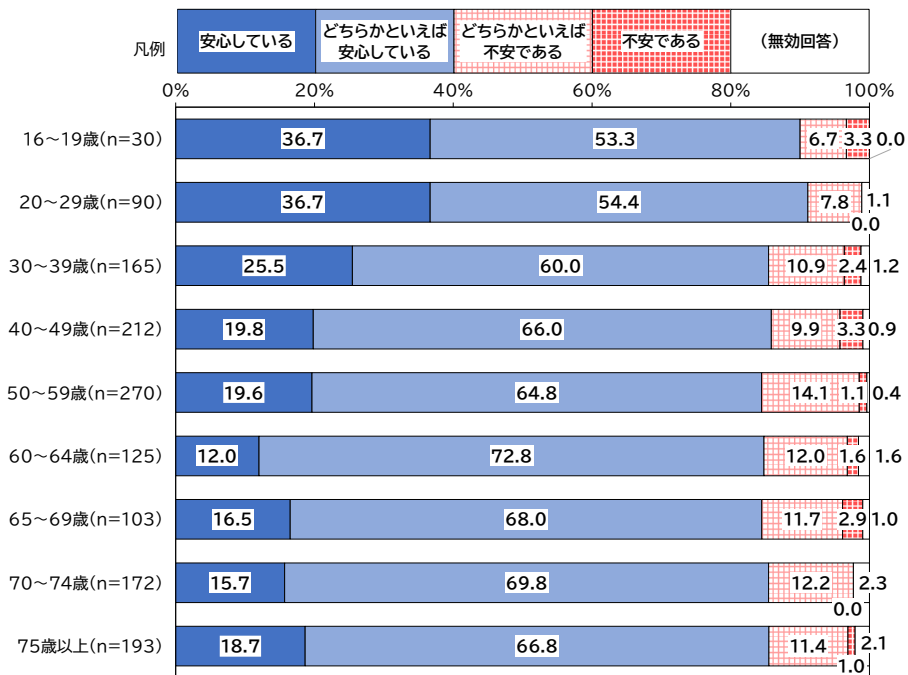
<経年比較>

○「安心している」、「どちらかといえば安心している」の合計(85.6%)は、令和6年度(73.8%)に比べ11.8ポイント増加しています。  
 ○「不安である」、「どちらかといえば不安である」の合計(13.1%)は、令和6年度(22.0%)に比べ8.9ポイント減少しています。



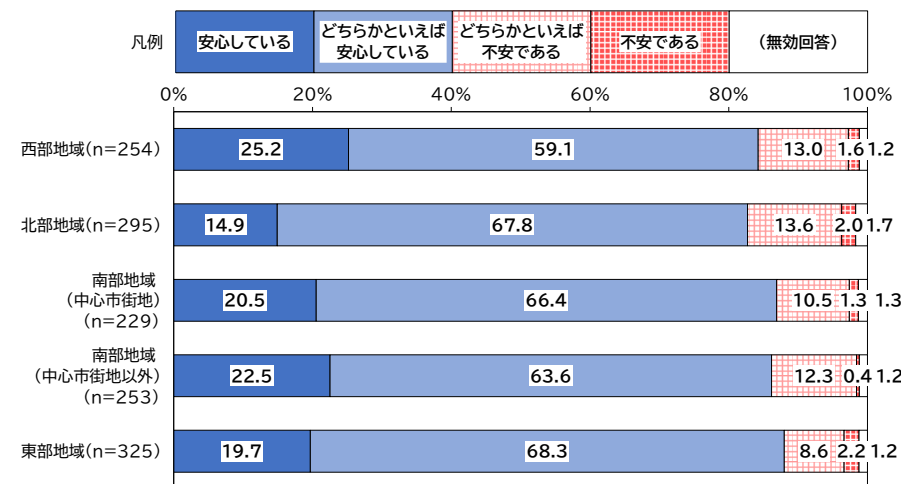
<年齢層別>

○全ての年齢層で「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が80%を超えています。



<地域別>

○全ての地域で、「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計が80%を超えています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

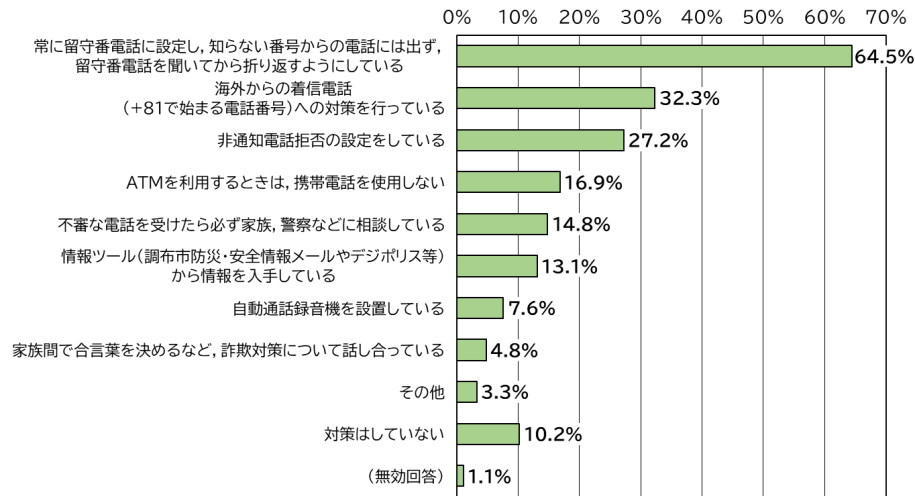
【図表 住んでいる地域が安心, または不安と感じる理由】(302件)

「安心している」 「どちらかといえば安心している」	「不安である」 「どちらかといえば不安である」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・パトロールカーが時折パトロールしている。集合宅での声かけ, 管理体制。</li> <li>・以前振り込みサギにあいそうになった際, コンビニ店員さんに助けられたので。</li> <li>・まわりの家の人とのつながりを持ち, いざという時に協力できるようにしている。</li> <li>・壁にらくがきがなく, 公園の植込みも定期的に刈られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・街灯が暗いのが非常に不安を感じる。</li> <li>・駅前の深夜時間における治安の悪さ。</li> <li>・近くに交番がない。</li> <li>・交流が少ない。</li> <li>・不審者情報をよく耳にする。強盗事件もあり不安に感じている。</li> </ul>

問17) あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺\*被害等防止のためにどのような対策をしていますか。

<全体 (n=1,370) >

○特殊詐欺への対策は、「常に留守番電話に設定し、知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている」が64.5%で最も高く、次いで「海外からの着信電話（+81で始まる電話番号）への対策を行っている」の32.3%、「非通知電話拒否の設定をしている」の27.2%の順となっています。



※「特殊詐欺」とは、親族や公共機関の職員等を名乗り、現金をだまし取ったり、還付金が受け取れるなどと言って、犯人の口座に振り込ませる犯罪のことです。

<年齢層別>

○全ての年齢層で、「常に留守番電話に設定し、知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている」が最も高くなっています。また、10歳代で「不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談している」、30～39歳、75歳以上で「非通知電話拒否の設定をしている」が2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
常に留守番電話に設定し、知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている	883	18	42	79	128	199	85	72	127	126
海外からの着信電話（+81で始まる電話番号）への対策を行っている	443	6	31	42	77	87	47	36	61	51
自動通話録音機を設置している	104	2	1	6	5	21	9	11	19	30
非通知電話拒否の設定をしている	373	3	15	43	54	82	36	26	55	57
不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談している	203	8	16	17	22	26	23	14	31	44
ATMを利用するときは、携帯電話を使用しない	231	3	10	16	20	40	20	26	41	53
家族間で合言葉を決めるなど、詐欺対策について話し合っている	66	2	5	8	6	9	4	11	12	8
情報ツール（調布市防災・安全情報メールやデジボリス等）から情報を入手している	180	3	8	11	32	34	17	18	29	25
自動通話録音機を設置している	104	2	1	6	5	21	9	11	19	30
その他	45	1	4	6	2	8	3	2	11	8
対策はしていない	140	5	16	37	33	14	6	2	9	18
（無効回答）	15	0	1	2	1	1	3	0	3	3

（上段：実数（人）、下段：構成比）  
 回答割合が最も高い：  回答割合が2番目に高い：

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 防犯対策についてのご意見・ご提案】（79件）

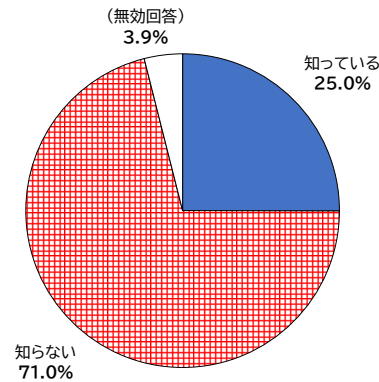
- ・登録以外の電話は出ない。
- ・防犯対策はエンドレスで啓発活動を続けていって欲しい。
- ・防犯カメラ設置の促進。個人宅設置の費用助成や公費による公道への設置。
- ・通学路の街灯を増やしてほしい。
- ・パトロールを増やしてほしい。
- ・強化しすぎとか、行きすぎは人権にかかわるので注意が必要かと（民間にせよ、公的にせよ、スマホにせよ）。

【各種相談について】

問18) あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。

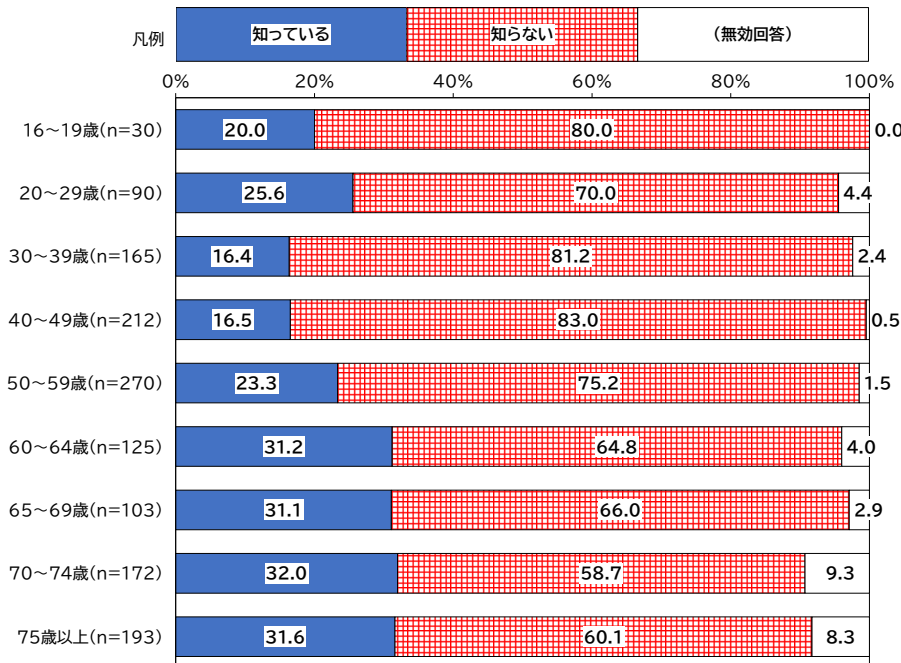
<全体 (n=1,370) >

○「知っている」は25.0%であり、「知らない」の71.0%を大きく下回っています。



<年齢層別>

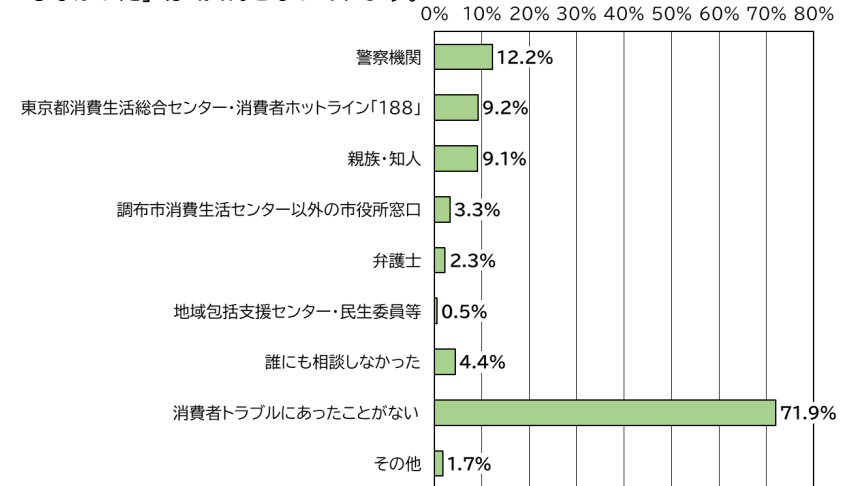
○60歳以上で、「知っている」が30%を超えています。



問18-1) 問18で「知らない」と回答した方にうかがいます。消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。

<全体 (n=973) >

○相談相手としては「警察機関」が12.2%で最も高く、次いで「東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」」の9.2%の順となっています。なお、「誰にも相談しなかった」は4.4%となっています。



<年齢層別>

○20~39歳, 65~69歳で「誰にも相談しなかった」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	973	24	63	134	176	203	81	68	101	116
調布市消費生活センター以外の市役所窓口	32	0	0	6	4	4	2	2	7	7
東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」	90	3	1	9	17	25	6	9	10	9
警察機関	119	0	4	11	14	24	18	7	18	22
親族・知人	89	3	6	10	11	26	6	3	13	10
弁護士	22	0	0	1	5	5	3	1	4	3
地域包括支援センター・民生委員等	5	0	0	1	0	1	2	0	0	1
誰にも相談しなかった	43	0	4	11	7	8	2	7	2	2
消費者トラブルにあったことがない	700	19	51	95	135	140	52	48	72	83
その他	17	1	1	3	4	4	0	1	1	2
(無効回答)	16	0	1	3	3	1	2	0	4	2

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [警察機関] 回答割合が2番目に高い: [消費者トラブルにあったことがない]

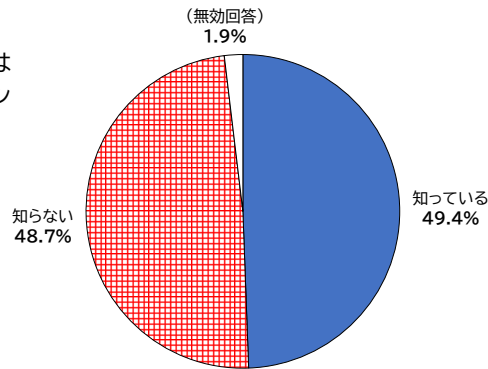
【地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について】

問 19) あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。

地域包括支援センター

<全体 (n=1,370)>

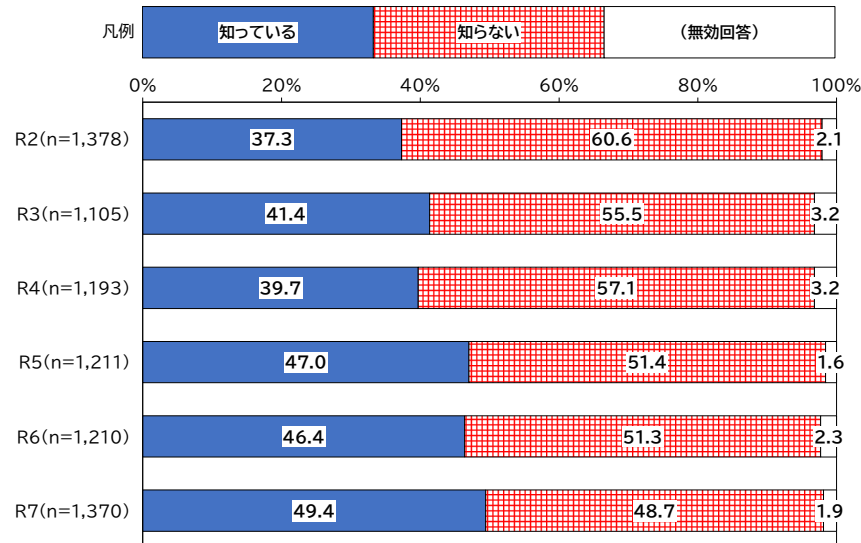
○「知っている」は49.4%、「知らない」は48.7%であり、前者が後者を0.7ポイント上回っています。



※地域包括支援センターは、市内8箇所・サブセンター2箇所です。高齢者に関する様々な相談のほか、介護予防ケアマネジメント業務、成年後見制度の利用手続や高齢者虐待に関する相談などの権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行っています。

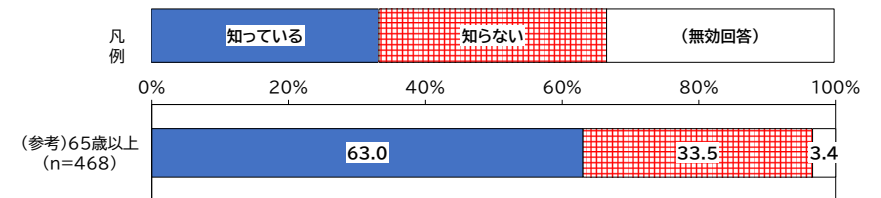
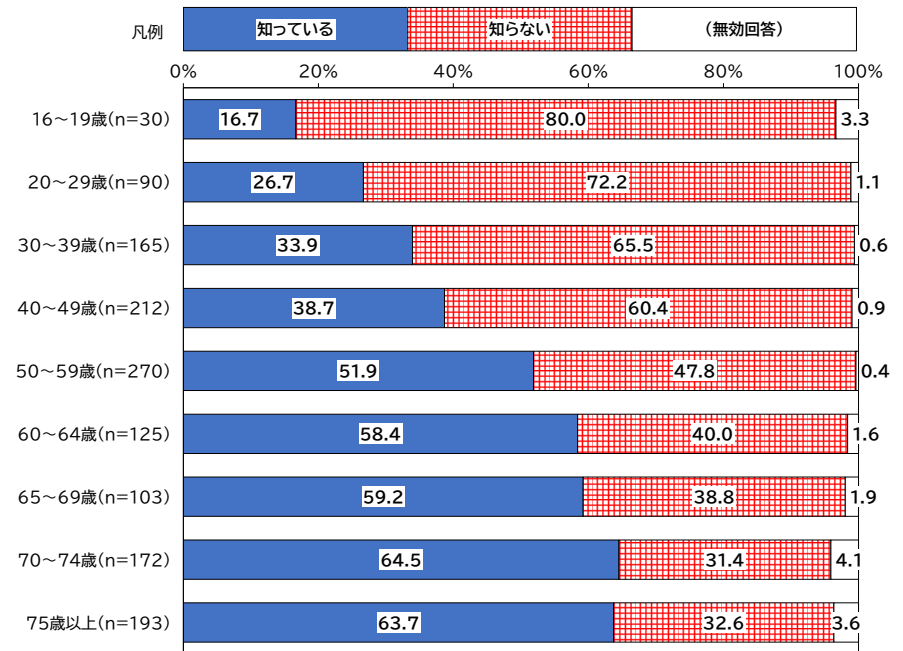
<経年比較>

○「知っている」(49.4%)は、令和6年度(46.4%)に比べ3.0ポイント増加しています。



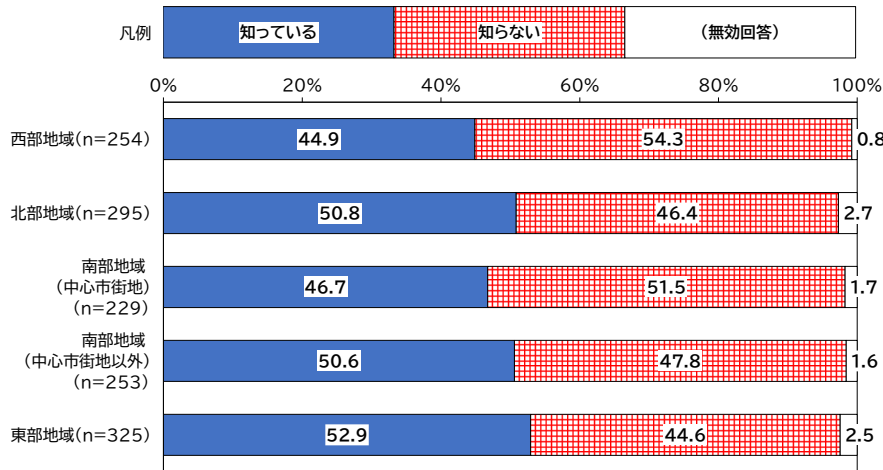
<年齢層別>

○「知っている」はおおむね年齢が上がるにつれて高くなる傾向にあり、50歳以上では50%を超えています。



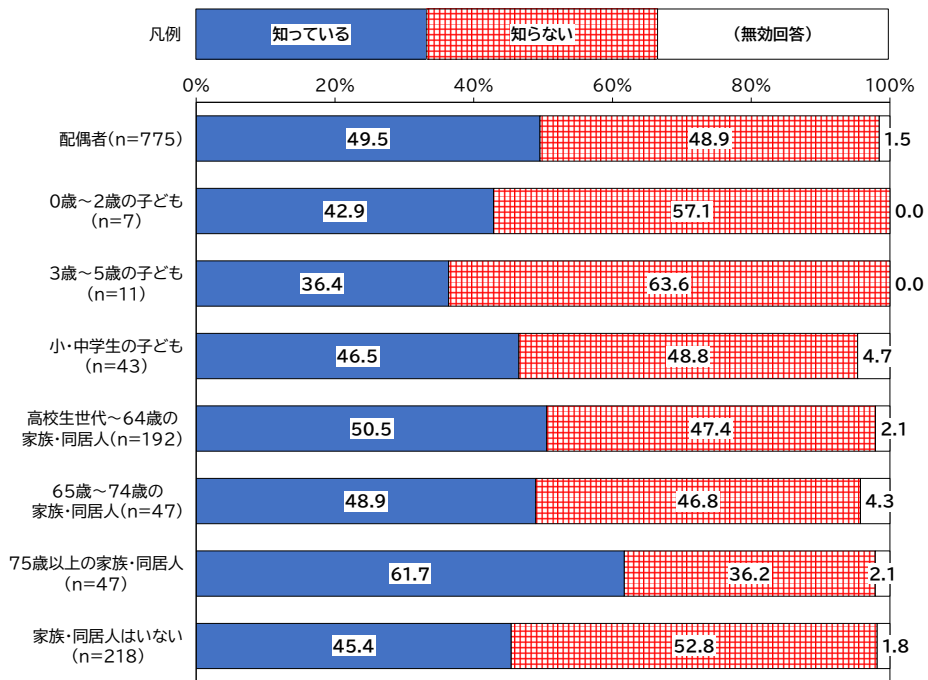
<地域別>

○「知っている」は、北部地域、南部地域（中心市街地以外）、東部地域で50%を超えています。



<同居人別>

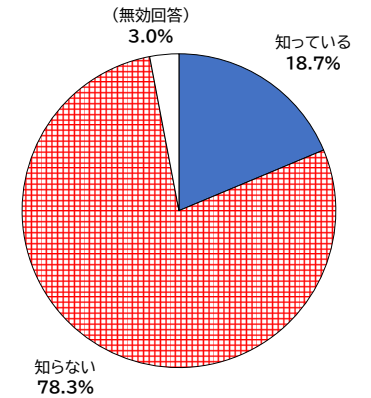
○「高校生世代～64歳の家族・同居人」、「75歳以上の家族・同居人」で「知っている」が50%を超えています。



地域福祉コーディネーター

<全体(n=1,370)>

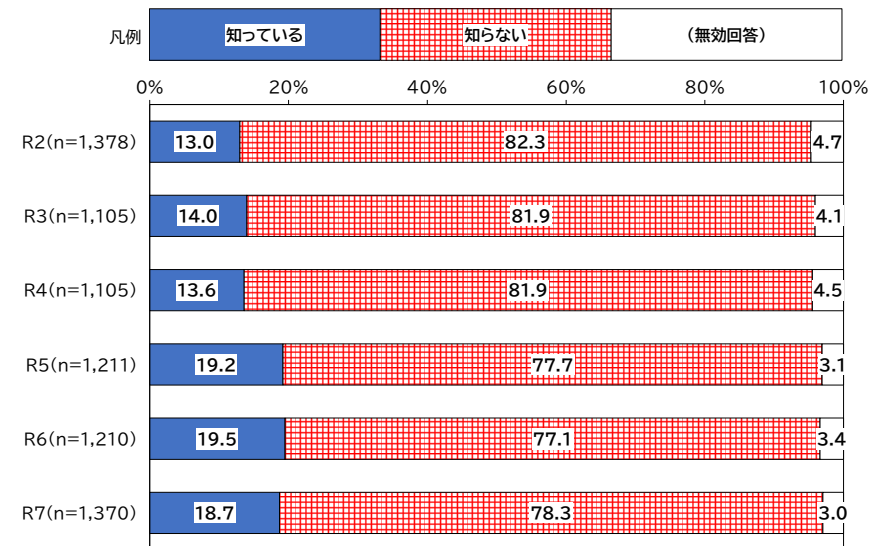
○「知っている」は18.7%であり、「知らない」の78.3%を大きく下回っています。



※地域福祉コーディネーターは、市内を8つに分けた福祉圏域にそれぞれ1人を配置し、既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方、制度の狭間で困っている方などに対し、地域の生活課題の解決に向けた相談・支援を行っています。

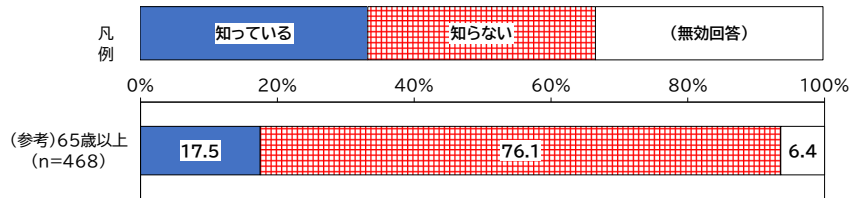
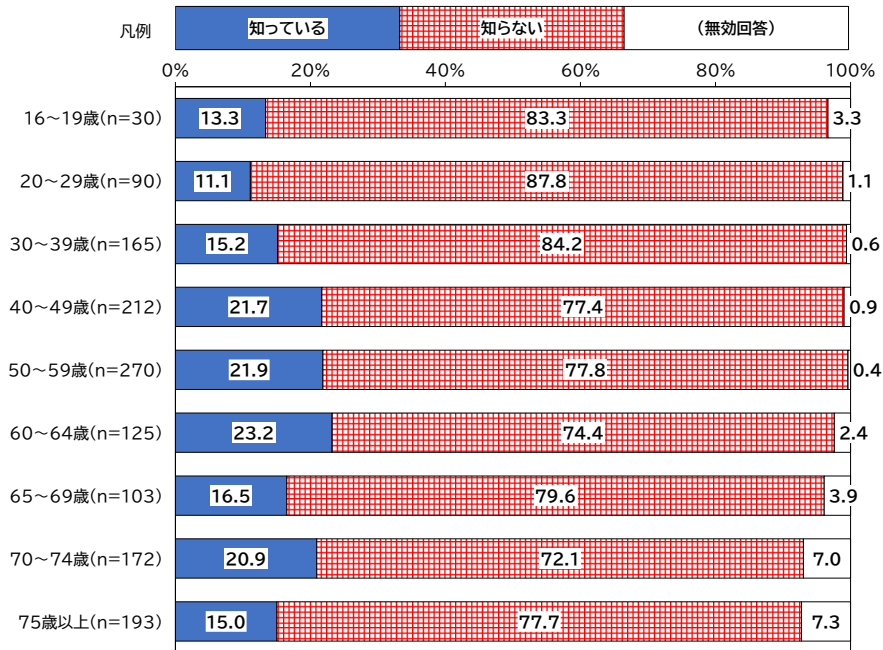
<経年比較>

○「知っている」(18.7%)は、令和6年度(19.5%)に比べ0.8ポイント減少しています。



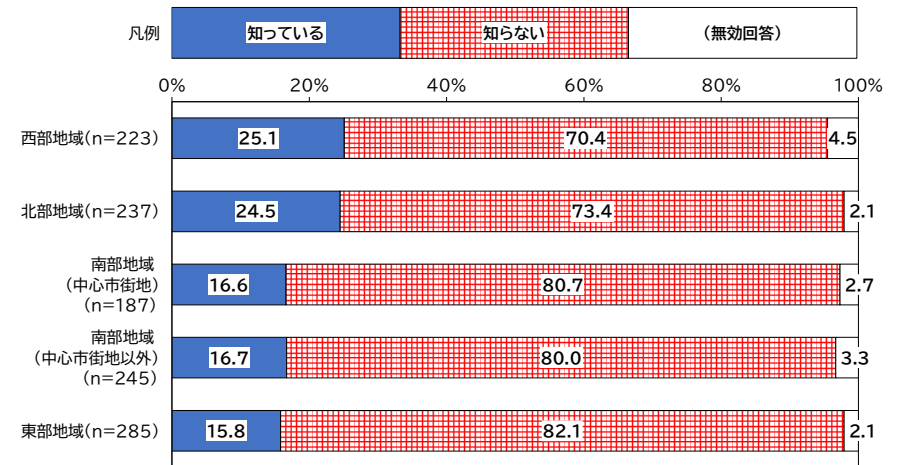
<年齢層別>

○「知っている」は、40～64歳、70～74歳で20%を超えています。



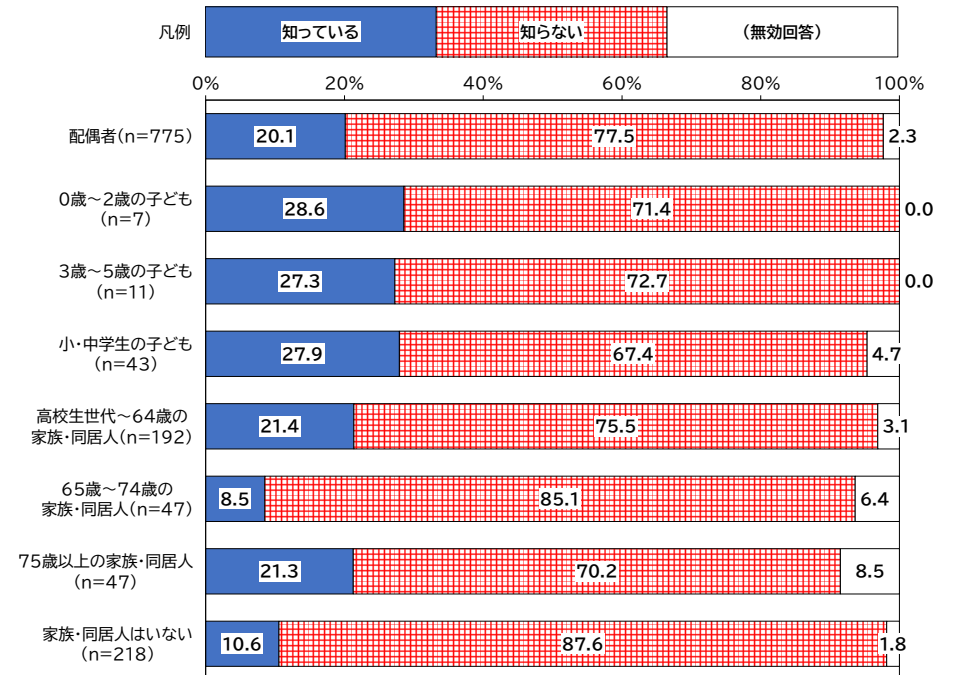
<地域別>

○「知っている」は、西部地域、北部地域で20%を超え、他の地域と比較して高くなっています。



<同居人別>

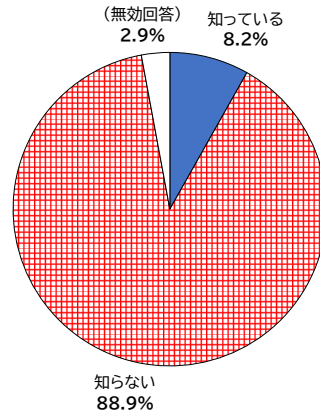
○「0歳～2歳の子ども」で「知っている」が28.6%と最も高くなっています。



地域支え合い推進員

<全体 (n=1,370) >

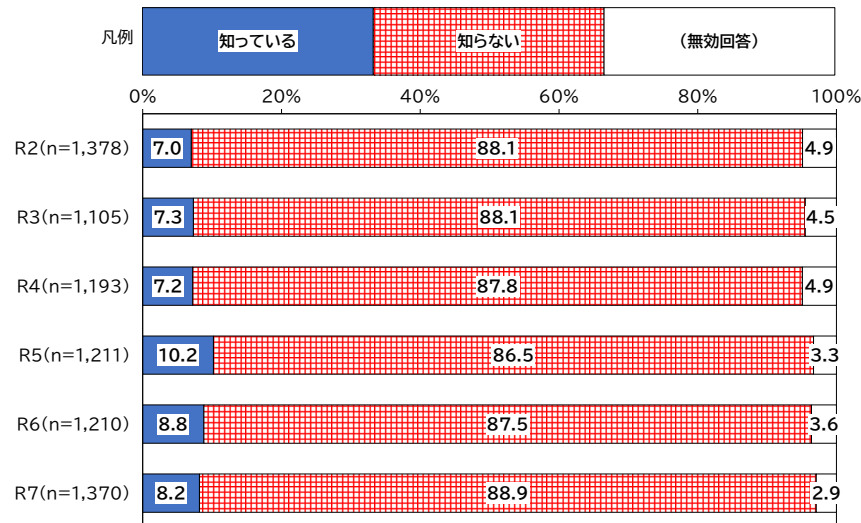
○「知っている」は 8.2%、「知らない」は 88.9%  
であり、後者が前者を大きく上回っています。



※地域支え合い推進員は、市全域を活動エリアとする推進員に加え、市内を8つに分けた福祉圏域に段階的に配置を進めています。介護予防や交流を目的とした活動に関する相談等に応じるなど、高齢者等が地域の中で安全・安心に暮らしていけるよう、生活支援・介護予防サービスの充実や強化に取り組んでいます。

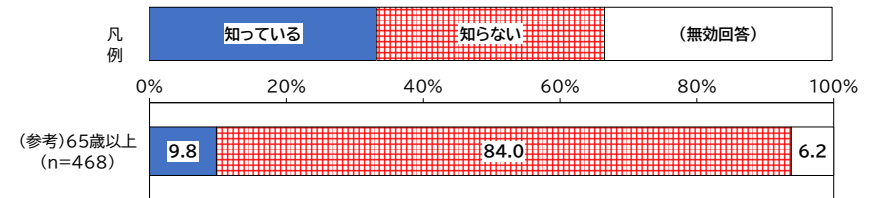
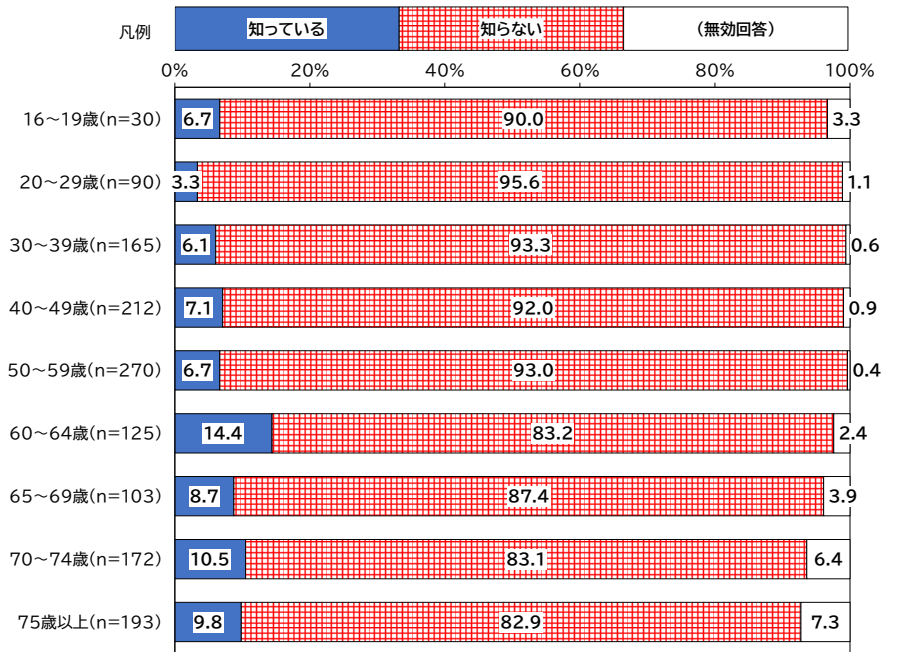
<経年比較>

○「知っている」(8.2%)は、令和6年度(8.8%)に比べ0.6ポイント減少しています。



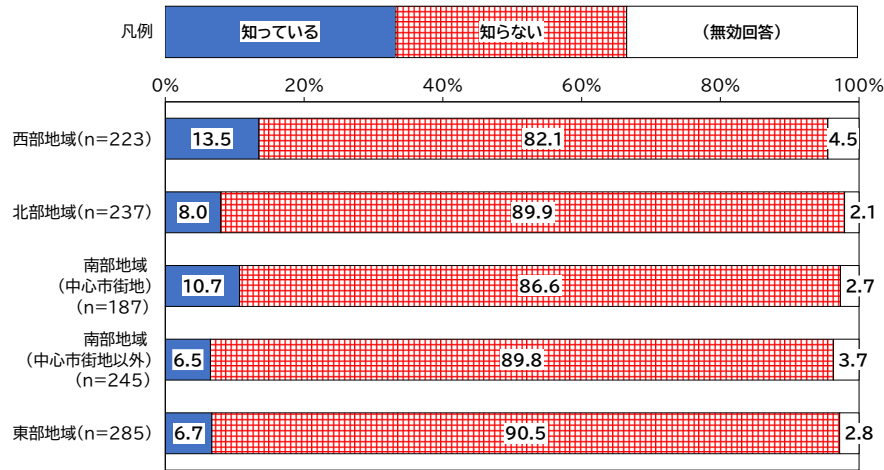
<年齢層別>

○「知っている」は最も高い60~64歳でも14.4%にとどまっており、59歳以下では「知らない」が90%を超えています。



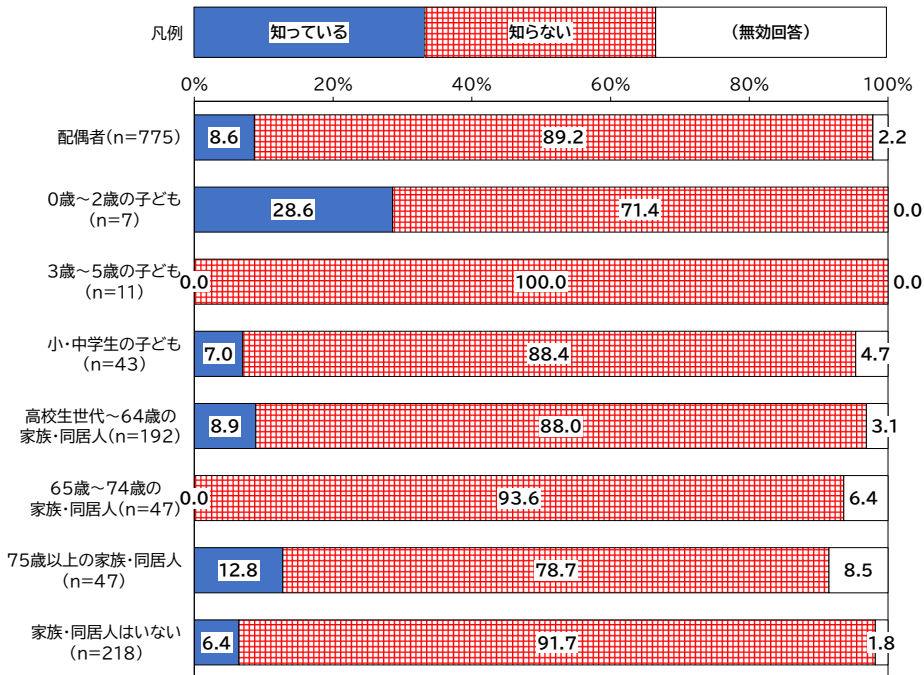
<地域別>

○「知っている」は、西部地域、南部地域（中心市街地）で 10%を超えています。他の地域は 10%未満にとどまっています。



<同居人別>

○「知っている」は最も高い「0~2歳の子ども」で 28.6%となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 地域福祉、高齢者・障害者福祉についてのご意見・ご提案】(62件)

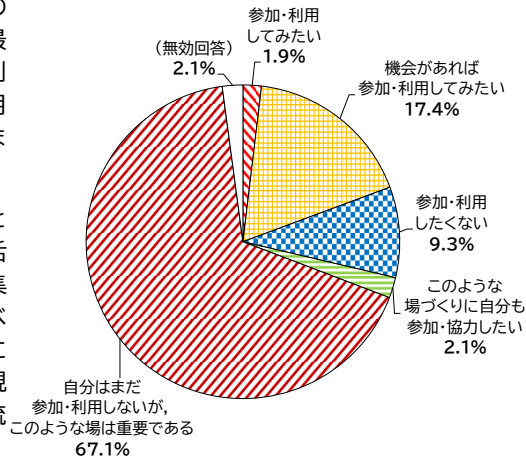
- ・利用できる制度などがよく分からない。
- ・地域支援センターがあることは知っているが、住んでいる地域によって、管轄外で、近くにあるながら遠方に行かなければならない。地域の見直しが必要。(融通性が必要です。相互に利用できるように)
- ・地域と交流のある人だけの集まりになってしまうのが残念
- ・コーディネーター、推進員は、このアンケートで初めて知った。何が違うのか市報に取り上げてほしい。

問20) あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン※」など）についてどのように感じますか。

<全体 (n=1,370) >

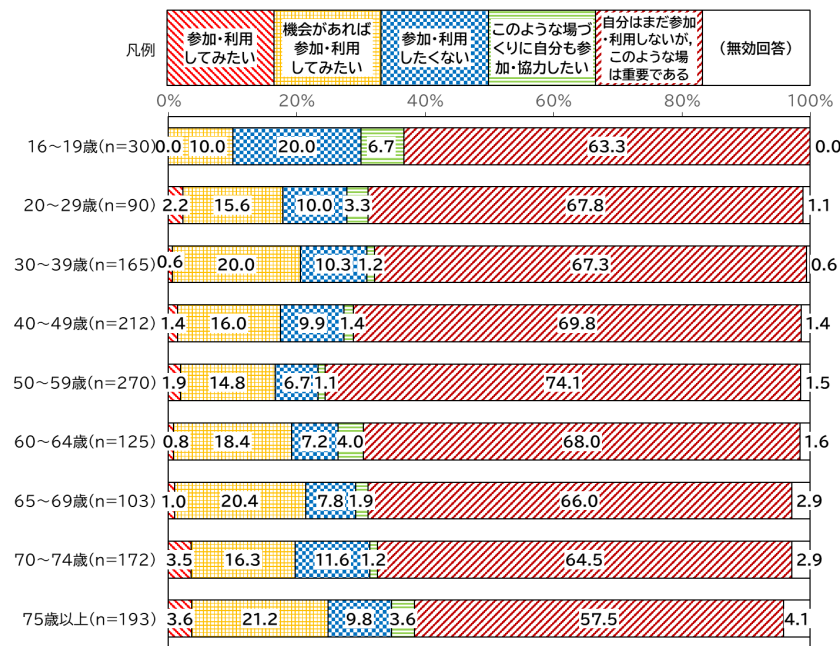
○「自分はまだ参加・利用しないが、このような場は重要である」が67.1%で最も高く、次いで「機会があれば参加・利用してみたい」の17.4%、「参加・利用したくない」の9.3%の順となっています。

※「ひだまりサロン」とは、市民が主体となり、自宅や公共施設等のスペースを活用して、ご近所同士など市民が気軽に集い、お茶やお食事をしながら、おしゃべりや趣味活動などを行う場です。市内にはひだまりサロン（令和7年8月1日現在 91箇所）をはじめとした様々な交流活動の場があります。



<年齢層別>

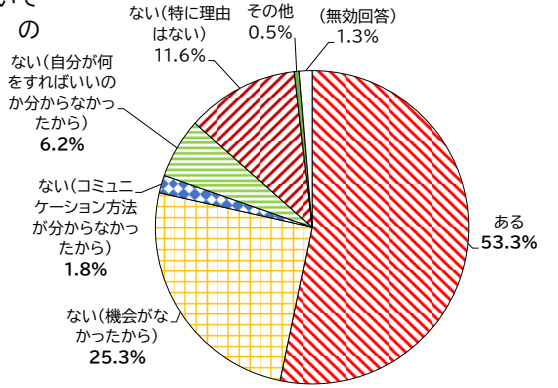
○「参加・利用してみたい」と「機会があれば参加・利用してみたい」の合計は、30～39歳、65～69歳、75歳以上で20%を超えています。



問21) あなたは、障害がある人と会話したり手助けした経験がありますか。

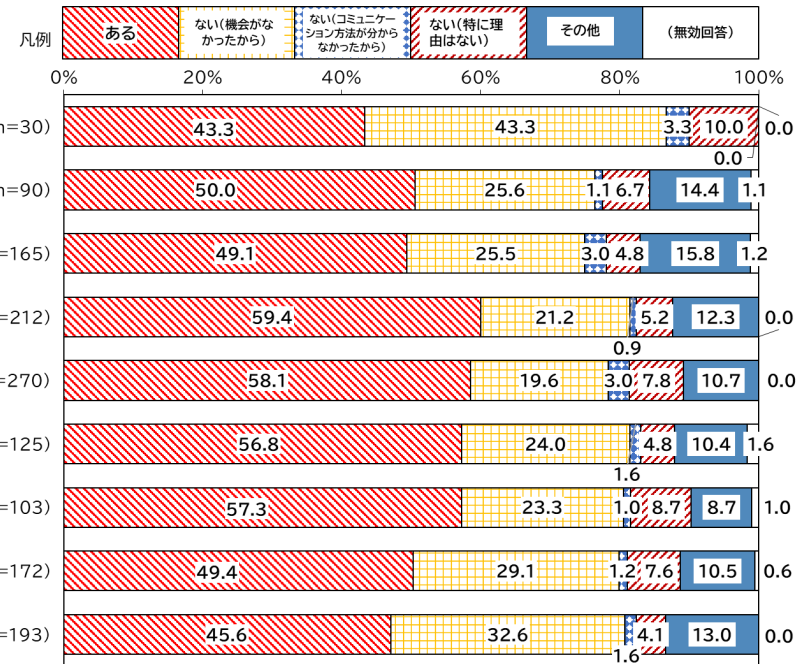
<全体 (n=1,370) >

○「ある」は53.3%で最も高く、次いで「ない（機会がなかったから）」の25.3%の順となっています。



<年齢層別>

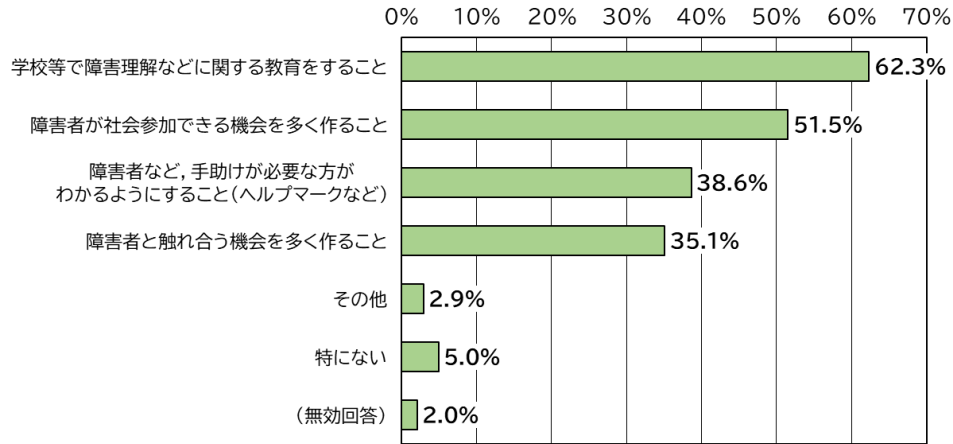
○20～29歳、40～69歳で、「ある」が過半数となっています。「ない」理由としては、全ての年齢層で、「機会がなかったから」が最も高くなっています。



問 22) 共生社会の充実を図り、障害があっても住みやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。

<全体 (n=1,370) >

○「学校等で障害理解などに関する教育をすること」が 62.3%で最も高く、次いで「障害者が社会参加できる機会を多く作ること」の 51.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれも「学校等で障害理解などに関する教育をすること」が最も高くなっており、次いで「障害者が社会参加できる機会を多く作ること」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
学校等で障害理解などに関する教育をすること	854	22	61	105	139	180	81	56	90	113
障害者が社会参加できる機会を多く作ること	706	10	39	73	105	155	63	55	90	112
障害者など、手助けが必要な方がわかるようにすること(ヘルプマークなど)	481	4	24	43	67	107	48	37	69	77
障害者と触れ合う機会を多く作ること	529	6	29	59	70	101	54	36	80	88
特にない	40	3	3	11	4	7	4	3	3	2
その他	68	2	8	12	9	8	6	7	12	4
(無効回答)	28	0	1	1	2	2	2	3	7	8

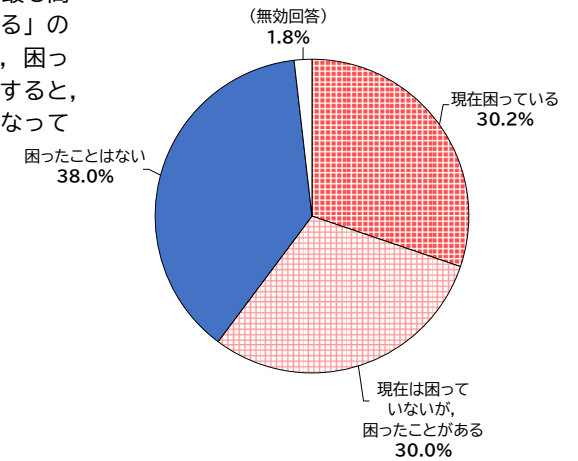
(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

【生活支援について】

問 23) あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。

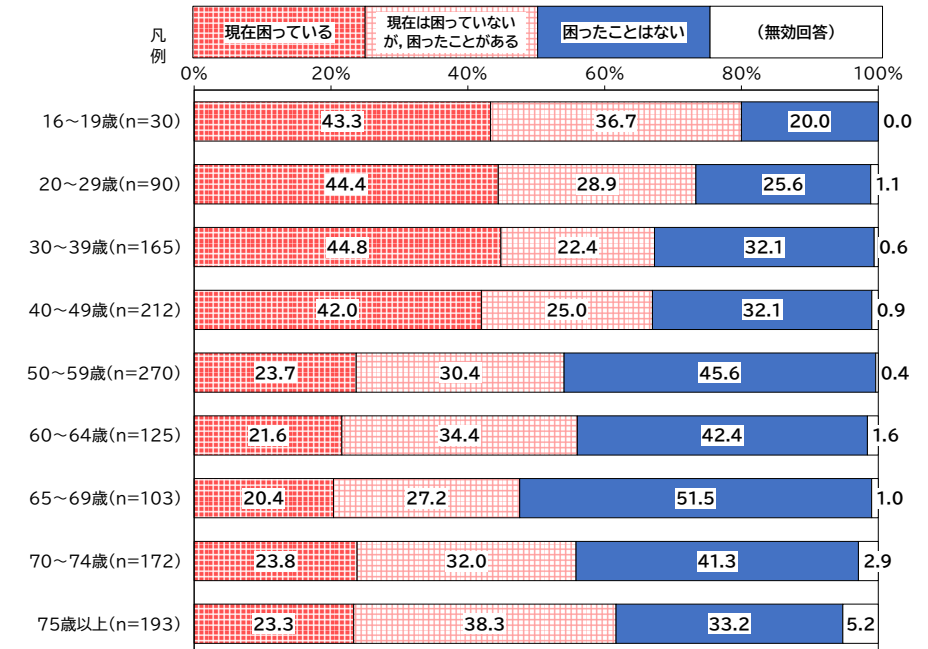
<全体 (n=1,370) >

○「困ったことはない」が 38.0%で最も高くなっています。「現在困っている」の 30.2%、「現在は困っていないが、困ったことがある」の 30.0%を合計すると、困った経験がある人は 60.2%となっています。



<年齢層別>

○「現在困っている」はおおむね年齢が下がるにつれて高くなる傾向にあり、49歳以下では40%を超えています。また、「現在困っている」と「現在は困っていないが、困ったことがある」の合計は、29歳以下で70%を超えています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 物価高騰に対する生活支援に関することについてのご意見・ご提案】(169件)

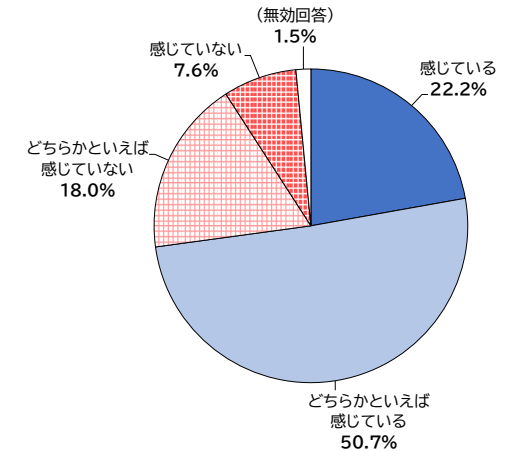
- ・本当に困っている人に行き渡るようにしてほしい。
- ・便乗値上げは規制して欲しい。
- ・年金が、そんなに上がらないのに物価が上がりすぎる。
- ・子育てしている世帯に特定して低所得者へ金銭的な補助を行う。
- ・他の市のようにpay pay還元や、お得な買い物券などやってほしい。
- ・支援ではなく、国民1人1人が生産性を上げるべき。有能な経営者を育てる必要がある。物価高騰は賃金が増えれば問題ないはず。

【健康づくりについて】

問 24) あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。

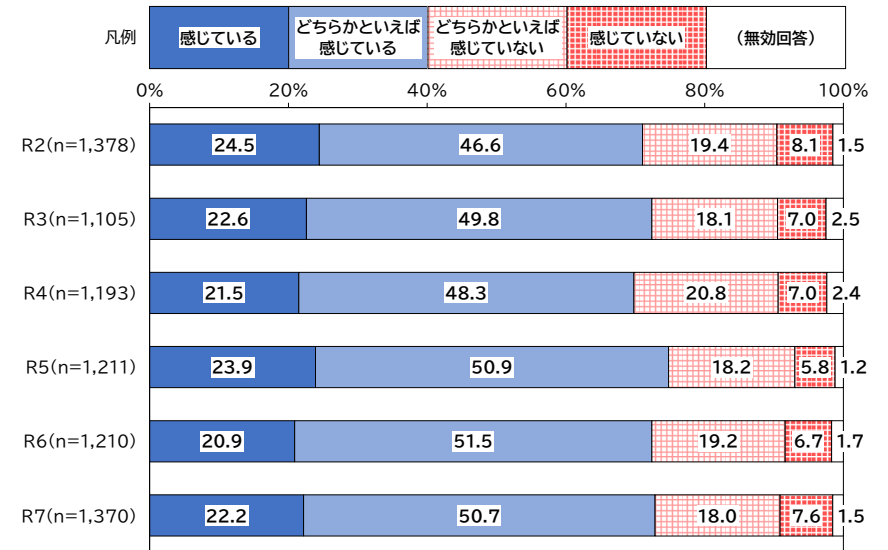
<全体 (n=1,370) >

- 心身ともに健康だと「感じている」は22.2%、「どちらかといえば感じている」は50.7%であり、合計で72.9%を占めています。
- 一方、「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計は25.6%となっています。



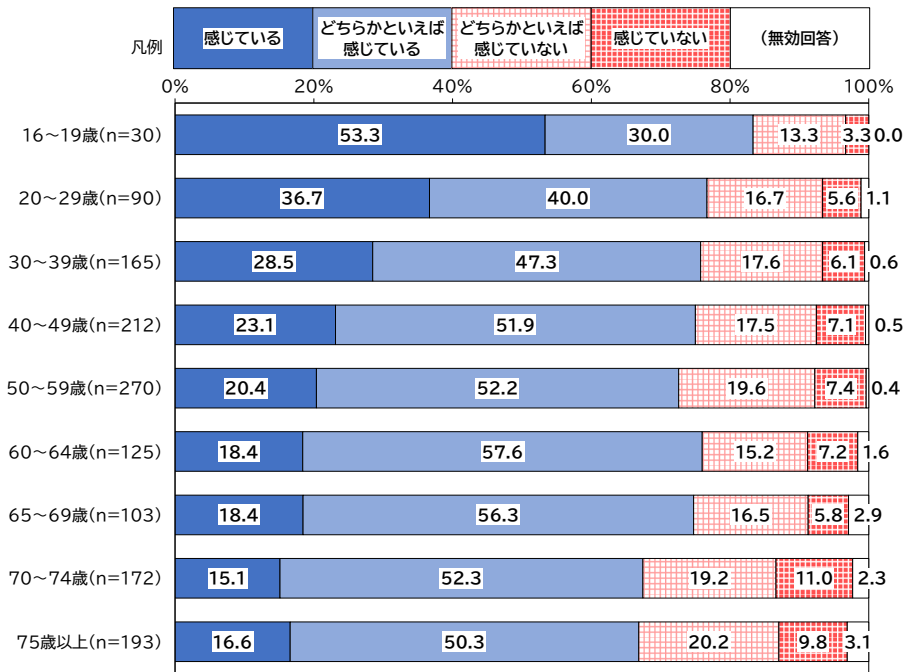
<経年比較>

- 「感じている」、「どちらかといえば感じている」の合計(72.9%)は、令和6年度(72.4%)に比べ0.5ポイント増加しています。
- 「感じていない」、「どちらかといえば感じていない」の合計(25.6%)は、令和6年度(25.9%)に比べ0.3ポイント減少しています。



<年齢層別>

○「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計は、16～19歳で80%を超えて高く、70歳以上で70%を下回っています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 健康づくりに関することについてのご意見・ご提案】(96件)

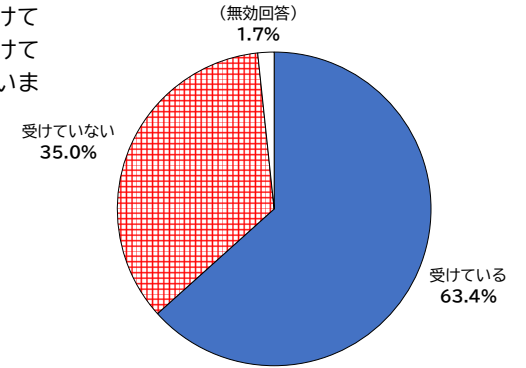
- ・無料もしくは格安で参加できる行事があると良い。
- ・定期検診補助, ワクチン補助, など医療関連の補助の強化は嬉しい。
- ・趣味でも仕事でもボランティアでも何でも社会参加することが必要。
- ・散策道路をもっと増やしてほしい(高齢者, 車椅子, 子供, ベビーカー)
- ・体を動かすことの重要性について啓蒙活動を行う。
- ・予約が困難なスポーツ施設はもう少し気軽に借りたい。
- ・市民プールの早期復活を期待しています。

問25) あなたは、定期的に以下の検診を受けていますか。

歯科検診

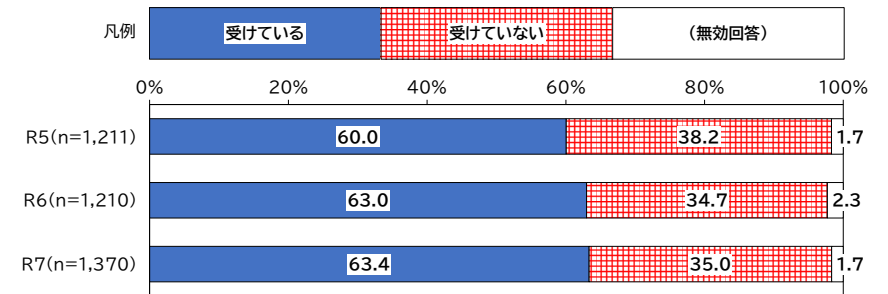
<全体 (n=1,370)>

○「受けている」は63.4%, 「受けていない」は35.0%であり, 「受けている」の割合が大きく上回っています。



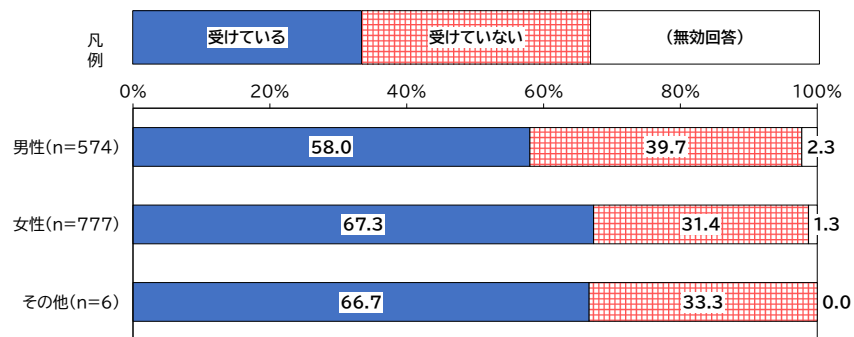
<経年比較>

○「受けている」(63.4%)は, 令和6年度(63.0%)に比べて0.4ポイント増加しています。



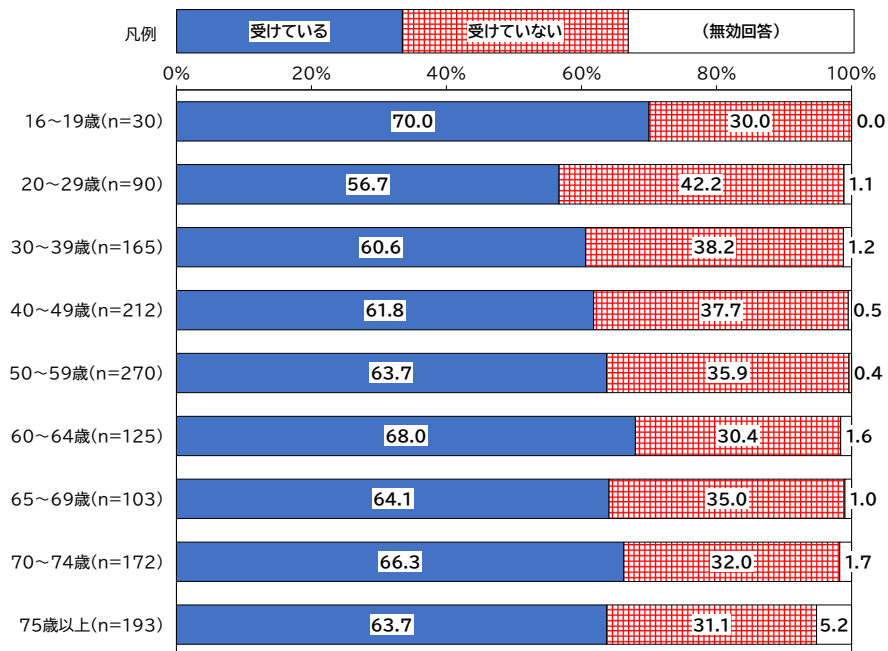
<性別>

○「受けている」は男性が 58.0%，女性は 67.3%で，女性が男性を 9.3 ポイント上回っています。



<年齢層別>

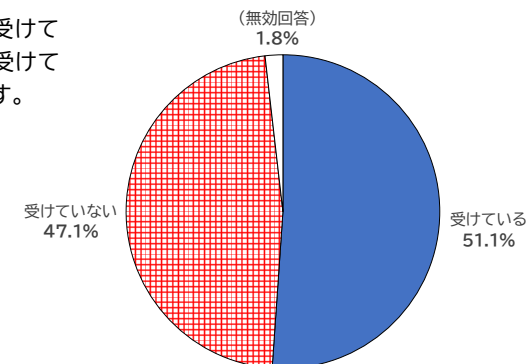
○「受けている」は，16～19歳が 70.0%と最も高く，いずれの年齢層も 50%を超えています。



がん検診

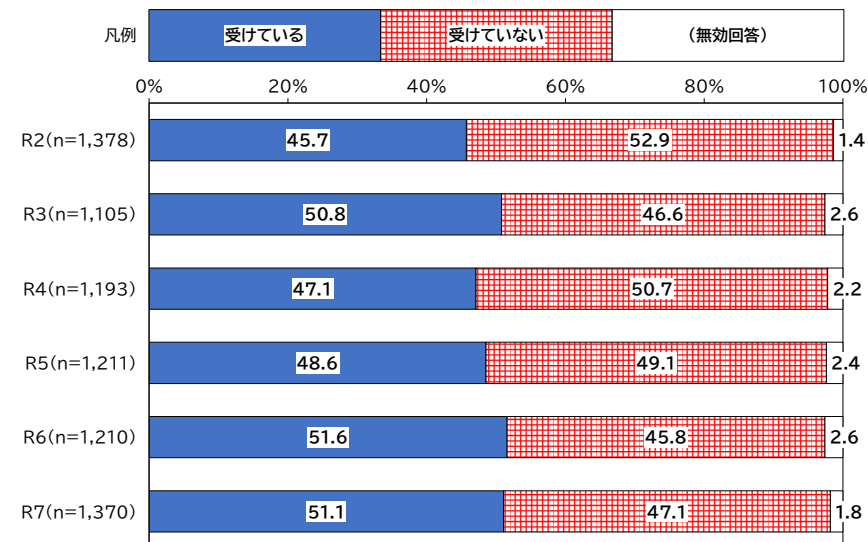
<全体 (n=1,370) >

○「受けている」は 51.1%，「受けていない」は 47.1%であり，「受けている」の割合が上回っています。



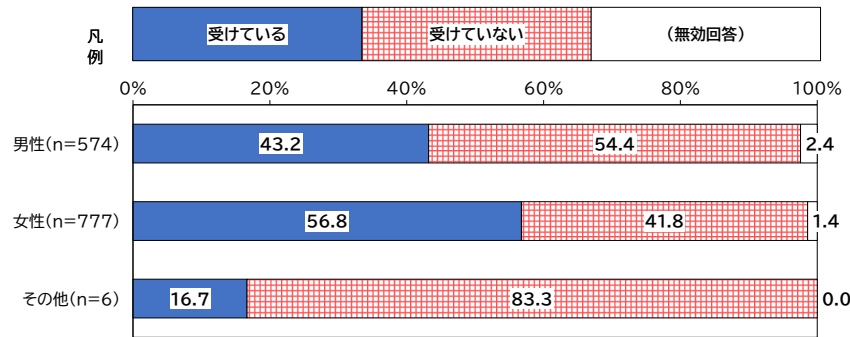
<経年比較>

○「受けている」(51.1%)は，令和6年度(51.6%)に比べて 0.5 ポイント減少しています。



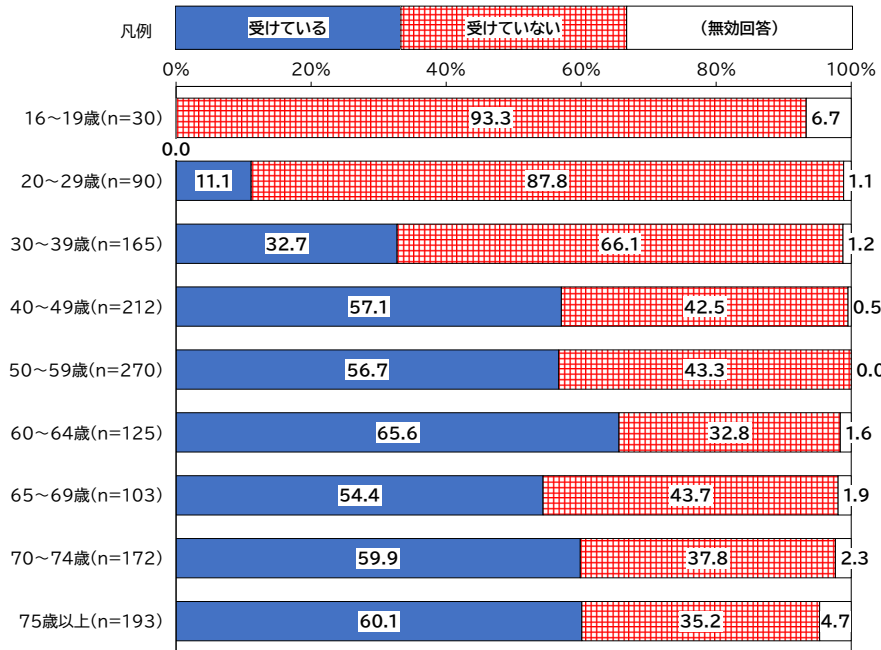
<性別>

○「受けている」は男性が43.2%，女性は56.8%で，女性が男性を13.6ポイント上回っています。



<年齢層別>

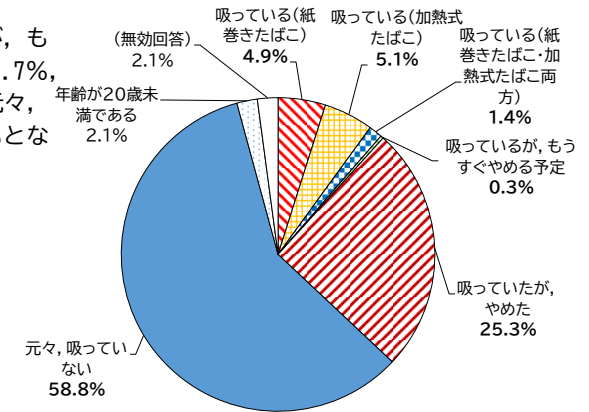
○「受けている」は，40歳以上の年齢層では50%を超えています。



問26) あなたは普段，たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ）を吸いますか。（ここでは，受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）は含みません。）

<全体 (n=1,370)>

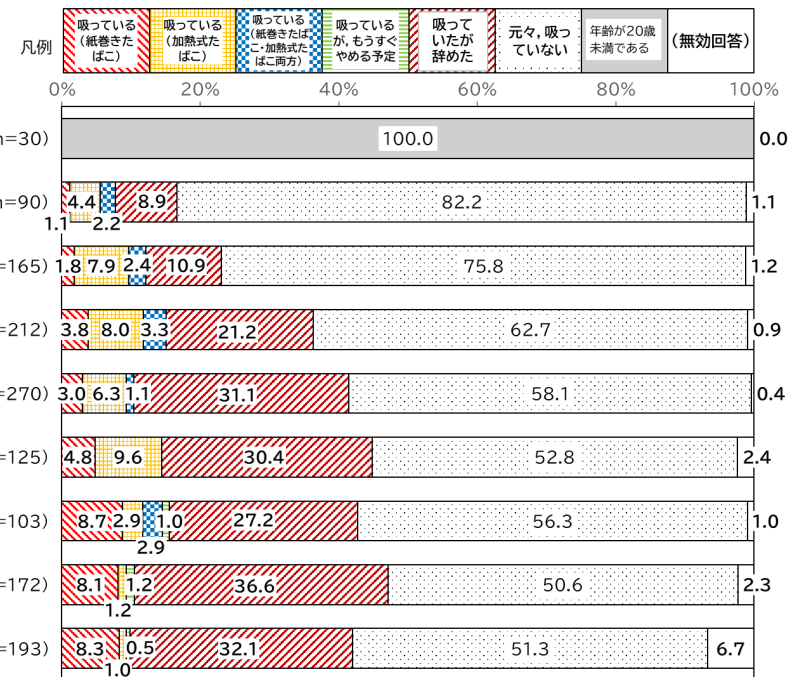
○「吸っている」と「吸っているが，もうすぐやめる予定」の合計が11.7%，「吸っていたが，やめた」と「元々，吸っていない」の合計が84.1%となっています。



<年齢層別>

○「吸っている」と「吸っているが，もうすぐやめる予定」の合計は，65~69歳が15.5%で最も高く，次いで60~64歳の14.4%の順となっています。

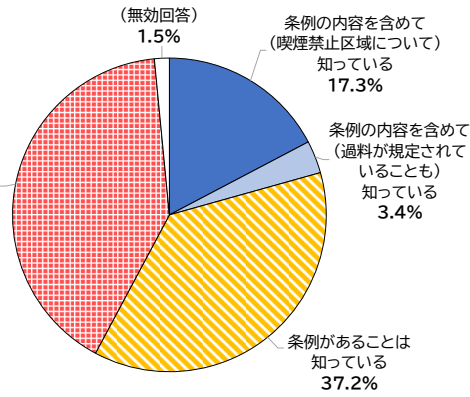
○「元々，吸っていない」は20~39歳で70%を超え，他の年齢層に比べて高くなっています。



問 27) あなたは、調布市受動喫煙防止条例※（平成 31 年 3 月公布，令和元年 7 月施行）を知っていますか。

<全体 (n=1,370) >

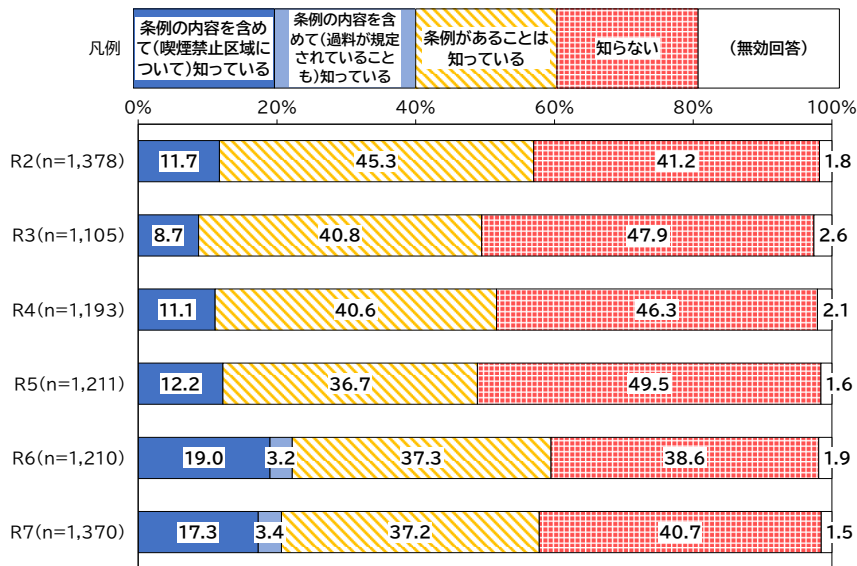
○「条例の内容を含めて（喫煙禁止区域について）知っている」が 17.3%，「条例の内容を含めて（過料が規定されていることも）知っている」が 3.4%，「条例があることは知っている」が 37.2%であり，条例を知っている人は合計で 57.9%となっています。



※市は、受動喫煙による健康への悪影響から市民等を守るとともに受動喫煙及び喫煙による身体への悪影響等に関する啓発及び教育を行うことにより，次代を担う子どもたちをはじめ誰もが健康に暮らせるまち調布の実現に寄与することを目的として「調布市受動喫煙防止条例」を施行しています。

<経年比較>

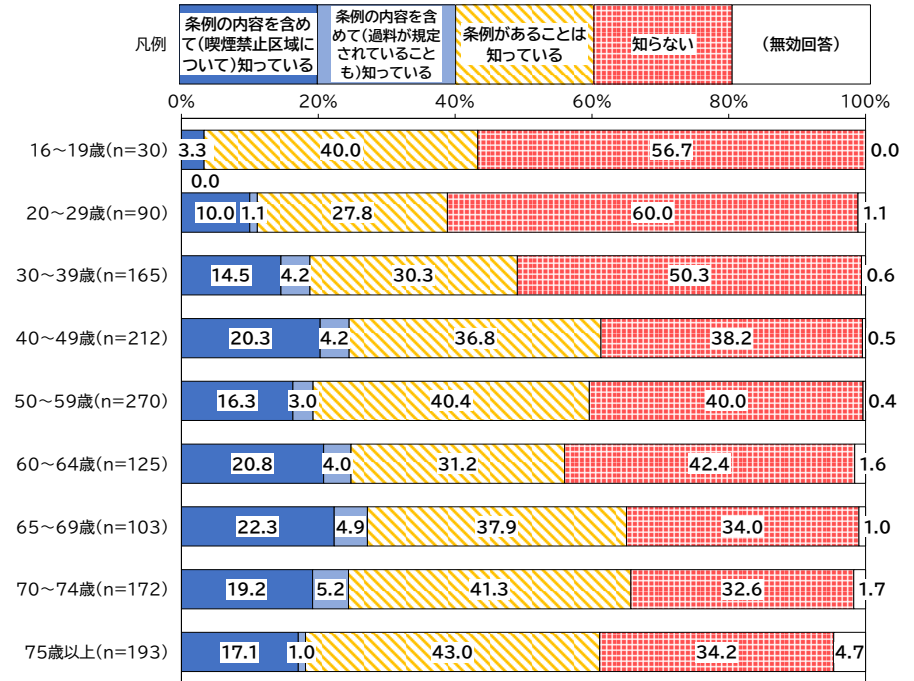
○「知らない」(40.7%)は，令和 6 年度 (38.6%) に比べて 2.1 ポイント増加しています。



※令和 5 年度までの選択肢は、「内容を含めて知っている」「知っている」「知らない」となっています。

<年齢層別>

○「条例の内容を含めて（喫煙禁止区域について）知っている」，「条例の内容を含めて（過料が規定されていることも）知っている」，「条例があることは知っている」の合計は，70～74 歳が 65.7%で最も高く，次いで 65～69 歳の 65.1%の順となっています。  
○「知らない」は，16～39 歳が 50%以上となっています。

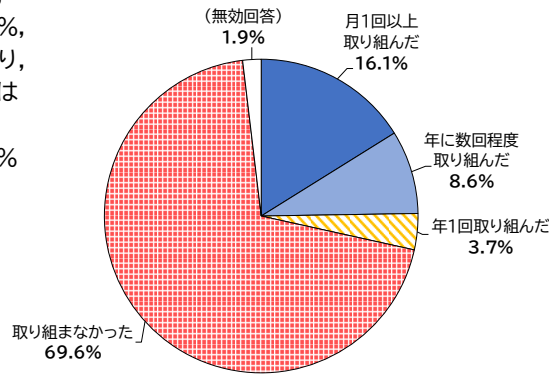


【生涯学習について】

問 28) あなたは、この1年間に、生涯学習<sup>※</sup>に取り組みましたか。

<全体 (n=1,370) >

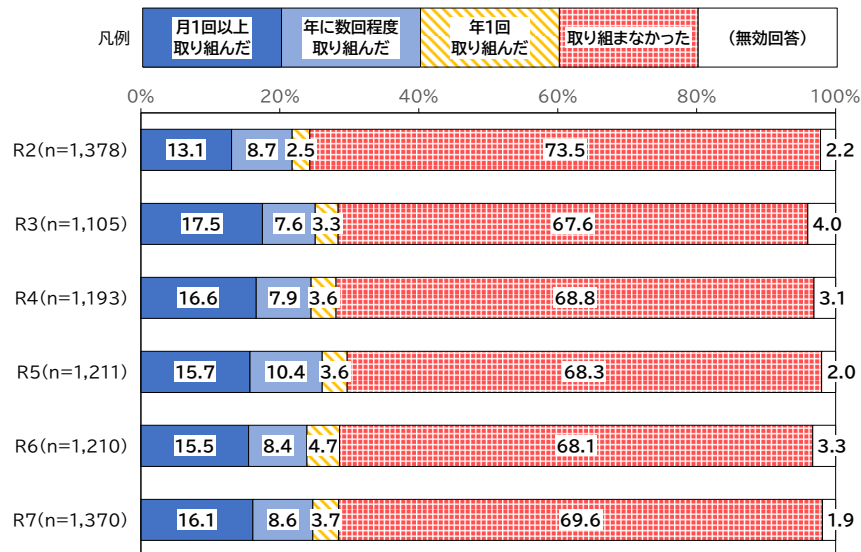
- 「月1回以上取り組んだ」が16.1%、「年に数回程度取り組んだ」が8.6%、「年1回取り組んだ」が3.7%であり、生涯学習に年1回以上取り組んだ人は合計で28.4%となっています。
- 一方、「取り組まなかった」は69.6%となっています。



※「生涯学習」とは、人々が自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のことで、学校や社会教育施設のほか、家庭・職場・地域などで行われる学習や、文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア・趣味など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

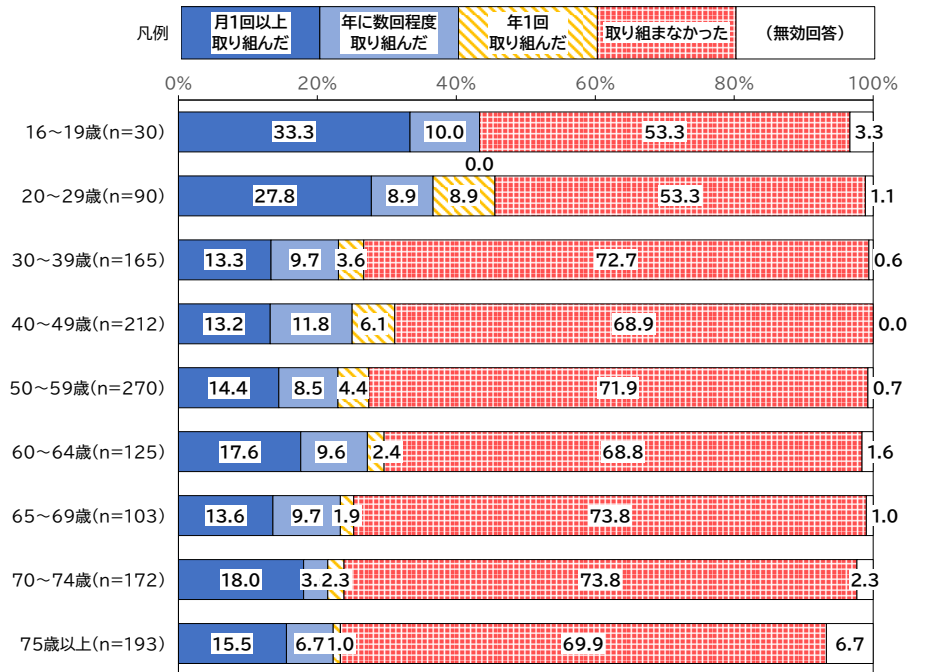
<経年比較>

- 「取り組んだ」の合計(28.4%)は、令和6年度(28.6%)に比べて0.2ポイント減少しています。
- 「取り組まなかった」(69.6%)は、令和6年度(68.1%)に比べて1.5ポイント増加しています。



<年齢層別>

○生涯学習に年1回以上取り組んだ方の割合は29歳以下で40%を超えています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

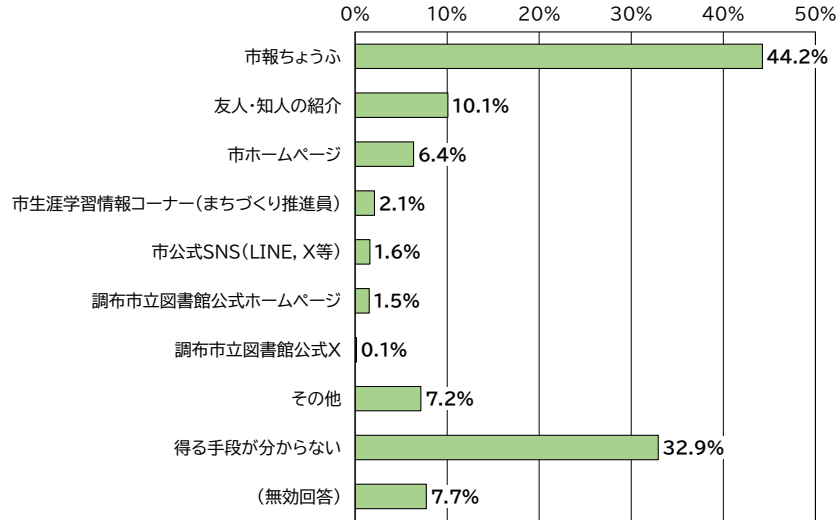
【図表 生涯学習に関する施策についてのご意見・ご提案】(54件)

- ・平日昼間だけではなく、現役で働いている人も参加できる日時あるいはオンライン等で学習の機会を得られるようにしていただきたい。
- ・障害者などの外出が困難な人々への対策
- ・自治体に取り組むべき事項ではない。
- ・子供(幼児、乳児)と参加できる内容が多いと参加しやすい。
- ・SNSや動画で宣伝。市民に見てもらえるよう企画をしっかりと考える(ただ宣伝すればいいものではない)
- ・どこで何をやっているのか、わからない。

問 29) あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。

<全体 (n=1,370) >

○生涯学習に関する情報の入手経路としては、「市報ちょうふ」が44.2%で最も高く、次いで「友人・知人の紹介」の10.1%、「市ホームページ」の6.4%の順となっています。一方で、「得る手段が分からない」は32.9%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「市報ちょうふ」が最も高くなっています(29歳以下は「友人・知人の紹介」は同率1位)。

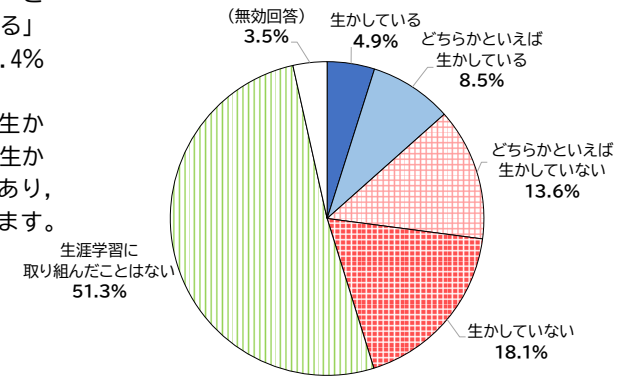
選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
市報ちょうふ	606	3	10	56	75	122	56	62	98	119
市ホームページ	87	2	2	4	11	12	18	15	12	11
市公式SNS(LINE, X等)	22	1	3	0	3	8	2	3	0	2
調布市立図書館公式ホームページ	21	0	2	0	4	4	2	3	3	3
調布市立図書館公式X	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1
友人・知人の紹介	138	3	10	11	21	24	9	8	21	31
市生涯学習情報コーナー(まちづくり推進員)	29	0	0	4	3	3	3	2	6	7
その他	98	0	9	13	15	25	13	8	7	7
得る手段が分からない	451	19	47	70	81	87	36	28	44	36
(無効回答)	106	4	12	15	17	13	10	1	12	21

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い: [Dark Gray Box] 回答割合が2番目に高い: [Light Gray Box]

問 30) あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために活かしていますか。

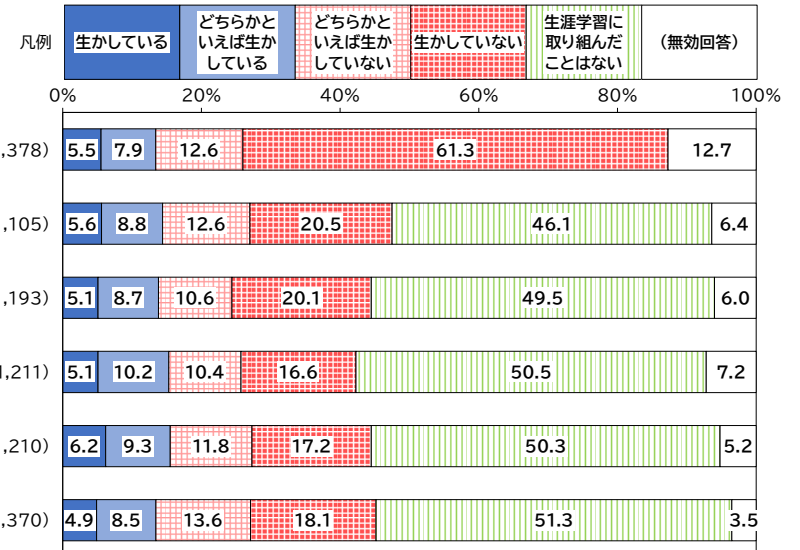
<全体 (n=1,370) >

○「活かしている」は4.9%、「どちらかといえば活かしている」は8.5%であり、合計で13.4%となっています。  
 ○一方、「どちらかといえば活かしていない」は13.6%、「活かしていない」は18.1%であり、合計で31.7%を占めています。



<経年比較>

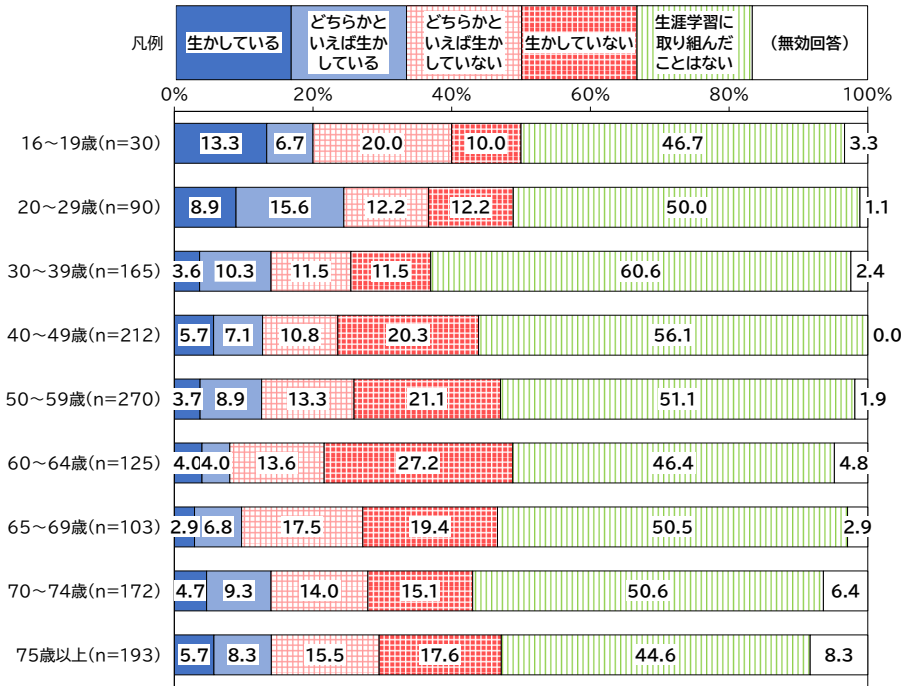
○「活かしている」と「どちらかといえば活かしている」の合計(13.4%)は、令和6年度(15.5%)に比べて2.1ポイント減少しています。



※「生涯学習に取り組んだことはない」は、令和3年度以降追加された選択肢です。

<年齢層別>

○「生かしている」と「どちらかといえば生かしている」の合計は、29歳以下で20%を超えています、60～69歳は10%未満となっています。

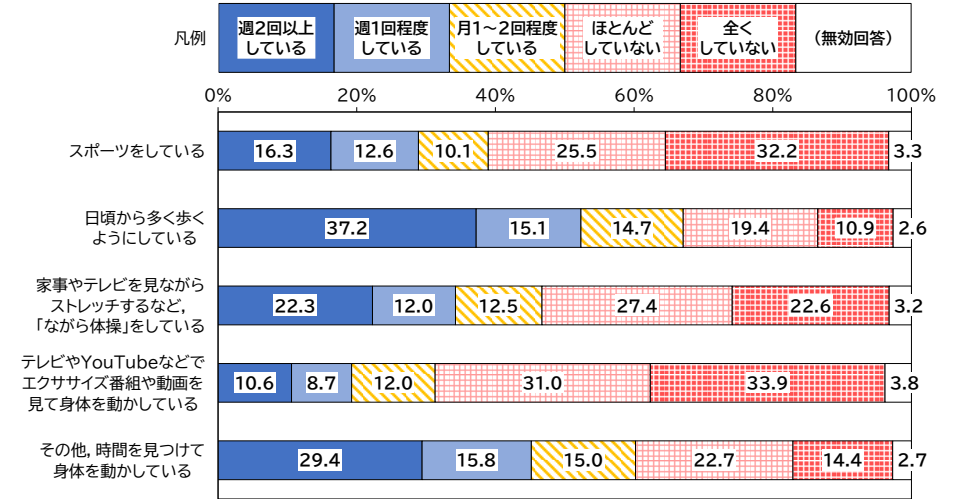


【スポーツ振興について】

問31) あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。

<全体 (n=1,370) >

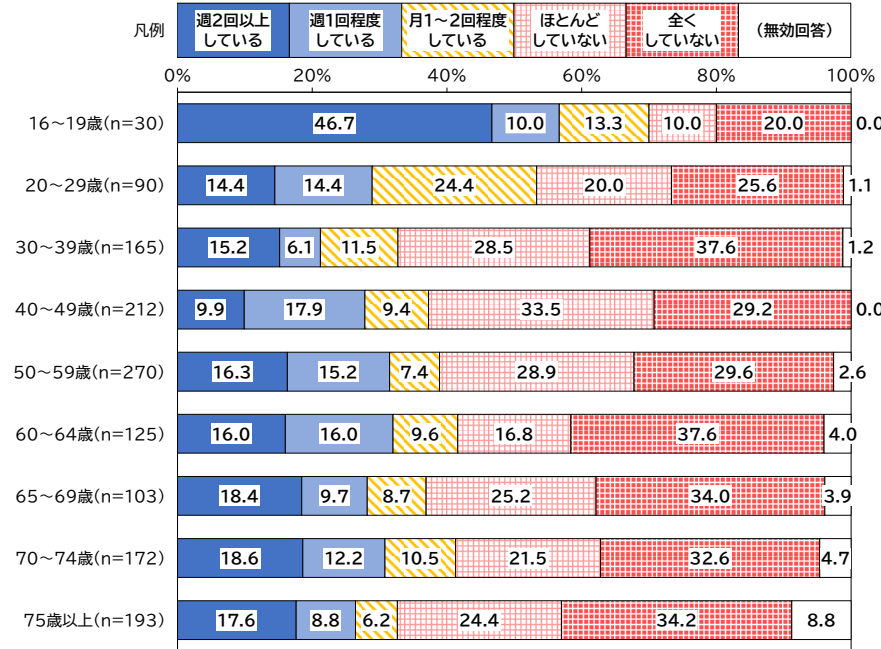
○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、「日頃から多く歩くようにしている(電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど)」が52.3%と最も高く、次いで「その他、時間を見つけて身体を動かしている」の45.2%の順となっています。



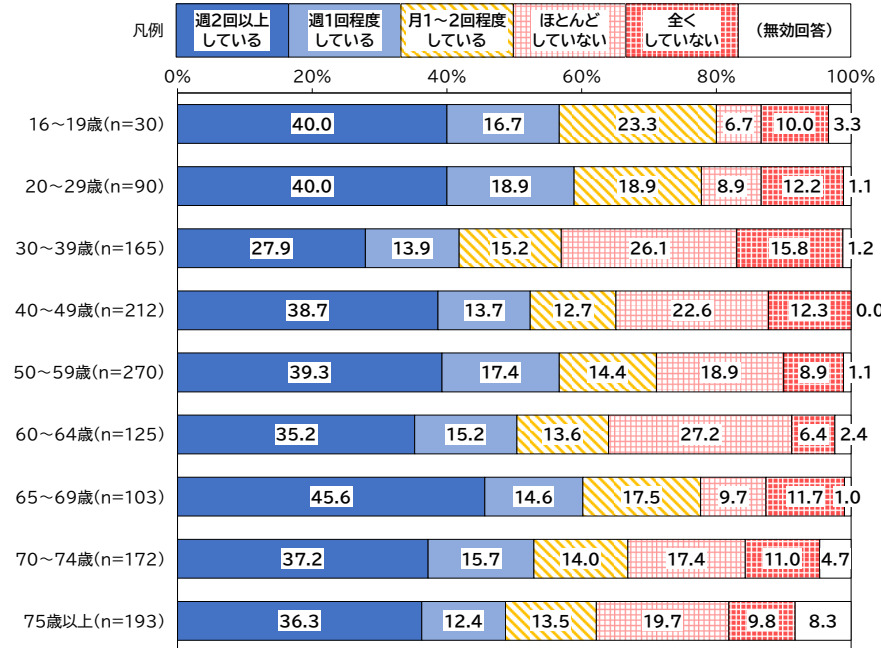
<年齢層別>

○「週2回以上している」と「週1回程度している」の合計は、16～19歳では「スポーツをしている」、20～74歳は「日頃から多く歩くようにしている(電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど)」、75歳以上は「その他、時間を見つけて身体を動かしている」が最も高くなっています。

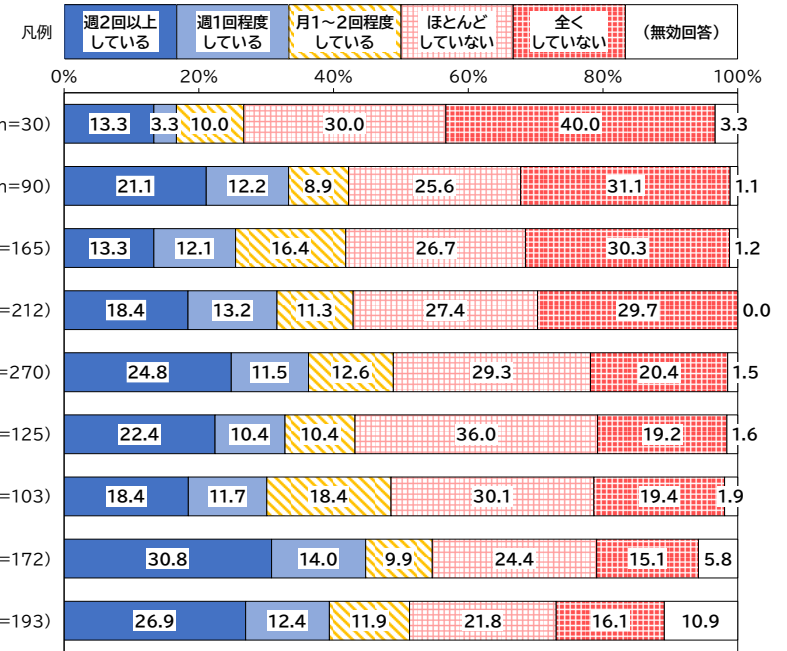
ア スポーツをしている（スポーツジムやプールに通う，ランニングをする，仲間とスポーツをするなど）



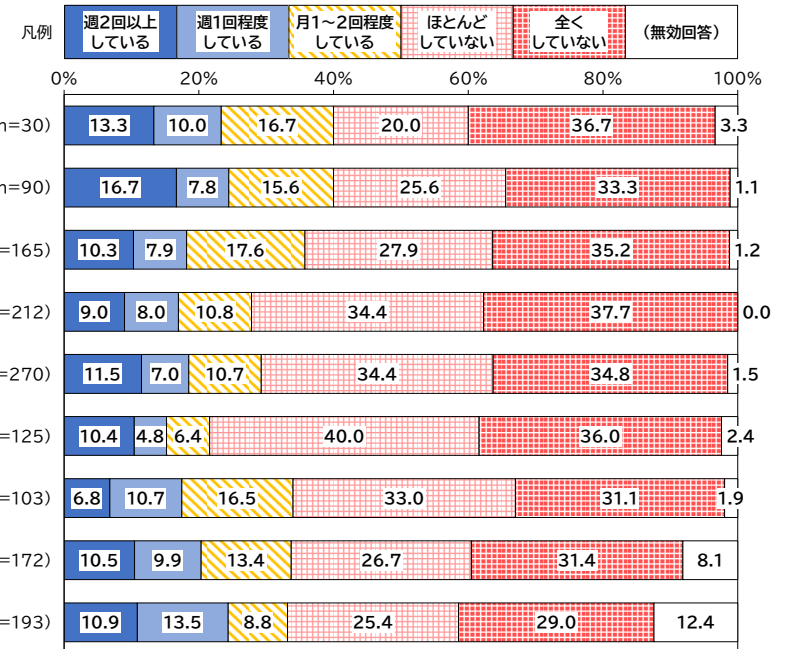
イ 日頃から多く歩くようにしている(電車やバス等の最寄りの駅で降車せず，1駅分多く歩いているなど)



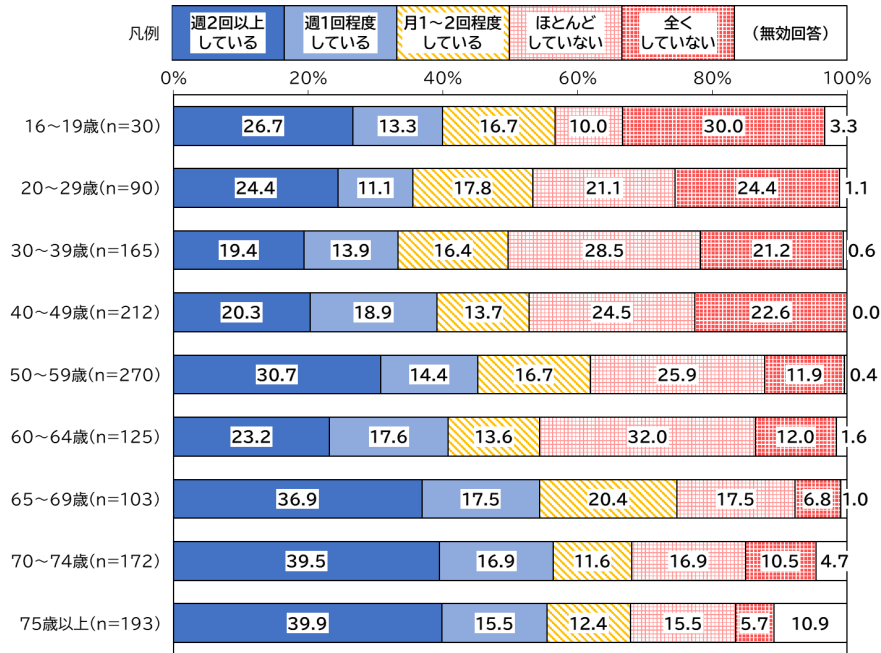
ウ 家事やテレビを見ながらストレッチするなど、「ながら体操」をしている



エ テレビやYouTubeなどでエクササイズ番組や動画を見て身体を動かしている



オ その他、時間を見つけて身体を動かしている



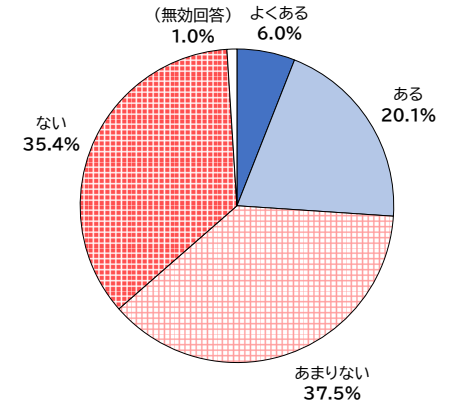
【地域コミュニティについて】

問 32) あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会がありますか。

<全体 (n=1,370) >

○地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会が「よくある」は6.0%、「ある」は20.1%であり、合計で26.1%となっています。

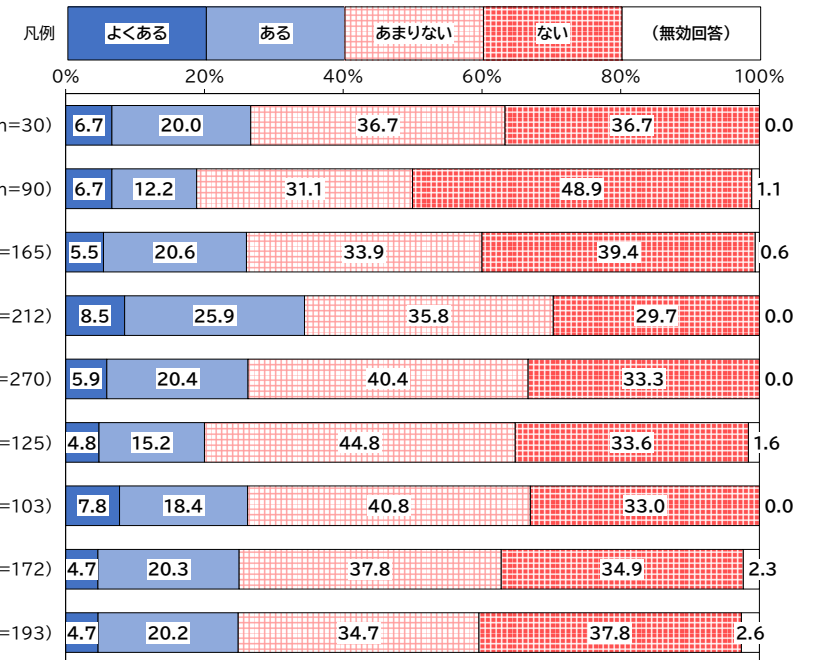
○一方、「あまりない」は37.5%、「ない」は35.4%であり、合計で72.9%となっています。



<年齢層別>

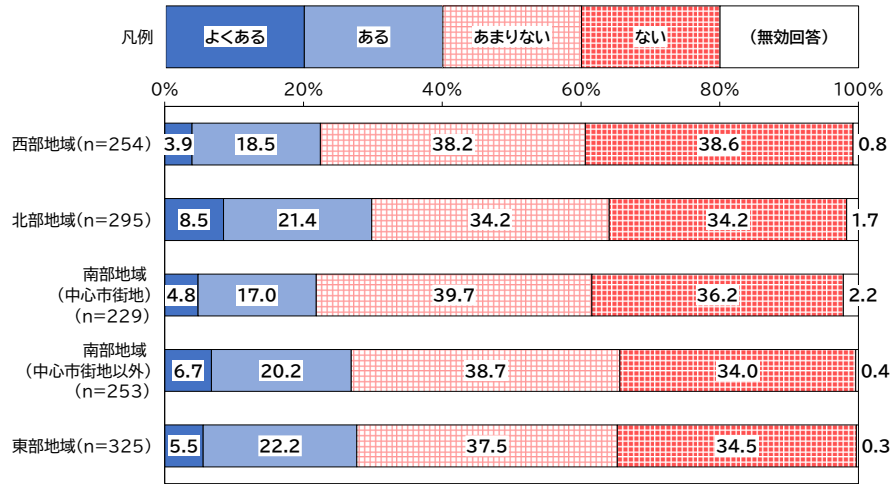
○「ある」と「よくある」の合計は、40~49歳が34.4%で最も高く、次いで、16~19歳(26.7%)、50~59歳(26.3%)の順となっています。

○一方、「あまりない」と「ない」の合計は、40~49歳を除いた年齢層で70%を超えています。



<地域別>

○「ある」と「よくある」の合計は、北部地域（29.9%）が最も高く、全ての地域で 20% 台となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

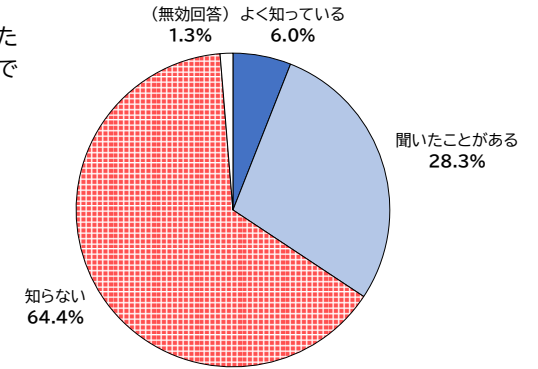
【図表 地域コミュニティに関する施策についてのご意見・ご提案】(47件)

- ・ 平時において地域コミュニティを強く意識する時代でもないのが難しいと思う。擬似的、仮想的に緊急時・災害時を想定したイベントなど。
- ・ 転入時に町内会等の案内がなかった。
- ・ 小中高生も大人も参加する多世代交流，協力ができるようにすること。
- ・ 元々の住民の方と新興住宅街に住んでいる方との交流がないため，新興住宅街エリアの人はコミュニティ感覚がないと思う。
- ・ 活動主催者側の負担が多いと感じるので，そのサポートを強化すべきと考える。
- ・ すでに仲間が出来ていて，入りづらい。

問33) あなたは、「地区協議会※」を知っていますか。

<全体 (n=1,370) >

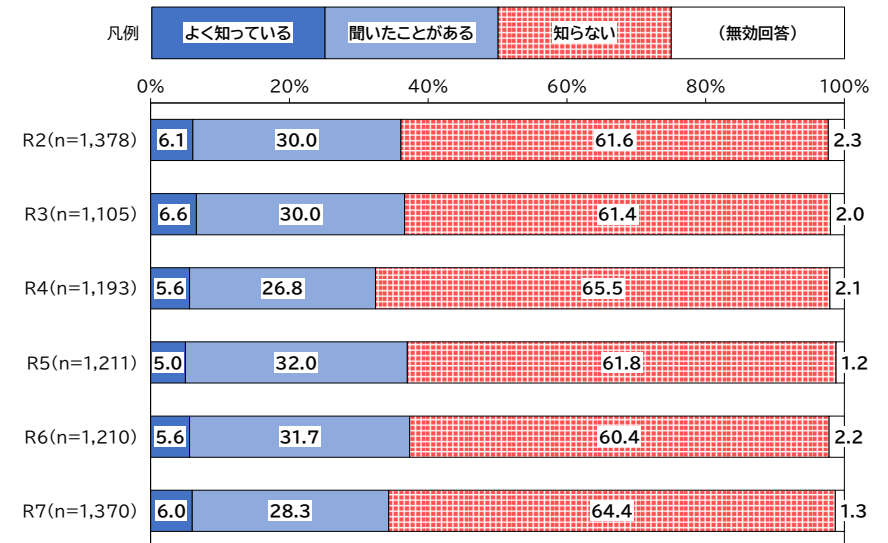
○「よく知っている」が6.0%、「聞いたことがある」が28.3%、合計で34.3%となっています。



※「地区協議会」とは、自治会をはじめ地域で活動する多様な団体や個人を結ぶ地域主体のネットワーク組織で、地域の情報共有や防災訓練等のまちづくり活動における連携・協力などを行っています。市内に20ある小学校区を単位として、現在19地区で設立されています。

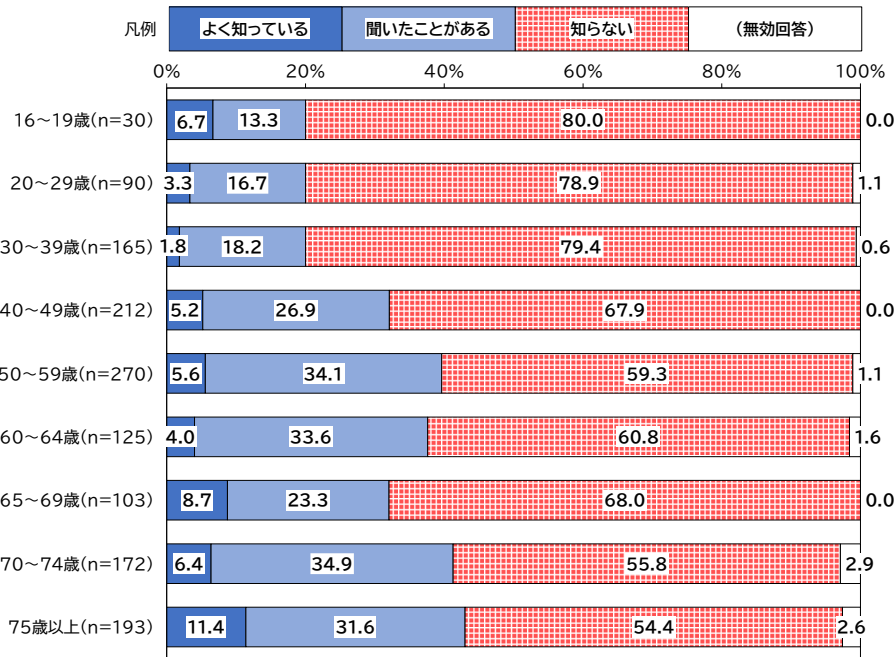
<経年比較>

○「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計(34.3%)は、令和6年度(37.3%)に比べ3.0ポイント減少しています。



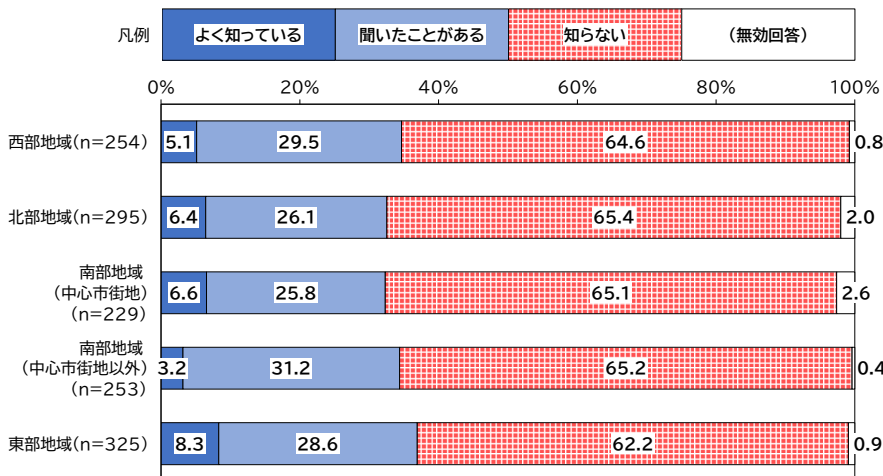
<年齢層別>

- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、40歳以上で、30%を超えています。
- 「知らない」は16~19歳で80.0%と最も高くなっています。



<地域別>

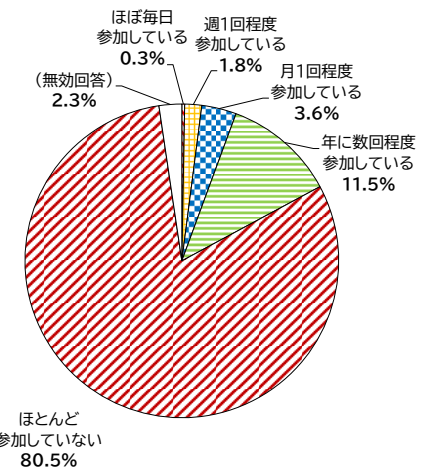
- 「よく知っている」と「聞いたことがある」の合計は、東部地域が36.9%で最も高く、次いで西部地域(34.6%)、南部地域(中心市街地以外)(34.4%)の順になっています。



問34) あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。

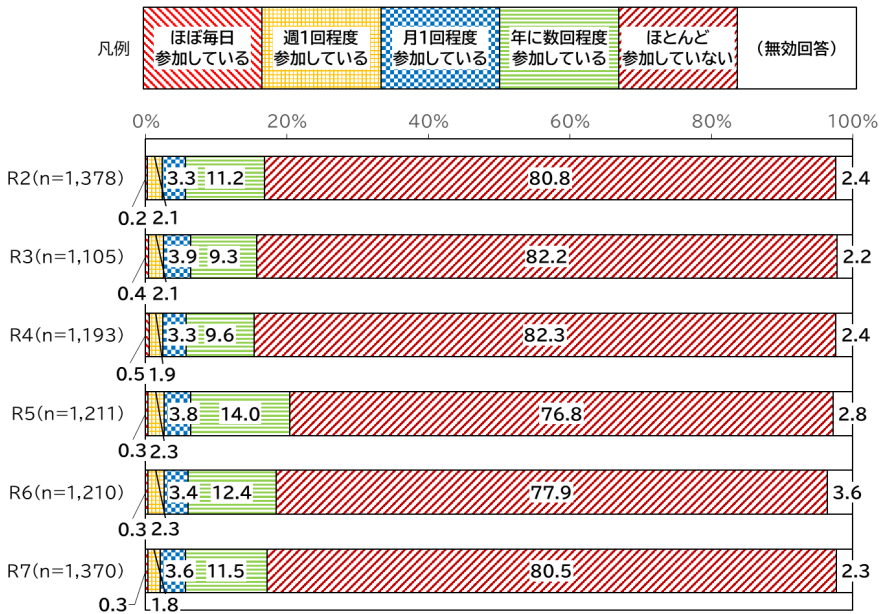
<全体 (n=1,370)>

- 「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計が17.2%となっています。



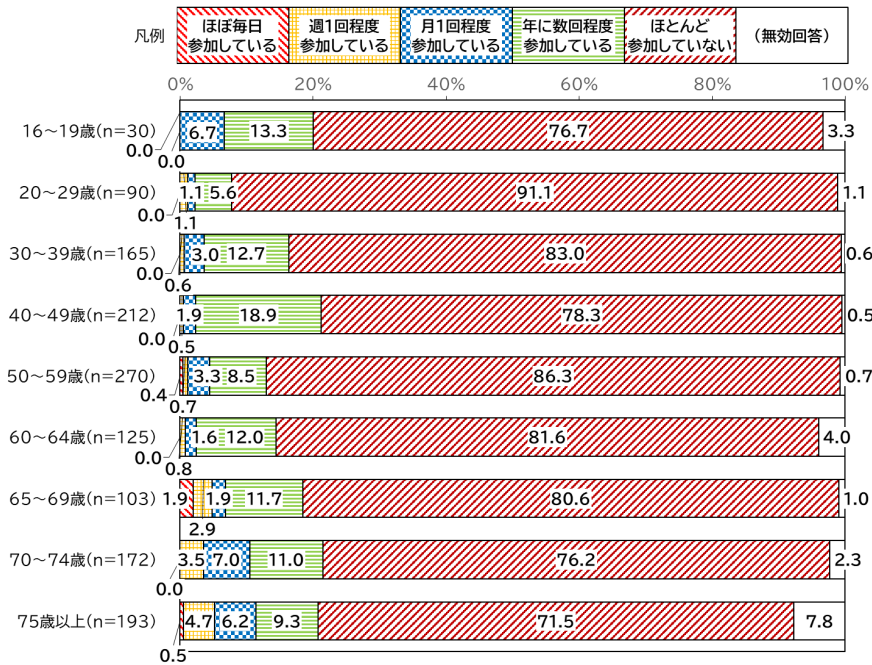
<経年比較>

- 「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計(17.2%)は、令和6年度(18.4%)に比べ1.2ポイント減少しています。



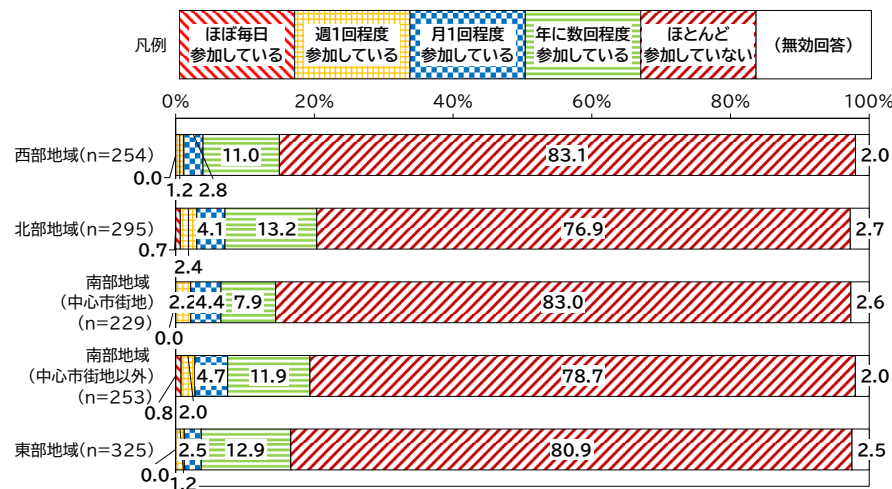
<年齢層別>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、70～74歳が21.5%で最も高いのに対して、20～29歳が7.8%で最も低くなっています。



<地域別>

○「ほぼ毎日参加している」、「週1回程度参加している」、「月1回程度参加している」、「年に数回程度参加している」の合計は、北部地域が20.4%で最も高く、次いで南部地域(中心市街地)(19.4%)の順になっています。

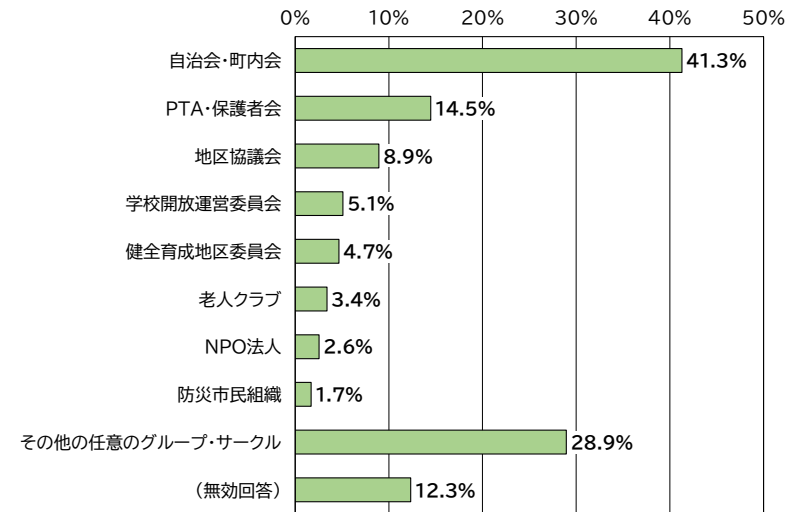


問34-1) 問34で「ほぼ毎日参加している」「週1回程度参加している」「月1回程度参加している」「年に数回程度参加している」と回答した方にうかがいます。参加した団体、活動、場所について、あてはまるものを選んでください。

団体

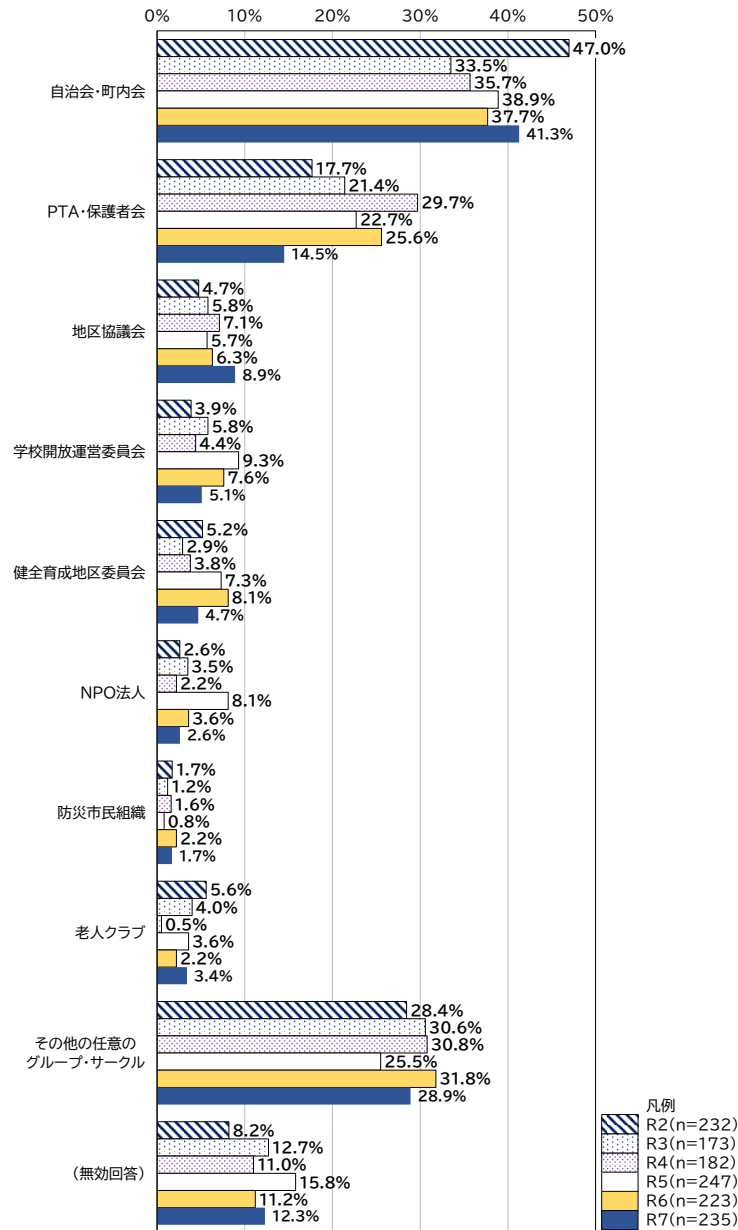
<全体(n=235)>

○「自治会・町内会」が41.3%で最も高く、次いで「PTA・保護者会」の14.5%の順となっています。また、「その他の任意のグループ・サークル」も28.9%と高くなっています。



<経年比較>

○「自治会・町内会」(41.3%)は、令和6年度(37.7%)に比べ3.6ポイント増加、「PTA・保護者会」(14.5%)は、令和6年度(25.6%)に比べ11.1ポイント減少、「その他の任意のグループ・サークル」(28.9%)は、令和6年度(31.8%)に比べ2.9ポイント減少しています。



<年齢層別>

○30~49歳では「PTA・保護者会」、50歳以上では「自治会・町内会」、が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	235	6	7	27	45	35	18	19	37	40
自治会・町内会	97	2	1	7	12	16	9	9	21	20
地区協議会	21	1	0	2	3	4	0	4	4	3
PTA・保護者会	34	0	0	9	21	3	0	1	0	0
健全育成地区委員会	11	0	0	1	3	4	0	1	1	1
学校開放運営委員会	12	0	0	1	3	3	1	1	2	1
防災市民組織	4	0	0	0	0	1	1	1	0	1
老人クラブ	8	1	0	0	0	0	0	0	2	5
NPO法人	6	0	1	0	1	1	0	0	2	1
その他の任意のグループ・サークル	68	2	2	3	8	10	4	7	16	15
(無効回答)	29	1	3	9	8	1	4	0	0	3

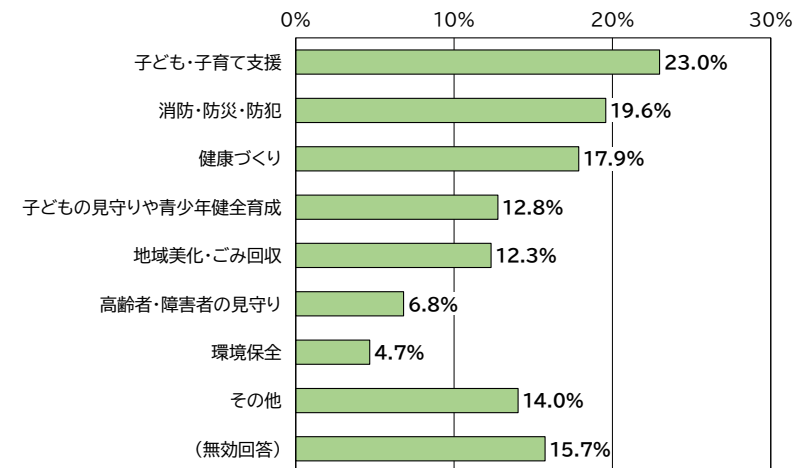
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [黒色] 回答割合が2番目に高い: [灰色]

活動

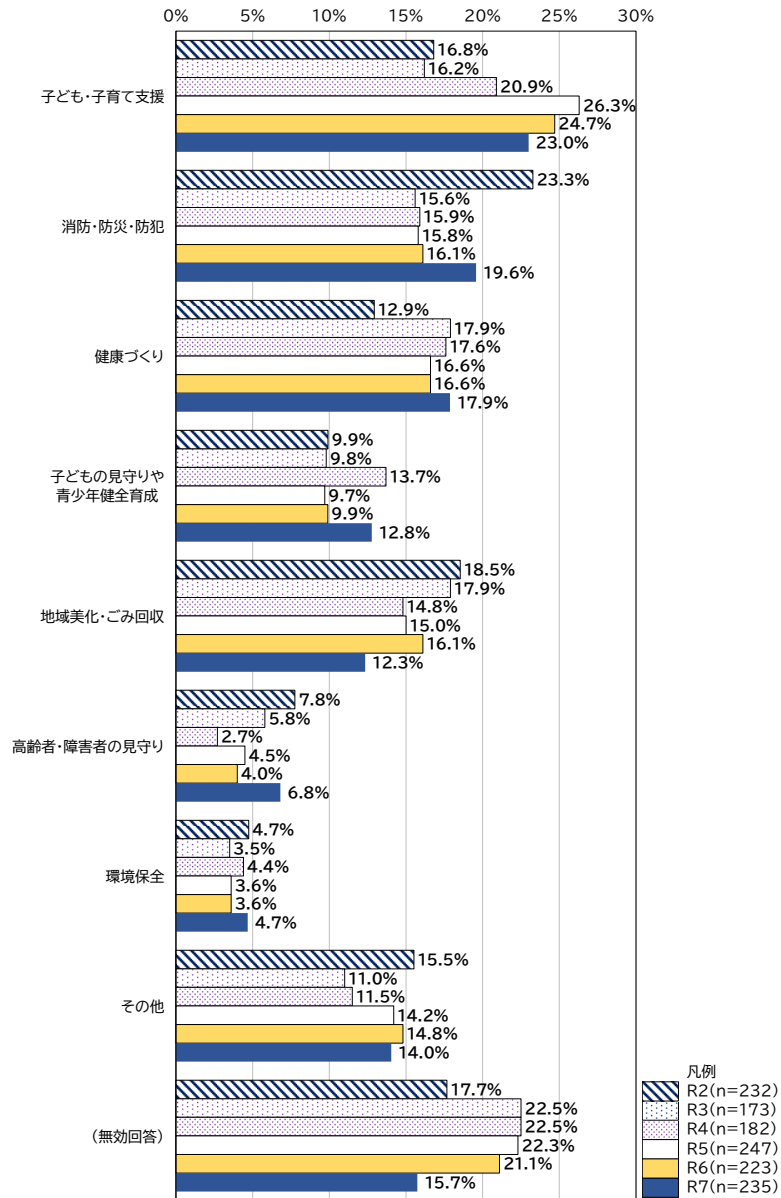
<全体 (n=235) >

○「子ども・子育て支援」が23.0%で最も高く、次いで「消防・防災・防犯」が19.6%、「健康づくり」が17.9%の順となっています。



<経年比較>

○「子ども・子育て支援」(23.0%)は、令和6年度(24.7%)に比べ1.7ポイント減少していますが、令和4年度以降は20%台で推移しています。また、「消防・防災・防犯」(19.6%)は、令和6年度(16.1%)に比べ3.5ポイント増加しています。



<年齢層別>

○35%を超えているのは、30~49歳の「子ども・子育て支援」、70~74歳の「消防・防災・防犯」、75歳以上の「健康づくり」となっています。

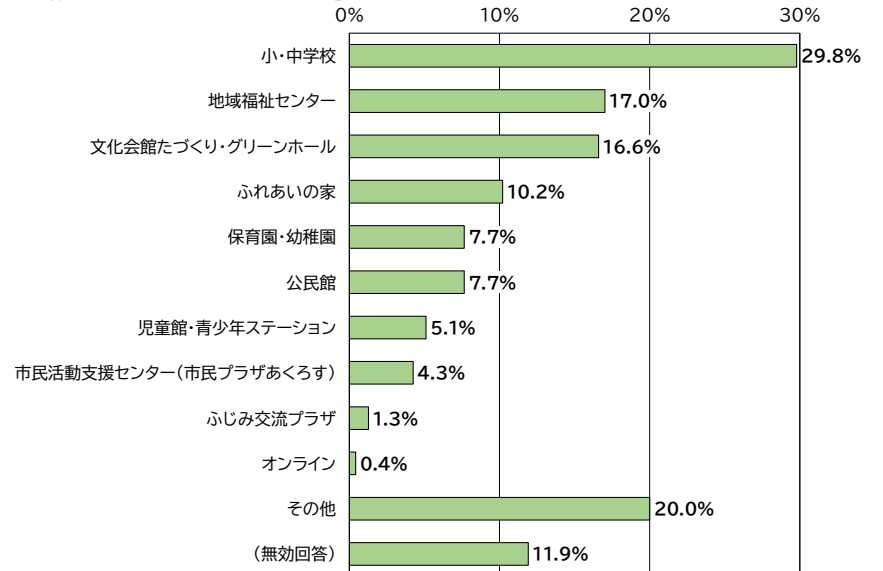
選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	235	6	7	27	45	35	18	19	37	40
消防・防災・防犯	46	2	0	3	5	6	3	5	13	9
地域美化・ごみ回収	29	1	0	2	6	5	1	2	5	7
子ども・子育て支援	54	0	1	17	21	6	0	5	0	4
子どもの見守りや青少年健全育成	30	1	1	2	13	6	1	2	1	3
高齢者・障害者の見守り	16	2	0	0	0	0	0	6	7	1
環境保全	11	0	0	1	0	2	1	2	2	3
健康づくり	42	0	1	3	2	6	2	3	10	14
その他	33	3	1	2	7	7	3	1	6	3
(無効回答)	37	0	3	5	7	3	7	3	4	5

回答割合が最も高い: (黒塗り) 回答割合が2番目に高い: (斜線)

場所

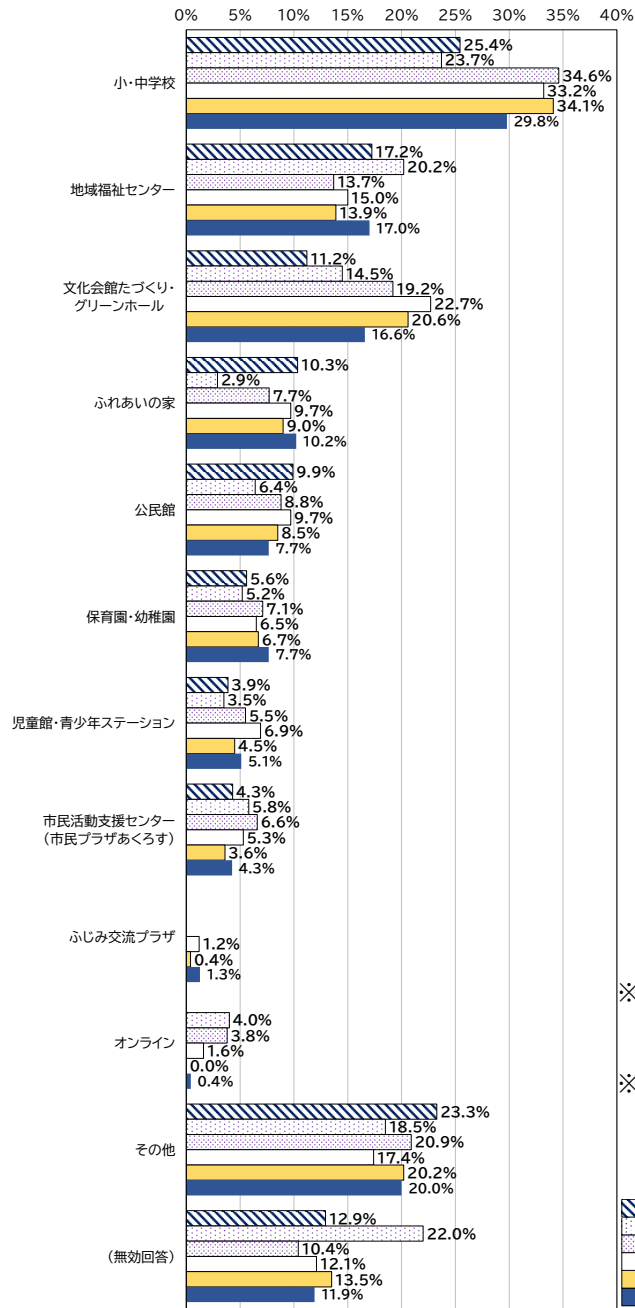
<全体 (n=235) >

○「小・中学校」が29.8%で最も高く、次いで「地域福祉センター」の17.0%、「文化会館たづくり・グリーンホール」の16.6%の順になっています。



<経年比較>

○「小・中学校」(29.8%)は毎年最も高くなっていますが、令和6年度(34.1%)に比べ4.3ポイント減少しています。



※「オンライン」は、令和3年度に追加された選択肢です。  
 ※「ふじみ交流プラザ」は、令和5年度に追加された選択肢です。

凡例  
 R2(n=232)  
 R3(n=173)  
 R4(n=182)  
 R5(n=247)  
 R6(n=223)  
 R7(n=235)

<年齢層別>

○30%を超えているのは、20~29歳の「文化会館たづくり・グリーンホール」、30~59歳の「小・中学校」、70歳以上の「地域福祉センター」となっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	235	6	7	27	45	35	18	19	37	40
地域福祉センター	40	0	0	5	1	3	2	3	12	14
ふれあいの家	24	1	0	2	3	2	1	3	5	7
ふじみ交流プラザ	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1
小・中学校	70	0	1	14	30	12	3	4	2	4
保育園・幼稚園	18	0	1	8	6	2	0	0	0	1
児童館・青少年ステーション	12	0	1	4	4	2	0	0	1	0
文化会館たづくり・グリーンホール	39	1	3	4	5	4	3	1	10	8
公民館	18	1	1	2	0	4	1	2	4	3
市民活動支援センター(市民プラザあくろす)	10	1	0	0	2	0	2	0	3	2
オンライン	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
その他	47	3	2	4	3	11	4	7	5	7
(無効回答)	28	1	0	2	4	3	5	4	5	4

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い: [濃いグレー]  
 回答割合が2番目に高い: [薄いグレー]

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 活動場所のその他の例】(70件)

・ 祭り	・ 神社
・ 日本語教室ボランティア	・ 自宅マンション

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 地域における子育て支援や青少年健全育成に関する施策についてのご意見・ご提案】(36件)

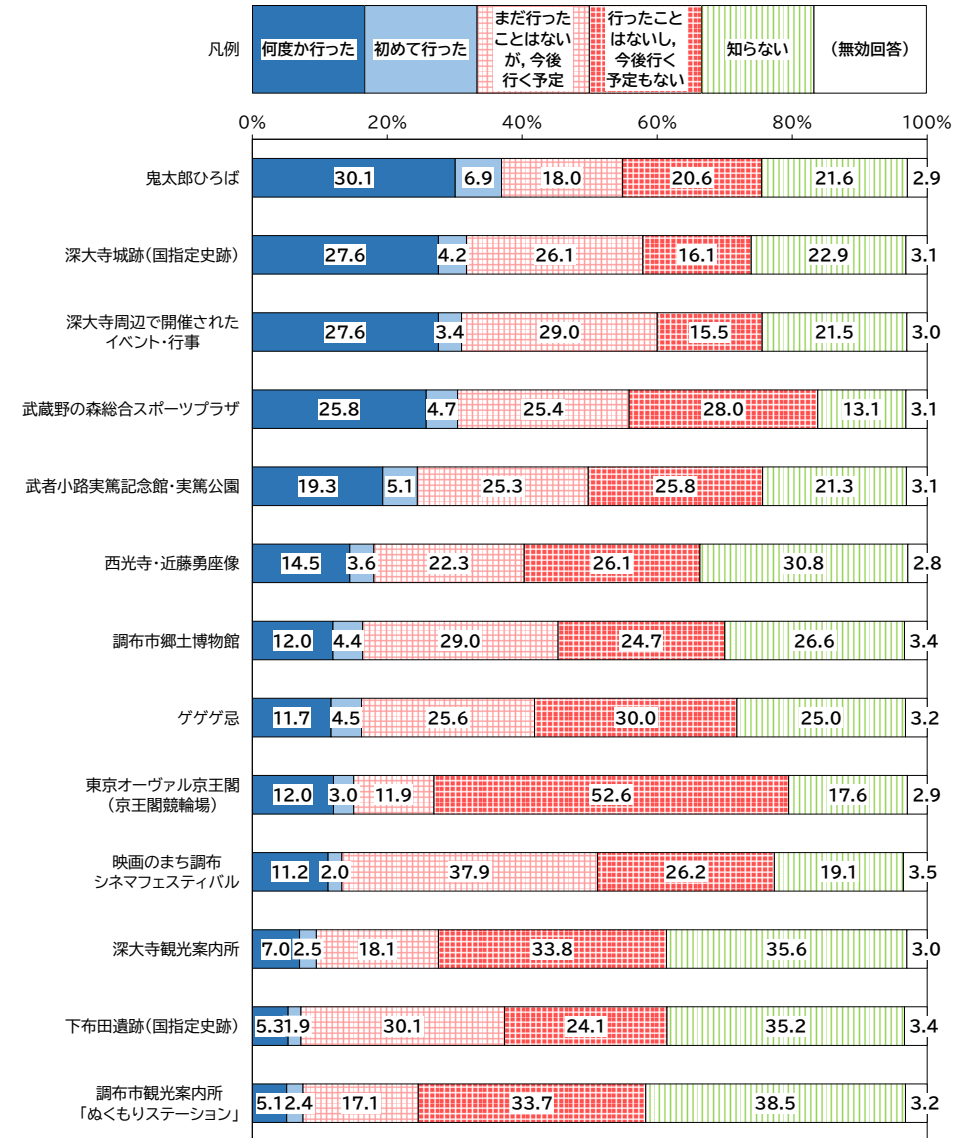
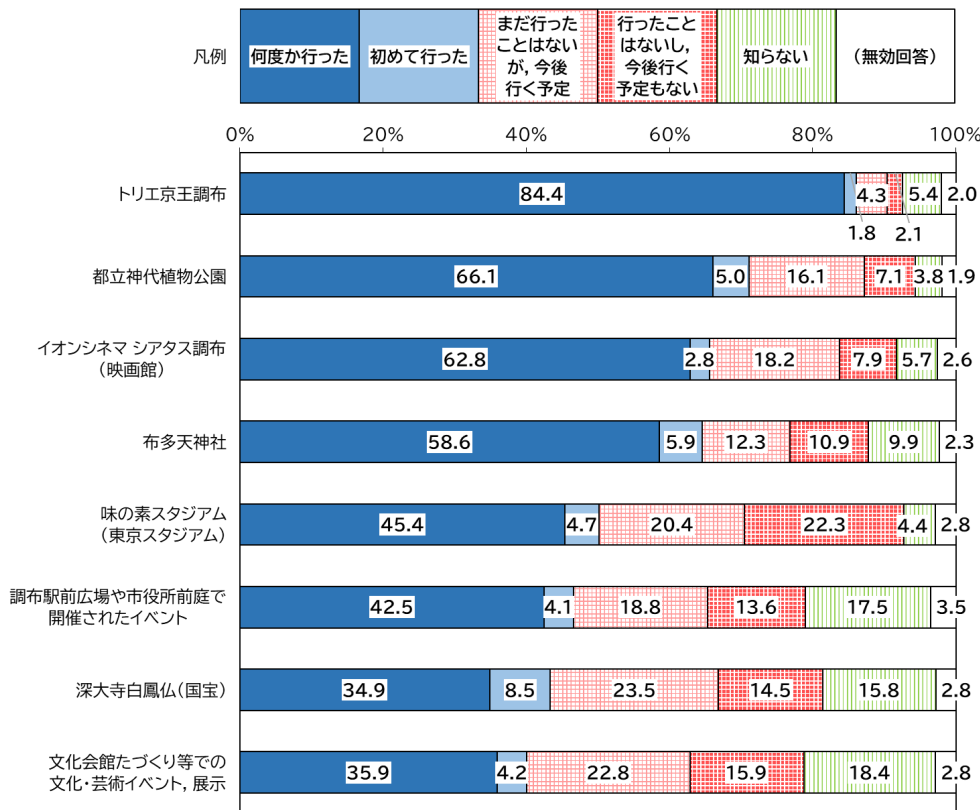
- ・ 周辺地域の住民や企業との触れ合う機会があると良いと思う。
- ・ 子の自立によって市との関わりもなくなった。手の足りない家庭の力になれたらありがたいが、どうしたら良いかわからない。
- ・ 自治会、地区協議会、健全育成など担当者が高齢化している。人材を育成しないと継続できなくなる。
- ・ ひとり親世帯の支援が必要

【産業・農業・観光について】

問 35) あなたはこの1年間に、次のイベントや施設・場所に行ったことがありますか。

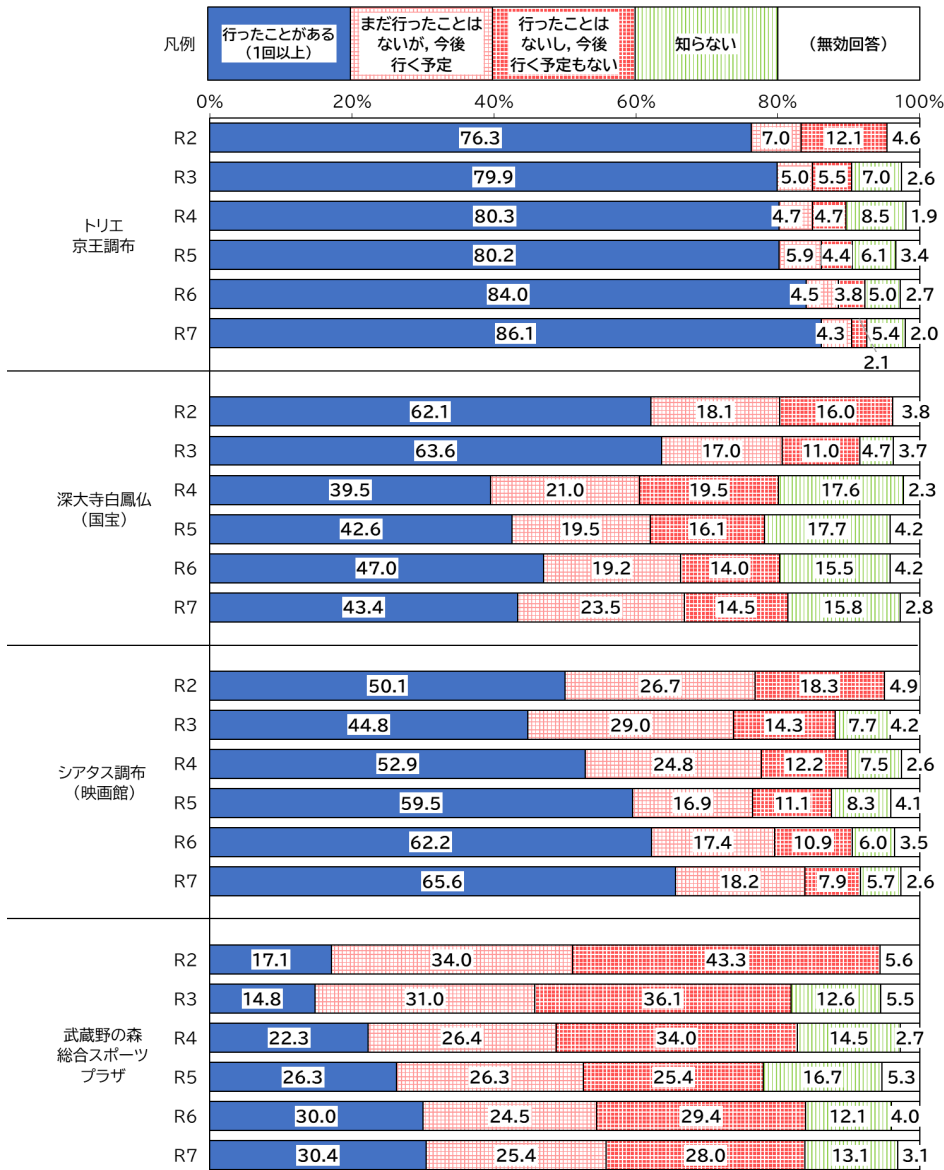
<全体 (n=1,370) >

- 「何度か行った」, 「初めて行った」の合計が 50%を超えているのは、「トリエ京王調布」, 「都立神代植物公園」, 「イオンシネマ シアタス調布 (映画館)」, 「布多天神社」, 「味の素スタジアム (東京スタジアム)」となっています。
- 「東京オーヴァル京王閣 (京王閣競輪場)」, 「調布市観光案内所 (ぬくもりステーション)」は、「行ったことはないし、今後行く予定もない」と「知らない」の合計が 70%を超えています。



<経年比較>

- 「行ったことがある（1回以上）」と回答した方の割合は、「トリエ京王調布」では令和4年度以降、80%台で推移しています。
- 「シアタス調布（映画館）」と「武蔵野の森総合スポーツプラザ」は令和3年度以降、「行ったことがある（1回以上）」と回答した方の割合が増加しています。

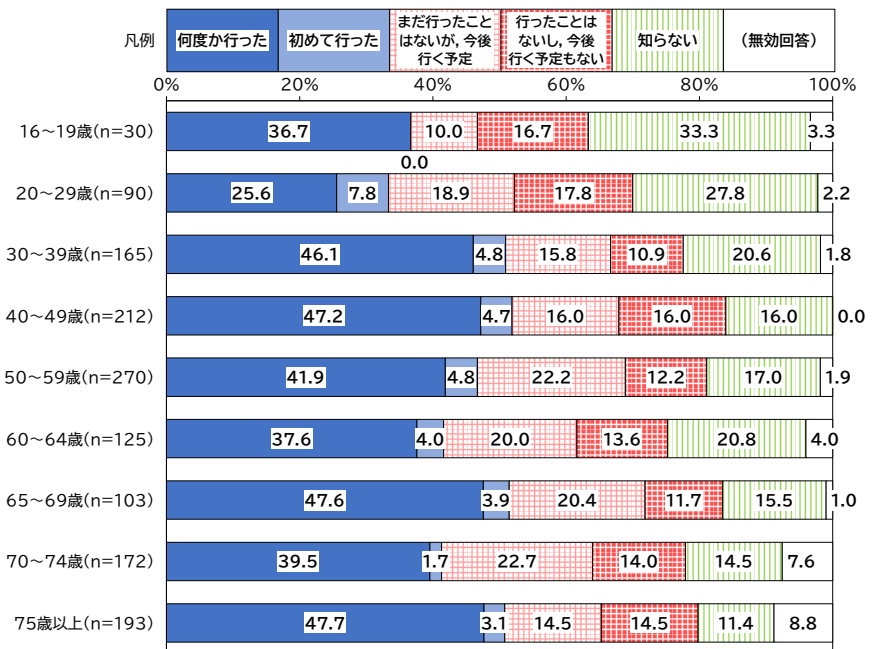


※「知らない」は、令和3年度以降追加された選択肢です。

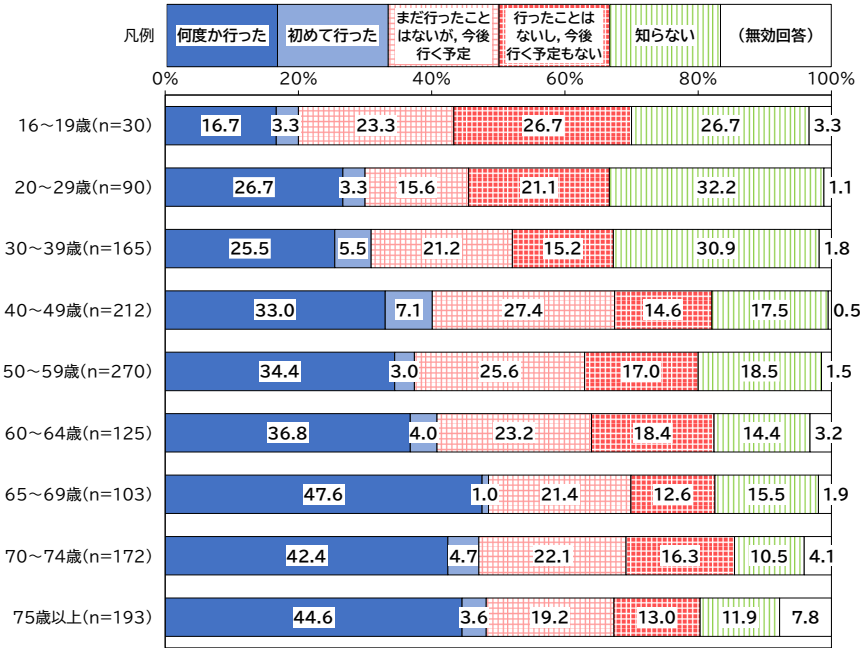
<年齢層別>

- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「ウ 深大寺周辺で開催されたイベント・行事」、「オ 映画のまち調布シネマフェスティバル」、「カ 武者小路実篤記念館・実篤公園」、「サ 深大寺白鳳仏(国宝)」、「シ 都立神代植物公園」、「ソ 調布市郷土博物館」、「テ 東京オーヴァル京王閣(京王閣競輪場)」は75歳以上が最も高くなっています。
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「イ 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場での文化・芸術イベント、展示」、「ス 深大寺城跡(国指定史跡)」、「セ 下布田遺跡(国指定史跡)」、「ト 調布市観光案内所「ぬくもりステーション」」は65~69歳が最も高くなっています。
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「ク イオンシネマシアタス調布(映画館)」、「ケ 味の素スタジアム(東京スタジアム)」、「コ 武蔵野の森総合スポーツプラザ」は16~19歳が最も高くなっています。
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「ア 調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント」、「エ ゲゲゲ忌」は40~49歳が最も高くなっています。
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「ツ 西光寺・近藤勇座像」、「ナ 深大寺観光案内所」は70~74歳が最も高くなっています。
- 「何度か行った」、「初めて行った」の合計において、「キ トリエ京王調布」は20~29歳、「タ 鬼太郎ひろば」は30~39歳、「チ 布多天神社」は50~59歳が最も高くなっています。

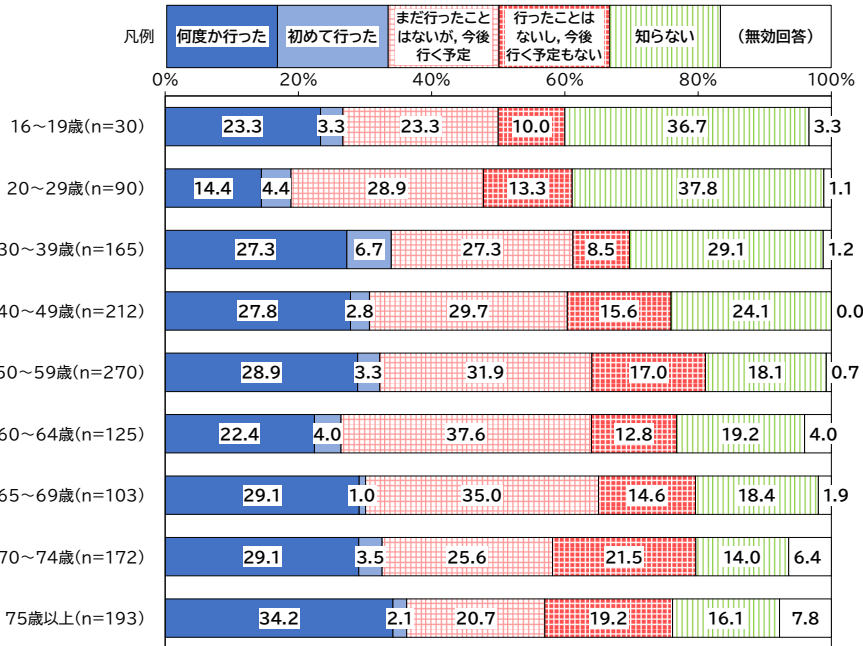
ア 調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント



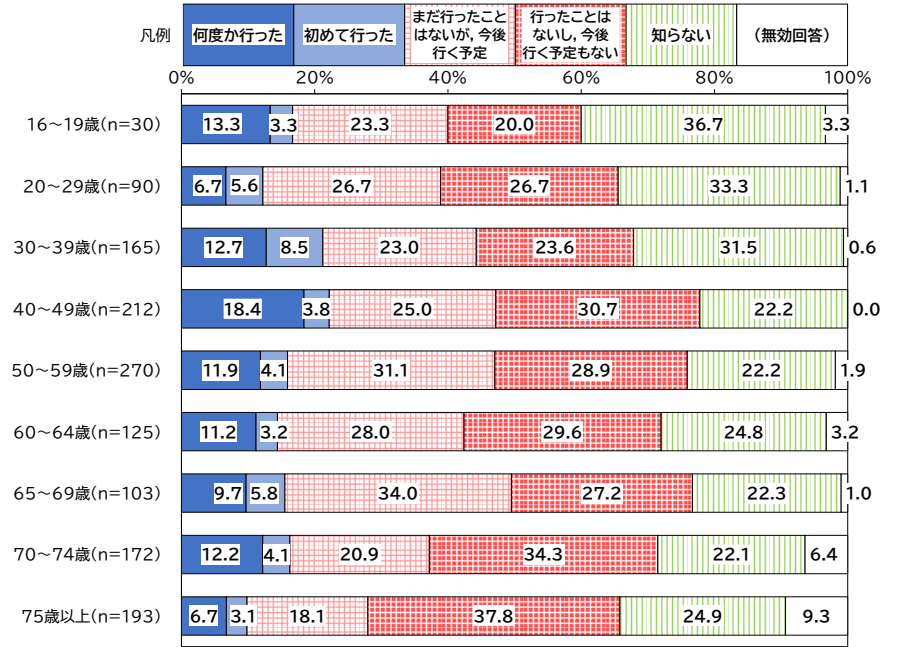
イ 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場での文化・芸術イベント、展示



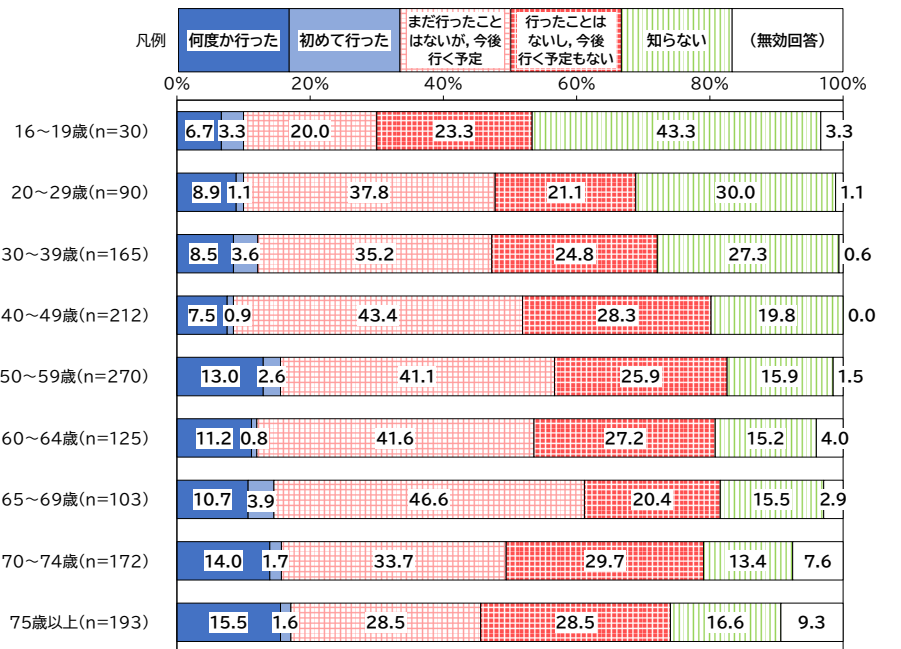
ウ 深大寺周辺で開催されたイベント・行事



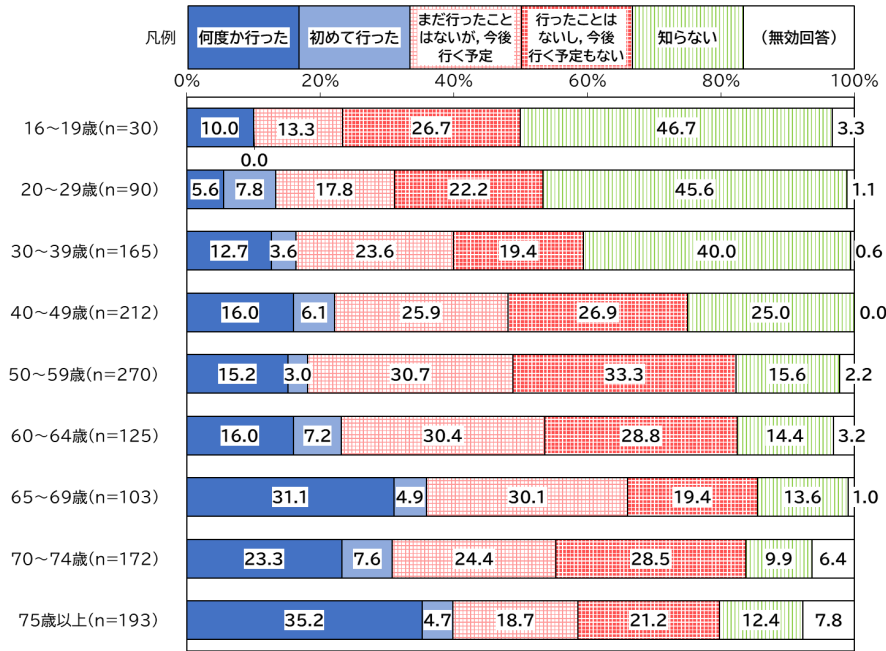
エ ゲゲゲ忌



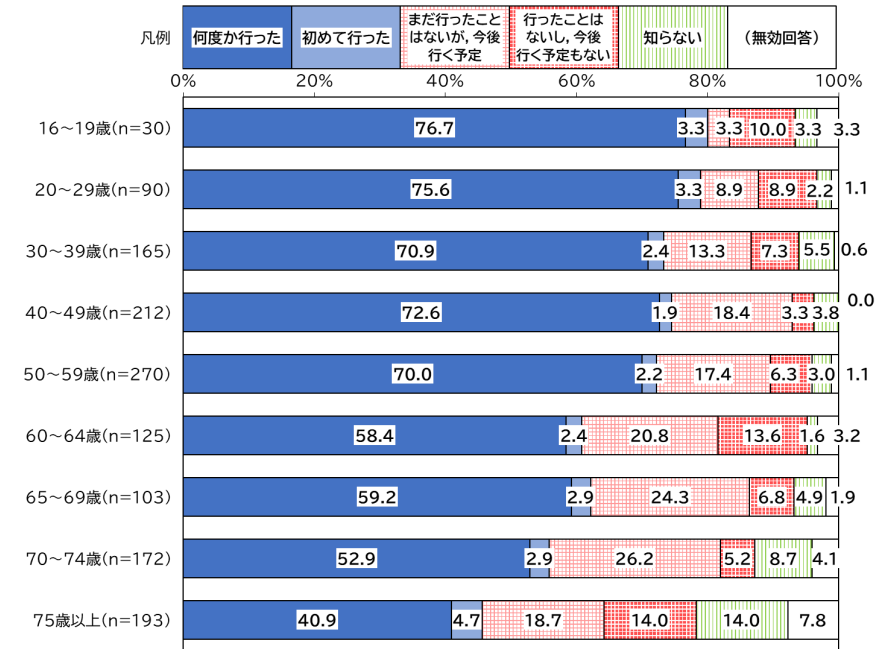
オ 映画のまち調布 シネマフェスティバル



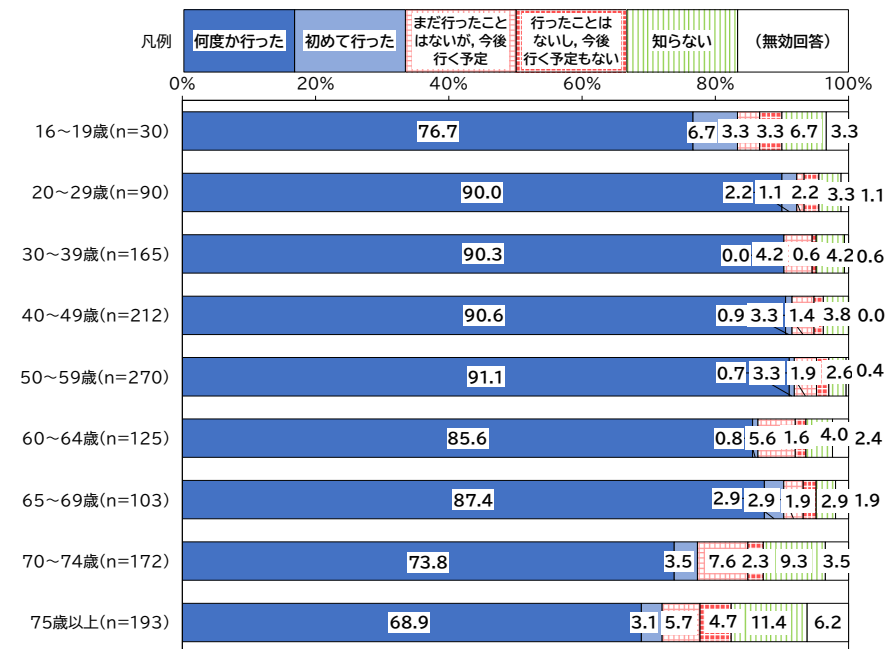
カ 武者小路実篤記念館・実篤公園



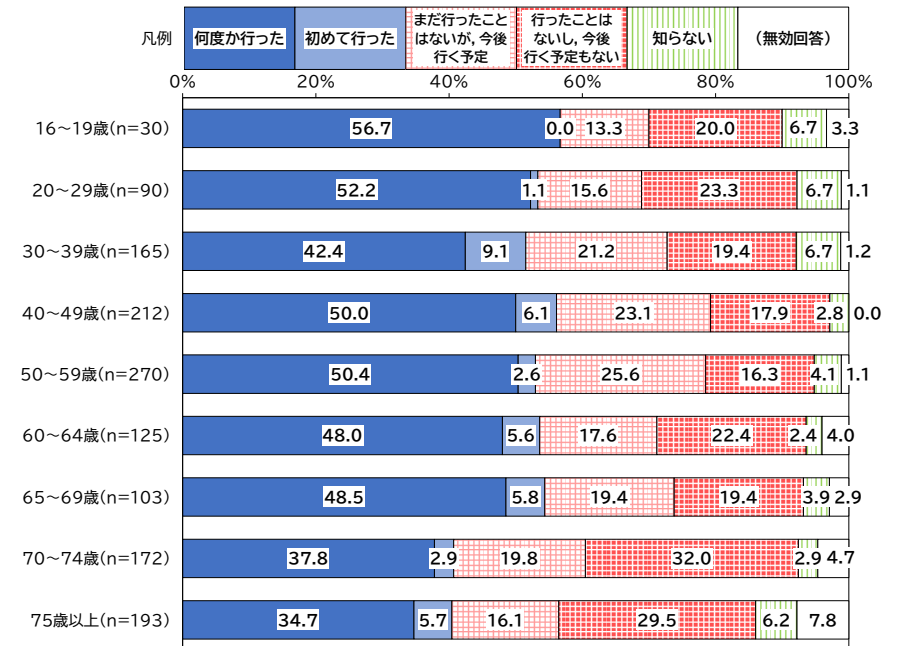
ク イオンシネマ シアタス調布 (映画館)



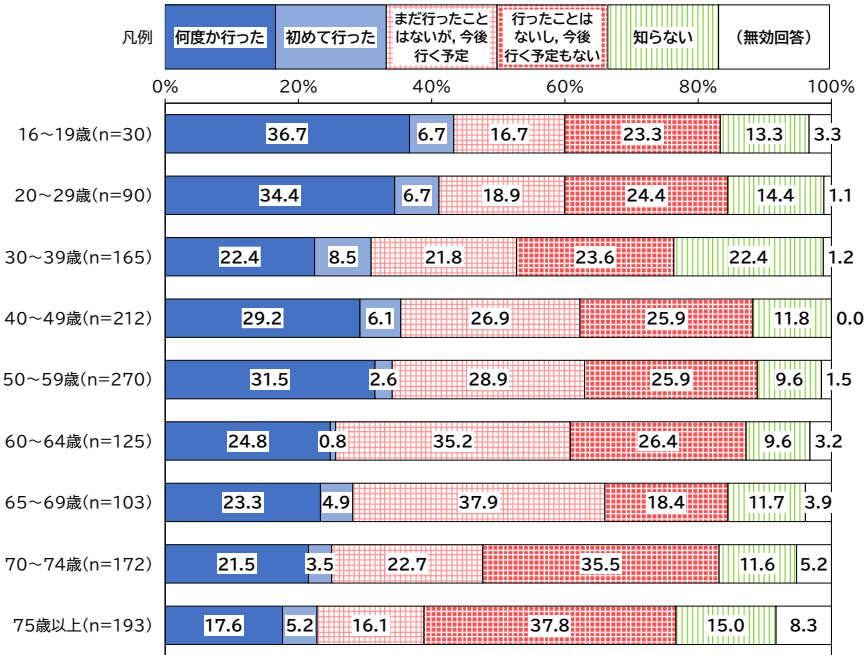
キ トリエ京王調布



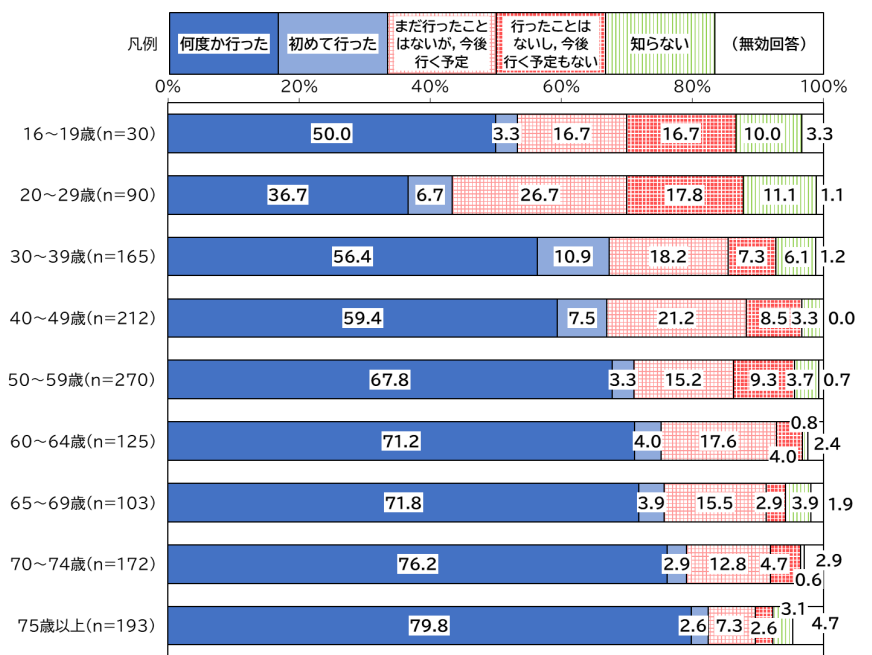
ケ 味の素スタジアム (東京スタジアム)



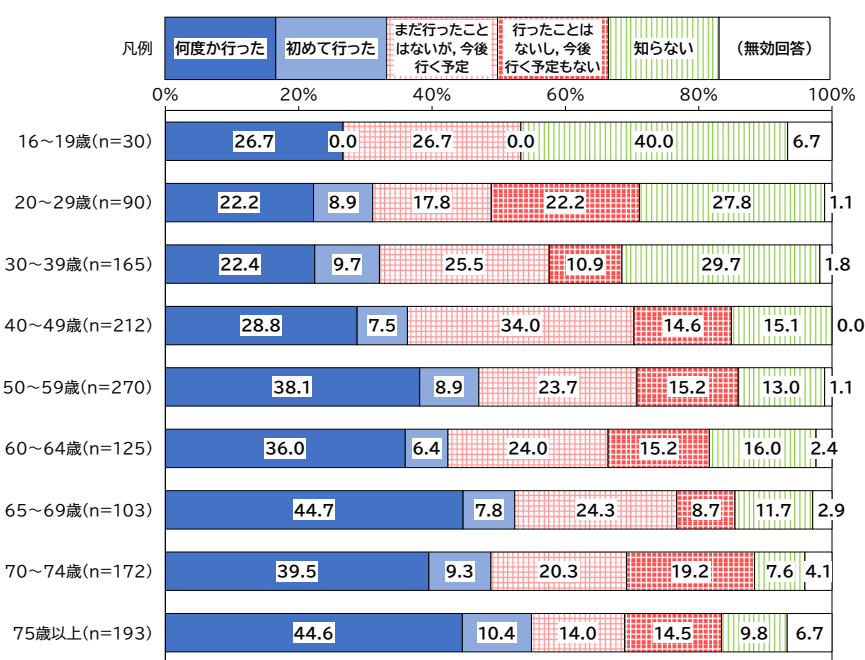
コ 武蔵野の森総合スポーツプラザ



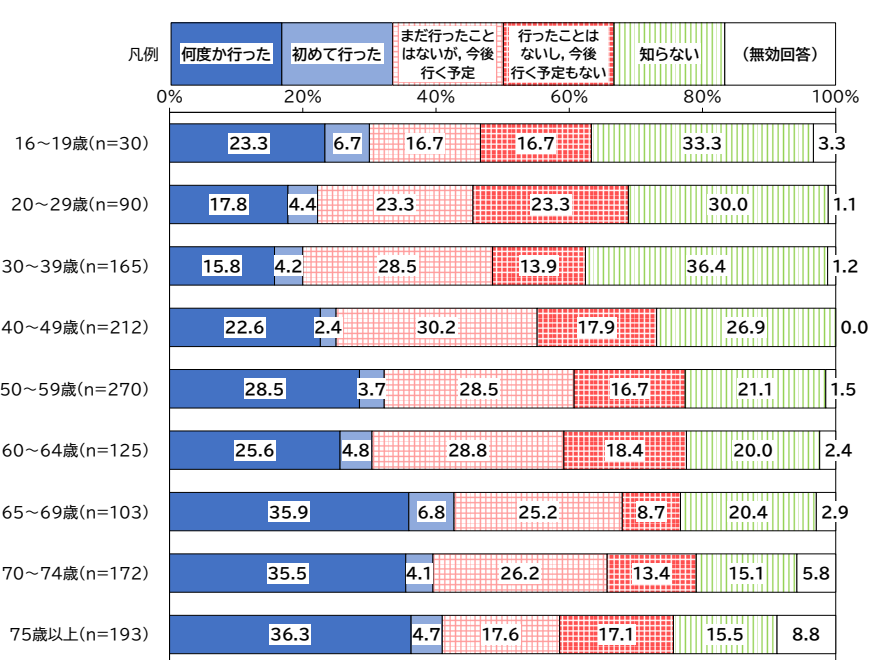
シ 都立神代植物公園



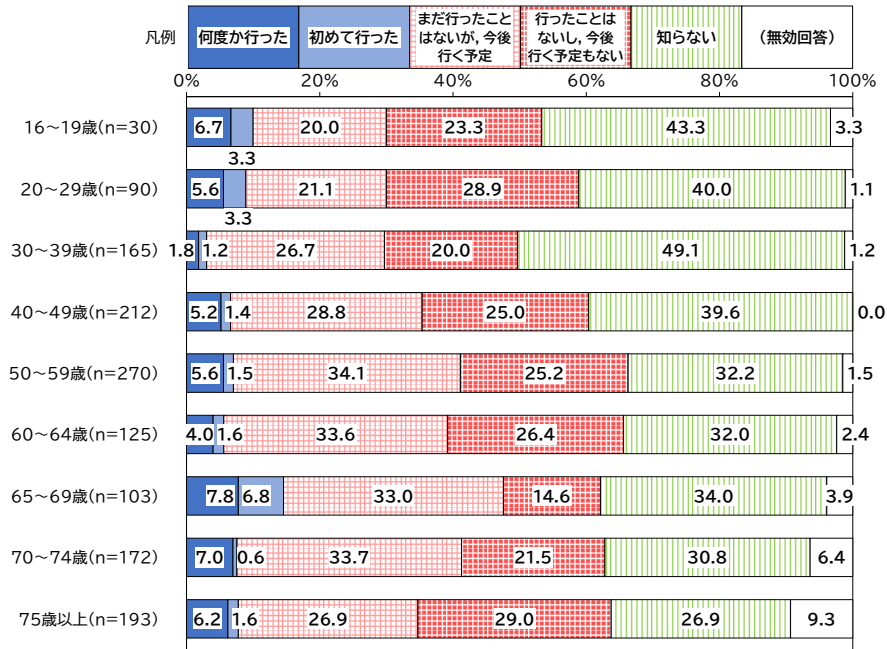
サ 深大寺白鳳仏(国宝)



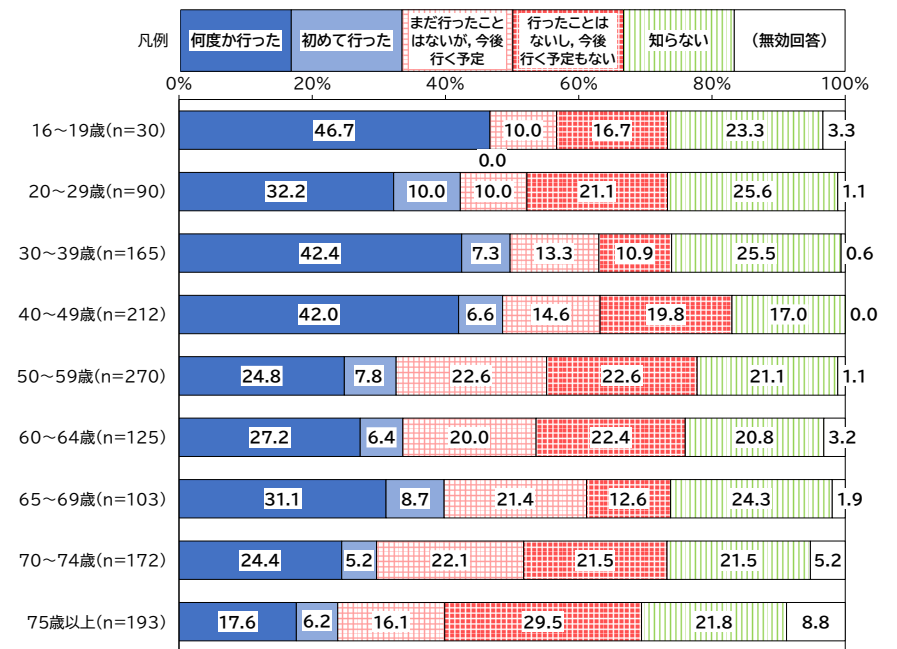
ス 深大寺城跡(国指定史跡)



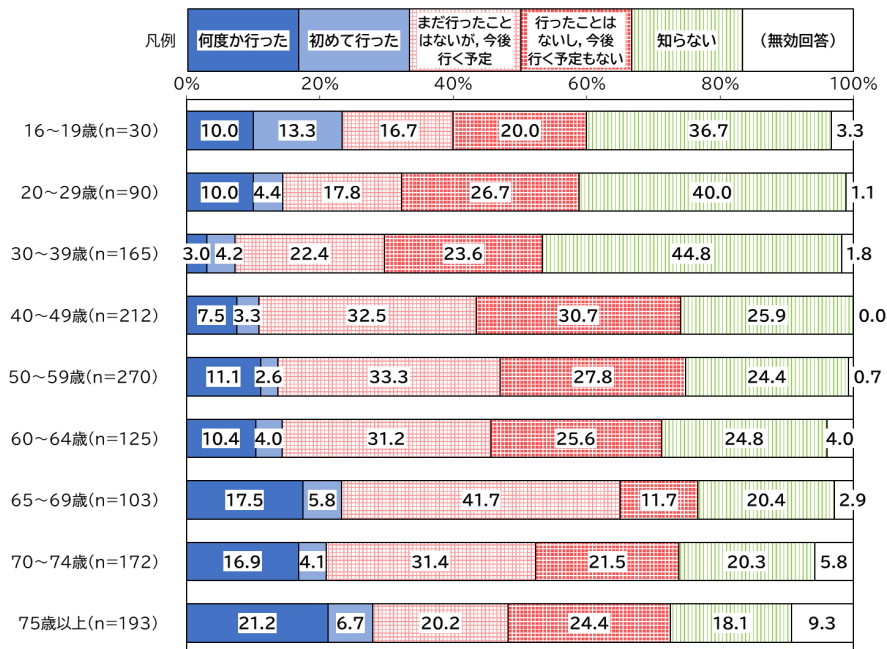
セ 下布田遺跡 (国指定史跡)



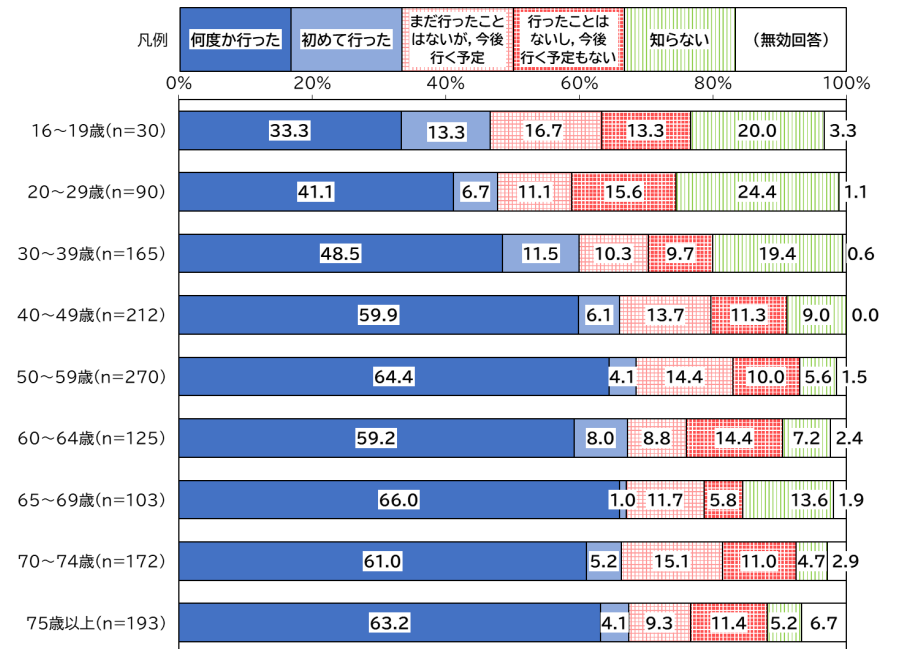
タ 鬼太郎ひろば



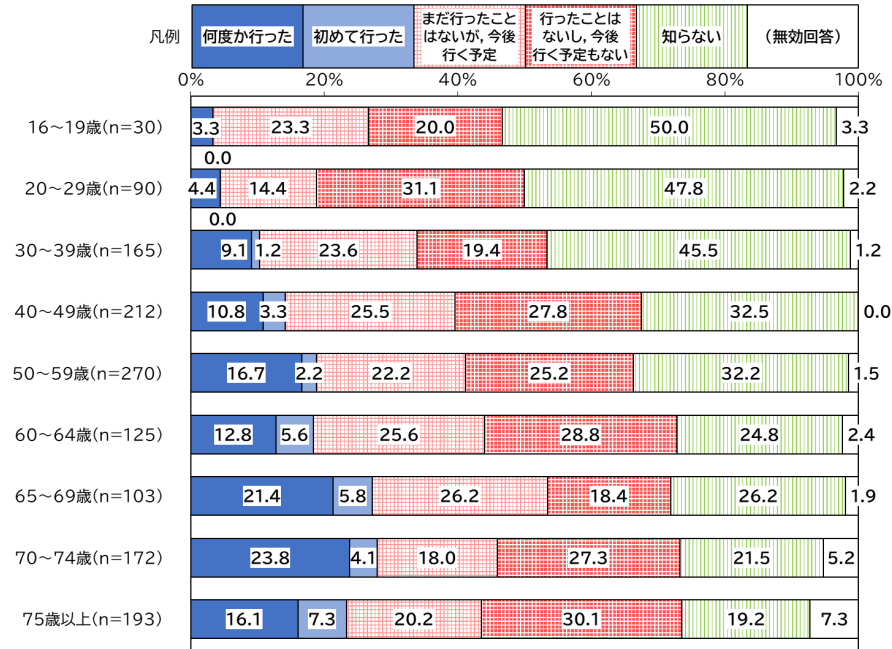
ソ 調布市郷土博物館



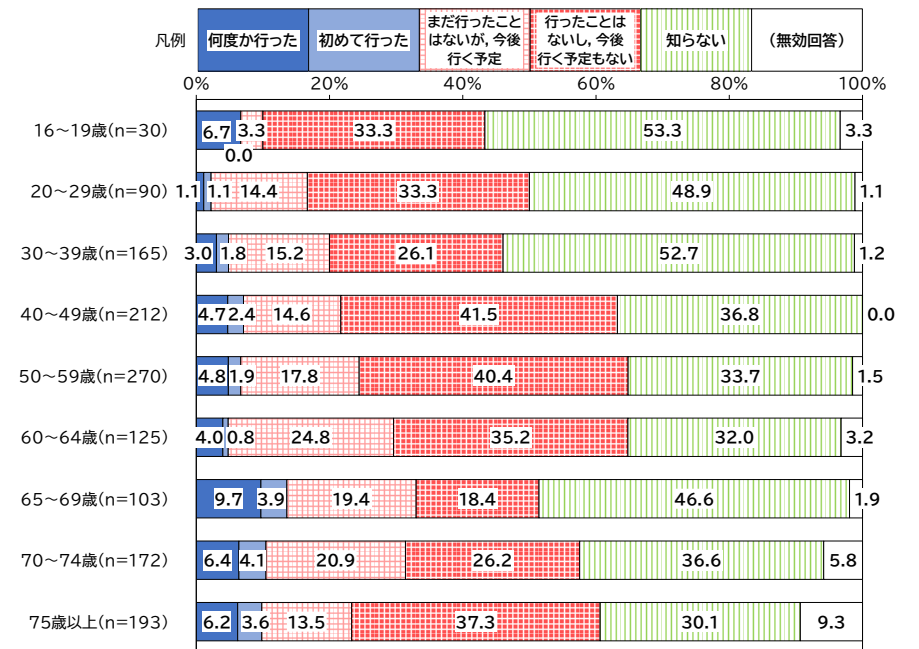
チ 布多天神社



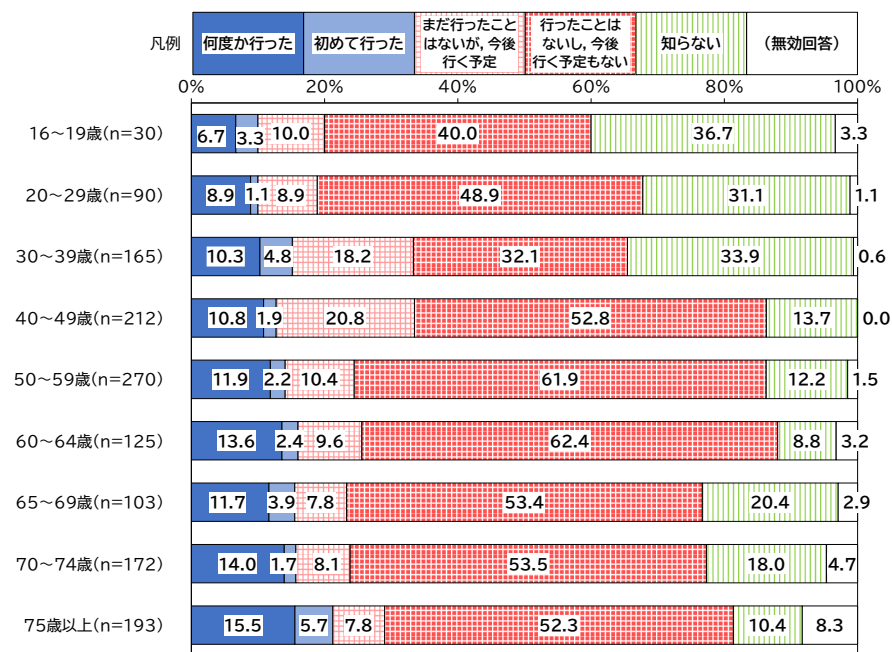
ツ 西光寺・近藤勇座像



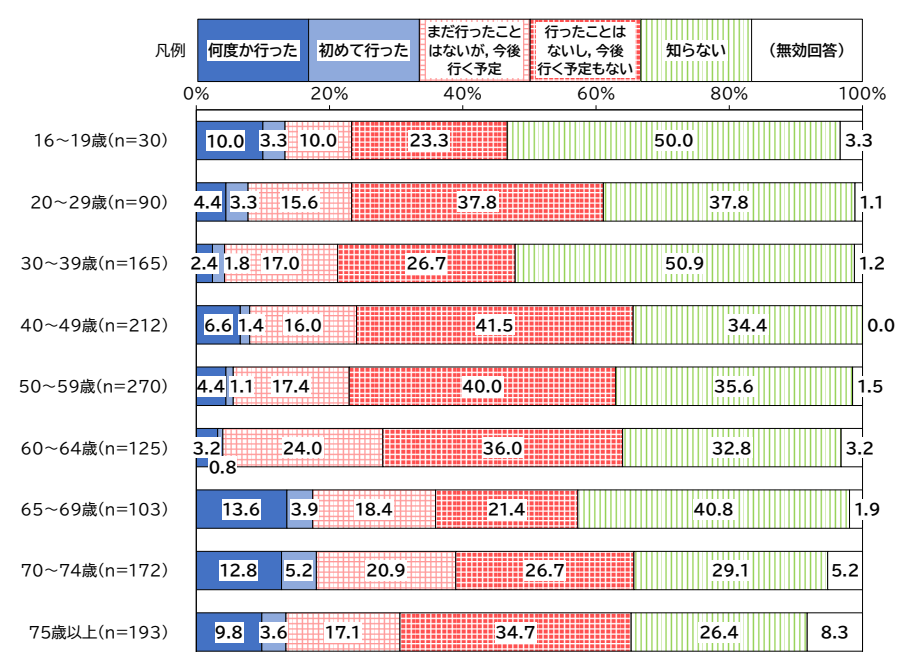
ト 調布市観光案内所「ぬくもりステーション」



テ 東京オーヴァル京王閣（京王閣競輪場）



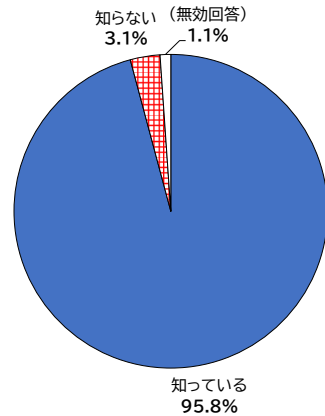
ナ 深大寺観光案内所



問 36) あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が 50 年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。

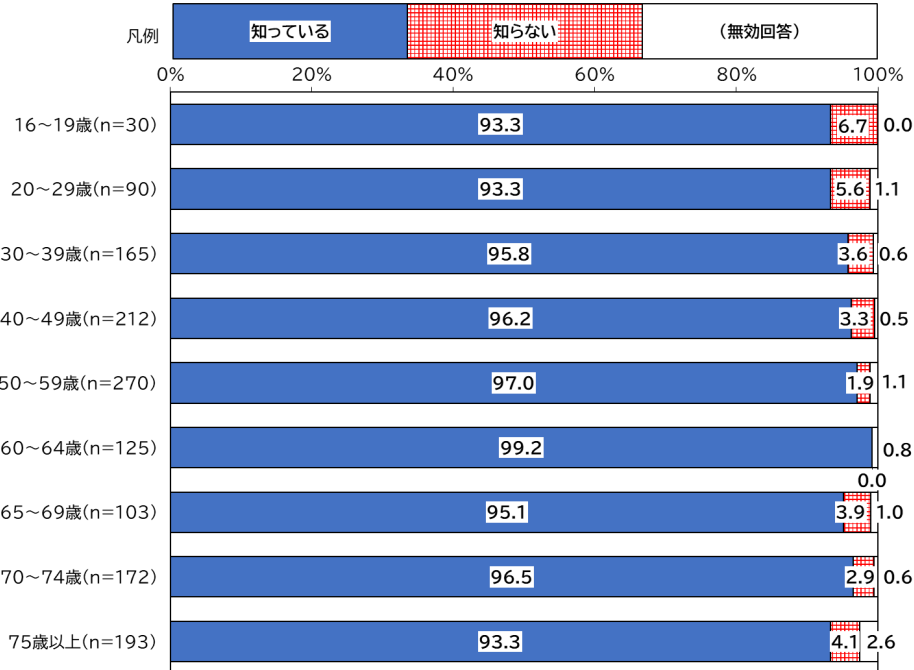
<全体 (n=1,370) >

○「知っている」が 95.8%、「知らない」が 3.1%、「無効回答」が 1.1%となっています。



<年齢層別>

○「知っている」は、いずれの年齢層でも 90%を超えています。

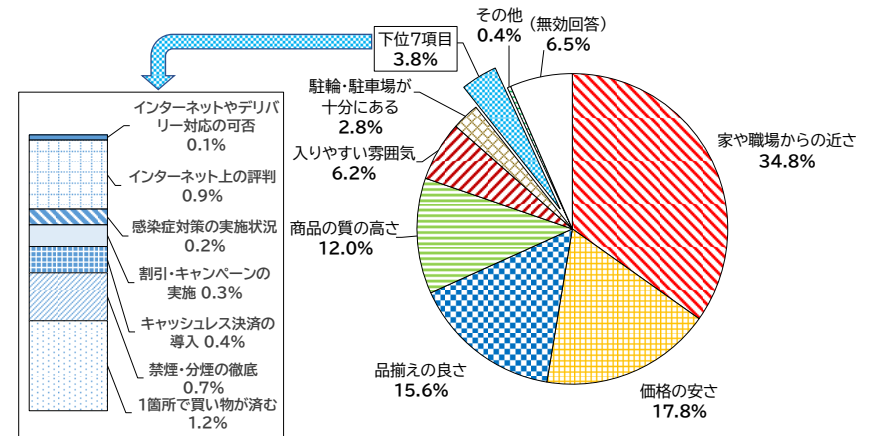


問 37) 買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。

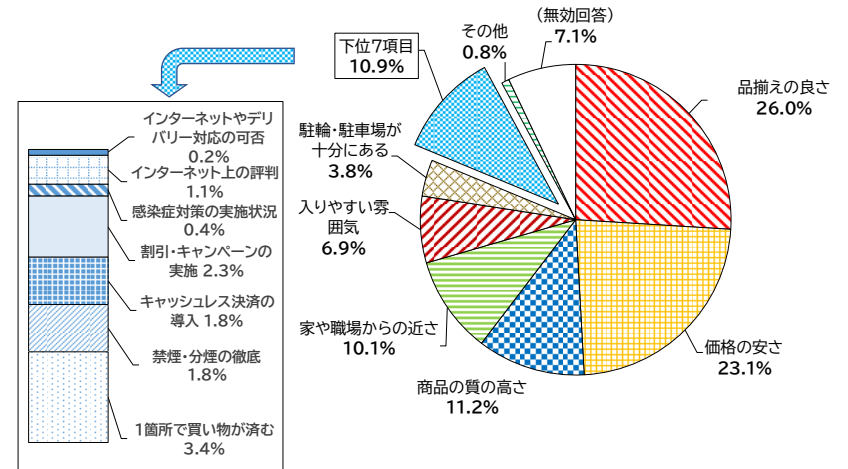
<全体 (n=1,370) >

- 1 番目に重視していることは、「家や職場からの近さ」が 34.8%で最も高く、次いで「価格の安さ」の 17.8%、「品揃えの良さ」の 15.6%の順となっています。
- 2 番目に重視していることは、「品揃えの良さ」が 26.0%で最も高く、次いで「価格の安さ」の 23.1%、「商品の質の高さ」の 11.2%の順となっています。
- 3 番目に重視していることは、「品揃えの良さ」が 18.5%で最も高く、次いで「商品の質の高さ」の 13.6%、「価格の安さ」の 12.6%の順となっています。

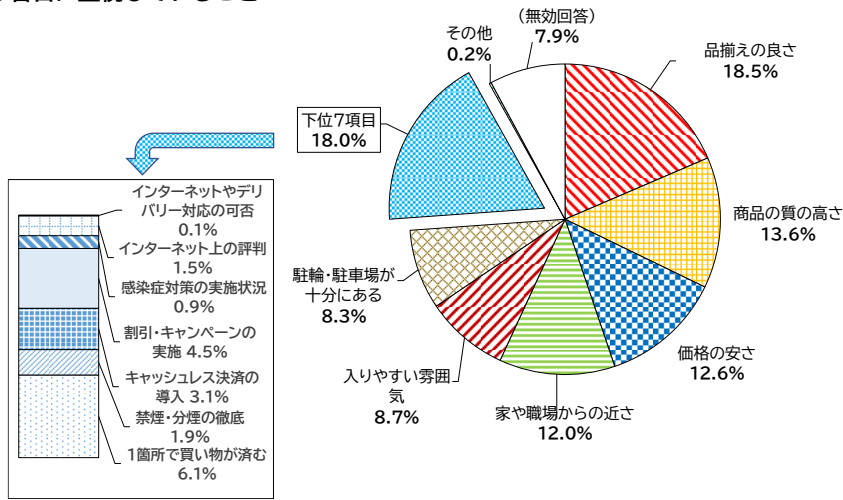
1 番目に重視していること



2 番目に重視していること



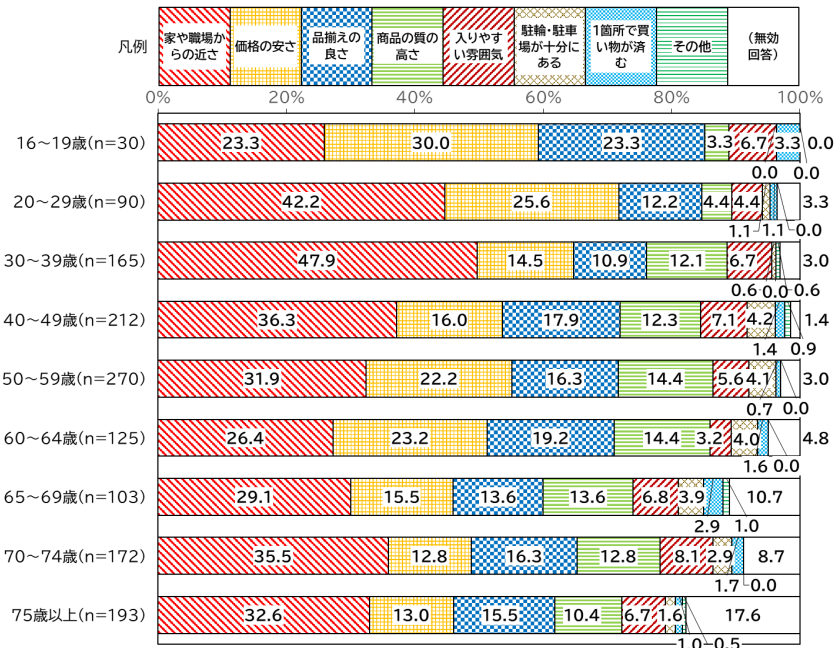
3番目に重視していること



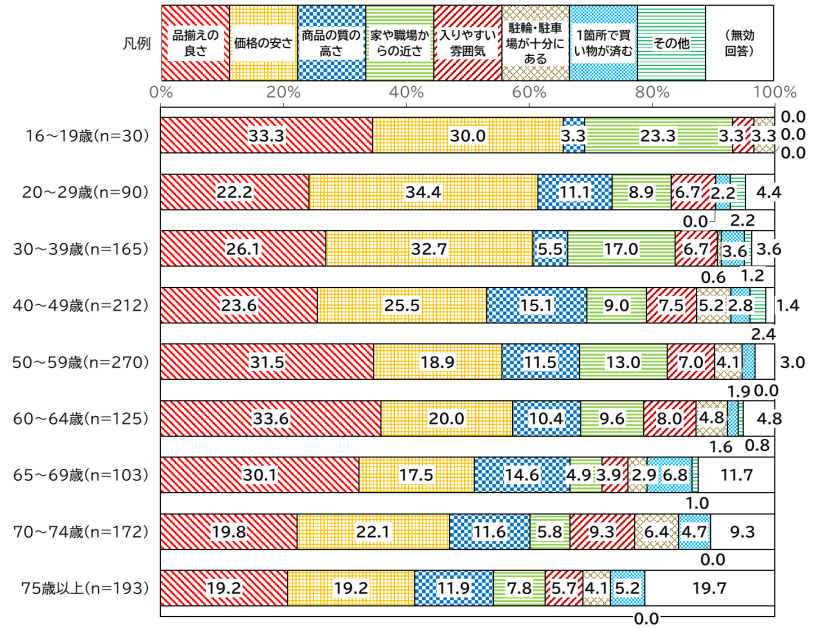
<年齢層別>

○1番目に重視していることは、16~19歳で「価格の安さ」、それ以外の年齢層で「家や職場からの近さ」が最も高くなっています。

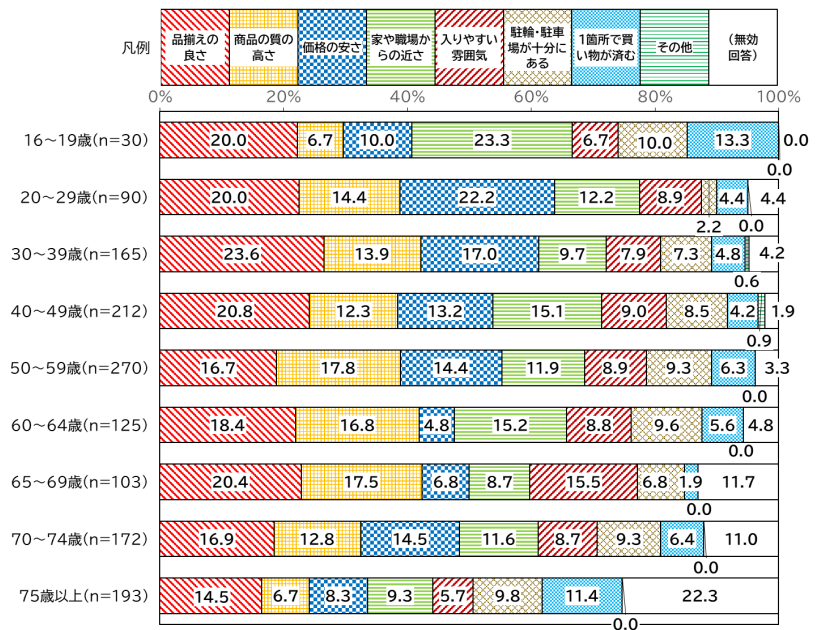
1番目に重視していること



2番目に重視していること



3番目に重視していること



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 産業振興に関する施策についてのご意見・ご提案】(60件)

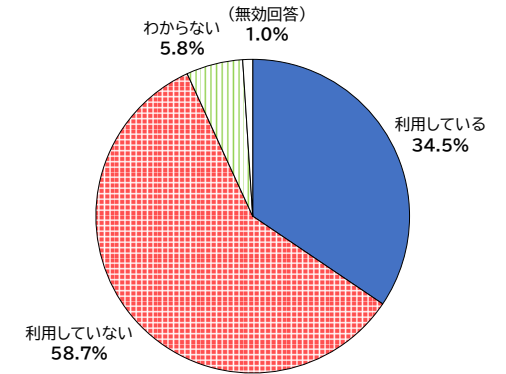
- ・調布市ポイントパイ等も定期的に実施してほしい。スマホを利用しない人にも特典があると不公平感がない。
- ・駅周辺の駐輪，駐車場が不足していると思います。
- ・地元の中小零細企業を応援するような施策を取り入れてほしい。コロナ時のgo to eatでは地元で消費しよう応援しようという気持ちになった。
- ・個人商店のお店や中小規模のお店などが継続できるような街であってほしい。
- ・市レベルで特定の産業・業種に対する施策を行う必要はない。
- ・トップダウンとして「調布という地の利を活かすための産業は何かという再定義」，ボトムアップとして「住民が真に求めているものは何か?の深掘り」
- ・調布駅前が整備され，とても開放的な雰囲気は良い。ゴミや治安，鳥害などの問題が出てこないといいなと思っている。
- ・現状に大変満足しているので，これを維持していただきたい。
- ・映画の街というくらいなので，多摩映画祭くらいの何かをやってほしい。



問 38) あなたは，普段の買い物で商店街を利用していますか。

<全体 (n=1,370) >

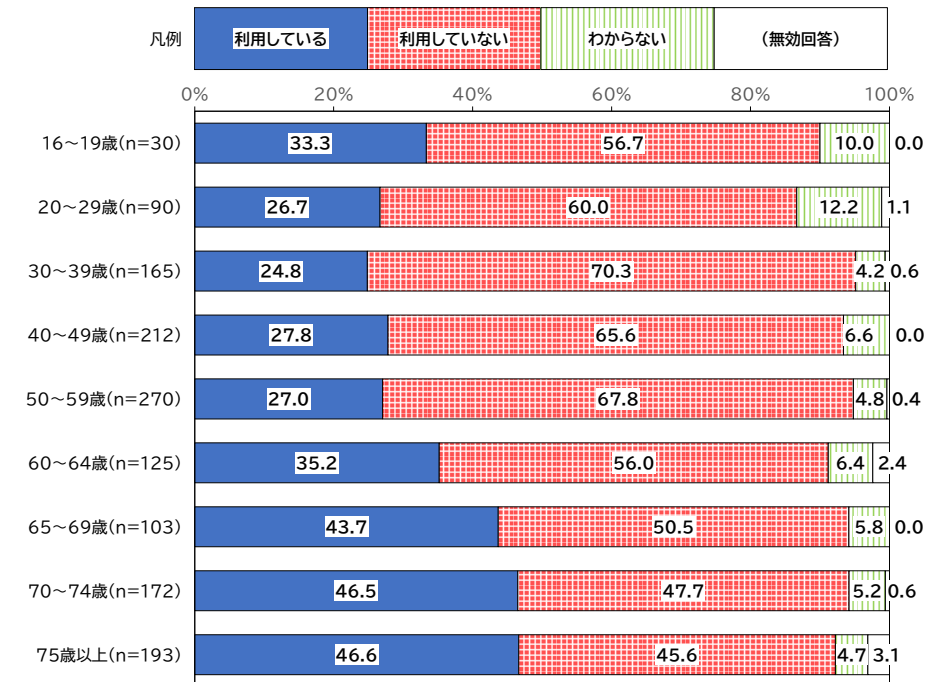
○「利用している」が 34.5%，「利用していない」が 58.7%であり，後者が前者を大きく上回っています。



<年齢層別>

○おおむね年齢が上がるほど「利用している」が高くなる傾向にあります。

○「利用していない」は20～59歳で60%を超えています。

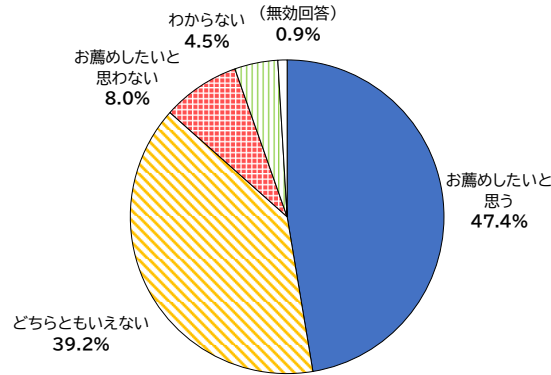


問 39) あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。

問 40) あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。

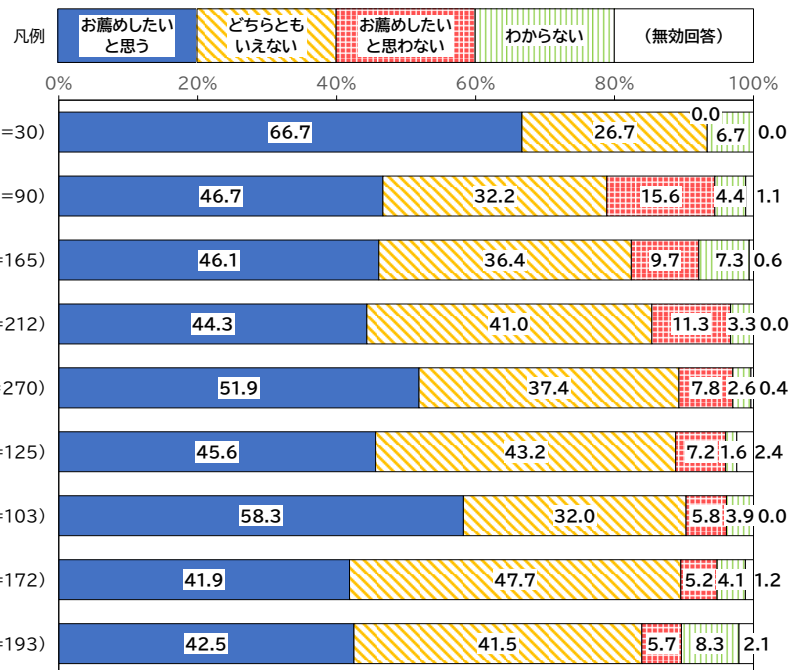
<全体 (n=1,370) >

○「お薦めしたいと思う」が47.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の39.2%、「お薦めしたいと思わない」の8.0%の順となっています。



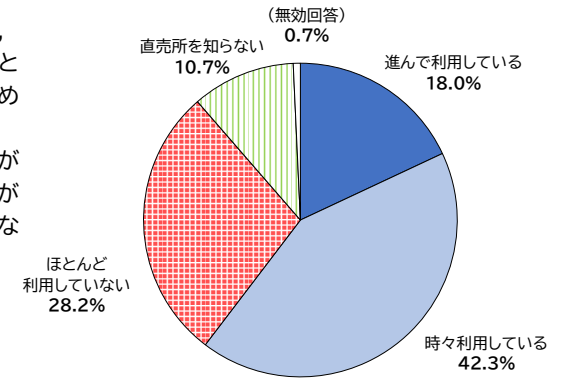
<年齢層別>

○「お薦めしたいと思う」は全ての年齢層で40%以上となっています。  
○「お薦めしたいと思わない」は年齢層が高くなるにつれ、低くなる傾向にあります。



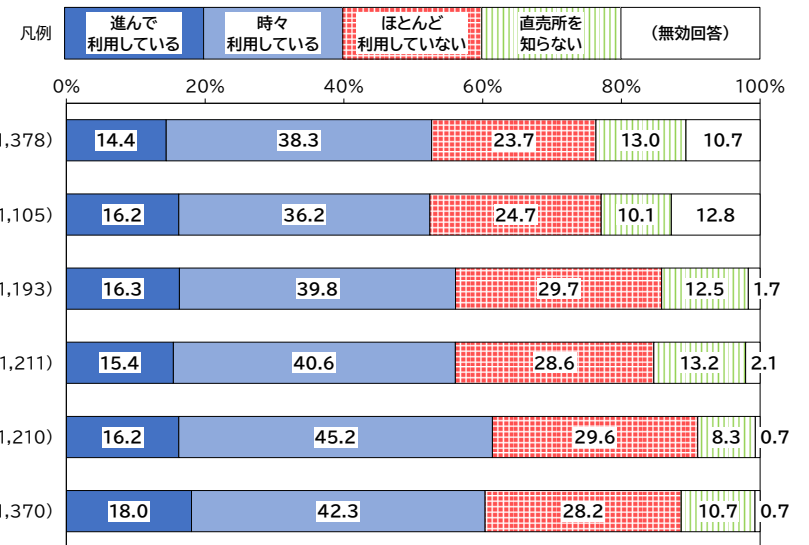
<全体 (n=1,370) >

○「進んで利用している」は18.0%、「時々利用している」は42.3%となっており、合計で60.3%を占めています。  
○「ほとんど利用していない」が28.2%、「直売所を知らない」が10.7%で、合計すると38.9%となっています。



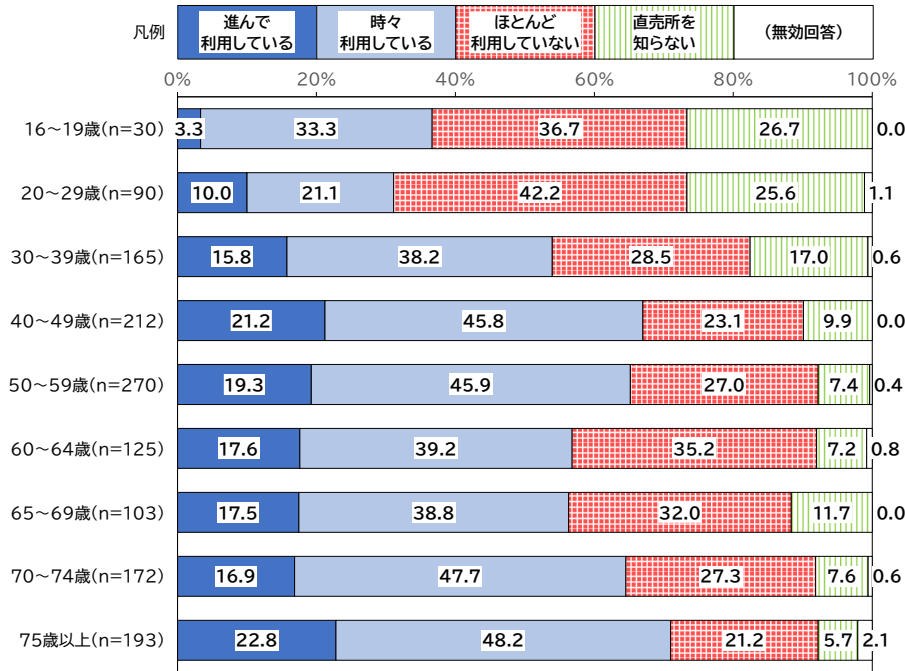
<経年比較>

○「進んで利用している」と「時々利用している」の合計(60.3%)は、令和6年度(61.4%)に比べ1.1ポイント減少しています。



<年齢層別>

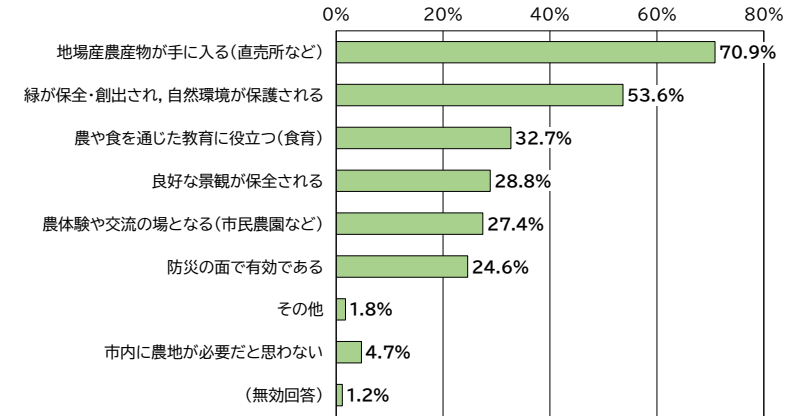
- 「進んで利用している」と「時々利用している」の合計は、30歳以上では50%を超えているのに対して、29歳以下では30%台となっています。
- 29歳以下では、「ほとんど利用していない」と「直売所を知らない」の合計が60%を超えています。



問41) あなたは市内に農地が必要だと思いますか。必要だと思う場合はその理由について、選んでください。

<全体 (n=1,370) >

- 「地場産農産物が手に入る(直売所など)」が70.9%で最も高く、次いで「緑が保全・創出され、自然環境が保護される」の53.6%の順となっています。



<年齢層別>

- 65~69歳は「緑が保全・創出され、自然環境が保護される」、それ以外の年齢層では「地場産農産物が手に入る(直売所など)」が最も高くなっています。
- 29歳以下では「農や食を通じた教育に役立つ(食育)」、65~69歳では「地場産農産物が手に入る(直売所など)」、それ以外の年齢層では「緑が保全・創出され、自然環境が保護される」が2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
地場産農産物が手に入る(直売所など)	971	21	53	123	139	189	90	65	134	149
防災の面で有効である	337	5	14	26	47	62	35	34	51	60
良好な景観が保全される	395	4	18	35	57	72	45	36	58	66
緑が保全・創出され、自然環境が保護される	735	8	28	69	106	147	71	68	114	118
農体験や交流の場となる(市民農園など)	376	9	23	47	74	74	31	25	43	46
農や食を通じた教育に役立つ(食育)	448	10	30	56	88	91	31	34	51	52
その他	24	0	1	4	5	3	3	3	4	1
市内に農地が必要だと思わない	65	3	10	11	14	12	4	2	6	3
(無効回答)	16	0	2	2	0	2	1	1	1	6

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ]

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 農業に関する施策についてのご意見・ご提案】(77件)

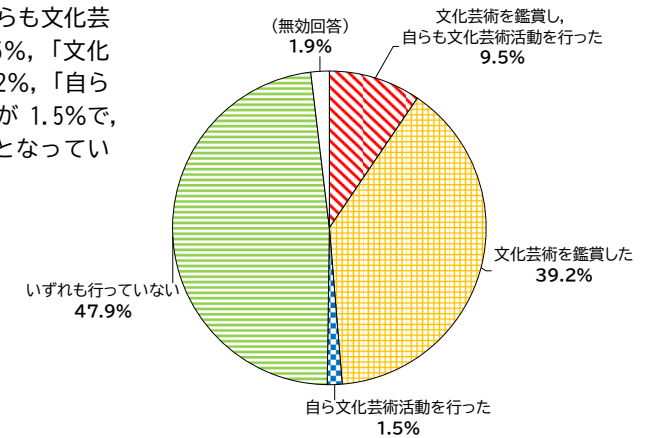
- ・農地、公園、広場などの広い土地が地震、大規模な火災の時には必要。
- ・自然豊かなこと、農地があることが調布の良いところだと思う。
- ・農地を守れるようなインセンティブ（地域との交流への補助など）を強化する。
- ・農地がどんどん宅地化されているので、残念。
- ・農業体験を通じて、これからの農業を発展させて欲しい。担い手を増やす。
- ・学校の農業体験は良い経験をさせて貰っていると思う。
- ・農業の維持は、販売先(スーパー等)の導線があることが前提だと思う。
- ・市民農園を増やしてほしい。

【芸術・歴史文化について】

問42) あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。

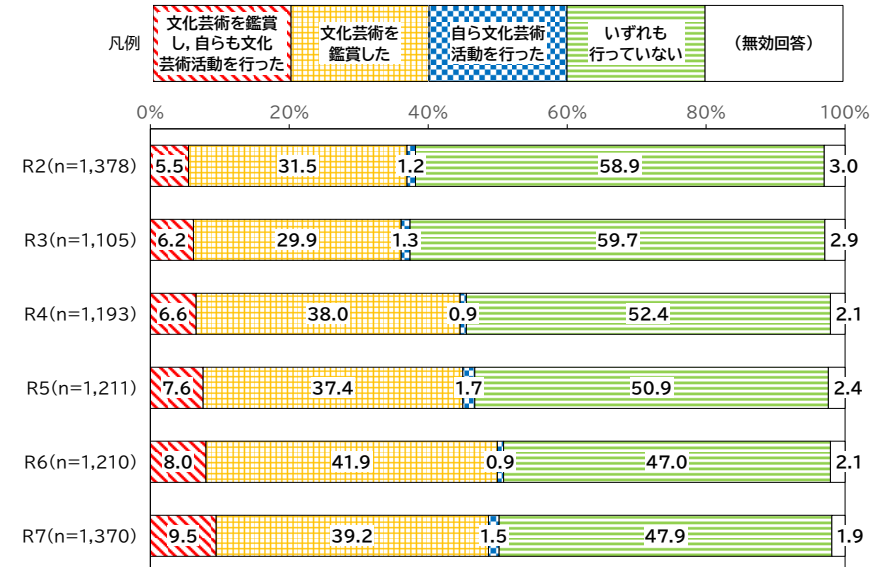
<全体 (n=1,370) >

○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」が 9.5%、「文化芸術を鑑賞した」が 39.2%、「自ら文化芸術活動を行った」が 1.5%で、これらの合計が 50.2%となっています。



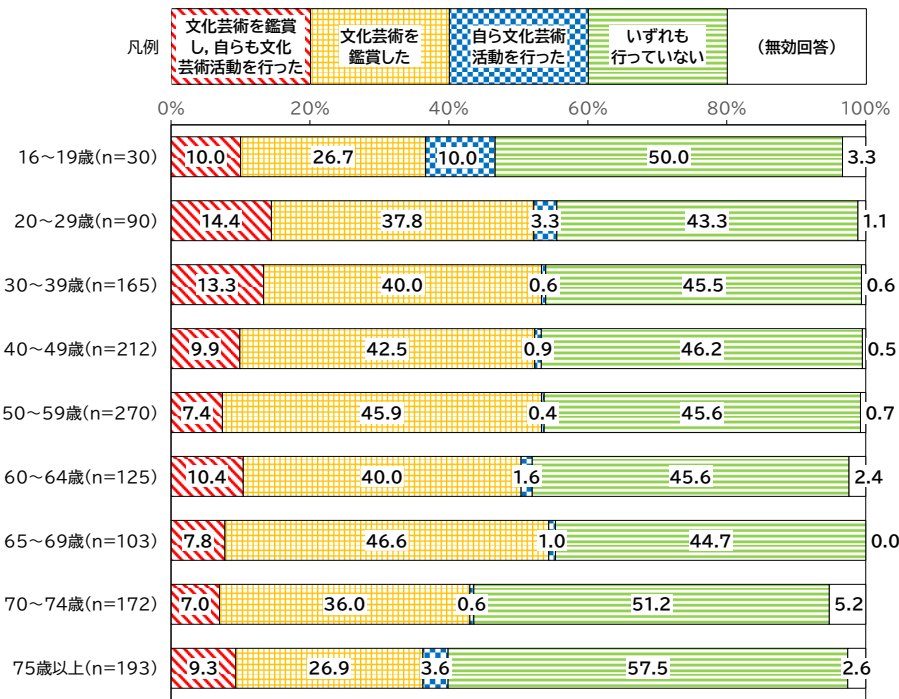
<経年比較>

○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」、「文化芸術を鑑賞した」、「自ら文化芸術活動を行った」の合計 (50.2%) は、令和6年度 (50.8%) に比べ 0.6 ポイント減少しています。



<年齢層別>

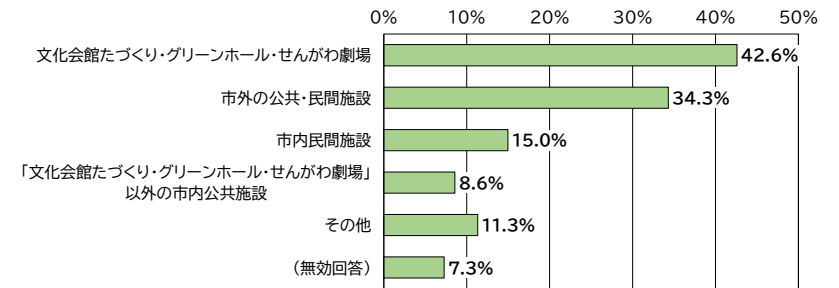
○「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」、「文化芸術を鑑賞した」、「自ら文化芸術活動を行った」の合計は、20～29歳の55.5%が最も高く、20～69歳で50%以上となっています。



問 42-1) 問 42 で「文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った」「文化芸術を鑑賞した」「自ら文化芸術活動を行った」と回答した方にうかがいます。文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所はどこですか。

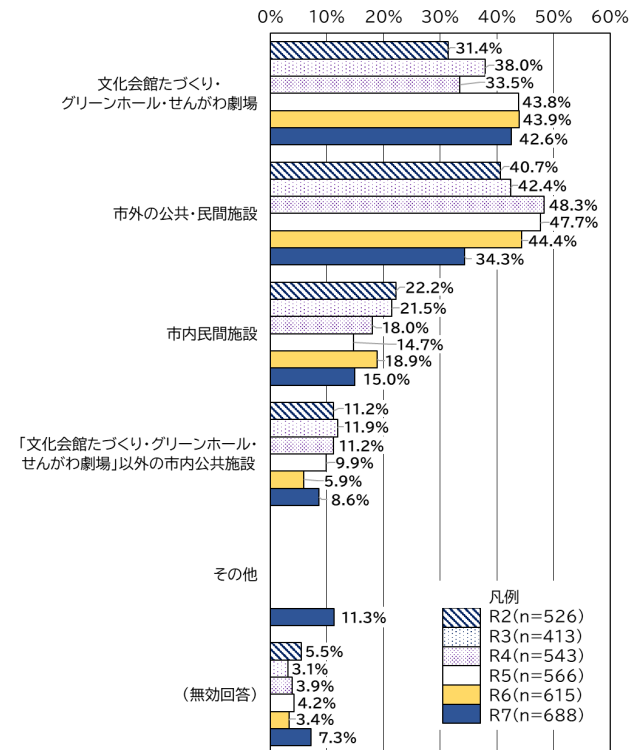
<全体 (n=688) >

○「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」の42.6%が最も高く、次いで「市外の公共・民間施設」の34.3%の順となっています。



<経年比較>

○「市外の公共・民間施設」は、令和6年度(44.4%)に比べ令和7年度(34.3%)は10.1ポイント減少しています。



※「その他」は令和7年度に新設した調査項目です。

<年齢層別>

○いずれの年齢層においても、「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」と「市外の公共・民間施設」が高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	688	14	50	89	113	145	65	57	75	77
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場	293	4	16	30	44	48	27	24	43	56
	42.6%	28.6%	32.0%	33.7%	38.9%	33.1%	41.5%	42.1%	57.3%	72.7%
「文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場」以外の市内公共施設	59	0	9	6	9	17	3	8	5	2
	8.6%	0.0%	18.0%	6.7%	8.0%	11.7%	4.6%	14.0%	6.7%	2.6%
市内民間施設	103	2	7	16	16	27	11	8	11	5
	15.0%	14.3%	14.0%	18.0%	14.2%	18.6%	16.9%	14.0%	14.7%	6.5%
市外の公共・民間施設	236	5	23	43	38	55	24	19	15	13
	34.3%	35.7%	46.0%	48.3%	33.6%	37.9%	36.9%	33.3%	20.0%	16.9%
その他	78	2	7	9	21	17	9	4	7	1
	11.3%	14.3%	14.0%	10.1%	18.6%	11.7%	13.8%	7.0%	9.3%	1.3%
(無効回答)	21	0	3	4	0	2	4	1	5	2
	3.4%	0.0%	7.7%	6.8%	0.0%	1.6%	7.1%	2.4%	5.6%	2.9%

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ]

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 主な市外の施設】(113件)

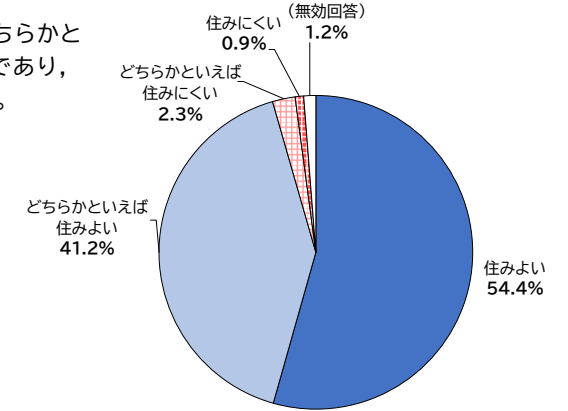
・府中の森芸術劇場	・国立西洋美術館
・東京国立博物館	・四季劇場
・新国立劇場	・歌舞伎座

【良好な市街地について】

問43) あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。

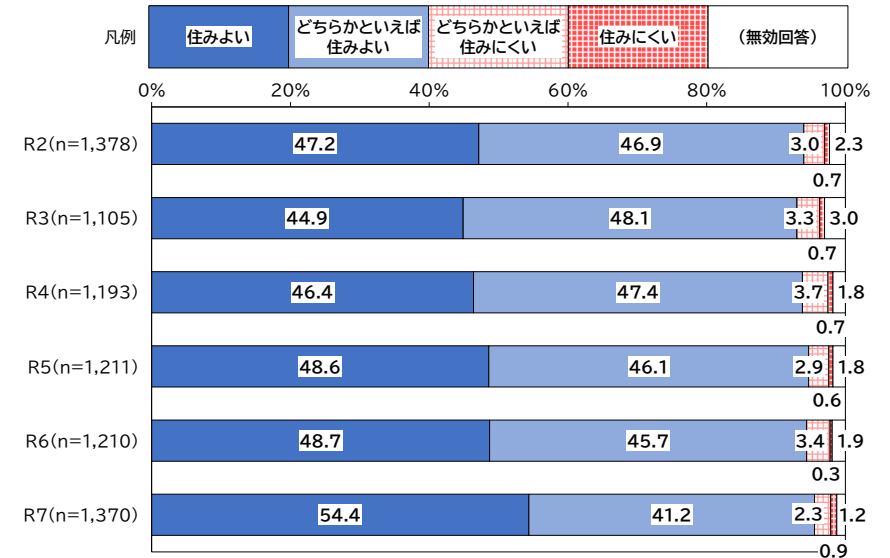
<全体 (n=1,370)>

○「住みよい」は 54.4%、「どちらかといえれば住みよい」は 41.2%であり、合計で 95.6%を占めています。



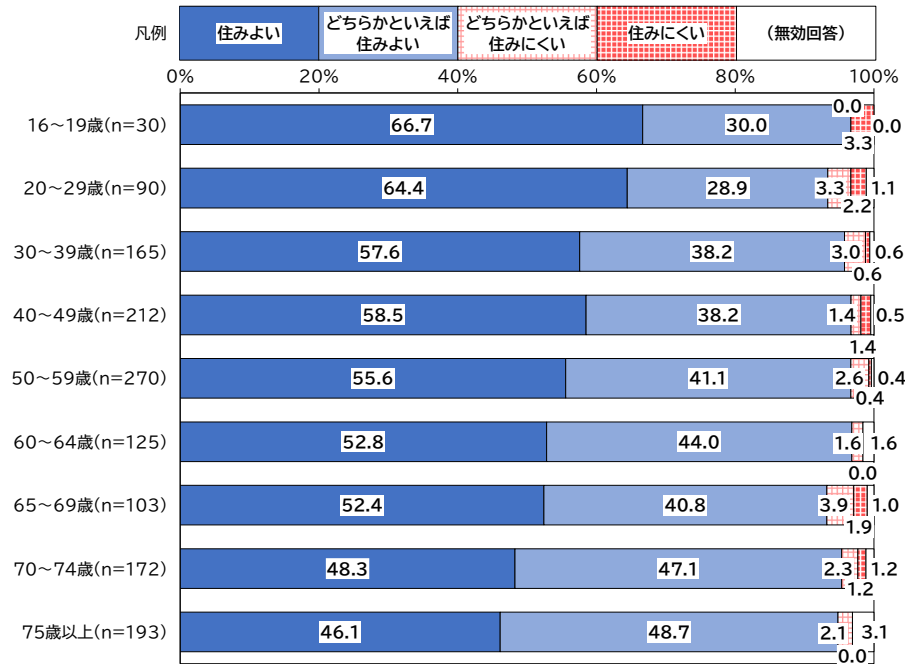
<経年比較>

○「住みよい」と「どちらかといえれば住みよい」の合計は、令和2年度以降、いずれも90%台で推移しています。



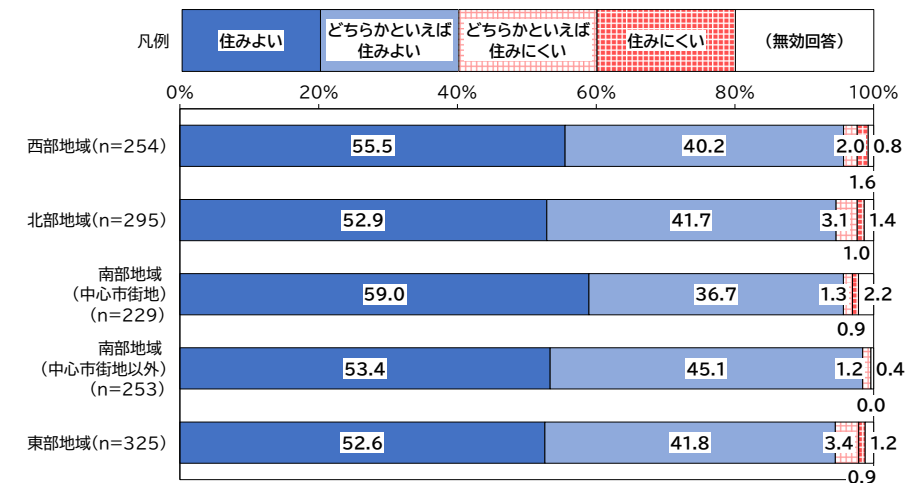
<年齢層別>

○いずれの年齢層も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計は90%台となっています。



<地域別>

○いずれの地域も、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の合計が90%台となっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

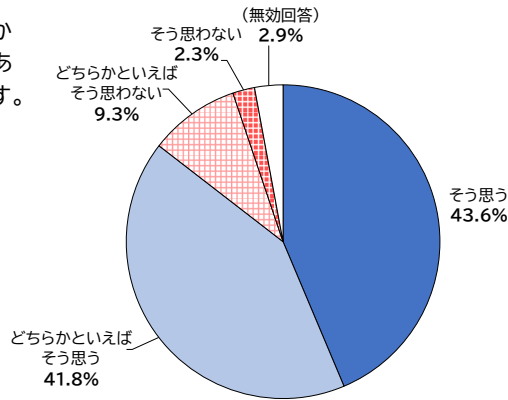
【図表 住みよい/住みにくいと思う理由】(288件)

「住みよい」 「どちらかといえば住みよい」	「住みにくい」 「どちらかといえば住みにくい」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・緑が多い, 自然が豊か</li> <li>・都心のアクセスがいい</li> <li>・買い物が便利</li> <li>・程よく活気がある</li> <li>・治安が良い</li> <li>・子育てしやすい</li> <li>・すべてがちょうどいい</li> <li>・公的サービスが充実している</li> <li>・庶民的でありながら商業施設がグレードアップされて, まちの風景が魅力的になっていく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独身者向けでない</li> <li>・道路整備が不十分</li> <li>・南北への移動がしづらい</li> <li>・以前は住みやすかったが, 駅前にスーパーが一つしか無いいつも混んでいて行きづらくなった</li> </ul>

問 44) あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いますか。

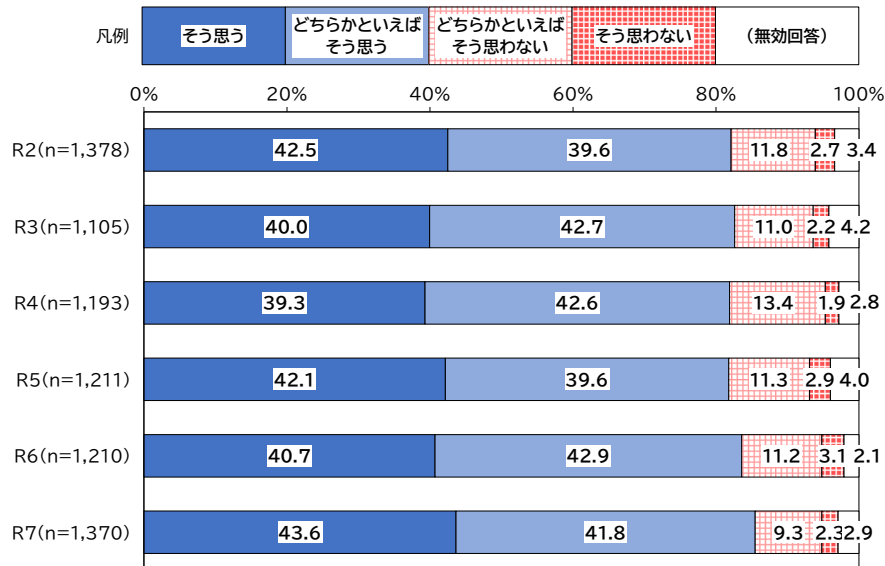
<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」は 43.6%、「どちらかといえばそう思う」は 41.8%であり、合計で 85.4%を占めています。



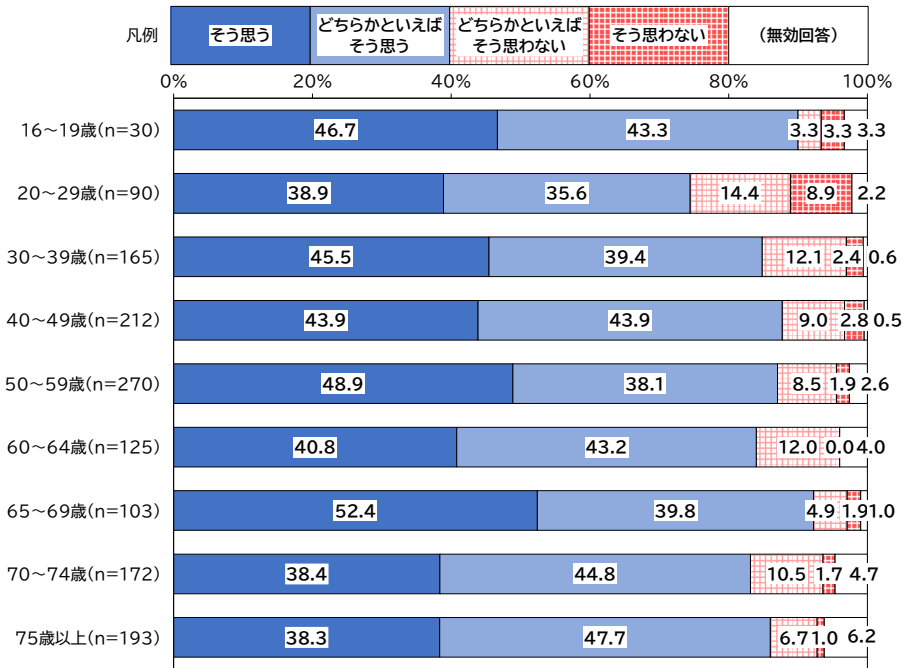
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和2年度以降いずれも80%台で推移しています。



<年齢層別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、16~19歳と65~69歳で90%を超えており、それ以外の年齢層では70%以上となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】 (37件)

- ・地域のコミュニティ活動を増やし、市民全員で、良好な景観づくりをしたい。
- ・他の市と異なり、マンション等の高さ制限をしているおかげで空が広く感じられ、住みごこちが良い。
- ・深大寺周辺はとにかく樹木を守って欲しい。夏の暑さよけの為に大木になる木をあちこちに植えてほしい。
- ・駅周辺はもう少しうまく計画をたてて建物など統一感をもてるとよい。
- ・開発ばかりではなく、自然を保護してほしい。

問 44-1) 問 44 で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した方にうかがいます。優れた景観だと思う場所はどこですか。

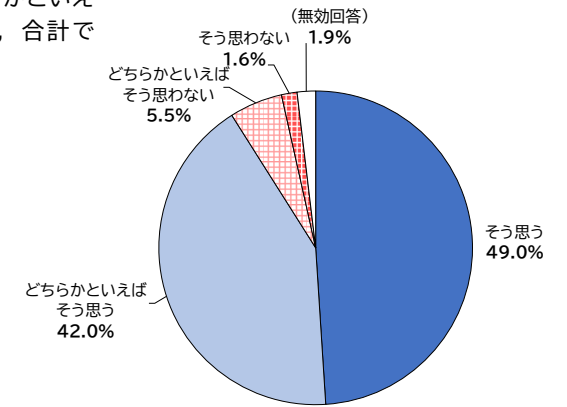
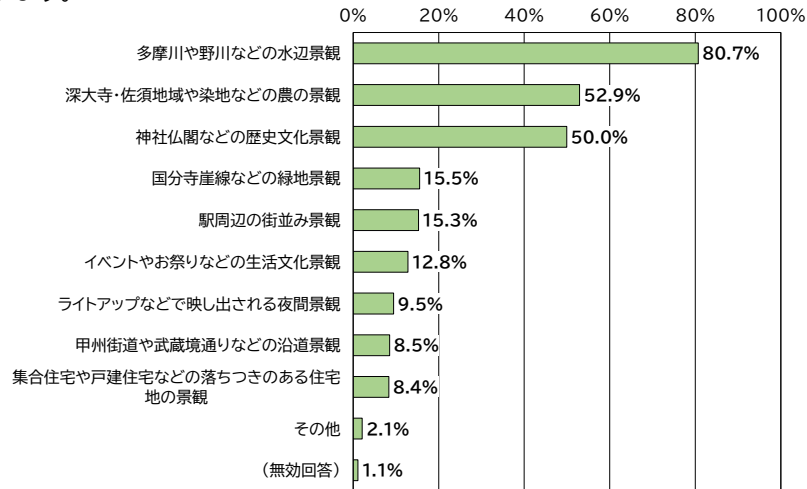
問 45) あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。

<全体 (n=1,171) >

○「多摩川や野川などの水辺景観」が 80.7%で最も高く、次いで「深大寺・佐須地域や染地などの農の景観」の 52.9%、「神社仏閣などの歴史文化景観」の 50.0%の順となっています。

<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」は 49.0%、「どちらかといえばそう思う」は 42.0%であり、合計で 91.0%を占めています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層でも、「多摩川や野川などの水辺景観」が最も高くなっています。

<経年比較>

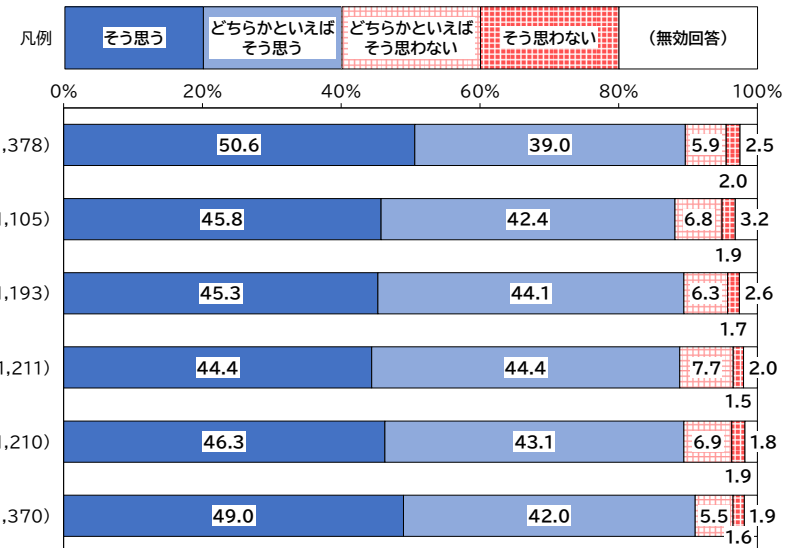
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和2年度以降 80%台で推移し、令和7年度は90%以上となっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,171	27	67	140	186	235	105	95	143	166
国分寺崖線などの緑地景観	182	2	2	11	16	33	17	27	35	38
多摩川や野川などの水辺景観	945	14	53	98	142	198	81	78	129	146
駅周辺の街並み景観	179	12	17	26	26	29	10	15	17	26
甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観	100	3	5	9	15	15	7	13	13	18
神社仏閣などの歴史文化景観	585	10	22	58	90	129	53	51	82	88
深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	620	9	38	82	102	111	60	47	82	86
集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観	98	1	9	16	15	17	4	11	12	13
イベントやお祭りなどの生活文化景観	150	4	15	21	31	15	8	13	21	20
ライトアップなどで映し出される夜間景観	111	6	9	13	20	23	5	7	14	14
その他	25	1	2	3	3	4	2	4	5	1
(無効回答)	5	0	0	0	1	2	0	1	0	1

(上段:実数(人), 下段:構成比)

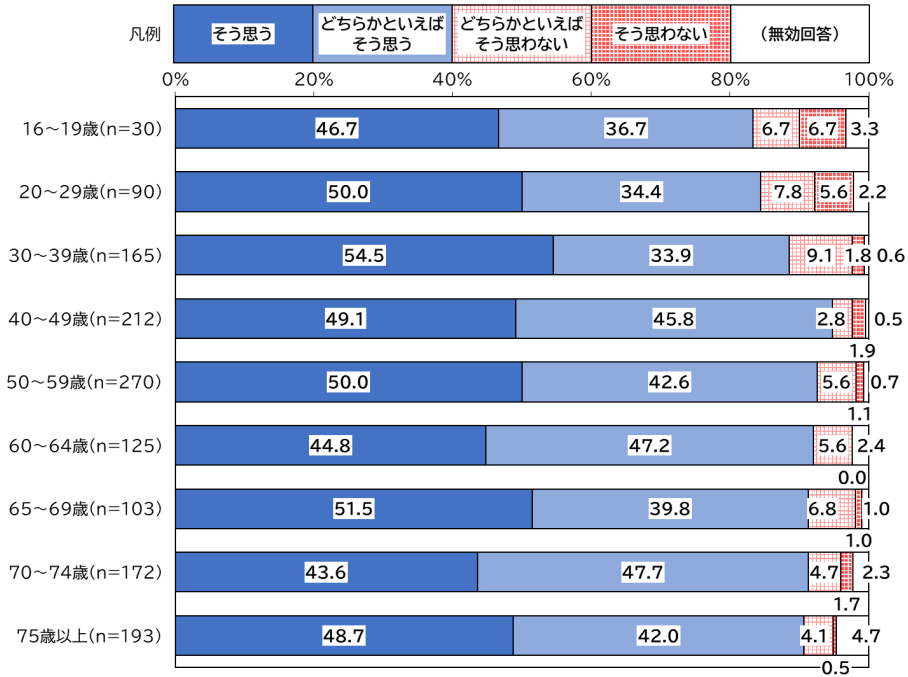
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:



<年齢層別>

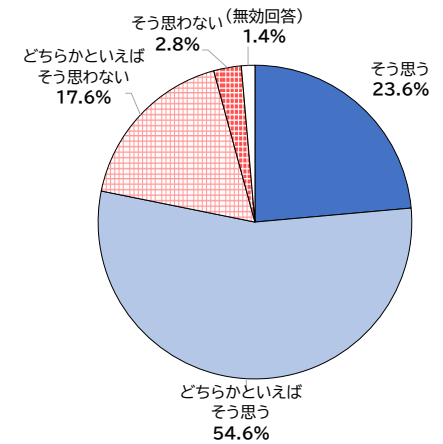
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、40～49歳が94.9%と最も高く、次いで50～59歳の92.6%の順となっています。



問46) あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。

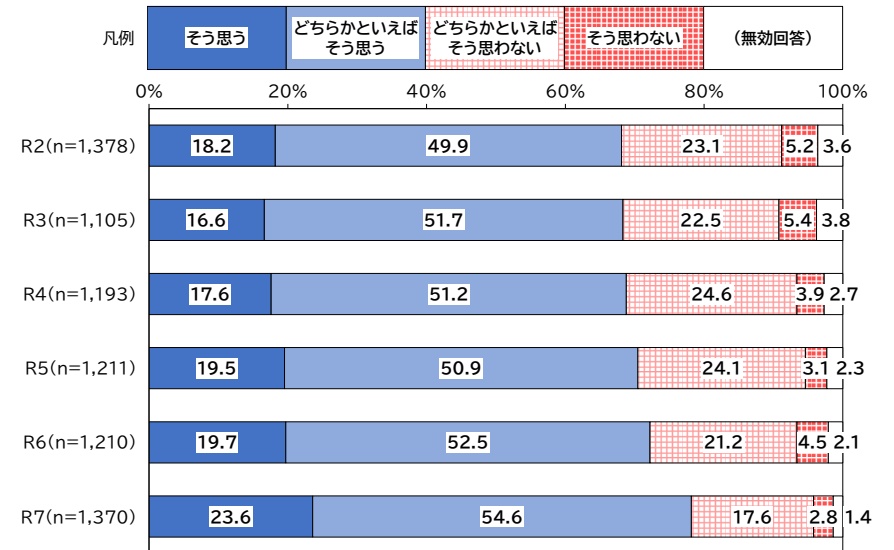
<全体 (n=1,370)>

○「そう思う」が23.6%、「どちらかといえばそう思う」が54.6%で、合計で78.2%を占めています。



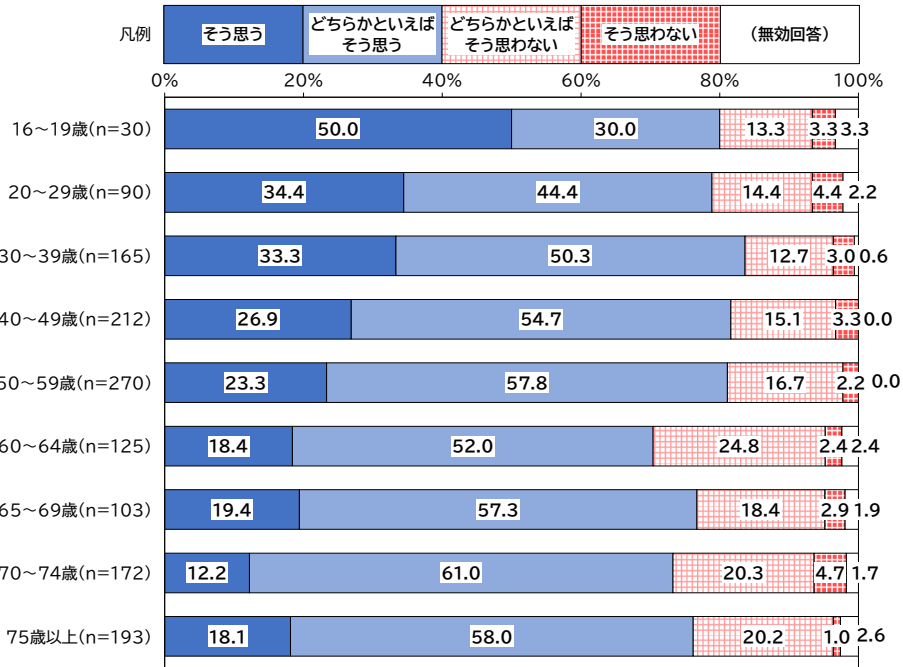
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和2年度以降、増加傾向にあり、令和7年度（78.2%）は令和6年度（72.2%）に比べ6.0ポイント増加しています。



<年齢層別>

○16～19歳と30～59歳で、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%を超えています。  
 ○60歳以上では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が20%を超えています。



【図表 中心市街地のまちづくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(137件)

- ・緑あふれる地にしてほしい
- ・歩行者動線の整備が必要
- ・もっと駐輪場がほしい
- ・市内に住む人には良いが、外から人を誘致できる魅力は低い。
- ・国領、布田、調布と遊歩道が出来たので行き来しやすくなるようなまちづくりをしてほしい。
- ・以前なら「映画館が欲しい」と書いてたと思うが今や意見・提案がないくらい揃っている街だと思う
- ・バスターミナルが中心すぎて、駅前が殺風景で活気を感じない
- ・都心の様に発展し過ぎず、スペース的に余裕のあるまちづくりが良い
- ・地域の商店がもう少し元気になるようなイベントがあると良い
- ・個人の個性豊かなお店がなければ、人は集まるが流るだけで愛着はもたれないと思う
- ・子育て支援は割と充実しているのに駅周辺に赤ちゃんの専門店がない

<自由記述>主な意見を抜粋

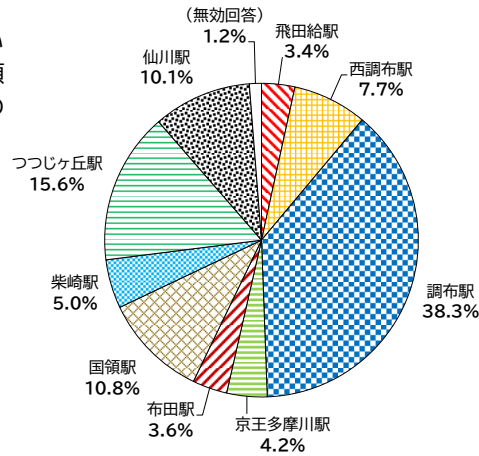
【図表 中心市街地が魅力的なまちであると思う/思わない理由】(290件)

「そう思う」 「どちらかといえばそう思う」	「そう思わない」 「どちらかといえばそう思わない」
<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた賑わいがある</li> <li>・騒々しくない</li> <li>・住みやすい</li> <li>・買い物しやすい</li> <li>・商業施設が充実</li> <li>・ひと通り全部ある</li> <li>・ふみきりがなくなって快適</li> <li>・調布駅周辺が広々としていて開放的</li> <li>・京王の線路跡地が安心して歩けるよう整備が進んでいる</li> <li>・手の届く所にカルチャーがあって楽しめる</li> <li>・チェーン店のみならず、素敵な個人経営のお店もあるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歩道がせまい</li> <li>・パチンコ、ゲームセンターが目立つ</li> <li>・どこの街にもあるお店ばかりあるので便利だが、魅力的ではない</li> <li>・バリアフリー対策が不足している</li> <li>・商店街に活気が無い</li> <li>・小田急線、東横線に比べて各駅周辺の魅力度が低いと思う</li> <li>・調布駅周辺は良くなってきましたが、他はそうは思わない</li> </ul>

問 47) あなたは、次のうち、普段どの駅を最も利用しますか。

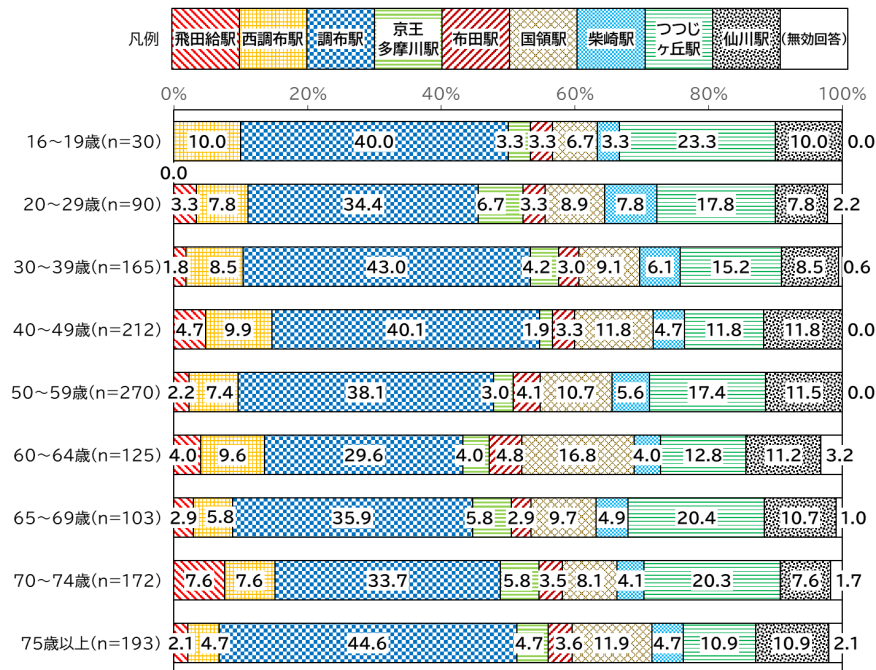
<全体 (n=1,370) >

○「調布駅」が38.3%で最も高く、次いで「つつじヶ丘駅」の15.6%、「国領駅」の10.8%、「仙川駅」の10.1%の順となっています。



<年齢層別>

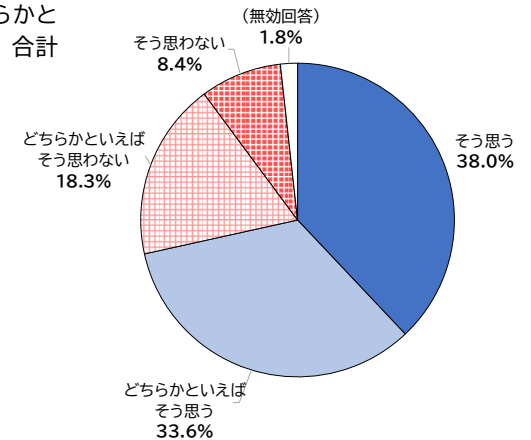
○いずれの年齢層も、調布駅が最も高くなっています。



問 47-1) あなたはその駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。

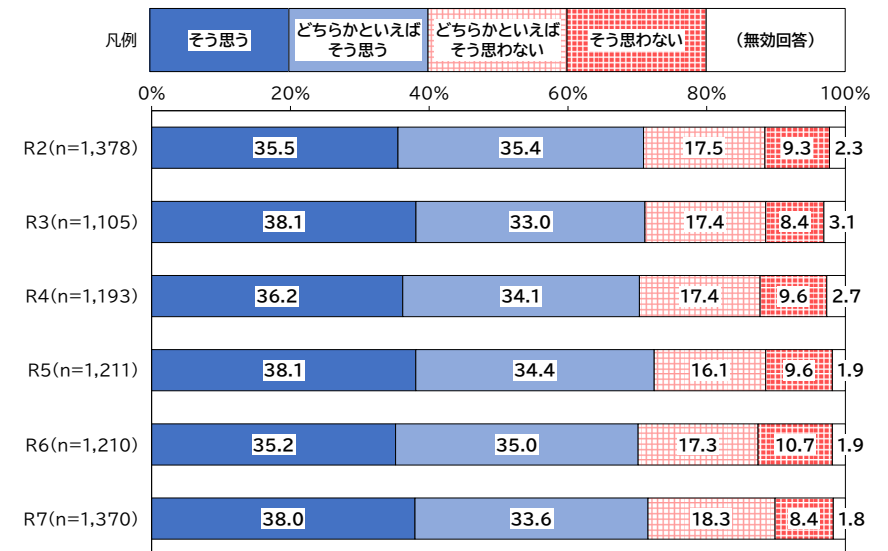
<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」が38.0%、「どちらかといえばそう思う」が33.6%で、合計71.6%を占めています。



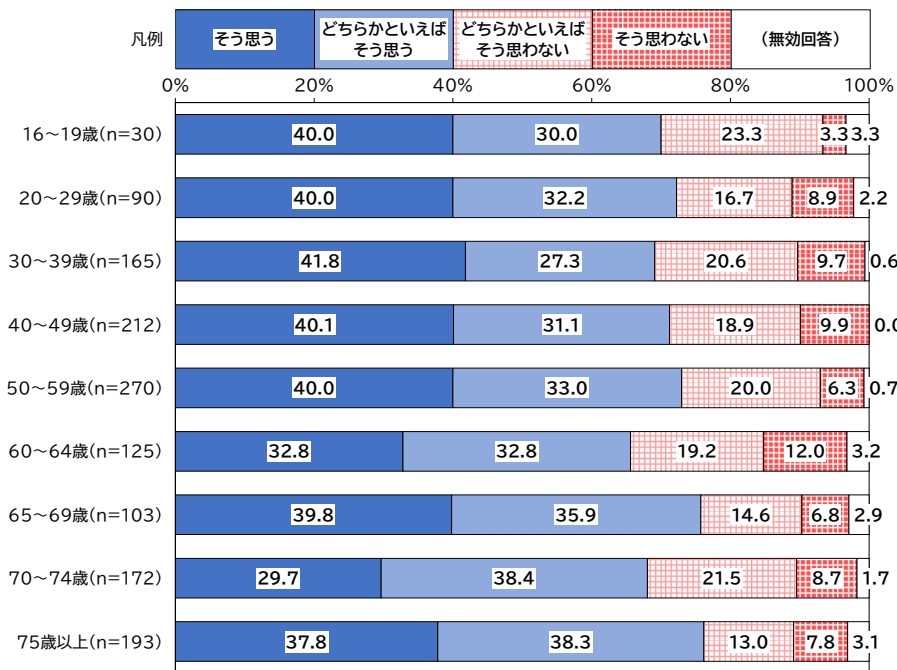
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和2年度以降、70%以上で推移しており、令和7年度(71.6%)は令和6年度(70.2%)に比べ1.4ポイント増加しています。



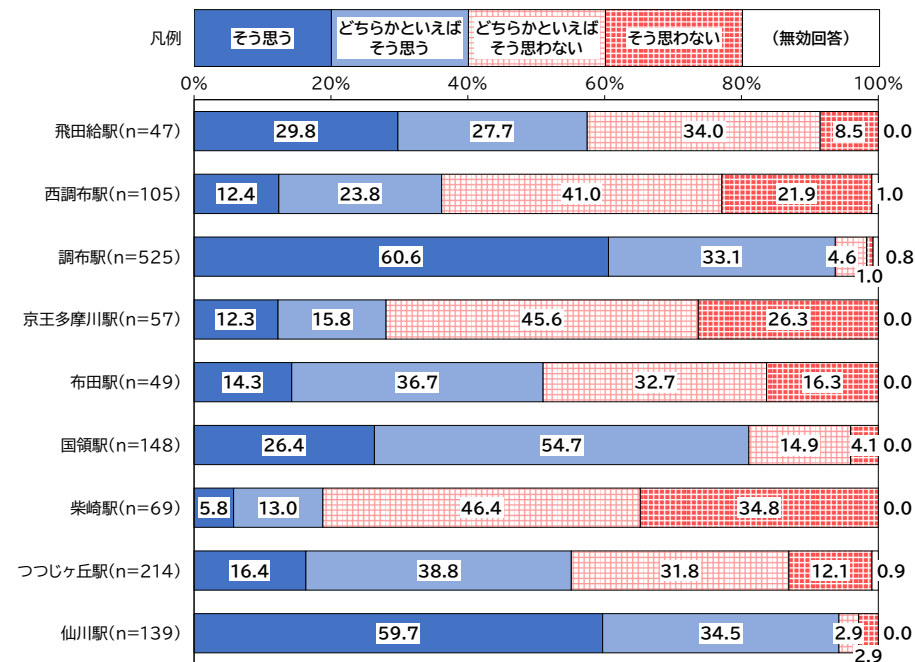
<年齢層別>

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、全ての年齢層で60%を超えています。
- 一方で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、30～39歳と60～64歳、70～74歳で30%を超えています。



<利用駅別>

- 「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、仙川駅が94.2%で最も多く、次いで調布駅(93.7%)、国領駅(81.1%)の順になっています。
- 一方で、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、柴崎駅が81.2%で最も多く、次いで京王多摩川駅(71.9%)、西調布駅(62.9%)の順になっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 普段利用する駅周辺のまちづくりについてのご意見・ご提案】(252件)

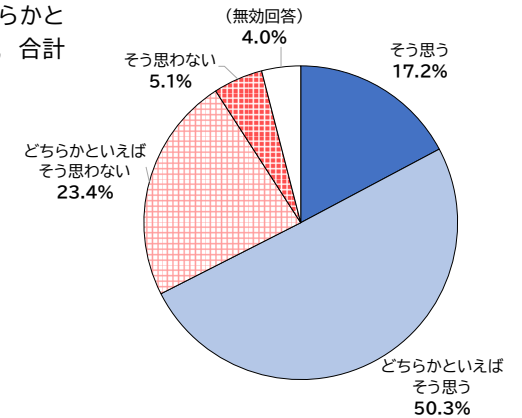
飛田給駅 (9件)	・用途地域を(第一種低層住居専用地域)から(二種中高)や(一種住居)に変更し、代謝のよい街づくりをしてほしい。これにより、市全体の税収が上がると考える。お酒好きな個人店も作れるようになるので、訪れた人をもてなす街になると思う
西調布駅 (26件)	・商店街に活気がない ・調布駅が近くにあるので、より落ち着きのある縁と静かさがあるまちづくりにしてほしい。
調布駅 (68件)	・調布駅内の照明が暗すぎる。 ・駐輪場が少なすぎる。朝の早い時間にいっぱいになり、利用できない。買い物で使う時に空いている所を探すのにとっても苦労する。 ・これ以上開発されて人が増えたり自然や景観が壊れたりするのが嫌なので程々にしてほしい。
京王多摩川駅 (12件)	・人が増えてほしくない ・現在行っている再開発が上手く行くと良いと思っている
布田駅 (13件)	・布田駅前のにぎわいを呼ぶ開発を期待したい ・布田駅、現在の利便性に満足しているのでこれ以上、ビル等ふやしてもらいたくない
国領駅 (21件)	・急行が快速が止まると嬉しい ・もう少しカフェがあると良い
柴崎駅 (30件)	・開かずの踏切対策 ・柴崎駅周辺には魅力的なお店が無い。駅前の開発予定地も何年も放置されている。
つつじヶ丘駅 (57件)	・駅前の開発が必要 ・まちが高齢化しており、商業施設も縮小傾向。治安が悪化することなく若いファミリー層が増えればと思う。
仙川駅 (16件)	・商店街の個人商店が閉店し、チェーン店しかなくなると地域への愛着はなくなる ・駅の周辺はコンパクトにまとまっていてとても利便性が高い

【道路・交通について】

問 48) あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。

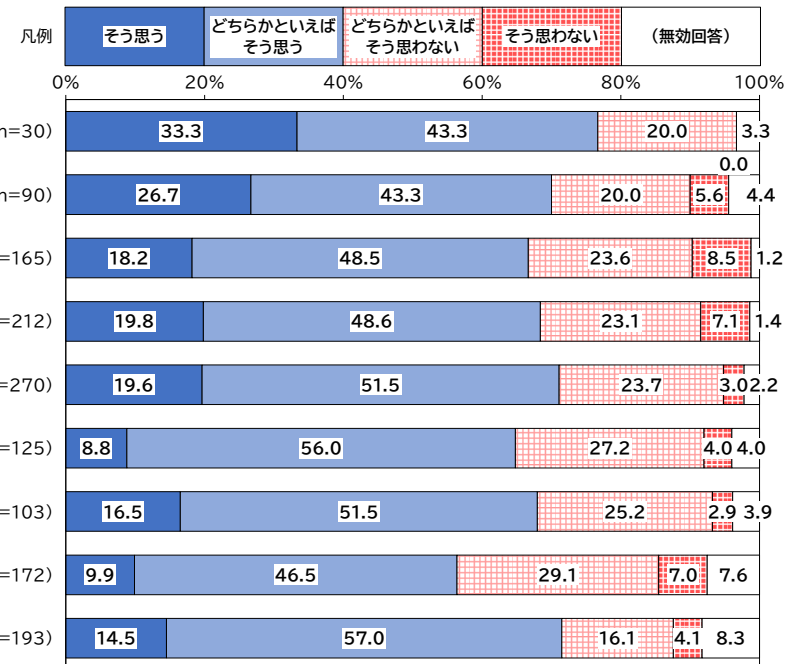
<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」が 17.2%, 「どちらかといえばそう思う」が 50.3%で、合計で 67.5%を占めています。



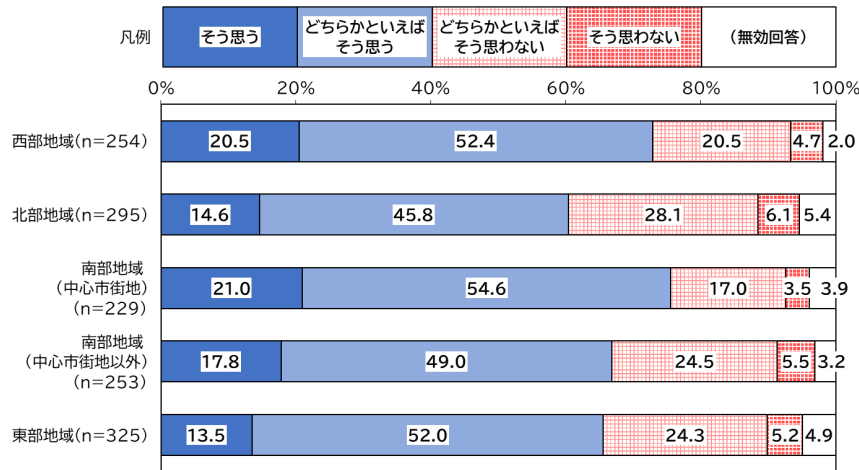
<年齢層別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、16~19歳が 76.6%で最も高く、次いで 75歳以上の 71.5%、50~59歳の 71.1%の順となっています。



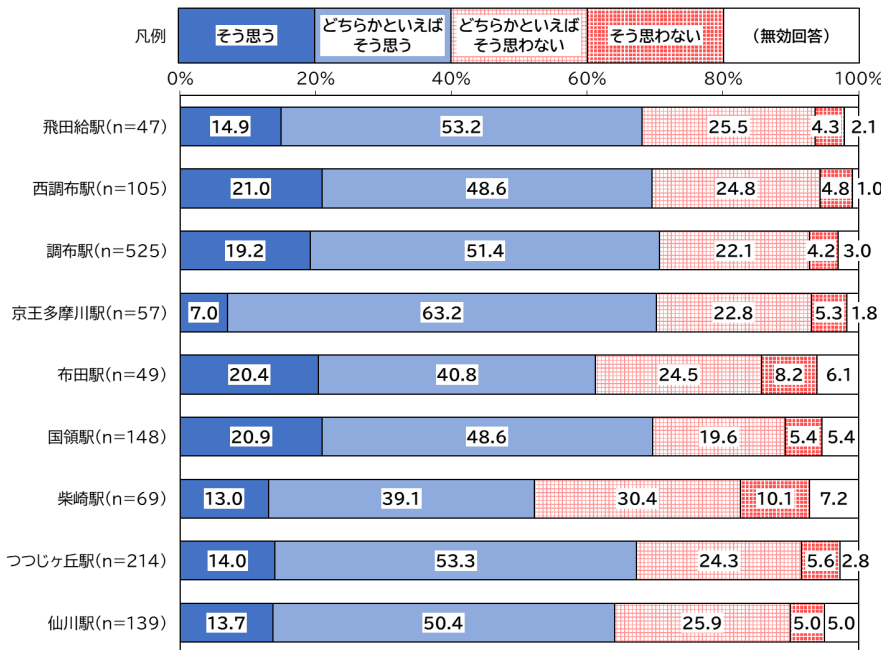
<地域別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、南部地域（中心市街地）の75.6%が最も高く、北部地域の60.4%が最も低くなっています。



<利用駅別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、調布駅が70.6%で最も高い一方、次いで京王多摩川駅の70.2%の順となっています。



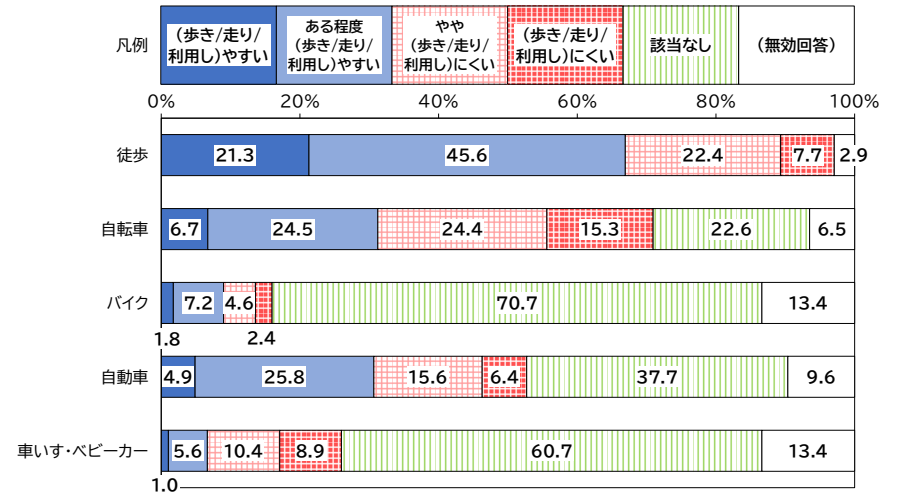
問49) あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。

<全体 (n=1,370) >

○徒歩では、「歩きやすい」が21.3%、「ある程度歩きやすい」が45.6%で、合計で66.9%を占めています。

○自転車では、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計が31.2%である一方で、「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が39.7%となっています。

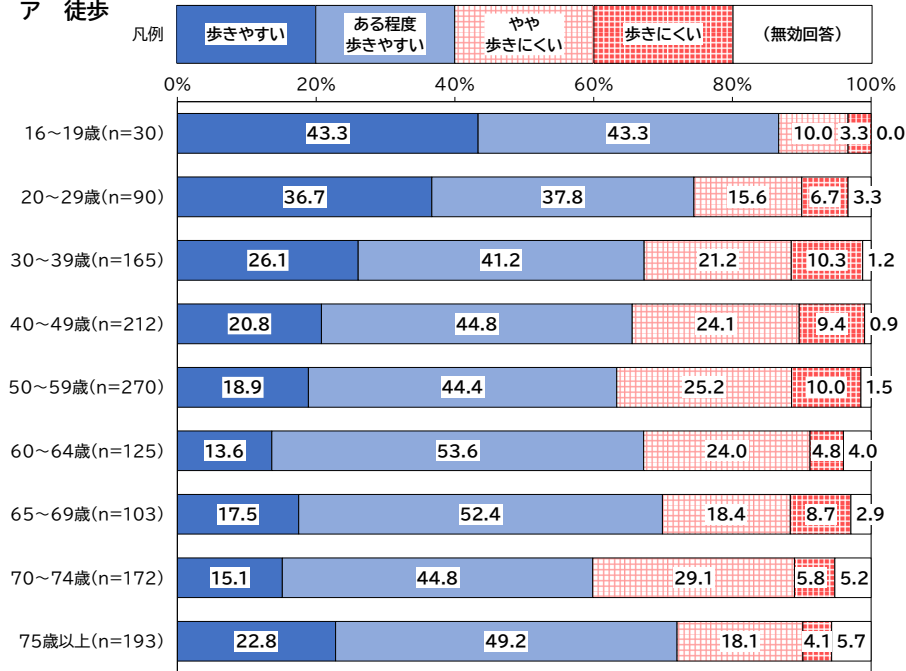
○車いす・ベビーカーは、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」が合計で6.6%となっており、「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計19.3%を大きく下回っています。



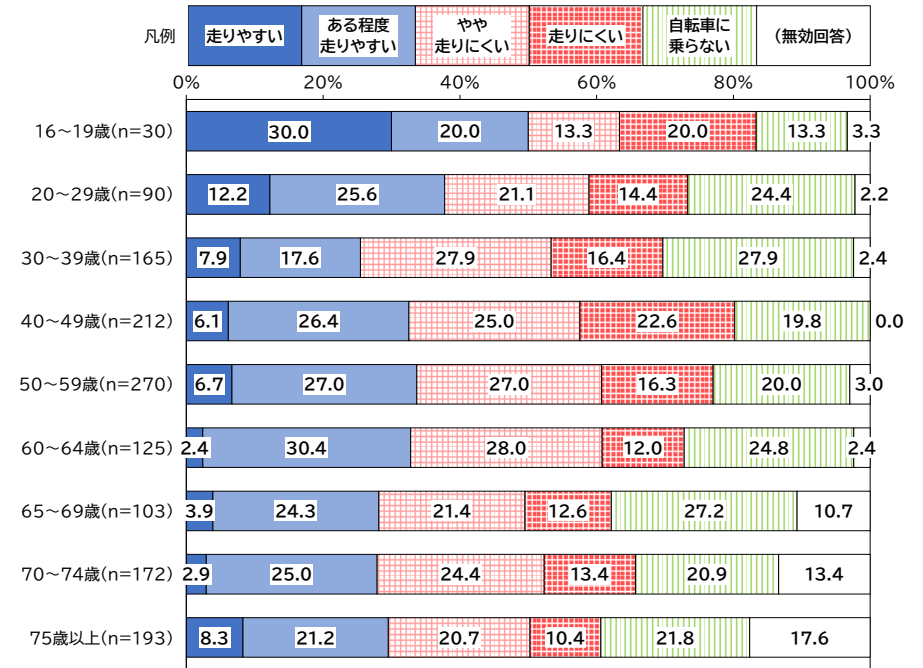
<年齢層別>

- 「ア 徒歩」では、「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が29歳以下、75歳以上で70%を超えています。
- 「イ 自転車」では、29歳以下の年齢層は、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計が「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計を上回っていますが、30歳以上で「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計が「やや走りにくい」と「走りにくい」を下回っています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」では、20歳以上は「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計が「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」を上回っています。

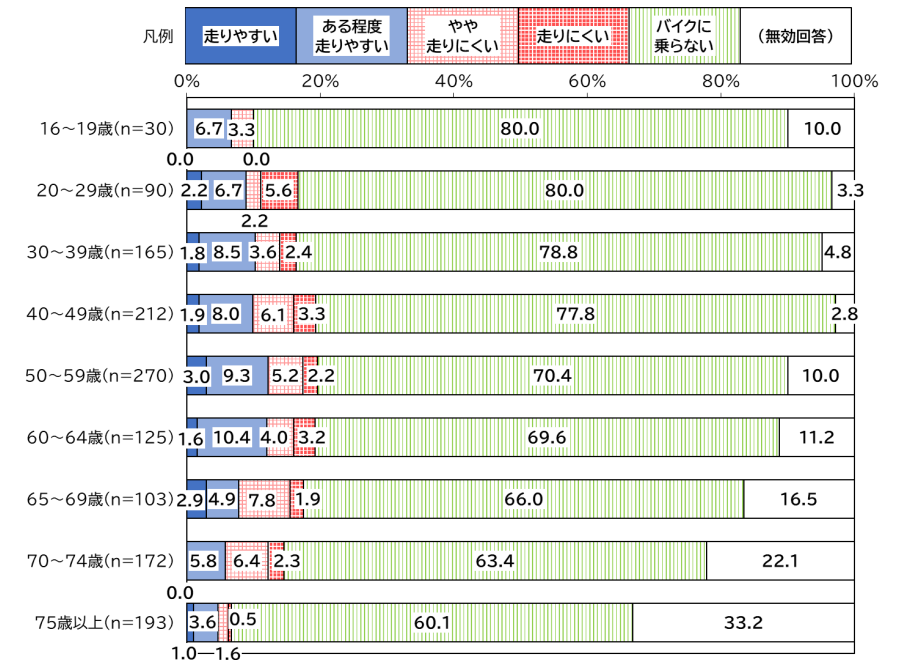
ア 徒歩



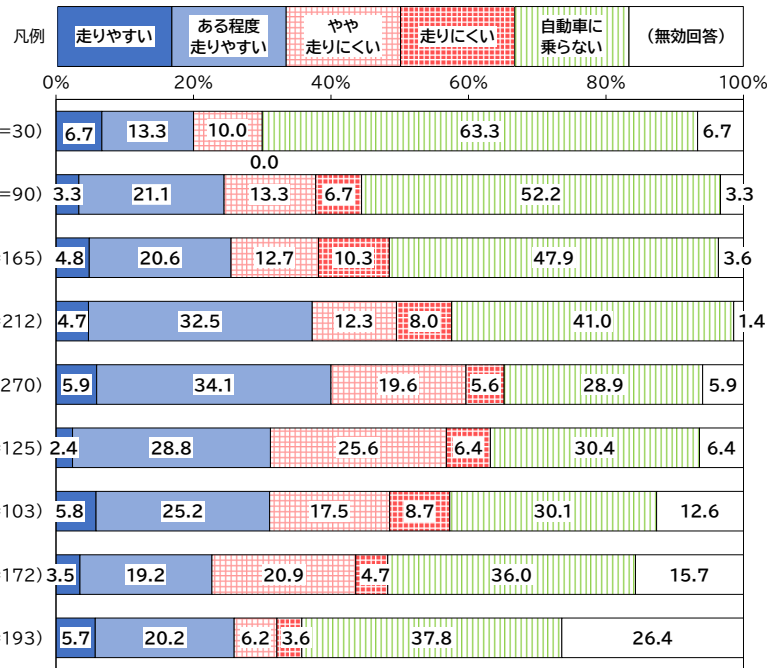
イ 自転車



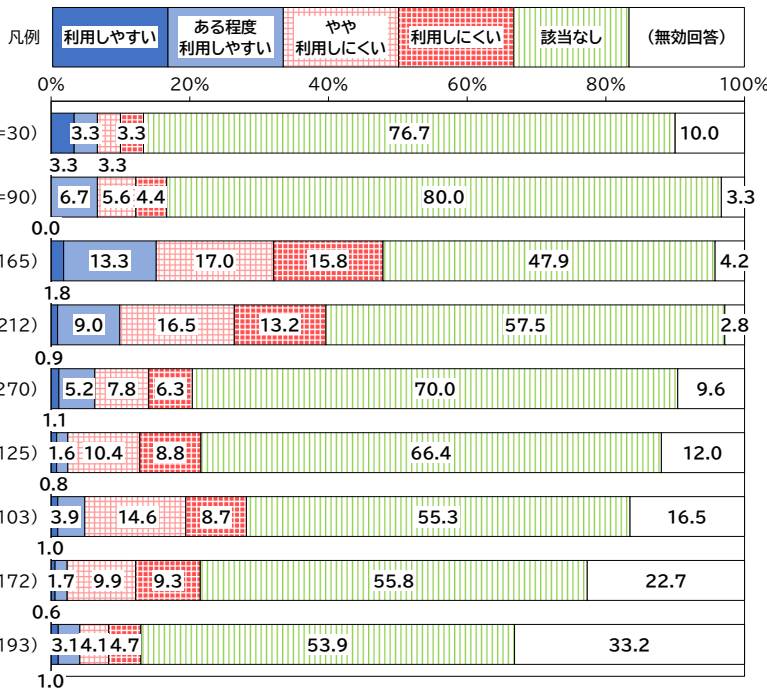
ウ バイク



工 自動車



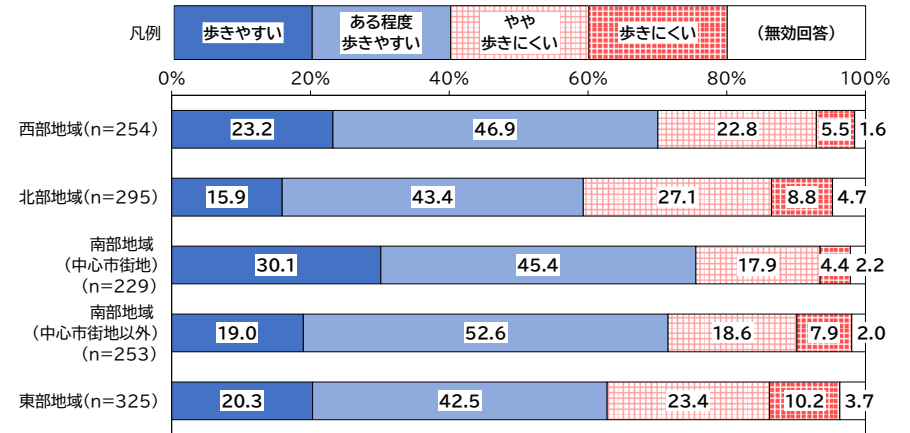
オ 車いす・ベビーカー



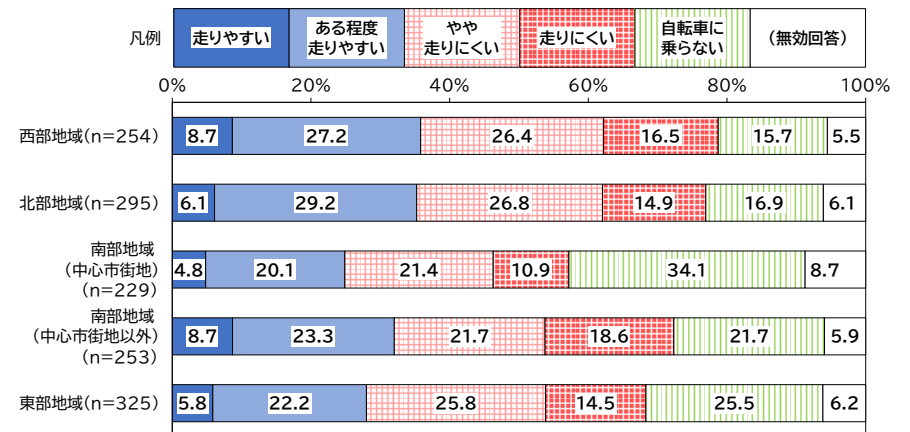
<地域別>

- 「ア 徒歩」では、「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が南部地域（中心市街地）で75.5%と最も高く、北部地域で59.3%と最も低くなっています。
- 「イ 自転車」では、東部地域で「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計を12.3ポイント上回っています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」は、全ての地域で「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計が、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」の合計を上回っていますが、南部地域（中心市街地以外）はその差が7.5ポイントと他の地域より少なくなっています。

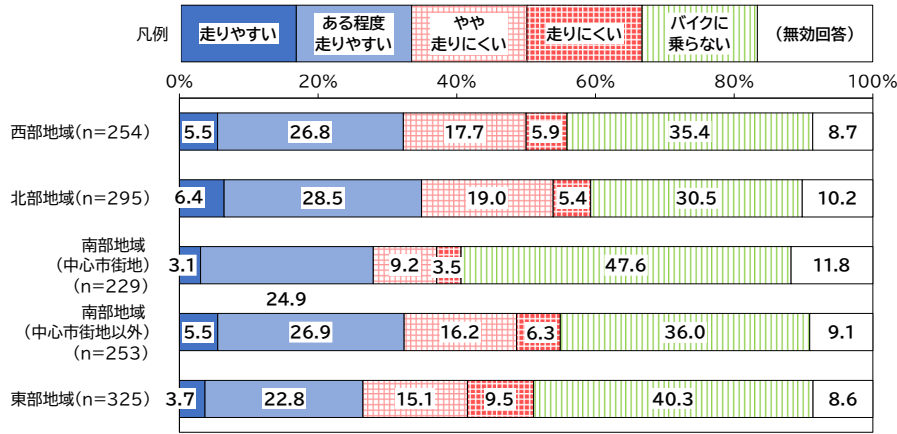
ア 徒歩



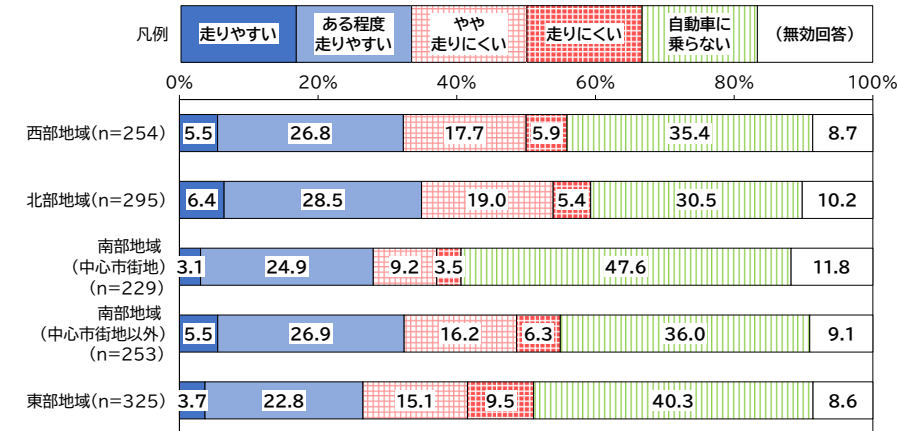
イ 自転車



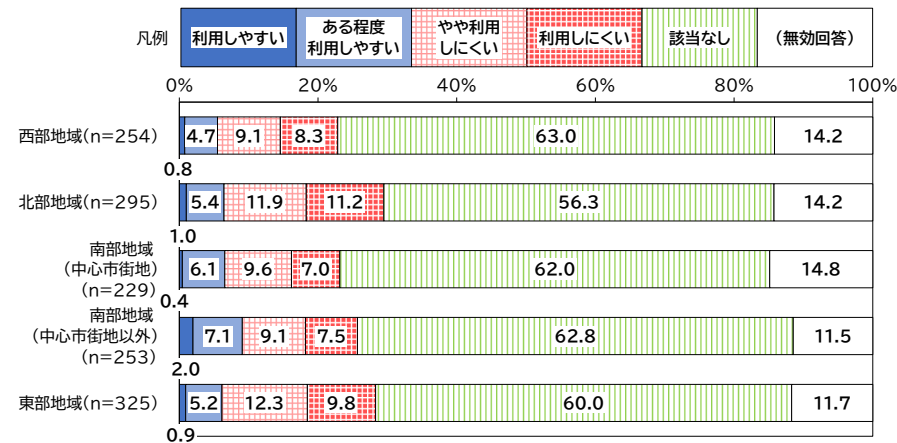
ウ バイク



エ 自動車



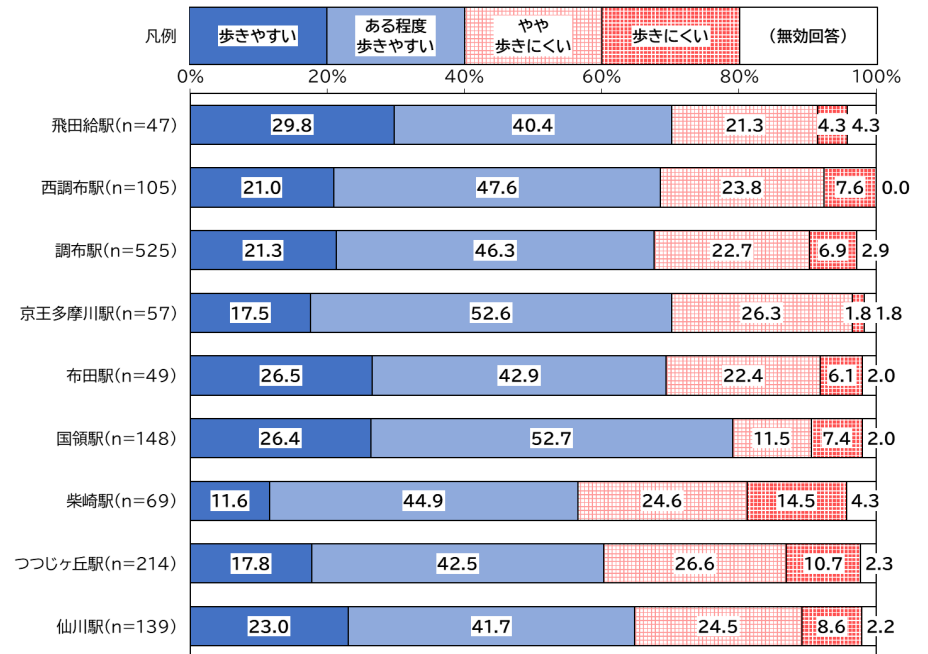
オ 車いす・ベビーカー



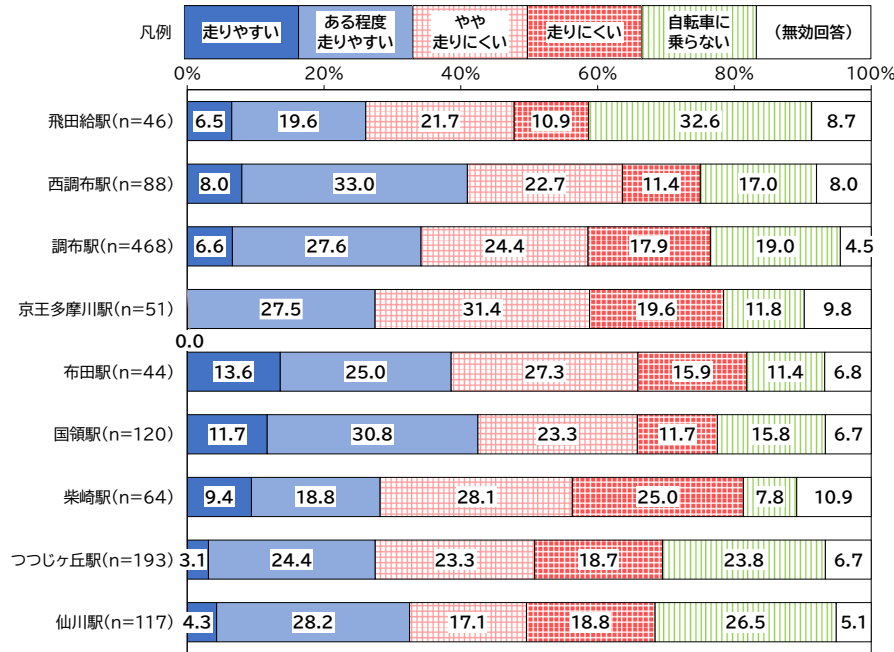
<利用駅別>

- 「ア 徒歩」では、「歩きやすい」と「ある程度歩きやすい」の合計が国領駅で79.1%と最も高く、柴崎駅で56.5%と最も低くなっています。
- 「イ 自転車」では、柴崎駅で「やや走りにくい」と「走りにくい」の合計が、「走りやすい」と「ある程度走りやすい」の合計を24.9ポイント上回っています。
- 「オ 車いす・ベビーカー」は、柴崎駅で「やや利用しにくい」と「利用しにくい」の合計が、「利用しやすい」と「ある程度利用しやすい」の合計を15.6ポイント上回っています。

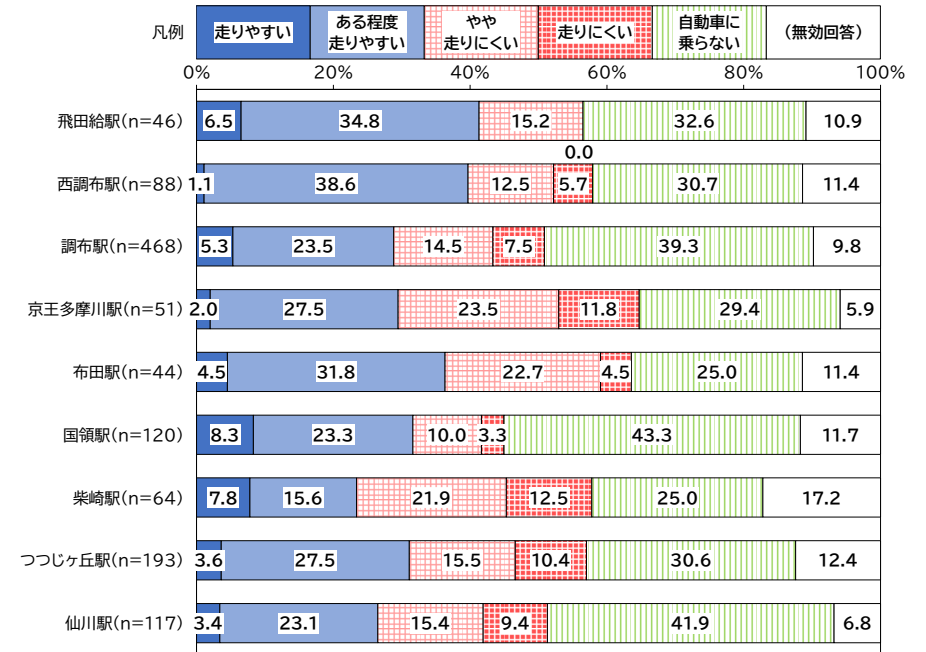
ア 徒歩



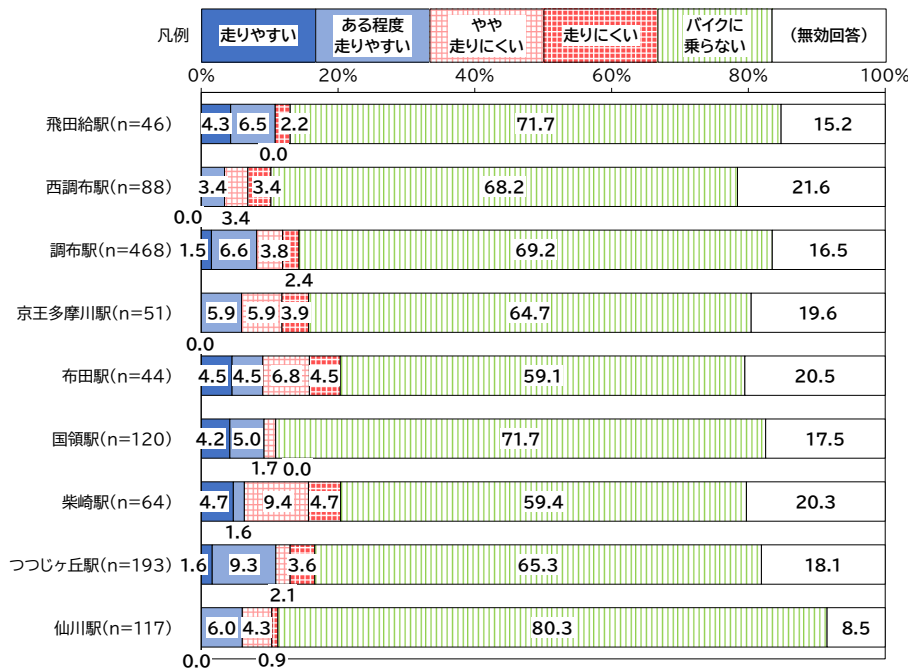
イ 自転車



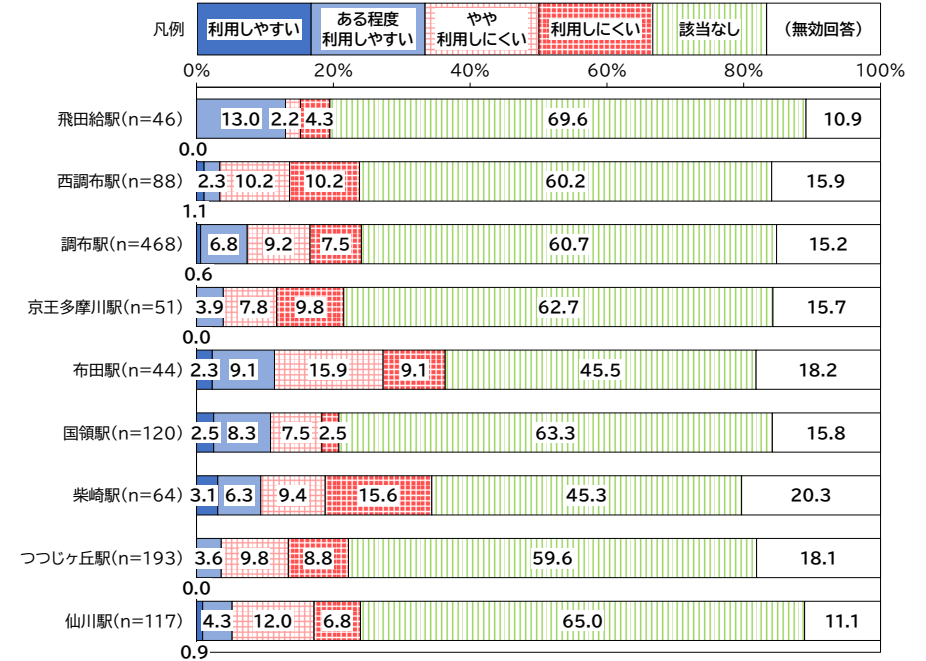
工 自動車



ウ バイク



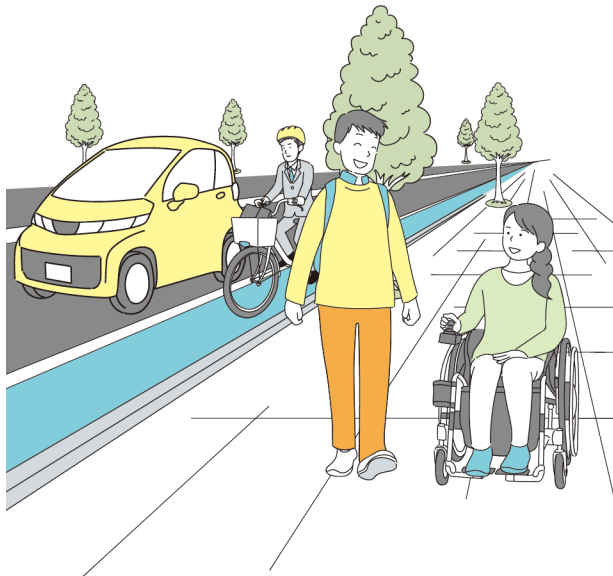
オ 車いす・ベビーカー



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 道路の新設整備や維持補修についてのご意見・ご提案】(257件)

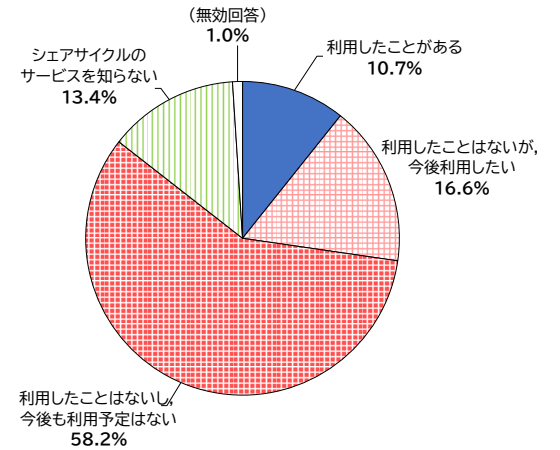
- ・無駄な道路は作らないでよいと感じています。
- ・歩道に自転車が入らないでほしい
- ・自転車用のエリアをもうけてほしい
- ・甲州街道の歩道は狭く歩道がデコボコしている。
- ・道路陥没事故が発生しないようにしてほしい
- ・電柱の地下化を進めてほしい
- ・バリアフリーの徹底



問50) あなたは、市内でシェアサイクル※を利用したことはありますか。

<全体 (n=1,370)>

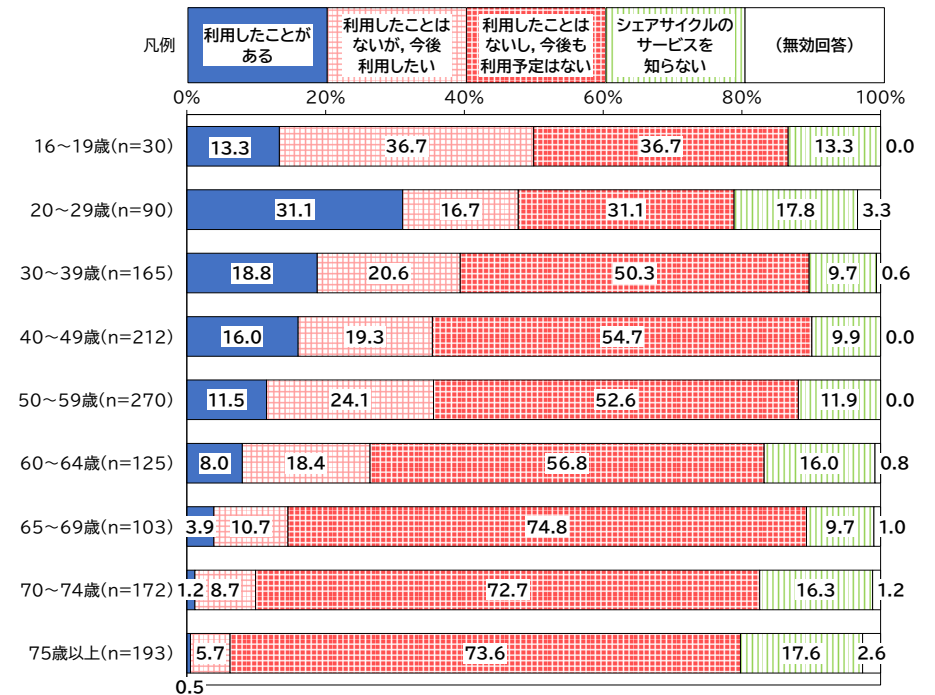
○「利用したことがある」が10.7%、「利用したことはないが、今後利用したい」が16.6%、合計で27.3%となっており、「利用したことはないし、今後も利用予定はない」は58.2%を占めています。



※「シェアサイクル」とは、ステーション(専用駐輪スペース)間で片道利用のできる自転車サービス。会員登録をすれば、(同じサービス会社の)全国どこでも貸出・返却が可能。

<年齢層別>

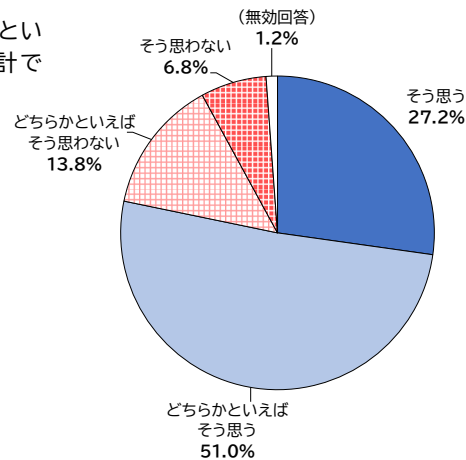
○59歳以下で、「利用したことがある」と「利用したことはないが、今後利用したい」の合計が30%を超えています。65歳以上では、「利用したこともないし、今後も利用予定はない」が70%を超えています。



問 51) あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。

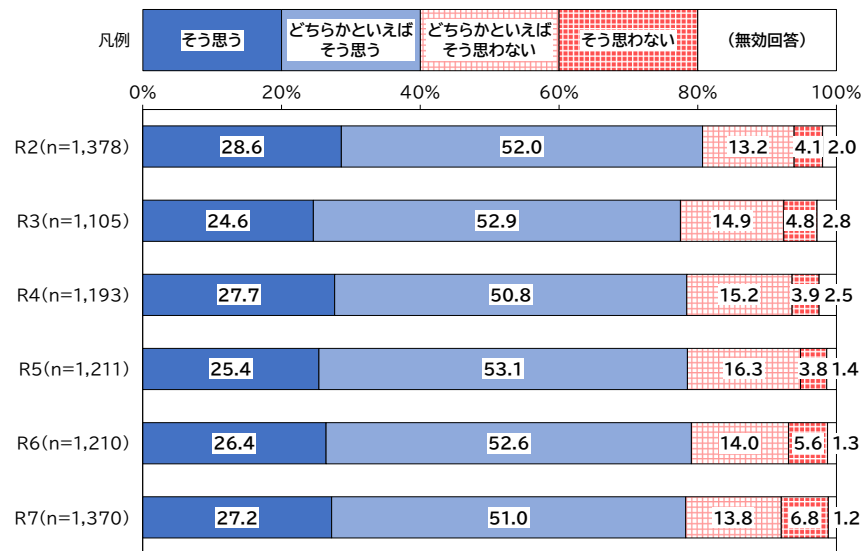
<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」が 27.2%、「どちらかといえばそう思う」が 51.0%で、合計で 78.2%を占めています。



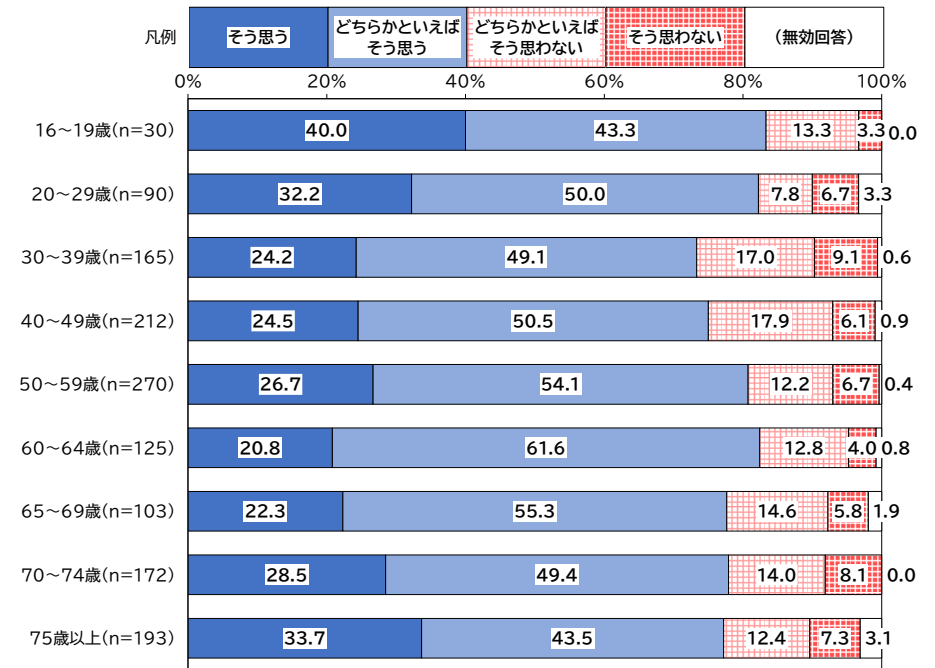
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和3年度以降横ばいで推移しており、令和7年度（78.2%）は令和6年度（79.0%）と比較して0.8ポイント減少しています。



<年齢層別>

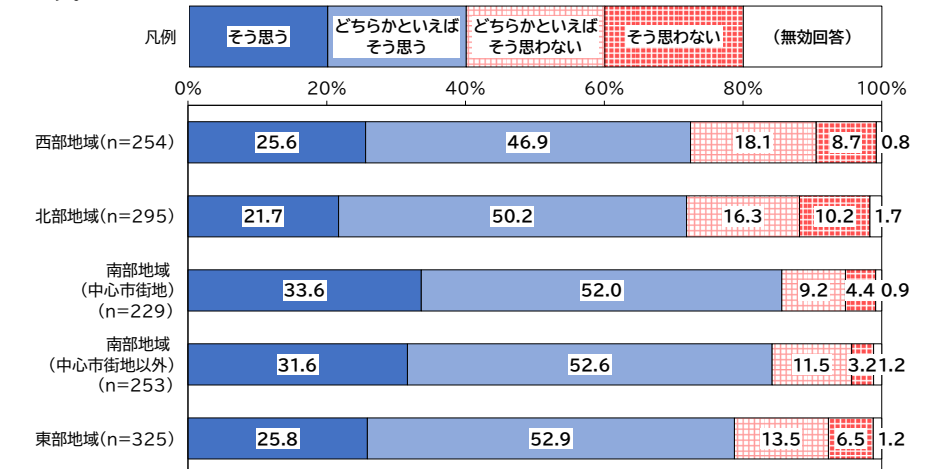
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、16~19歳が83.3%と最も高く、次いで60~64歳の82.4%、20~29歳の82.2%の順となっています。



<地域別>

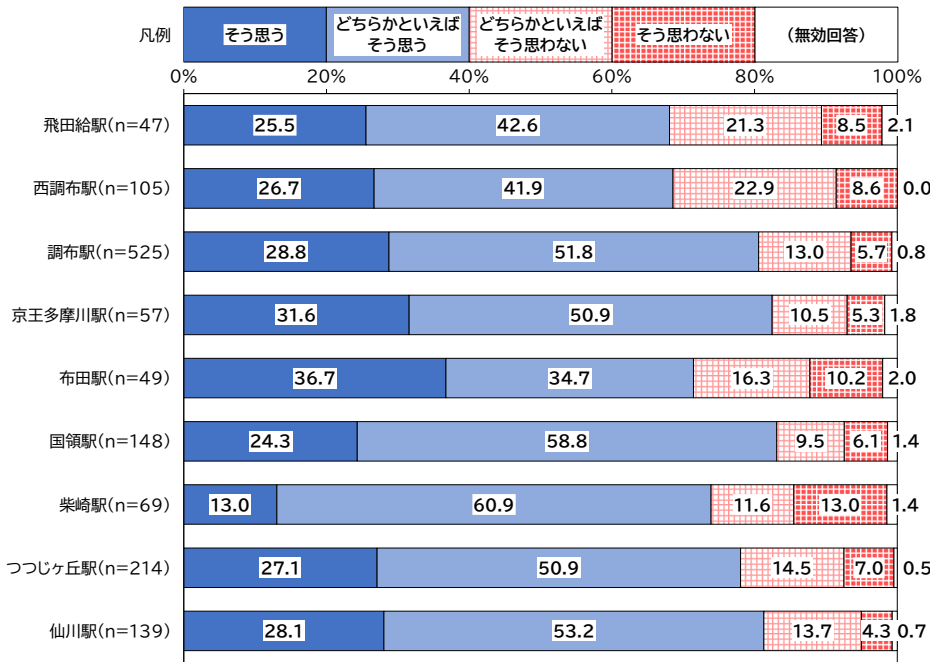
○いずれの地域でも、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が70%を超えています。

○南部地域（中心市街地）及び南部地域（中心市街地以外）では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が80%を超えており、他の地域と比べてやや高くなっています。



<利用駅別>

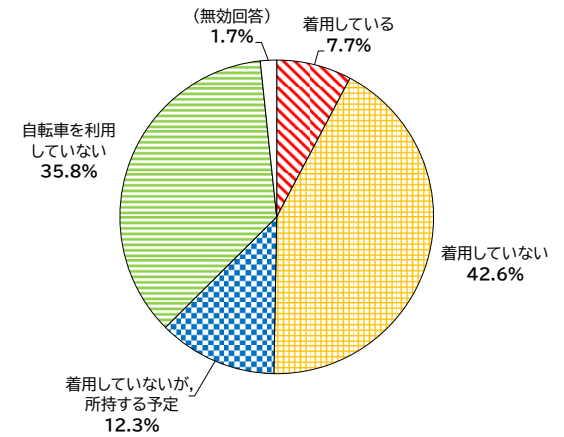
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、国領駅が83.1%で最も多く、次いで京王多摩川駅(82.5%)、調布駅(80.6%)の順になっています。



問52) あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用\*していますか。

<全体 (n=1,370) >

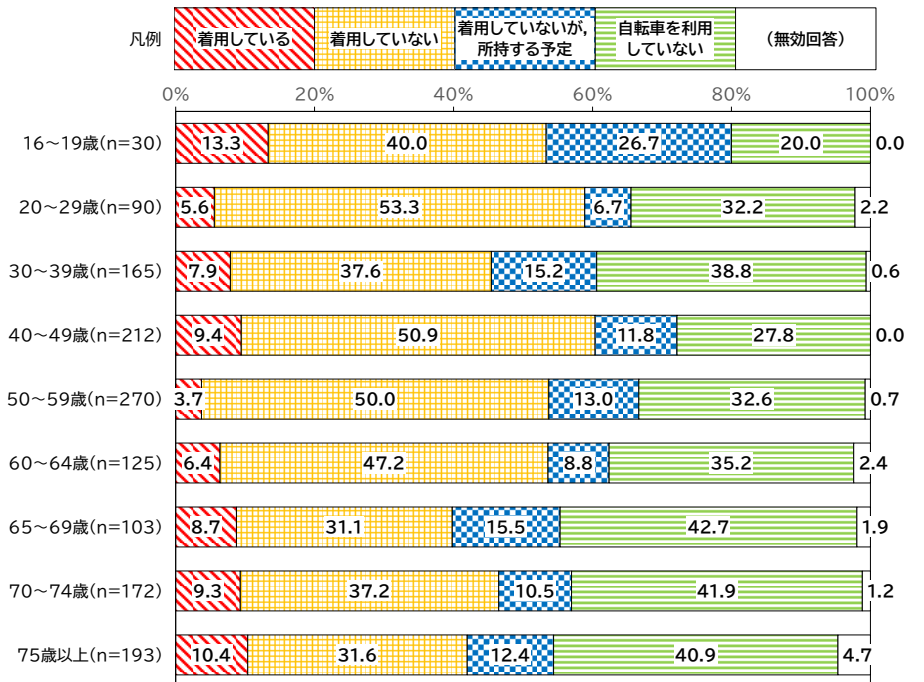
○「着用している」が7.7%、「着用していない」が42.6%、「着用していないが、所持する予定」が12.3%となっています。



※令和5年4月から改正道路交通法が施行され、自転車利用者のヘルメット着用が全世代に対して努力義務となりました。

<年齢層別>

○「着用していない」は、20~29歳が53.3%と他の年齢層と比較して高くなっています。

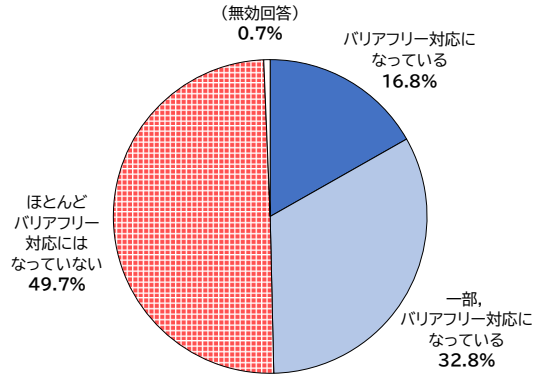


【住環境づくり・地球温暖化対策について】

問 53) あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。

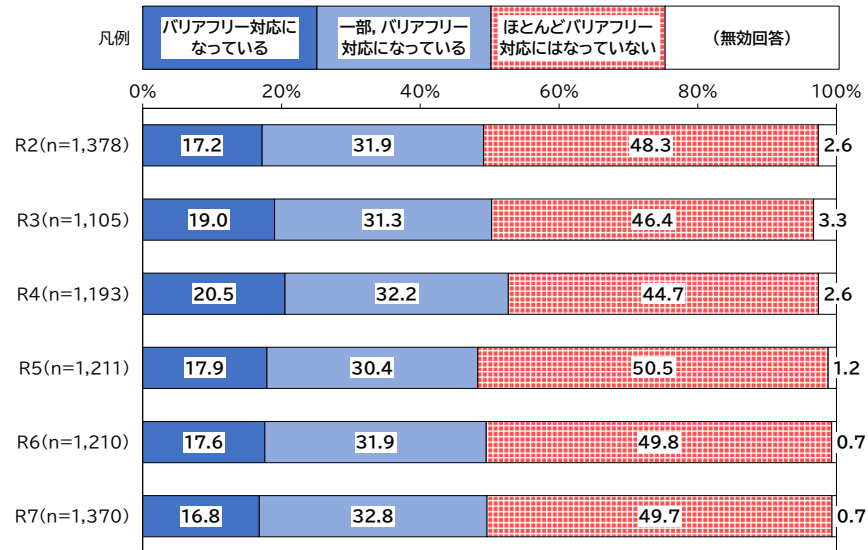
<全体 (n=1,370) >

○「バリアフリー対応になっている」が 16.8%、「一部、バリアフリー対応になっている」が 32.8%で、合計で 49.6%を占めています。



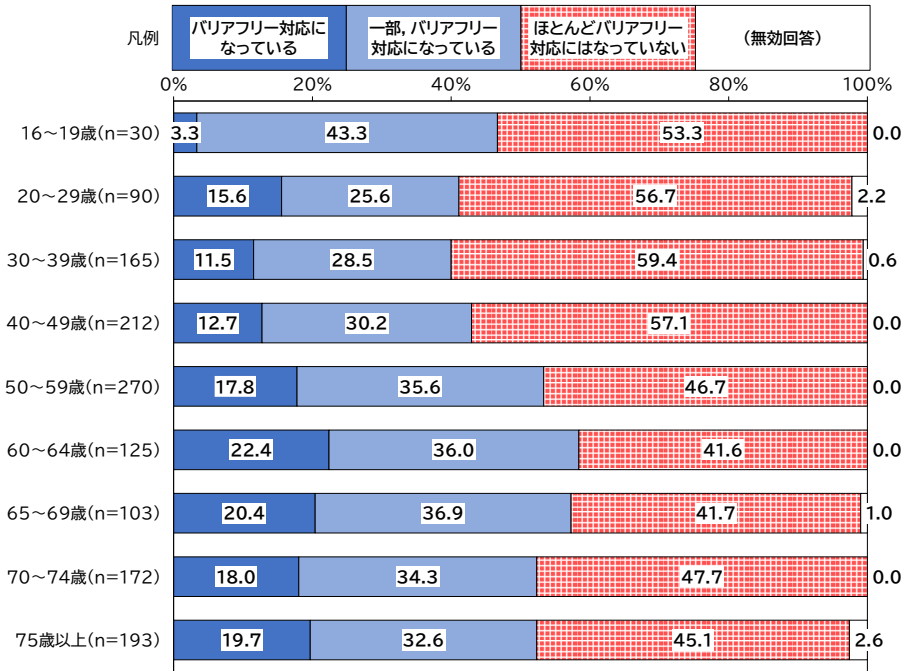
<経年比較>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、おおむね 50%前後で推移しています。



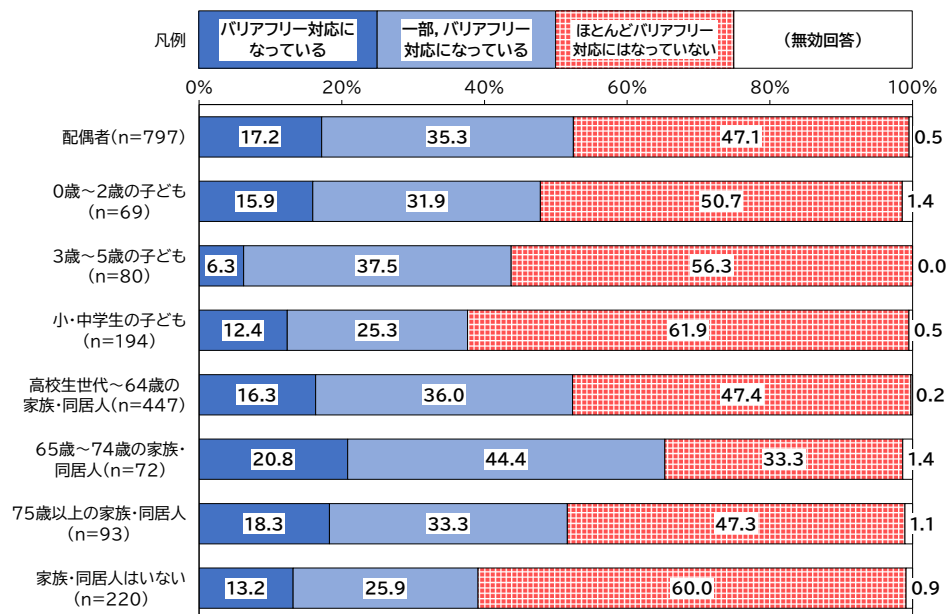
<年齢層別>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、50歳以上で50%を超えています。



<同居人別>

○「バリアフリー対応になっている」と「一部、バリアフリー対応になっている」の合計は、65～74歳の家族・同居人で65.2%と最も高くなっています。



<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 住環境づくりに関する施策についてのご意見・ご提案】(33件)

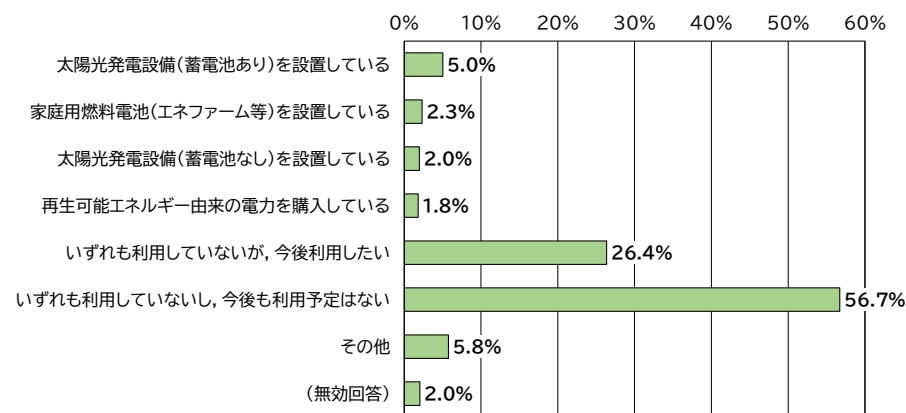
- ・ 放置されている空き家がいくつか存在している。治安、防犯上の対策をしてほしい。
- ・ 障害者や高齢者対応にバリアフリーを増やして頂きたい。車椅子利用者の方が信号を渡り切るときに、段差を上げられずに困っているのを見かけたので。
- ・ 高齢者が多いためバリアフリーなど外出しやすい環境にするべきかと思う。
- ・ 住宅をバリアフリー化(改修や増築)をした時に、資金的な援助があると助かる。

問 54) あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備\*を設置していますか。

<全体 (n=1,370) >

○「太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している」が5.0%、「家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している」が2.3%、「太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している」が2.0%、「再生可能エネルギー由来の電力を購入している」が1.8%となっています。なお、「いずれも利用していないが、今後利用したい」は26.4%、「いずれも利用していないし、今後も利用予定はない」は56.7%となっています。

※「創エネルギー設備」とは、太陽光発電設備や家庭用燃料電池のように家庭で電力等のエネルギーを創ることのできる設備。



<年齢層別>

○「いずれも利用していないが、今後利用したい」は、60～64歳が32.0%と最も高く、70～74歳が20.3%と最も低くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
再生可能エネルギー由来の電力を購入している	25	0	2	4	3	5	2	1	2	6
	1.8%	0.0%	2.2%	2.4%	1.4%	1.9%	1.6%	1.0%	1.2%	3.1%
太陽光発電設備(蓄電池あり)を設置している	69	4	5	8	10	11	8	6	8	9
	5.0%	13.3%	5.6%	4.8%	4.7%	4.1%	6.4%	5.8%	4.7%	4.7%
太陽光発電設備(蓄電池なし)を設置している	27	1	2	1	4	8	3	1	4	2
	2.0%	3.3%	2.2%	0.6%	1.9%	3.0%	2.4%	1.0%	2.3%	1.0%
家庭用燃料電池(エネファーム等)を設置している	32	0	2	2	2	8	4	4	2	8
	2.3%	0.0%	2.2%	1.2%	0.9%	3.0%	3.2%	3.9%	1.2%	4.1%
いずれも利用していないが、今後利用したい	361	7	28	49	59	67	40	30	35	41
	26.4%	23.3%	31.1%	29.7%	27.8%	24.8%	32.0%	29.1%	20.3%	21.2%
いずれも利用していないし、今後も利用予定はない	777	16	46	99	129	161	64	55	99	105
	56.7%	53.3%	51.1%	60.0%	60.8%	59.6%	51.2%	53.4%	57.6%	54.4%
その他	79	2	6	5	8	11	7	7	16	17
	5.8%	6.7%	6.7%	3.0%	3.8%	4.1%	5.6%	6.8%	9.3%	8.8%
(無効回答)	28	0	2	1	0	2	3	2	7	10
	2.0%	0.0%	2.2%	0.6%	0.0%	0.7%	2.4%	1.9%	4.1%	5.2%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

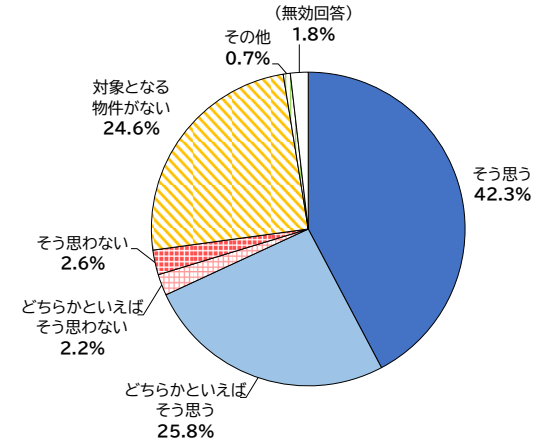
【図表 地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策についてのご意見・ご提案】(55件)

- ・市が何をしているか知らない
- ・市レベルでやるべき施策ではない(国や都でやるべき)
- ・徹底すべき
- ・地球温暖化、ゼロカーボンについての教育
- ・本当に地球温暖化しているか?ゼロカーボンが必要?
- ・賃貸住宅でどのように取り組めば良いかわからない。
- ・太陽光発電設備の耐久期間が過ぎた後の処分が不安
- ・古い民間のアパートに住んでいるので、再生可能エネルギーの利用はほぼできない。そういったアパートに住んでいる人にも利用可能な施策があれば教え欲しい。

問55) あなたは、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家\*とならないための対策が必要だと思いますか。

<全体(n=1,370)>

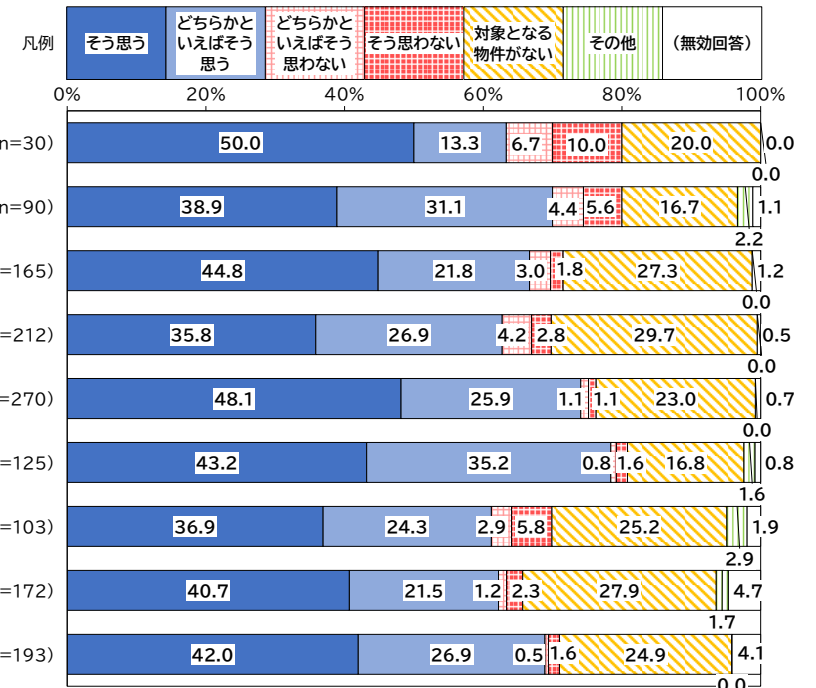
○「そう思う」が42.3%,「どちらかといえばそう思う」が25.8%で、合計68.1%を占めています。



※適切な管理が行われていない空き家は、地域住民の生活環境において、倒壊の危険性や防犯、衛生、景観等に関する深刻な影響を及ぼすなど、社会的な問題となっています。

<年齢層別>

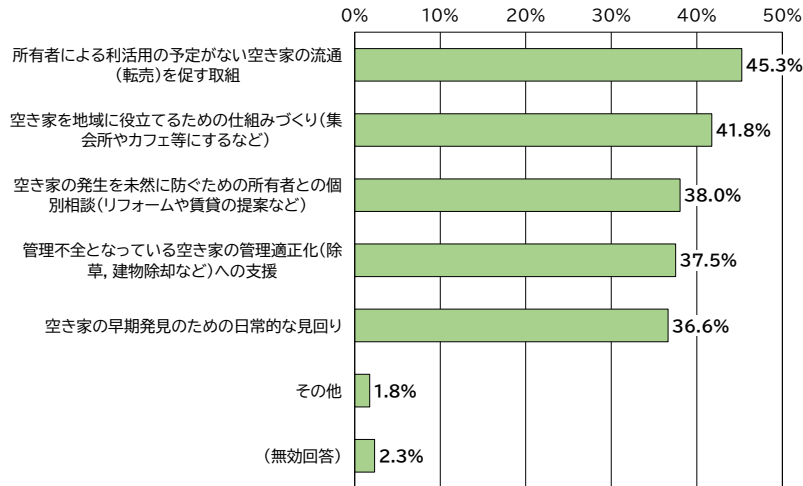
○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、20～29歳、50～64歳で70%以上となっています。



問 55-1) あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いますか。

<全体 (n=1,370) >

○「所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組」が 45.3%で最も高く、次いで「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」の 41.8%の順となっています。



<年齢層別>

○16～19 歳では「空き家の早期発見のための日常的な見回り」、65～74 歳では「管理不全となっている空家の管理適正化（除草，建物償却など）への支援」が最も高くなっています。また，年齢層が低いほど「空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）」が高い傾向にあります。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
空き家の早期発見のための日常的な見回り	502	15	35	63	61	93	49	33	74	75
	36.6%	50.0%	38.9%	38.2%	28.8%	34.4%	39.2%	32.0%	43.0%	38.9%
空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談(リフォームや賃貸の提案など)	521	11	33	63	89	112	46	33	70	62
	38.0%	36.7%	36.7%	38.2%	42.0%	41.5%	36.8%	32.0%	40.7%	32.1%
空き家を地域に役立てるための仕組みづくり(集会所やカフェ等にするなど)	572	11	38	79	93	118	46	38	73	70
	41.8%	36.7%	42.2%	47.9%	43.9%	43.7%	36.8%	36.9%	42.4%	36.3%
所有者による利活用の予定がない空き家の流通(転売)を促す取組	620	8	30	84	114	131	59	40	64	84
	45.3%	26.7%	33.3%	50.9%	53.8%	48.5%	47.2%	38.8%	37.2%	43.5%
管理不全となっている空き家の管理適正化(除草, 建物除却など)への支援	514	10	26	50	69	104	53	44	77	77
	37.5%	33.3%	28.9%	30.3%	32.5%	38.5%	42.4%	42.7%	44.8%	39.9%
その他	24	0	0	1	4	5	2	3	6	3
	1.8%	0.0%	0.0%	0.6%	1.9%	1.9%	1.6%	2.9%	3.5%	1.6%
(無効回答)	32	0	1	1	1	2	1	5	11	10
	2.3%	0.0%	1.1%	0.6%	0.5%	0.7%	0.8%	4.9%	6.4%	5.2%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

<自由記述> 主な意見を抜粋

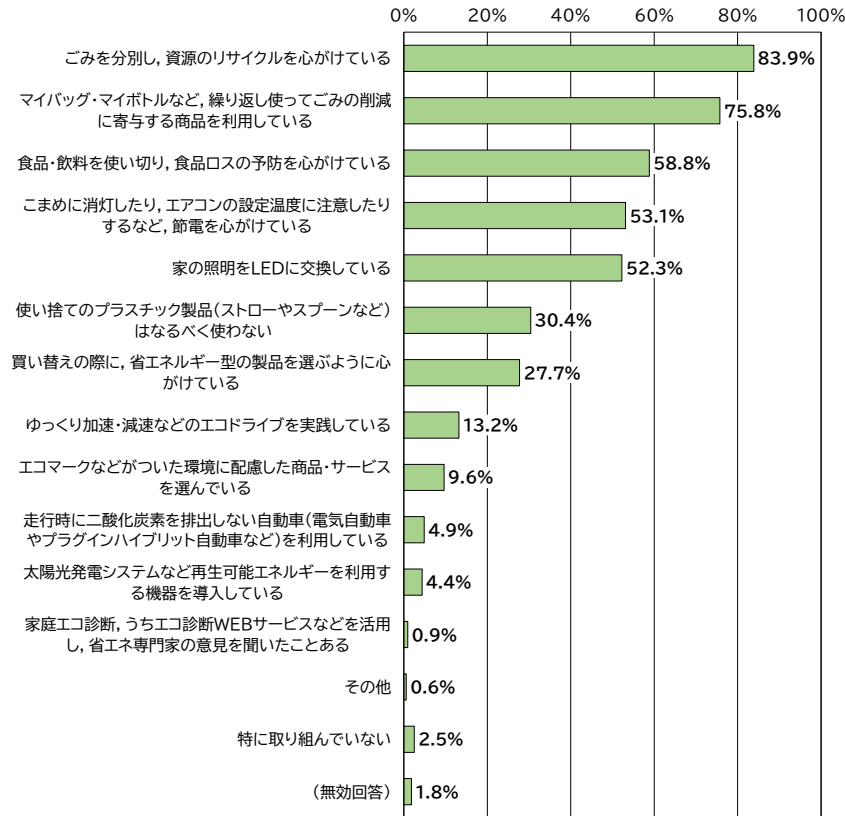
【図表 空き家対策についてのご意見・ご提案】(82件)

- ・ 近所に、草が伸び放題の家があり、火事が心配
- ・ 空き家があると景観が損なわれ、治安も悪い感じがある
- ・ 法律関係（物件の権利者）をきちんと市が把握して、空き家の解消につとめてほしい
- ・ 不動産仲介との連携が必要
- ・ 調布市に限らず、全国の問題だと思う。ただ、個人所有の物なので難しいと感じる。
- ・ 空き家を様々な方法で活用してほしい。所有者，市，地域デバロッパが協力して割安で店舗用地の開発をする。地域企業でそれぞれの仕事を分担しサイクル化することでより市としても活性化するのではないかなと思う。

問56) あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。

<全体 (n=1,370) >

○「ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている」が83.9%、「マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している」が75.8%、「食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている」が58.8%となっています。なお、「特に取り組んでいない」は2.5%となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている」と「マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している	1,038	23	62	118	147	219	100	82	134	146
エコマークなどがついた環境に配慮した商品・サービスを選んでいる	132	4	7	7	13	21	16	14	22	25
使い捨てのプラスチック製品(ストローやスプーンなど)はなるべく使わない	417	10	18	29	50	73	42	38	67	83
ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている	1,149	19	60	117	163	235	111	94	161	179
食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている	806	16	50	85	109	175	63	62	111	127
ゆっくり加速・減速などのエコドライブを実践している	181	0	6	12	27	52	18	21	24	21
走行時に二酸化炭素を排出しない自動車(電気自動車やプラグインハイブリッド自動車など)を利用している	67	2	1	5	10	17	4	8	7	12
こまめに消灯したり、エアコンの設定温度に注意したりするなど、節電を心がけている	728	15	36	56	83	134	73	70	119	136
家の照明をLEDに交換している	716	9	25	62	101	143	67	59	111	131
太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用する機器を導入している	60	1	2	6	8	15	7	5	8	8
買い替えの際に、省エネルギー型の製品を選ぶように心がけている	380	2	13	17	29	67	49	40	73	84
家庭エコ診断、うちエコ診断WEBサービスなどを活用し、省エネ専門家の意見を聞いたことある	13	0	2	0	0	3	1	4	2	1
その他	8	0	0	1	2	0	1	2	1	1
特に取り組んでいない	34	1	3	6	10	7	2	1	1	3
(無効回答)	25	0	4	8	3	0	3	0	3	4

(上段:実数(人), 下段:構成比)

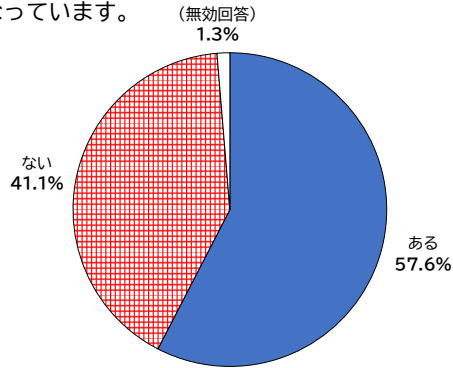
回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

【平和について】

問 57) あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。

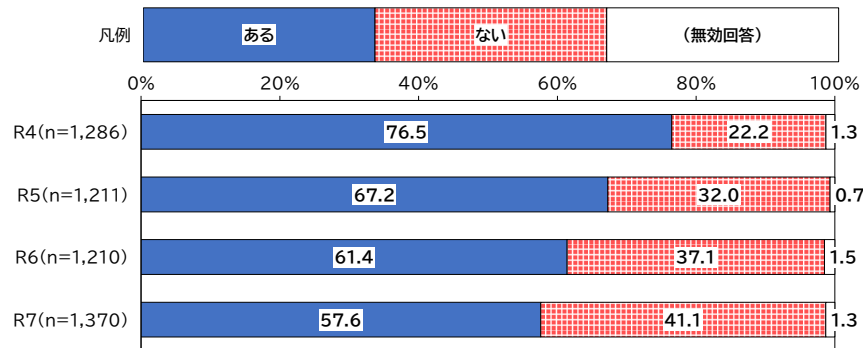
<全体 (n=1,370) >

○「ある」が57.6%、「ない」が41.1%となっています。



<経年比較>

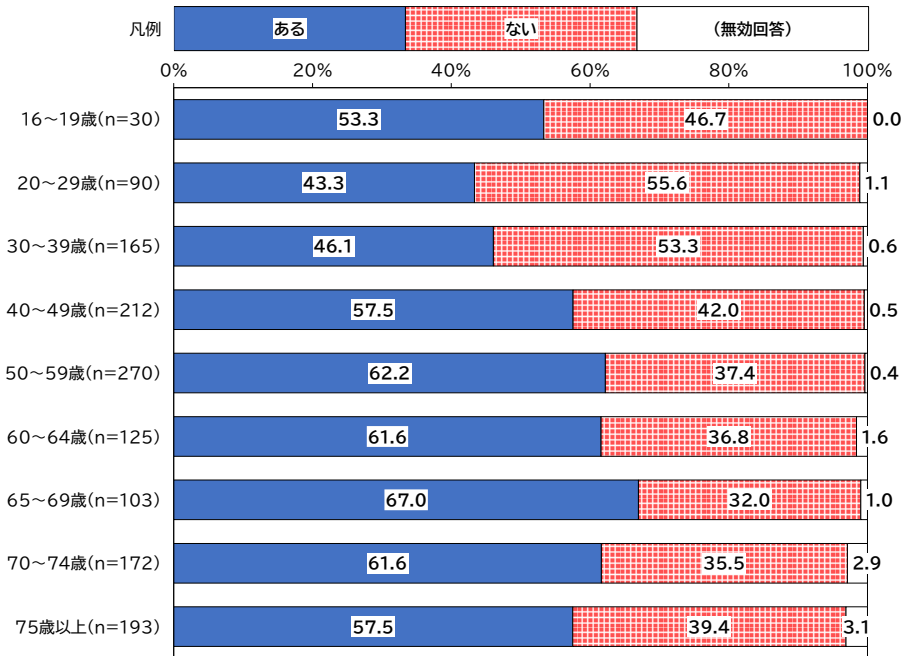
○「ある」(57.6%)は、令和6年度(61.4%)に比べて、3.8ポイント減少しています。



※「調布市基本計画策定に関する市民アンケート調査 (R4.12.12~12.28)」からの新設した調査項目です。

<年齢層別>

○「ある」は、65~69歳が67.0%で最も高く、20~39歳は40%台となっています。



<自由記述> 主な意見を抜粋

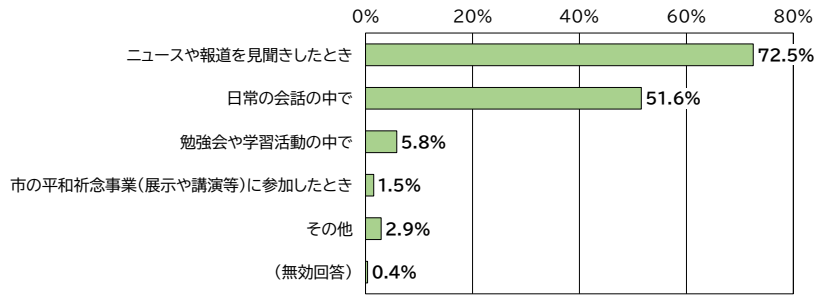
【図表 平和に関する施策についてのご意見・ご提案】(46件)

- ・映画の上映会など積極的に発信していくことを望む
- ・飛行場があるという土地の利を生かして子どもたちへの歴史教育に繋げてほしい
- ・戦争をしない為には人と人が国や人種に関係なく仲良くする事、その為には他人を理解し尊重する事を子供の時から教育する必要があると思う
- ・学校教育や市民イベントなどを通じて知る機会を増やしてほしい
- ・平和は絶対だけど、抑止力は必要
- ・自治体でできることには限界がある

問 57-1) 問 57 で「ある」と回答した方にうかがいます。それはどんな時ですか。

<全体 (n=789) >

○場面については、「ニュースや報道を見聞きしたとき」が72.5%で最も高く、次いで「日常の会話の中で」の51.6%の順となっています。



<年齢層別>

○16~19 歳は「勉強会や学習活動の中で」、20 歳以上は「ニュースや報道を見聞きしたとき」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	789	16	39	76	122	168	77	69	106	111
日常の会話の中で	407	2	17	32	56	82	49	39	61	67
ニュースや報道を見聞きしたとき	572	6	25	52	78	124	54	56	80	92
勉強会や学習活動の中で	46	10	1	4	7	7	1	0	9	7
市の平和祈念事業(展示や講演等)に参加したとき	12	0	0	0	4	4	2	0	1	1
その他	23	1	4	4	2	6	3	1	2	0
(無効回答)	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0

(上段:実数(人), 下段:構成比)

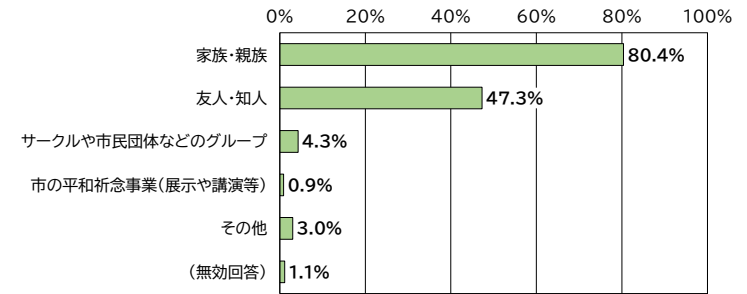
回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

問 57-2) 問 57 で「ある」と回答した方にうかがいます。それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。

<全体 (n=789) >

○相手については、「家族・親族」が80.4%で最も高く、次いで「友人・知人」の47.3%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「家族・親族」と「友人・知人」が高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	789	16	39	76	122	168	77	69	106	111
家族・親族	634	9	28	59	105	144	61	55	80	89
友人・知人	373	9	17	21	36	63	45	46	66	66
市の平和祈念事業(展示や講演等)	7	0	0	0	1	2	0	1	2	1
サークルや市民団体などのグループ	34	1	2	1	0	6	2	4	8	10
その他	24	3	0	7	1	4	2	1	2	4
(無効回答)	9	0	2	3	3	0	0	0	0	1

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:

回答割合が2番目に高い:

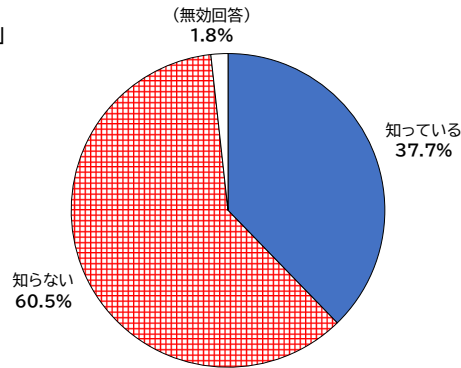
【児童虐待・人権・男女共同参画について】

問 58) あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）に関する次の相談窓口を知っていますか。

<全体 (n=1,370) >

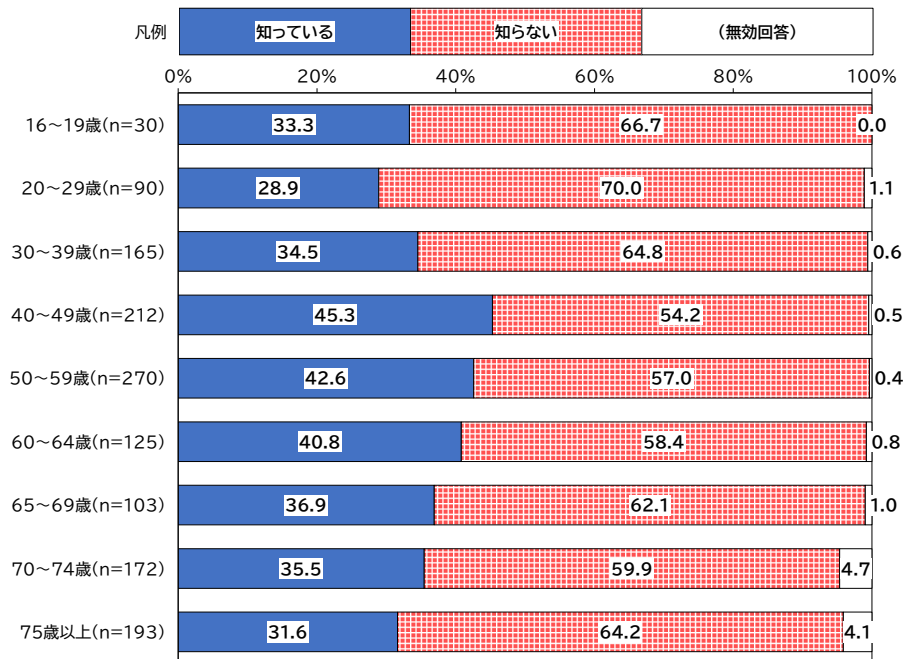
ア 児童虐待に関する相談窓口

○「知っている」は 37.7%、「知らない」は 60.5%となっています。



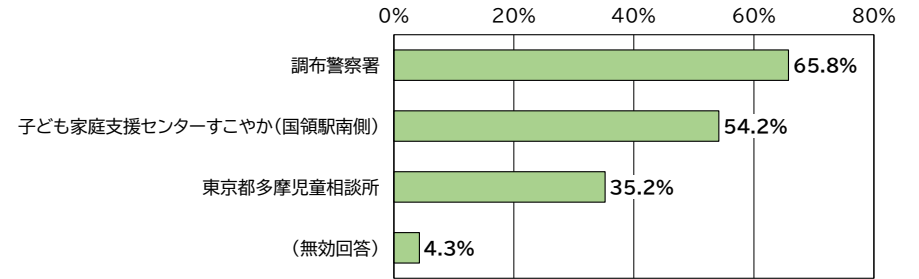
<年齢層別>

○「知っている」は、40～64歳が40%を超えている一方で、39歳以下、65歳以上では20～30%台にとどまっています。



<相談窓口 (n=517) >

○「調布警察署」の65.8%で最も高く、次いで、「子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）」の54.2%の順となっています。



<年齢層別相談窓口>

○16～19歳、30～49歳で子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）、それ以外の年齢層で「調布警察署」が最も高くなっています（40～49歳は「子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）」と「調布警察署」が同率1位）。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	517	10	26	57	96	115	51	38	61	61
子ども家庭支援センターすこやか(国領駅南側)	280	7	14	37	62	66	20	21	25	28
東京都多摩児童相談所	182	4	13	24	35	41	14	10	18	23
調布警察署	340	4	20	36	62	73	38	24	42	39
(無効回答)	22	0	1	1	2	4	4	2	2	6

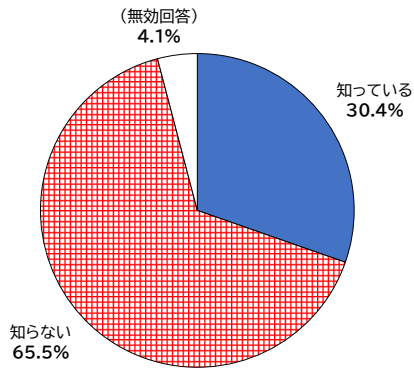
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [Dark Gray Box] 回答割合が2番目に高い: [Light Gray Box]

<全体 (n=1,370) >

イ DV※ (ドメスティックバイオレンス) に関する相談窓口

○「知っている」は 30.4%, 「知らない」は 65.5%となっています。

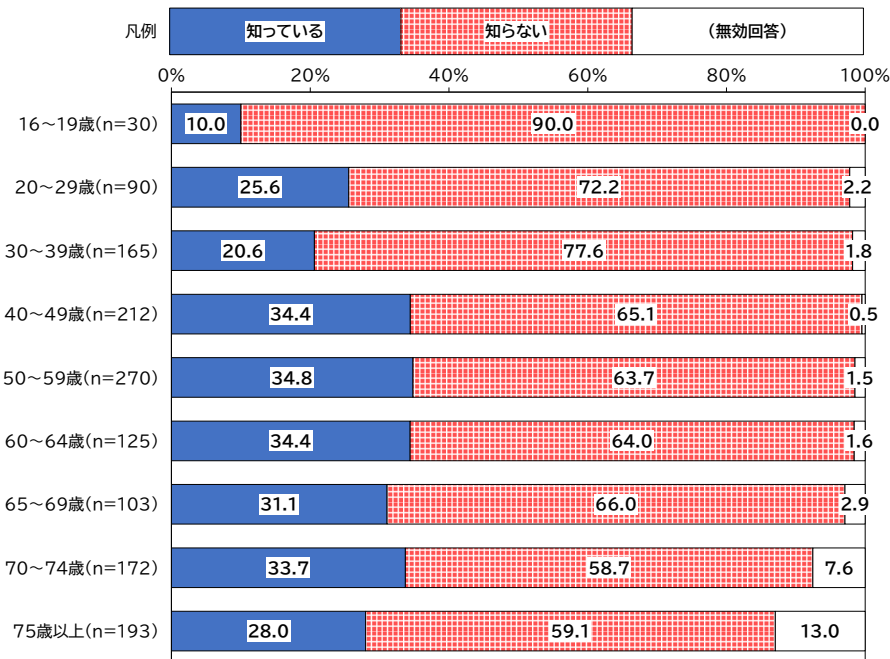


※「ドメスティックバイオレンス」とは、配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあった者から振られる暴力のこと。身体的な暴力のほか、言葉による暴力(大声で怒鳴る、屈辱的なことを言うなど)や、経済的な暴力(生活費を十分に渡さない、お金をせびるなど)も該当します。

<年齢層別>

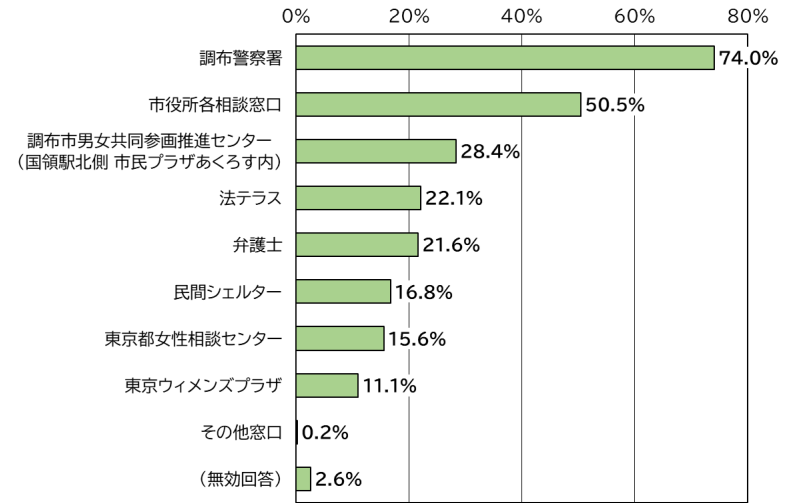
○「知っている」は、50~59歳で34.8%と最も高く、次いで40~49歳、60~64歳の34.4%の順となっています。

○いずれの年齢層も「知らない」が「知っている」を上回っています。



<相談窓口 (n=416) >

○「調布警察署」が 74.0%で最も高く、次いで「市役所各相談窓口」の 50.5%の順となっています。



<年齢層別相談窓口>

○20歳以上は「調布警察署」が最も高く、「市役所各相談窓口」が2番目に高くなっています。

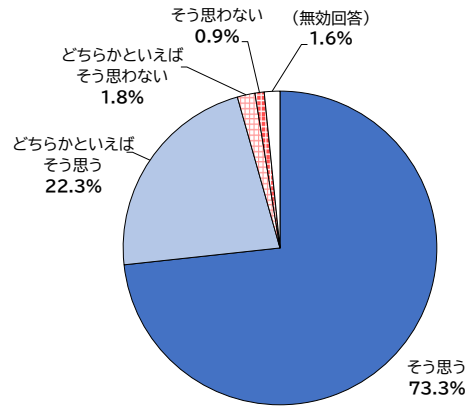
選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	416	3	23	34	73	94	43	32	58	54
調布市男女共同参画推進センター(国領駅北側 市民プラザあくろす内)	118	2	9	8	21	29	10	13	11	15
市役所各相談窓口	210	3	10	15	40	48	14	19	31	29
調布警察署	308	2	17	22	51	72	35	21	47	39
東京都女性相談センター	65	1	1	6	13	15	5	7	3	13
東京ウィメンズプラザ	46	1	1	2	6	17	5	3	3	8
弁護士	90	0	3	6	20	26	9	5	11	10
民間シェルター	70	1	3	5	20	16	7	3	7	8
法テラス	92	2	4	5	23	22	10	8	10	8
その他窓口	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
(無効回答)	11	0	2	2	2	0	3	0	1	1

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い: [調布警察署]  
 回答割合が2番目に高い: [市役所各相談窓口]

問 59) あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。

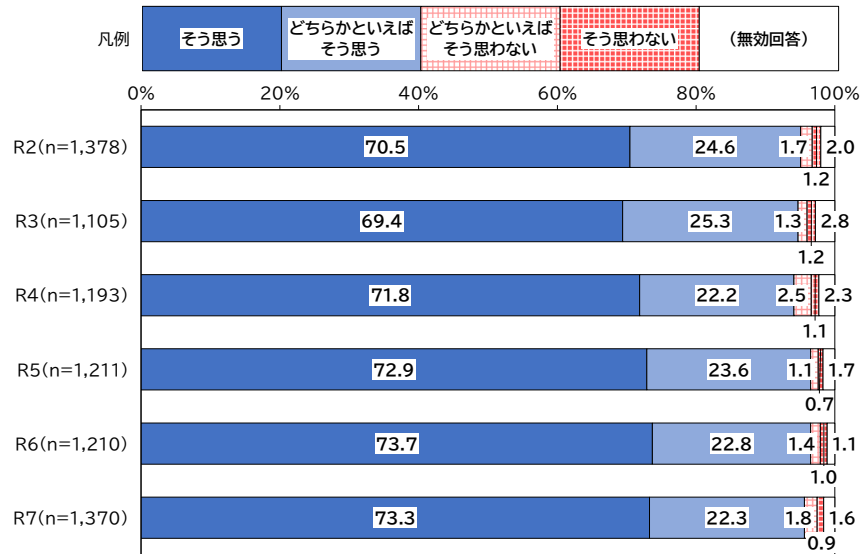
<全体 (n=1,370) >

○「そう思う」が 73.3%, 「どちらかといえばそう思う」が 22.3%で、合計 95.6%を占めています。



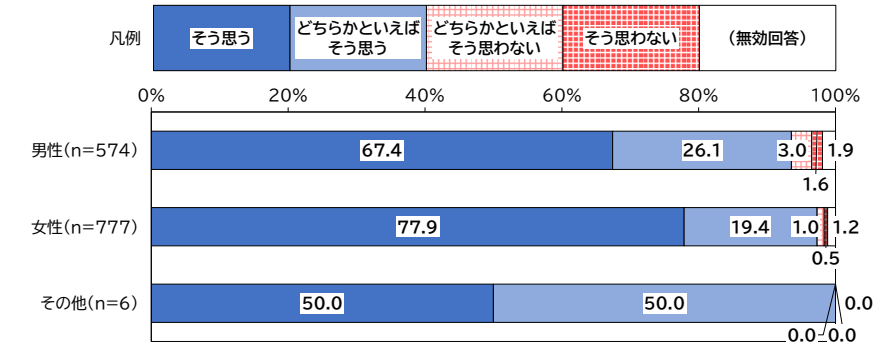
<経年比較>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、令和2年度以降、一貫して95%前後で推移しています。



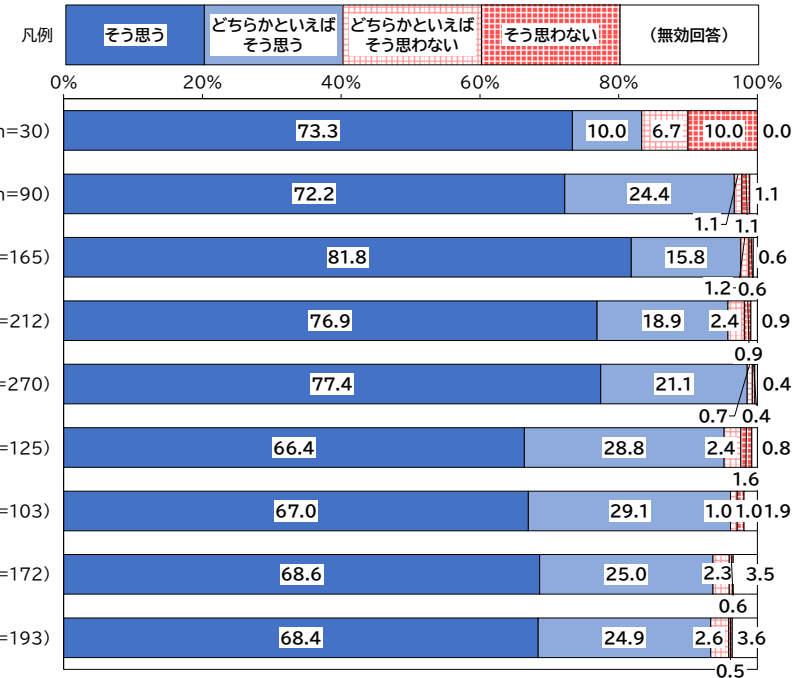
<性別>

○「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計は、男性が 93.5%, 女性が 97.3%となっています。



<年齢層別>

○20歳以上は、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が90%を超えています。



<自由記述>主な意見を抜粋

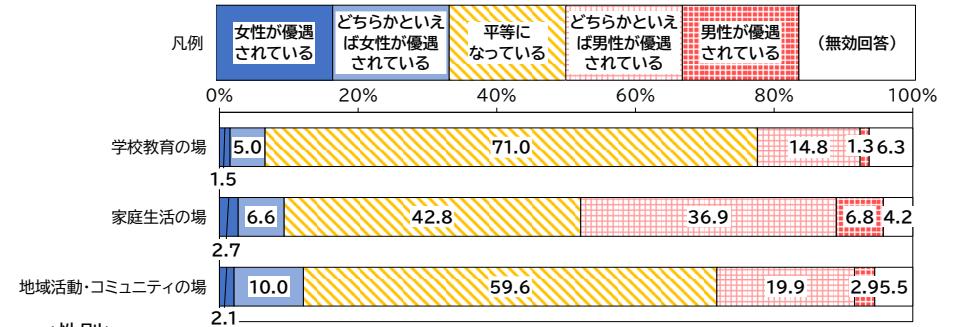
【図表 人権・男女共同参画に関する施策についてのご意見・ご提案】(66件)

- ・子どもの時からの教育が必要だと思う。
- ・女性が主語になりやすく、男性の相談先が欲しい。
- ・中・高年の人は意識をアップデートする必要があるが昔の考えを変えるのは難しいかもしれない。
- ・女性は活躍しないといけないとか、男性は家事参加しないとダメみたいな風潮にならないよう発信してほしい。
- ・DV被害にあってるのが男性だと相談しにくい雰囲気があるので平等に外に相談できるようになるといい
- ・男女関係なく適材適所で仕事を担うべきだし、それを行政が施策として介入することが間違いだと思う。
- ・男女どちらにも、身体的に家庭負担が減るように、就労環境の整備をもっとしてほしい
- ・人権・平等を考える時に声高に主張する側の意見を前提にしないで欲しい。不満のある人は発信するが、不満のない人は基本的に無言である。
- ・公共施設におけるおむつ交換台が今だに女性トイレにしかないことがある。誰でもトイレや男性トイレにも設置すべき。
- ・市でやる必要が無い。

問 60) 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。

<全体 (n=1,370)>

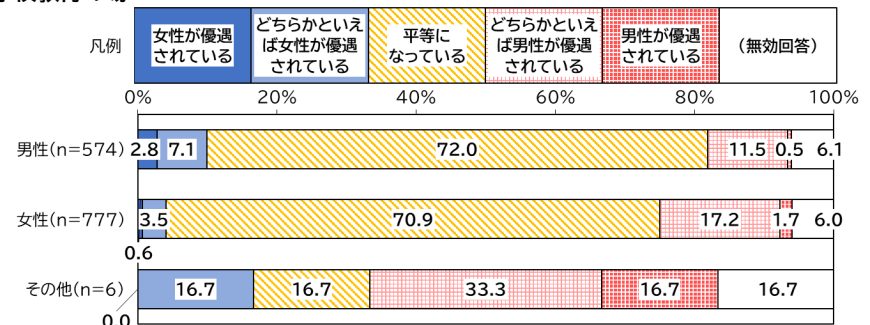
○「学校教育の場」及び「地域活動・コミュニティの場」では「平等になっている」が半数を超えています。 「家庭生活の場」では、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が43.7%で高くなっています。



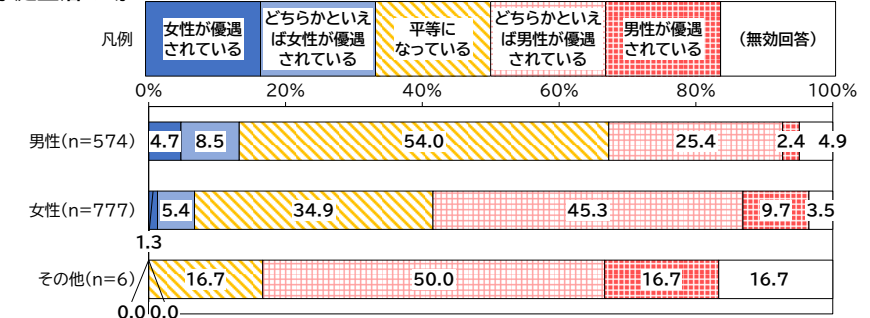
<性別>

○いずれの場面も、「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」の合計が、「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計を上回っています。  
 ○「学校教育の場」では、「平等になっている」が男性・女性とも70%を超えています。

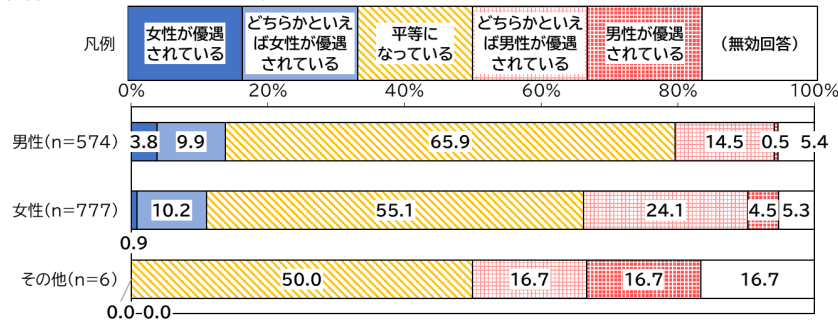
学校教育の場



家庭生活の場



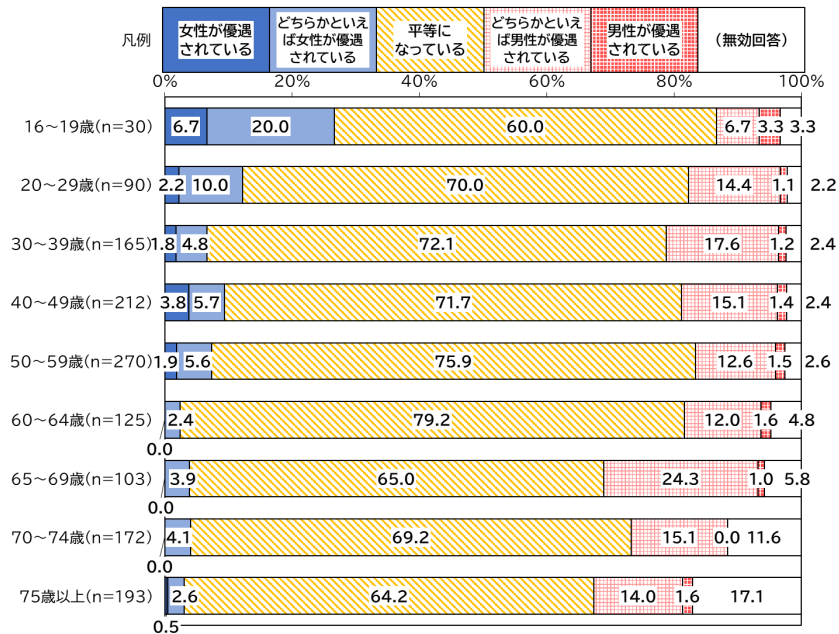
地域活動・コミュニティの場



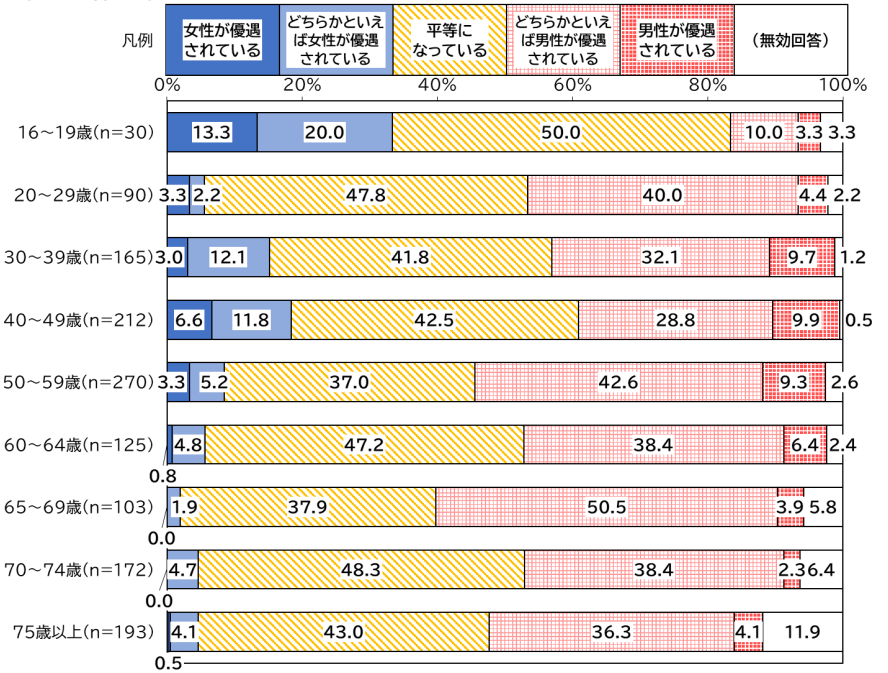
<年齢層別>

- 学校教育の場、家庭生活の場において、16~19歳は「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」の合計が「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を上回っています。
- 「学校教育の場」では、「平等になっている」がいずれの年齢層も60%を超えています。
- 「家庭生活の場」では20歳以上で「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」が「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」を大幅に上回っている。

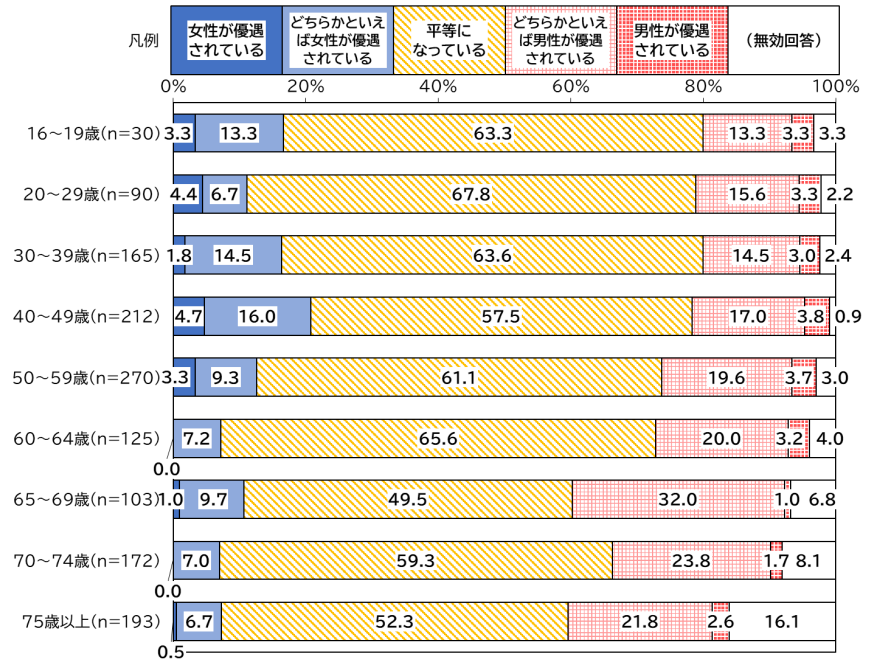
学校教育の場



家庭生活の場



地域活動・コミュニティの場

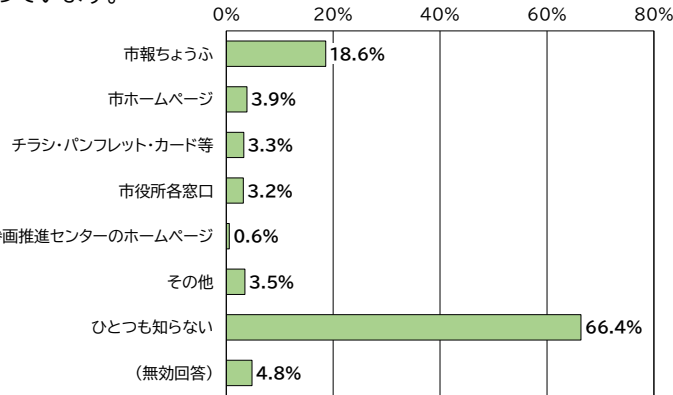


問 61) あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。知っている場合は、何によって知ったかあてはまるものを選んでください。

調布市パートナーシップ宣誓制度\*

<全体 (n=1,370) >

○「市報ちょうふ」が 18.6%で最も高くなっています。なお、「ひとつも知らない」は 66.4%となっています。



※「調布市パートナーシップ宣誓制度」とは、同性同士のカップル等について、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度で、都内では 23 市区（令和 6 年 9 月現在）が実施しています。ただし、法律婚とは異なり法的効力はありません。

<年齢層別>

○20 歳以上では、「市報ちょうふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
市役所各窓口	44	0	3	13	9	9	3	5	0	2
市ホームページ	53	2	5	5	7	10	5	4	8	7
市報ちょうふ	255	0	10	28	33	45	26	26	43	43
男女共同参画推進センターのホームページ	8	0	0	1	1	2	1	0	2	1
チラシ・パンフレット・カード等	45	2	5	3	5	10	4	3	4	8
その他	48	2	2	5	3	10	2	6	5	13
ひとつも知らない	909	23	68	118	157	188	82	61	97	108
(無効回答)	66	1	2	4	2	7	9	4	16	20

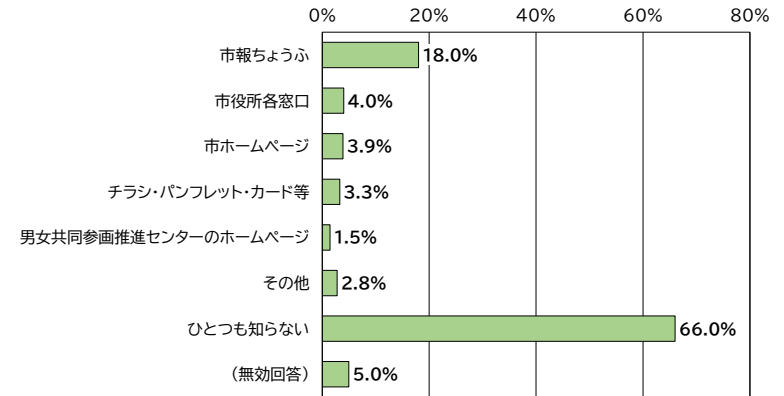
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

多様な性に関する相談

<全体 (n=1,370) >

○「市報ちょうふ」が 18.0%で最も高くなっています。なお、「ひとつも知らない」は 66.0%となっています。



<年齢層別>

○20 歳以上では、「市報ちょうふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
市役所各窓口	55	0	3	13	11	11	1	8	2	6
市ホームページ	53	1	3	7	3	12	4	6	6	11
市報ちょうふ	247	0	10	21	36	53	28	24	40	34
男女共同参画推進センターのホームページ	20	0	2	1	1	5	1	2	2	6
チラシ・パンフレット・カード等	45	1	1	2	5	8	5	5	7	10
その他	38	2	0	3	2	7	5	6	5	8
ひとつも知らない	904	25	71	123	156	178	76	59	98	111
(無効回答)	68	1	2	4	2	7	9	4	16	22

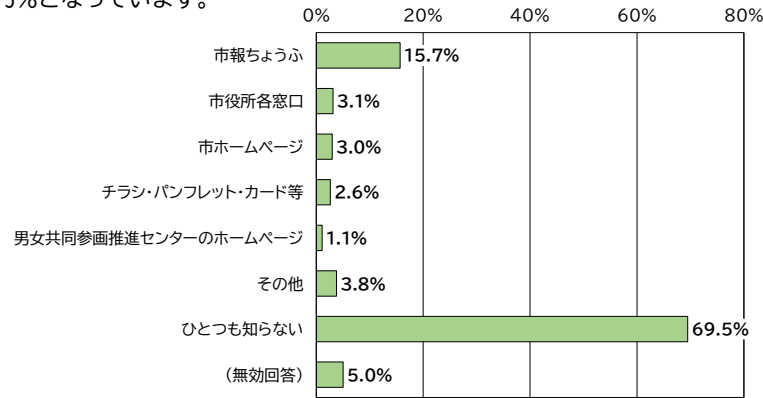
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

LGBT<sup>※1</sup> や SOGI<sup>※2</sup> に関する講座

<全体 (n=1,370) >

○「市報ちようふ」が15.7%で最も高くなっています。なお、「ひとつも知らない」は69.5%となっています。



※1「LGBT」とは、Lはレズビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシャル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（性的違和感を持つ方）の頭文字を取った言葉で、性的マイノリティの総称のひとつとして使われています。さらに、自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」などの人を指すクエスチョニング（Questioning）や性的マイノリティを包括するクエア（Queer）の頭文字と、これ以外の様々な性のあり方を指す「+」からなる「LGBTQ+」という言葉もあります。性的マイノリティとは、性のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人（性同一性障害）、恋愛感情などの性的な意識が同性又は両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。

※2「SOGI」とは、「Sexual Orientation and Gender Identity（性的指向と性自認）」の頭文字を取った言葉です。さらに、性表現（Gender Expression）の頭文字を加えた「SOGIE」という言葉もあります。近年、LGBTのほか、SOGIという言葉で表現されることもあります。

<年齢層別>

○20歳以上では、「市報ちようふ」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市役所各窓口	43	0	2	11	7	8	1	9	2	3
	3.1%	0.0%	2.2%	6.7%	3.3%	3.0%	0.8%	8.7%	1.2%	1.6%
市ホームページ	41	0	3	5	5	10	3	4	5	6
	3.0%	0.0%	3.3%	3.0%	2.4%	3.7%	2.4%	3.9%	2.9%	3.1%
市報ちようふ	215	0	9	21	38	43	23	19	34	27
	15.7%	0.0%	10.0%	12.7%	17.9%	15.9%	18.4%	18.4%	19.8%	14.0%
男女共同参画推進センターのホームページ	15	0	0	1	0	6	1	3	2	2
	1.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	2.2%	0.8%	2.9%	1.2%	1.0%
チラシ・パンフレット・カード等	36	2	3	1	4	3	4	4	5	9
	2.6%	6.7%	3.3%	0.6%	1.9%	1.1%	3.2%	3.9%	2.9%	4.7%
その他	52	1	0	4	5	10	7	8	3	14
	3.8%	3.3%	0.0%	2.4%	2.4%	3.7%	5.6%	7.8%	1.7%	7.3%
ひとつも知らない	952	26	72	127	156	193	80	65	107	119
	69.5%	86.7%	80.0%	77.0%	73.6%	71.5%	64.0%	63.1%	62.2%	61.7%
(無効回答)	69	1	2	4	2	7	9	4	17	22
	5.0%	3.3%	2.2%	2.4%	0.9%	2.6%	7.2%	3.9%	9.9%	11.4%

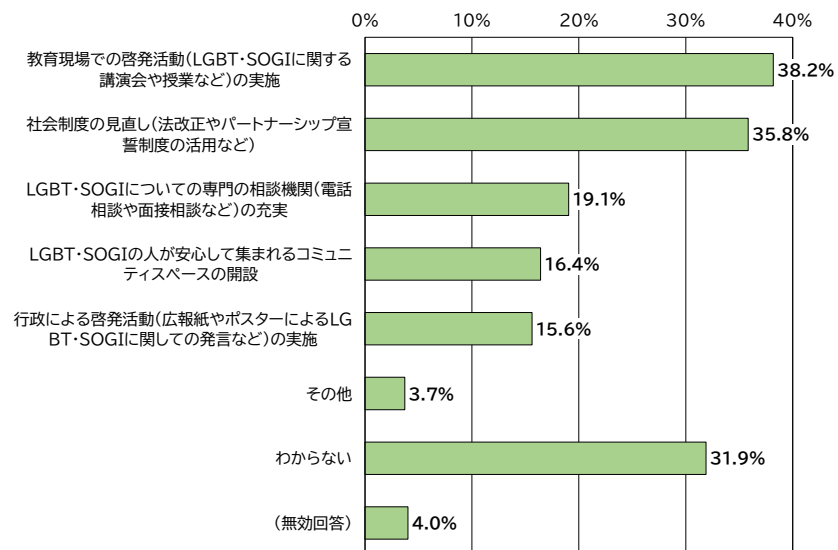
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

問 62) あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いませんか。

<全体 (n=1,370) >

○「教育現場での啓発活動 (LGBT・SOGI に関する講演会や授業など) の実施」が 38.2%と最も高く、次いで「社会制度の見直し (法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など)」(35.8%) の順になっています。



<年齢層別>

○20～39 歳で「社会制度の見直し (法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など)」, 16～19 歳, 40 歳以上で「教育現場での啓発活動 (LGBT・SOGI に関する講演会や授業など) の実施」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
社会制度の見直し(法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など)	491	8	30	62	73	117	48	31	53	64
教育現場での啓発活動(LGBT・SOGIに関する講演会や授業など)の実施	523	12	23	56	84	122	49	45	62	65
LGBT・SOGIについての専門の相談機関(電話相談や面接相談など)の充実	261	5	9	31	33	60	27	25	30	38
LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設	225	4	19	32	37	43	15	21	22	30
行政による啓発活動(広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関しての発言など)の実施	214	2	3	17	29	49	24	19	34	34
その他	51	2	4	7	14	11	6	2	2	3
わからない	437	11	34	61	65	69	38	30	60	68
(無効回答)	55	2	3	3	1	4	4	6	12	19

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ]

<自由記述> 主な意見を抜粋

【図表 多様な性に対する理解の促進についてのご意見・ご提案】 (62 件)

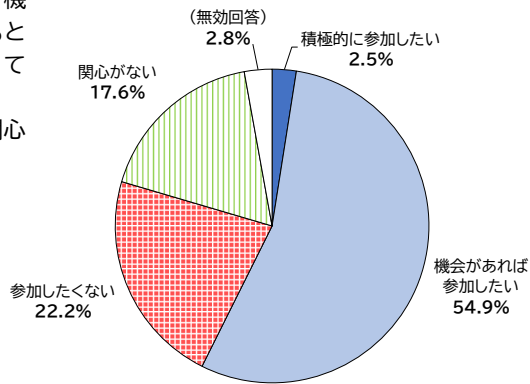
- ・友人, 知人として身近に知り合っていれば多様な性も自然に受け取ることができる人・社会が広がっていくように思う。
- ・当事者にしかわからないことを外野が決めつけて誤った情報や偏った意見を広めてしまうのが一番よくないと思う。当事者が安心して暮らせるよう当事者の声をいちばんに聞くのが良い。
- ・行政が助けの手を差し出すことは良いが, 当事者達を無理やり公の場に連れ出すような, 傲慢な施策はしないで欲しい。
- ・多様性の尊重と必然性の男女差はちゃんと区別して欲しい。
- ・“普通” や “違い” は親子で学ぶといいと思う。授業の一つなどで, 話を聞くだけじゃなくて, ディスカッションするのも必要だと思う。
- ・過度な子供達への教育はよくないと思う。ごく自然なかたちで社会の中にある事として認識していく事が大切。
- ・自分とは関係ない, とならないような啓発がより必要だと思う。

【市民参加について】

問 63) あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いませんか。

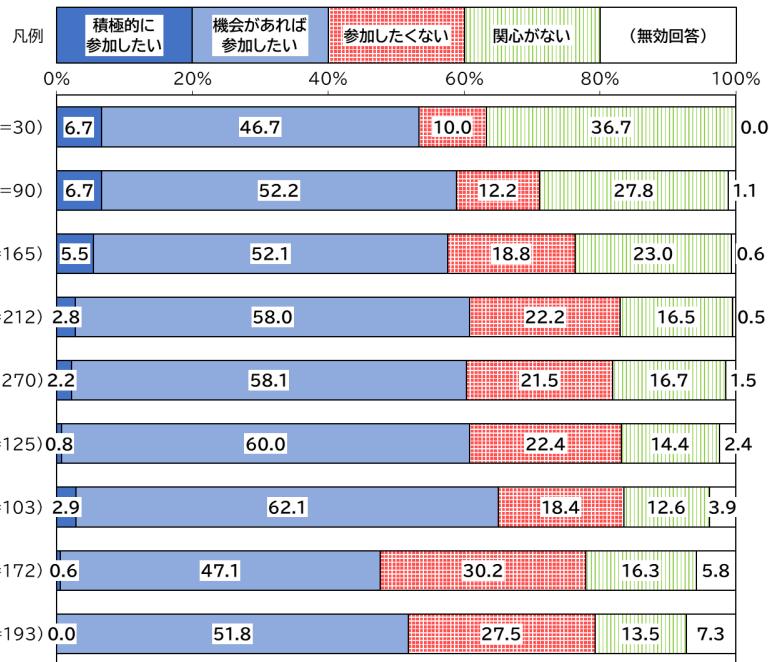
<全体 (n=1,370) >

- 「積極的に参加したい」は2.5%、「機会があれば参加したい」は54.9%となっており、合計で57.4%となっています。
- 「参加したくない」は22.2%、「関心がない」は17.6%となっています。



<年齢層別>

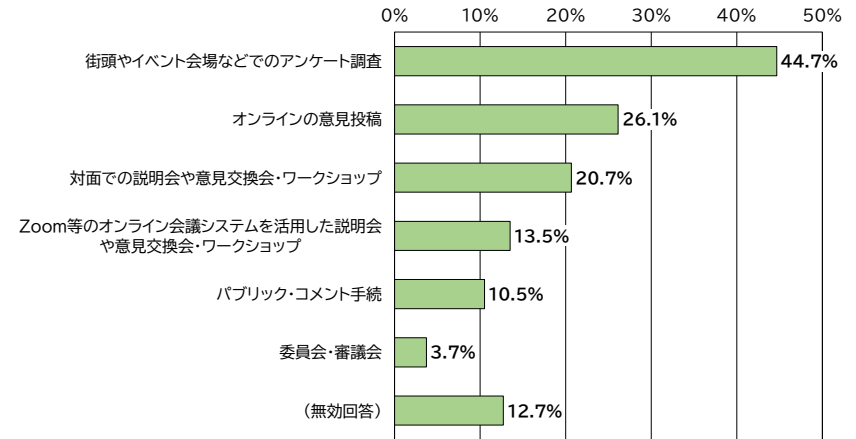
- 「積極的に参加したい」と「機会があれば参加したい」の合計は、70~74歳を除く全ての年齢層で半数を上回っています。



問 64) あなたは、どのような市民参加の手法なら参加できますか。

<全体 (n=1,370) >

- 「街頭やイベント会場などでのアンケート調査」が44.7%で最も高く、次いで「オンラインの意見投稿」の26.1%、「対面での説明会や意見交換会やワークショップ」の20.7%の順となっています。



<年齢層別>

○20～29歳は「オンラインの意見投稿」、それ以外の年齢層は「街頭やイベント会場などでのアンケート調査」が最も高くなっています。

○65歳以上は「対面での説明会や意見交換会・ワークショップ」が2番目に高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
対面での説明会や意見交換会・ワークショップ	283	3	20	35	41	57	23	30	30	43
	20.7%	10.0%	22.2%	21.2%	19.3%	21.1%	18.4%	29.1%	17.4%	22.3%
Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会・ワークショップ	185	6	19	29	41	48	13	9	9	11
	13.5%	20.0%	21.1%	17.6%	19.3%	17.8%	10.4%	8.7%	5.2%	5.7%
街頭やイベント会場などでのアンケート調査	612	12	27	71	92	121	63	52	84	86
	44.7%	40.0%	30.0%	43.0%	43.4%	44.8%	50.4%	50.5%	48.8%	44.6%
オンラインの意見投稿	358	9	33	64	66	85	35	24	22	19
	26.1%	30.0%	36.7%	38.8%	31.1%	31.5%	28.0%	23.3%	12.8%	9.8%
パブリックコメント手続	144	2	11	24	32	35	11	12	7	10
	10.5%	6.7%	12.2%	14.5%	15.1%	13.0%	8.8%	11.7%	4.1%	5.2%
委員会・審議会	51	2	1	7	8	6	4	6	10	6
	3.7%	6.7%	1.1%	4.2%	3.8%	2.2%	3.2%	5.8%	5.8%	3.1%
(無効回答)	174	4	4	10	10	18	17	9	41	57
	12.7%	13.3%	4.4%	6.1%	4.7%	6.7%	13.6%	8.7%	23.8%	29.5%

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い:  回答割合が2番目に高い:

<自由記述>主な意見を抜粋

【市民参加の取組についてのご意見・ご提案】(52件)

- ・ イベント関係は平日が多く、なかなか参加できないのが残念。
- ・ 自分の生活もままならないのにそんな事をしている余裕は無い。
- ・ 空いた時間に取り組めるようなオンラインサービスがあると参加しやすい。
- ・ 友達と一緒になら行ってみたい
- ・ どうしても高齢者の数が多いので議論等を行う場合は参加する世代や立場が近い人の人数を揃えて欲しい。
- ・ 意見交換会や説明会に参加しても「意見を聞いてもらえた」という実感がわからない。全て事前に決定されていて、形だけ「市民の意見を聞きました」という感じでむなしい。
- ・ 最新のテクノロジーを活用して市民の声を吸い上げる仕組みを検討頂きたい。これまで積極的に参加する声の大きい人だけでなく、あまり意見を発しない、小さいけど重要な声を拾い上げてほしい。
- ・ 仕事子育て家事でいっぱいなので、今はできない。
- ・ 機会があれば興味があるが、どこに機会があるのかがわからない。

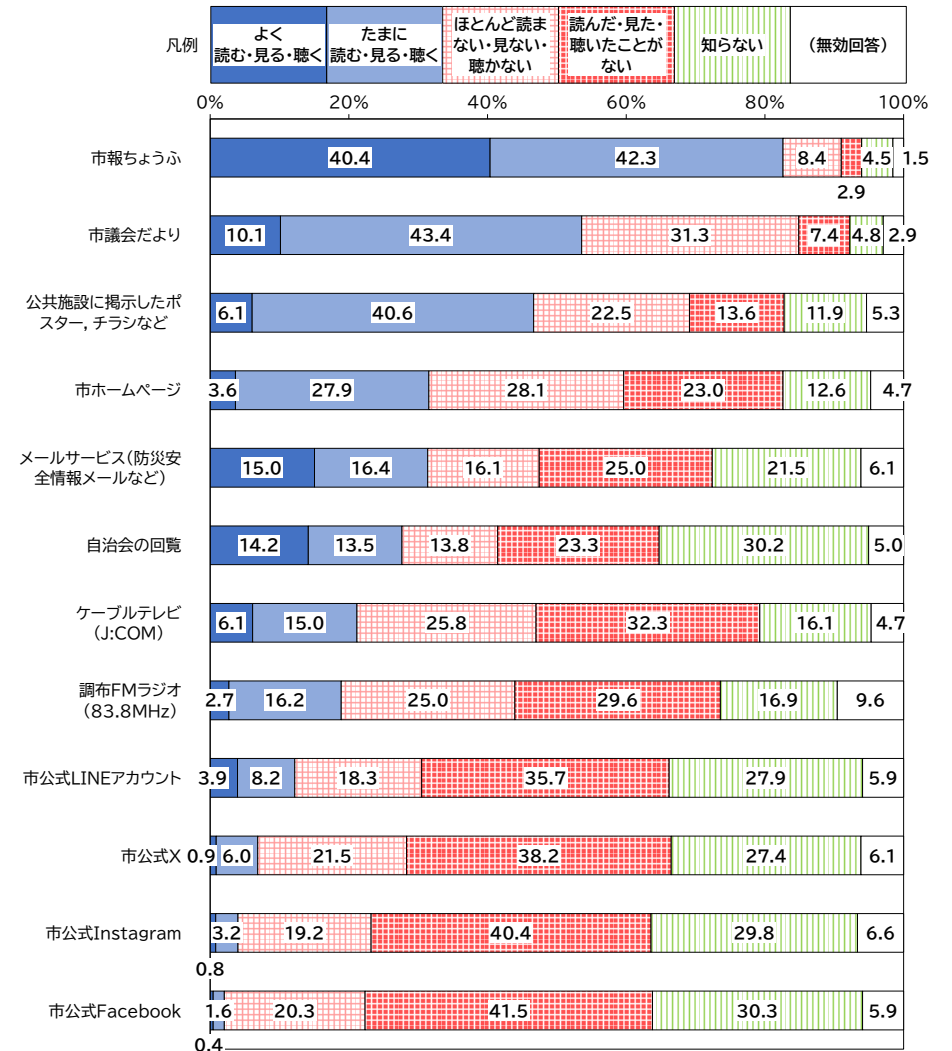
【市政等の情報について】

問 65) あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。

<全体 (n=1,370) >

○「よく読む・見る・聴く」と「たまに読む・見る・聴く」の合計は、「市報ちようふ」が82.7%で最も高く、次いで「市議会だより」の53.5%、「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」の46.7%の順となっています。

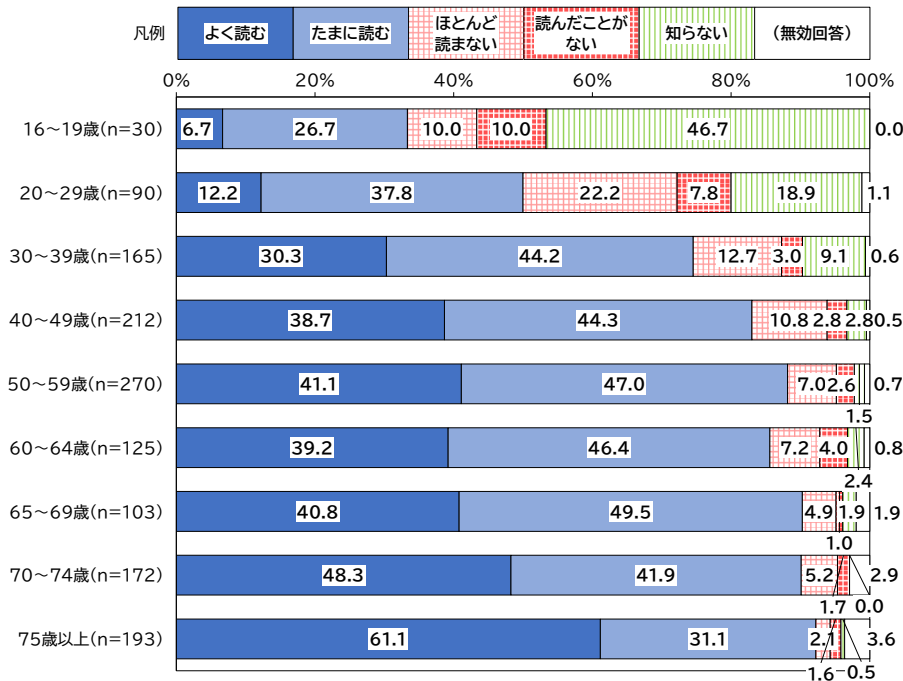
○一方、「読んだ・見た・聴いたことがない」と「ほとんど読まない・見ない・聴かない」の合計は、「市公式 Facebook」が61.8%で最も高く、次いで「市公式 X」が59.7%、「市公式 Instagram」が59.6%の順となっています。



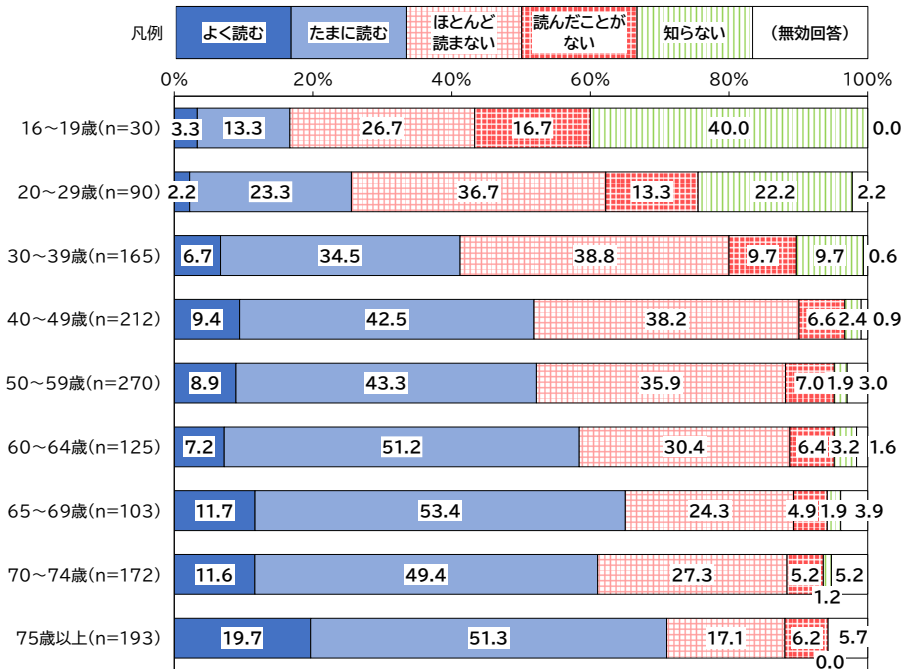
<年齢層別>

- 「市報ちょうふ」は、40歳以上で「よく読む」と「たまに読む」の合計が80%を超えています。
- 「公共施設に掲示したポスター、チラシなど」は、20~29歳、40~59歳、70歳以上で、「よく見る」と「たまに見る」の合計が、「ほとんど見ない」、「見たことがない」、「知らない」の合計を上回っています。
- 「市議会だより」は、40歳以上で、「よく読む」と「たまに読む」合計が、「ほとんど読まない」、「読んだことがない」、「知らない」の合計を上回っており、特に75歳以上は「よく読む」と「たまに読む」の合計が70%を超えています。
- 「調布 FM ラジオ (83.3MHz)」、「ケーブルテレビ (J:COM)」、「市公式 X (旧 Twitter)」、「市公式 Facebook」、「市公式 LINE アカウント」、「市公式 Instagram」は、すべての年齢層で「ほとんど見ない」、「見たことがない」、「知らない」の合計が、「よく見る」と「たまに見る」合計を上回っています。

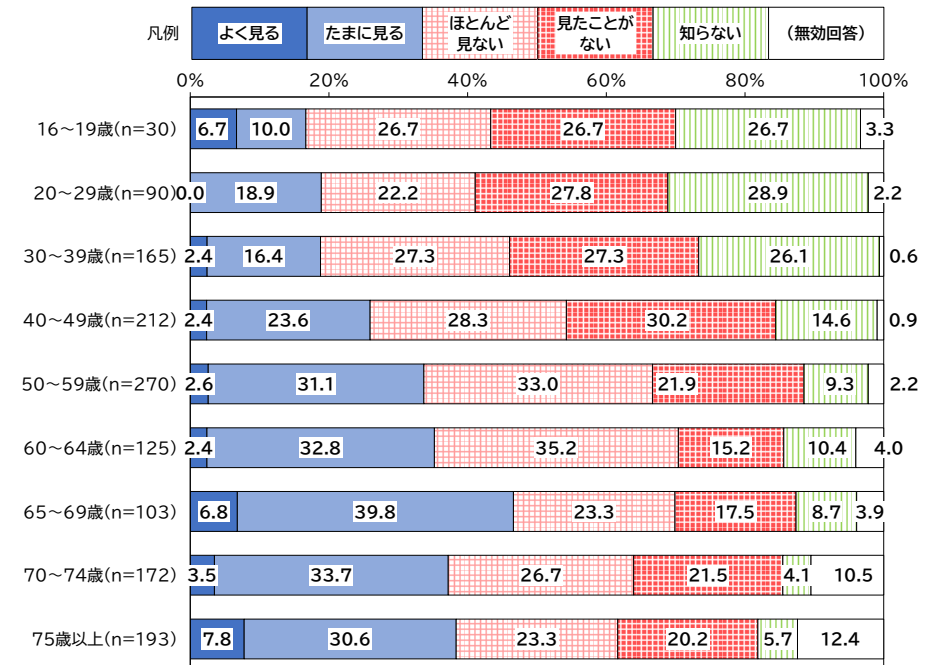
ア 市報ちょうふ



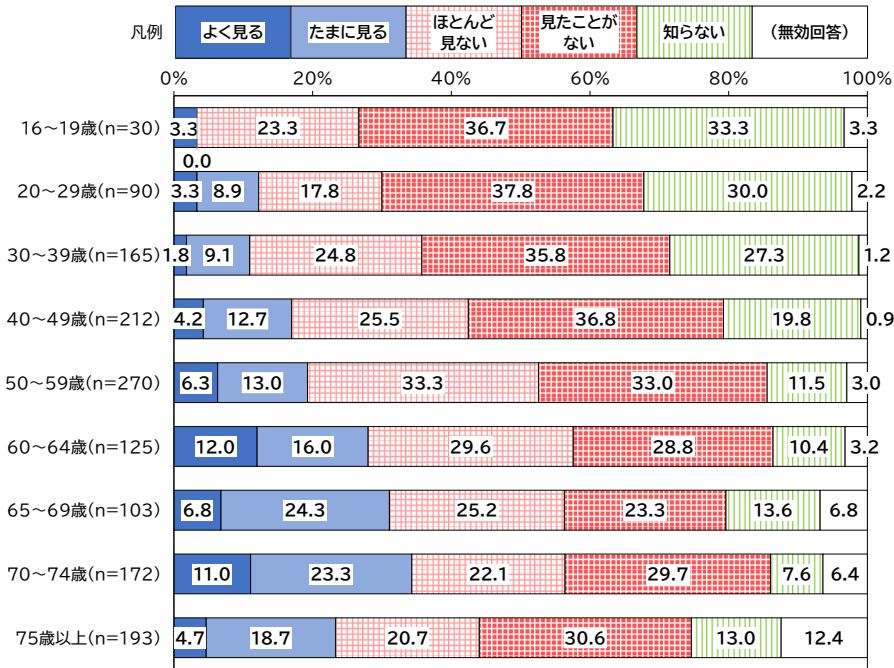
イ 市議会だより



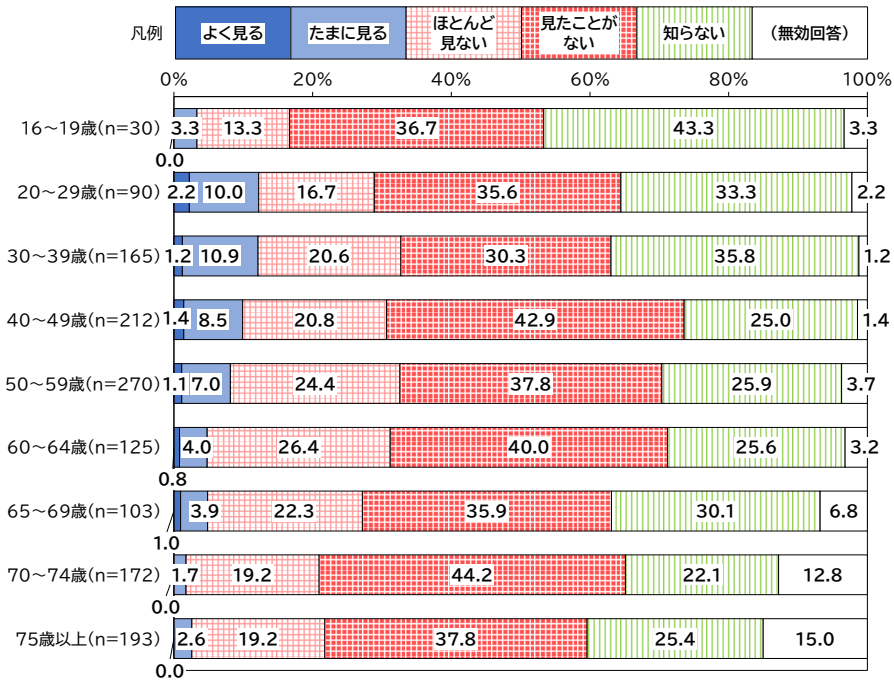
ウ 市ホームページ



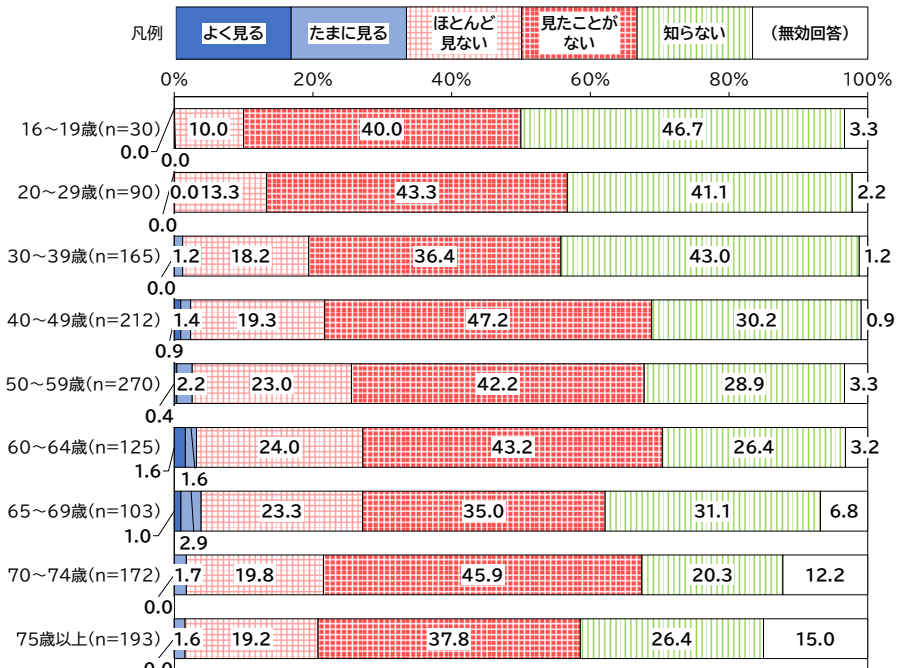
エ ケーブルテレビ (J:COM)



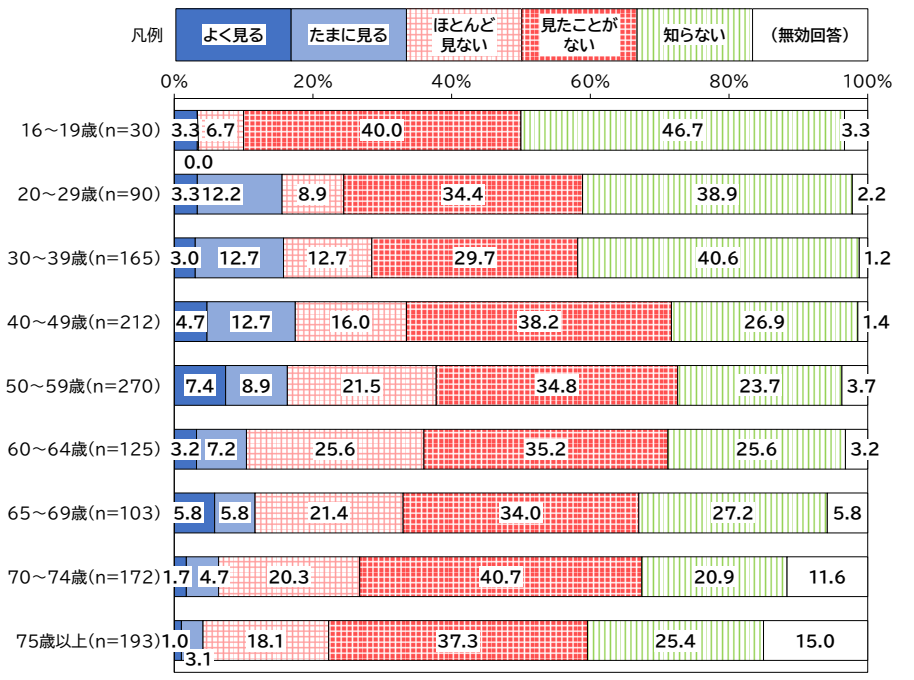
オ 市公式 X



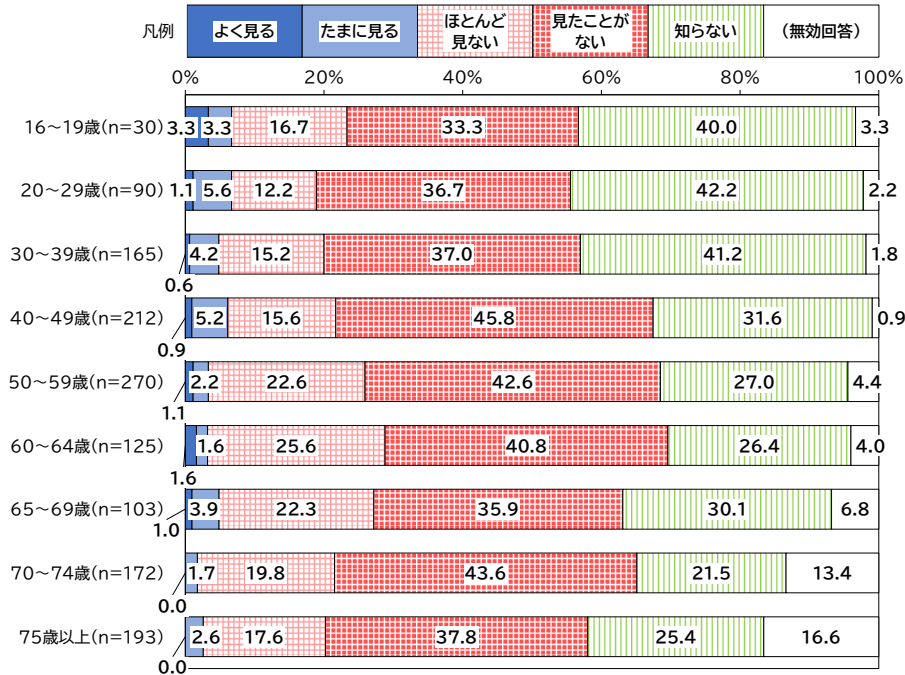
カ 市公式 Facebook



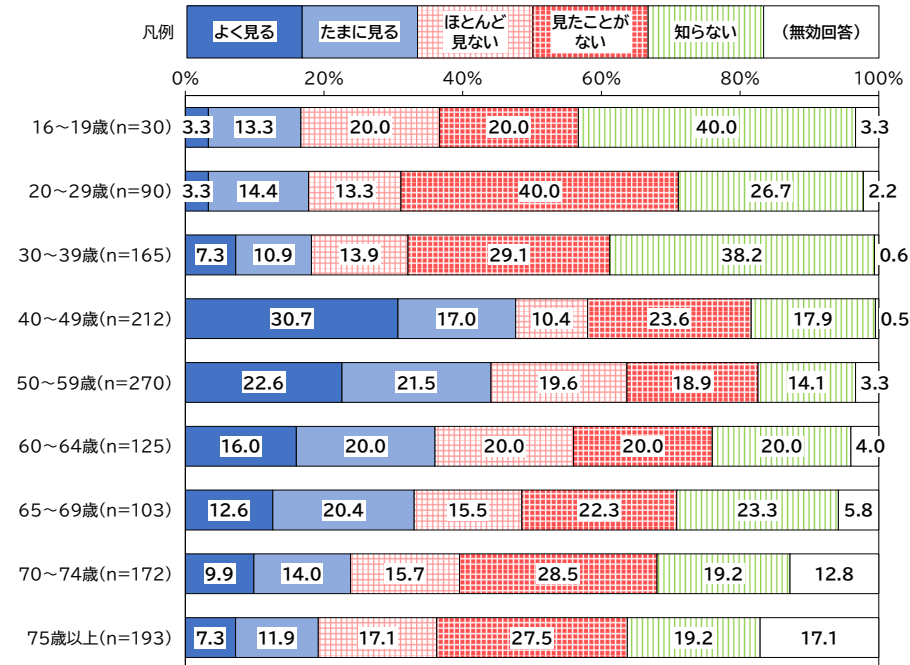
キ 市公式 LINE アカウント



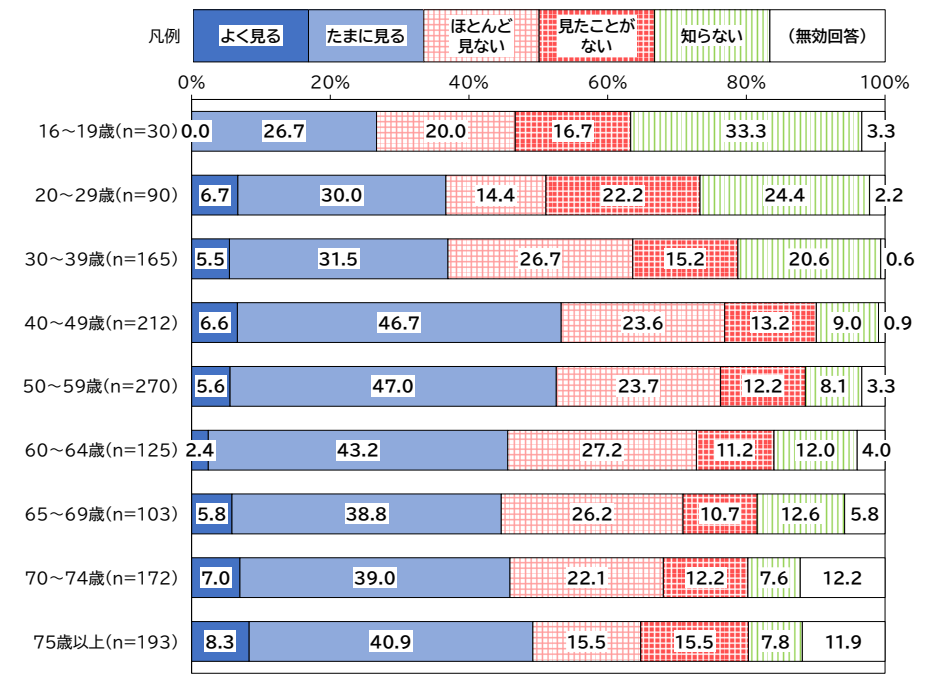
ク 市公式 Instagram



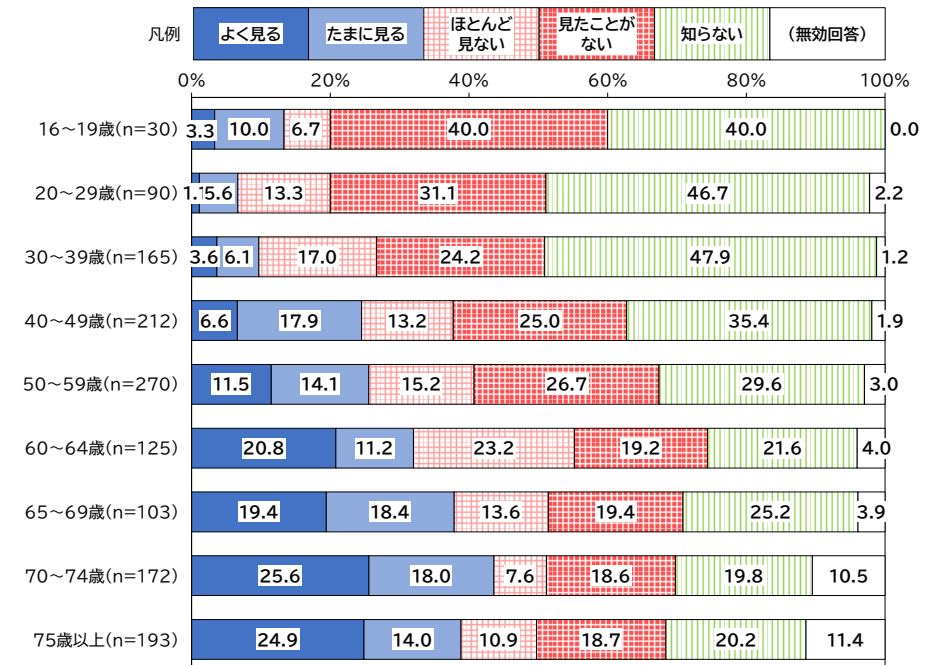
ケ メールサービス (防災安全情報メールなど)



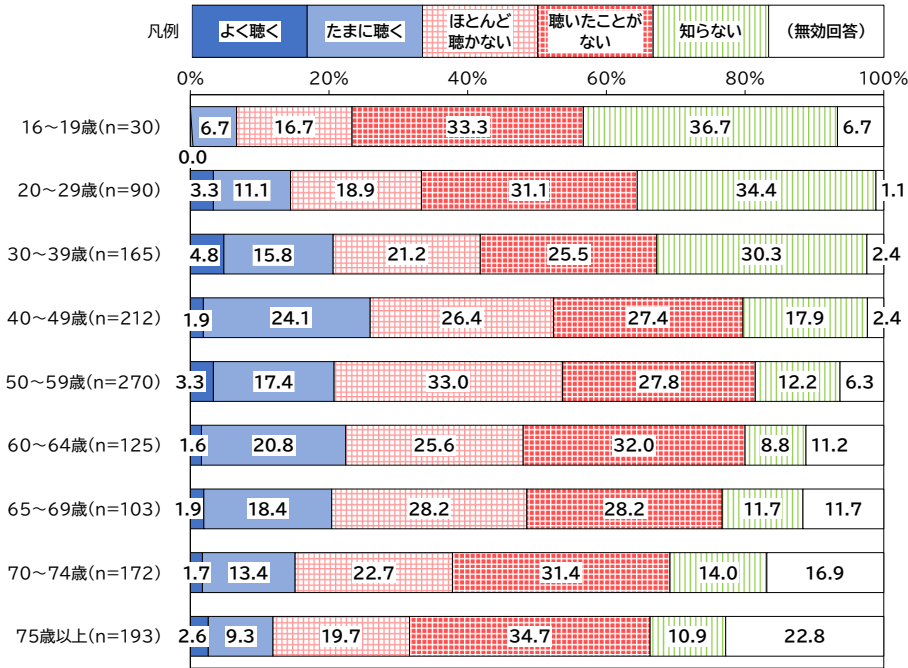
コ 公共施設に掲示したポスター、チラシなど



カ 自治会の回覧



シ 調布 FM ラジオ (83.8MHz)



<自由記述>主な意見を抜粋

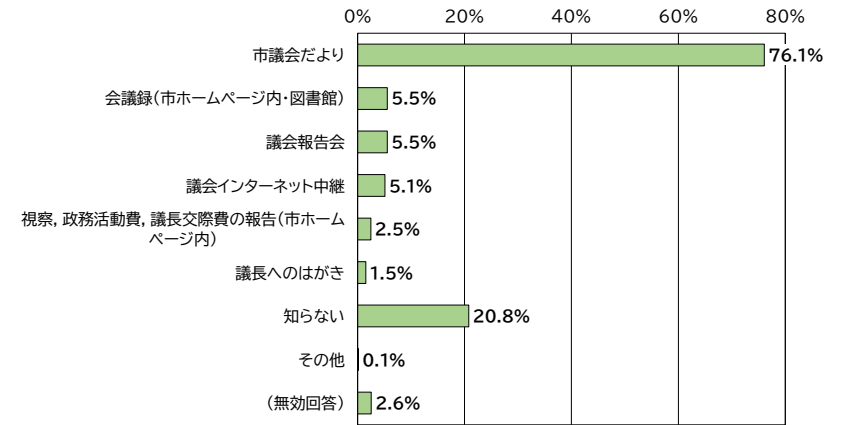
【図表 市政の情報発信についてのご意見・ご提案】(36件)

- ・市報ちょうふをいつも楽しみにしている
- ・物理的な回覧板は廃止して、一斉メールなどにして欲しい
- ・調布FMを最近知った。一層アピールしたほうが良い
- ・自分自身が意識して、情報を得る様にしていきたい
- ・市報はとてありがたい。読むのや見るのに得意なツールを使えるよう、今のように色々な発信源があるとありがたいと思う
- ・きっかけはSNS等だが、中身をじっくり確認するには紙媒体が良い

問 66) 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものはどれですか。

<全体 (n=1,370) >

○「市議会だより」が76.1%で最も高く、次いで、「会議録(市ホームページ内・図書館)」、「議会報告会」がともに5.5%の順となっています。



<年齢層別>

○いずれの年齢層も「市議会だより」が最も高くなっており、50歳以上では65~69歳を除いて、80%を超えています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
市議会だより	1,042	9	43	102	157	229	106	81	145	163
	76.1%	30.0%	47.8%	61.8%	74.1%	84.8%	84.8%	78.6%	84.3%	84.5%
議会インターネット中継	70	1	5	5	13	19	6	9	5	7
	5.1%	3.3%	5.6%	3.0%	6.1%	7.0%	4.8%	8.7%	2.9%	3.6%
会議録(市ホームページ内・図書館)	76	3	5	5	17	13	3	5	10	14
	5.5%	10.0%	5.6%	3.0%	8.0%	4.8%	2.4%	4.9%	5.8%	7.3%
視察、政務活動費、議長交際費の報告(市ホームページ内)	34	2	2	6	1	7	2	4	2	7
	2.5%	6.7%	2.2%	3.6%	0.5%	2.6%	1.6%	3.9%	1.2%	3.6%
議会報告会	76	1	1	6	3	11	7	6	16	24
	5.5%	3.3%	1.1%	3.6%	1.4%	4.1%	5.6%	5.8%	9.3%	12.4%
議長へのはがき	21	1	1	2	1	4	1	2	4	5
	1.5%	3.3%	1.1%	1.2%	0.5%	1.5%	0.8%	1.9%	2.3%	2.6%
知らない	285	21	44	60	52	35	17	15	18	21
	20.8%	70.0%	48.9%	36.4%	24.5%	13.0%	13.6%	14.6%	10.5%	10.9%
その他	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	0.1%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%
(無効回答)	35	0	1	2	2	3	1	7	7	11
	2.6%	0.0%	1.1%	1.2%	0.9%	1.1%	0.8%	6.8%	4.1%	5.7%

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [色付きボックス]

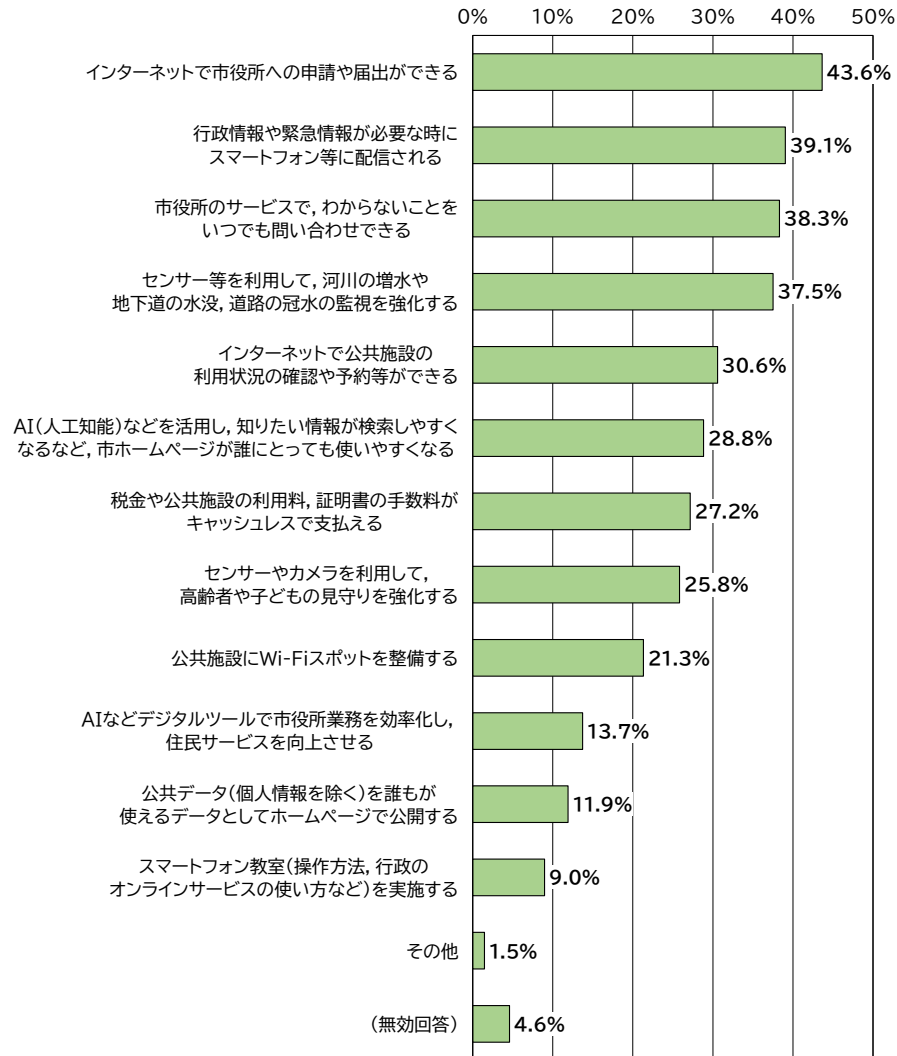
回答割合が2番目に高い: [色付きボックス]

【行政のデジタル化について】

問 67) あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。

<全体 (n=1,370) >

○「インターネットで市役所への申請や届出ができる」が 43.6%で最も高く、次いで「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」の 39.1%、「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」の 38.3%の順となっています。



<年齢層別>

○16~19 歳は「インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる」、「センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する」、20~59 歳は「インターネットで市役所への申請や届出ができる」、60~64 歳と 70 歳以上は「市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる」、65~69 歳は「行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
AI(人工知能)などを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが使いやすくなる	395	7	34	52	61	86	34	33	40	46
行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される	535	9	26	69	83	115	50	46	64	71
公共データ(個人情報を除く)を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する	163	6	9	22	26	37	18	15	17	13
インターネットで市役所への申請や届出ができる	598	9	43	87	135	143	59	39	46	35
税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える	372	8	34	68	90	86	27	18	22	17
インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる	419	10	31	58	94	95	44	27	36	24
市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる	525	5	22	52	80	88	61	38	79	94
AIなどデジタルツールで市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる	188	3	12	27	33	42	20	12	17	20
公共施設にWi-Fiスポットを整備する	292	9	16	34	56	65	33	20	38	21
スマートフォン教室(操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など)を実施する	123	0	3	6	10	17	8	14	30	34
センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する	354	6	22	39	54	68	34	21	47	59
センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する	514	10	29	54	77	106	50	37	74	74
その他	20	0	0	1	1	4	3	3	1	7
(無効回答)	63	0	2	2	3	6	5	6	15	22

(上段:実数(人), 下段:構成比)  
 回答割合が最も高い:   回答割合が2番目に高い:  

<自由記述>主な意見を抜粋

【図表 行政のデジタル化の推進についてのご意見・ご提案】(56件)

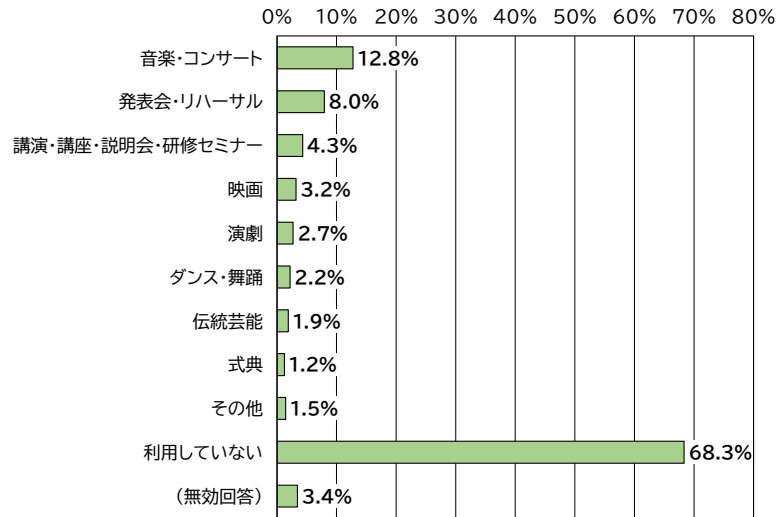
- ・電話で問い合わせできる道を残してほしい
- ・コンビニで証明書を取れるのはすごく便利
- ・手続きや担当者への問い合わせがデジタルでできたらとても助かる。紙は必要な人だけにして、削減する方向が良いと思う
- ・個人情報の保護、セキュリティ対策をしっかりと欲しい
- ・キャッシュレス化を取り入れて欲しい
- ・スマホを持っていない市民への対応をお願いしたい
- ・ごみアプリとても活用しています
- ・とにかく手続きを簡素化して欲しい。何度も住所、氏名、年齢を書かせるのはやめて欲しい

(4) 公共施設について

問 68) あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。

<全体 (n=1,370) >

○「音楽・コンサート」が12.8%で最も高く、次いで「発表会・リハーサル」の8.0%、「講演・講座・説明会・研修セミナー」の4.3%の順となっています。なお、「利用していない」は68.3%となっています。



<年齢層別>

○20歳以上の年齢層では、「音楽・コンサート」、16~19歳では、「発表会・リハーサル」が最も高くなっています(30~39歳は「発表会・リハーサル」が同率1位)。

選択肢	合計	16~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
演劇	37	1	3	7	6	3	4	4	6	3
音楽・コンサート	175	2	9	13	32	27	14	11	24	42
映画	44	0	1	5	5	9	6	1	7	9
伝統芸能	26	0	1	1	4	4	4	3	4	5
ダンス・舞踊	30	0	1	3	10	1	2	2	5	6
講演・講座・説明会・研修セミナー	59	0	1	6	10	6	5	9	11	10
式典	17	0	5	1	0	2	0	1	4	4
発表会・リハーサル	109	6	5	13	30	16	8	2	9	20
その他	20	1	0	4	3	5	1	2	0	4
利用していない	936	21	67	122	130	201	87	71	115	116
(無効回答)	47	0	2	2	3	8	5	6	10	10

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 12.8% 回答割合が2番目に高い: 8.0%

<同居人別>

○「小・中学生の子ども」では「発表会・リハーサル」が最も高くなっています。

選択肢	合計	配偶者	0歳~2歳の子ども	3歳~5歳の子ども	小・中学生の子ども	高校生世代~64歳の家族・同居人	65歳~74歳の家族・同居人	75歳以上の家族・同居人	家族・同居人はいない
全体	1,370	797	69	80	194	447	72	93	220
演劇	37	22	2	6	10	10	1	2	5
音楽・コンサート	175	109	10	11	34	54	9	8	24
映画	44	26	1	5	4	12	2	5	9
伝統芸能	26	17	1	0	0	7	2	0	3
ダンス・舞踊	30	20	1	2	9	4	1	3	4
講演・講座・説明会・研修セミナー	59	40	6	2	11	17	5	6	4
式典	17	9	0	1	1	7	0	0	3
発表会・リハーサル	109	73	3	9	47	40	3	6	7
その他	20	10	1	2	1	9	0	0	5
利用していない	936	529	49	51	98	310	52	70	163
(無効回答)	47	21	1	0	4	15	2	2	11

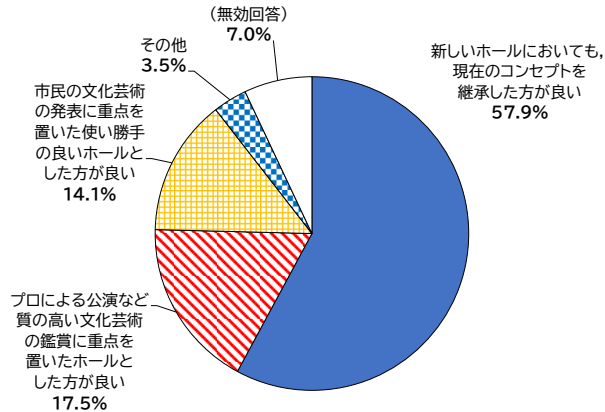
(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: 12.8% 回答割合が2番目に高い: 9.2%

問 69) 現在のグリーンホールの「質の高い文化芸術の鑑賞の場」であり、「市民の文化芸術の発表の場」というコンセプトについて、どう思いますか。

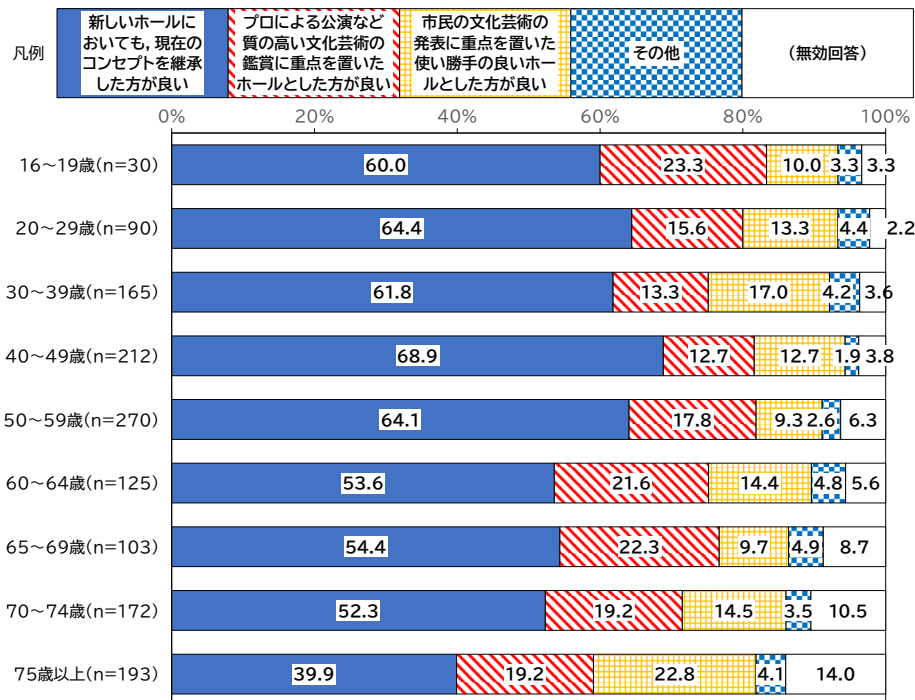
<全体 (n=1,370) >

○「新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い」が 57.9%で最も高く、次いで「プロによる公演など質の高い文化芸術の鑑賞に重点を置いたホールとした方が良い」の 17.5%の順となっています。



<年齢層別>

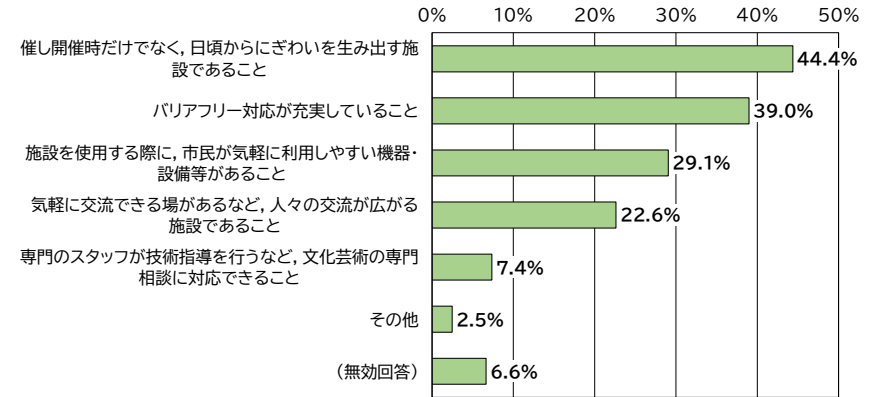
○74 歳以下で「新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い」が 50%を超えています。



問 70) 現在、市は新たなグリーンホールの整備を検討していますが、その整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。

<全体 (n=1,370) >

○「催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること」が 44.4%で最も高く、次いで「バリアフリー対応が充実していること」の 39.0%、「施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること」の 29.1%の順となっています。



<年齢層別>

○20～64 歳では「催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること」、16～19 歳と 65 歳以上では「バリアフリー対応が充実していること」が最も高くなっています。

選択肢	合計	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
全体	1,370	30	90	165	212	270	125	103	172	193
バリアフリー対応が充実していること	534	18	28	64	66	96	52	46	70	90
催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること	608	11	39	71	103	142	61	45	69	63
施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること	398	9	27	56	72	77	30	28	48	50
気軽に交流できる場があるなど、人々の交流が広がる施設であること	310	2	21	28	37	57	31	17	50	65
専門のスタッフが技術指導を行うなど、文化芸術の専門相談に対応できること	101	6	10	14	22	17	6	7	9	9
その他	34	0	3	8	5	6	2	3	2	5
(無効回答)	91	0	2	5	7	14	7	11	21	22

(上段:実数(人), 下段:構成比)

回答割合が最も高い: [ ] 回答割合が2番目に高い: [ ]



## 【参考】 調査票

---

# 調布市民意識調査

—みなさんの声を今後のまちづくりに生かします—

平素より、市政に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

市は、令和5年度からの第6次調布市総合計画（基本構想・基本計画）に基づき、計画的なまちづくりを進めています。

この調査は、市民のみなさんの意識や行動についてうかがい、基本計画の推進をはじめとする今後の市政経営に生かすことを目的として行うものです。調査の実施に当たりましては、調布市に住民登録をしている満16歳以上の方から、約3000人を無作為に抽出させていただきました。

御多忙のところお手数をおかけしますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月  
調布市長 長友 貴樹

## ＜記入に際しての注意事項など＞

- 本調査は無記名です。回答結果は統計的に処理するとともに、調査目的以外には利用しません。
- あて名の御本人がお答えください。なお、御本人が回答困難な場合は、可能であれば御家族や周りの方が介助いただくか、あて名の御本人の意見を聞いたうえで代わりに御記入をお願いします。
- 回答内容は、直接この調査票に、濃い鉛筆又は黒ボールペンで記入してください。
- 回答所要時間の目安は60分程度です。
- 回答いただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。○の数はそれぞれの設問の指定に従ってください。
- 「その他」に○印をつけた場合は、( )内に具体的な回答を記入してください。
- [ ]の場合は、回答内容等を記入してください。

御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**令和7年12月25日（木）**までに郵便ポストへ投函してください。

＜本調査に関する問い合わせ先＞ 調布市 行政経営部企画経営課  
TEL：042-481-7368 FAX：042-485-0741  
E-mail：kikaku@city.chofu.lg.jp

本調査は、スマートフォンからでも御回答いただけます。  
右のQRコードから、Web回答フォームにアクセスして御回答ください。  
(<https://logoform.jp/form/tbbj/783113>)

- ※Web回答フォームで回答する際は、一時保存が可能です。
- ※Webで回答いただいた場合は、本調査票の郵送は不要です。



“調布市総合計画”とは？

市が市政・まちづくりを計画的に進めるための、市の最上位の計画です。  
「調布市総合計画」の具体的な内容については、  
調布市ホームページ (<http://www.city.chofu.lg.jp>) をご覧ください。

詳細はこちら ▶



## 「あなたご自身のこと」について

1 あなたの性別について、あてはまるものに○をつけてください。 (○は1つ)

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

2 あなたの年齢（令和7年10月1日現在）について、あてはまるものに○をつけてください。 (○は1つ)

- |          |           |           |
|----------|-----------|-----------|
| 1 16～19歳 | 6 40～44歳  | 11 65～69歳 |
| 2 20～24歳 | 7 45～49歳  | 12 70～74歳 |
| 3 25～29歳 | 8 50～54歳  | 13 75歳以上  |
| 4 30～34歳 | 9 55～59歳  |           |
| 5 35～39歳 | 10 60～64歳 |           |

3 あなたの世帯の家族構成について、あてはまるものに○をつけてください。 (○は1つ)

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1 単身世帯      | 4 ひとり親と子どもの世帯  |
| 2 夫婦のみの世帯   | 5 3世代世帯（親・子・孫） |
| 3 夫婦と子どもの世帯 | 6 その他（ ）       |

4 あなたのお宅に同居している方について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

- |             |                    |
|-------------|--------------------|
| 1 配偶者       | 5 高校生世代～64歳の家族・同居人 |
| 2 0歳～2歳の子ども | 6 65歳～74歳の家族・同居人   |
| 3 3歳～5歳の子ども | 7 75歳以上の家族・同居人     |
| 4 小・中学生の子ども | 8 家族・同居人はいない       |

5 あなたの職業について、あてはまるものに○をつけてください。なお、兼業の方は主な職業を1つ選んでください。 (○は1つ)

- |                         |           |
|-------------------------|-----------|
| 1 自営業                   | 8 家事専業    |
| 2 農業                    | 9 無職      |
| 3 建設業・鉱工業・製造業系の会社員      | 10 その他（ ） |
| 4 「3」以外の商業・サービス業系などの会社員 |           |
| 5 公務員・団体職員など            |           |
| 6 派遣・契約・嘱託社員、パート・アルバイト  |           |
| 7 学生                    |           |

5で「1～7」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

5-1 あなたの通勤（就業）・通学先について、あてはまるものに○をつけてください。 (○は1つ)

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| 1 自宅                  | 6 世田谷区           |
| 2 市内（自宅以外）            | 7 東京23区内（世田谷区以外） |
| 3 府中市                 | 8 神奈川県           |
| 4 三鷹市                 | 9 関東近県（神奈川県以外）   |
| 5 多摩地域（府中市・三鷹市・島しょ以外） | 10 その他（ ）        |

6 あなたが、普段閲覧・活用している SNS\*等)に○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                       |                              |
|-----------------------|------------------------------|
| 1 Facebook (フェイスブック)  | 6 TikTok (ティックトック)           |
| 2 X (エックス)            | 7 その他のSNS ( )                |
| 3 LINE (ライン)          | 8 閲覧・活用していない                 |
| 4 Instagram (インスタグラム) | 9 閲覧できる機器 (スマートフォン等) を持っていない |
| 5 YouTube (ユーチューブ)    |                              |

※Social Networking Service (ソーシャル ネットワーク サービス) の略で、参加するユーザーが互いに自分の趣味、好み、社会生活などのことを公開しあったりしながら、幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型の Web サービスのこと。

7 あなたの現在のお住まいについて、あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| 1 一戸建て (持ち家) | 5 公営住宅 (公団、公社、都営、市営) |
| 2 一戸建て (借家)  | 6 社宅・官舎              |
| 3 集合住宅 (分譲)  | 7 シェアハウス             |
| 4 集合住宅 (賃貸)  | 8 その他 ( )            |

8 あなたがお住まいの「町名」と「丁目」それぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

「町名」			
《西部地域》	《北部地域》	《南部地域》	《東部地域》
1 飛田給	7 佐須町	13 小島町	20 菊野台
2 上石原	8 柴崎	14 布田	21 東つつじヶ丘
3 富士見町	9 深大寺元町	15 国領町	22 西つつじヶ丘
4 下石原	10 深大寺北町	16 調布ヶ丘	23 入間町
5 西町	11 深大寺東町	17 八雲台	24 仙川町
6 野水	12 深大寺南町	18 多摩川	25 緑ヶ丘
		19 染地	26 若葉町
「丁目」			
1 1丁目	3 3丁目	5 5丁目	7 7丁目
2 2丁目	4 4丁目	6 6丁目	8 8丁目

9 あなたは、調布市にお住まいになって、通算で何年になりますか。(○は1つ)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 3年未満      | 4 10年以上20年未満 |
| 2 3年以上5年未満  | 5 20年以上30年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 30年以上      |

10 あなたは、調布市に住む前に、どこにお住まいでしたか。(○は1つ)

- |                        |                  |
|------------------------|------------------|
| 1 府中市                  | 6 神奈川県           |
| 2 三鷹市                  | 7 関東近県 (神奈川県以外)  |
| 3 多摩地域 (府中市・三鷹市・島しょ以外) | 8 その他 ( )        |
| 4 世田谷区                 | 9 調布市以外に住んだことがない |
| 5 東京23区内 (世田谷区以外)      |                  |

10で「1~8」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

10-1 あなたが、調布市にお住まいになったきっかけ、理由は何ですか。(○はいくつでも)

- |                     |                      |                  |
|---------------------|----------------------|------------------|
| 1 家族構成や家族の状況が変わったから | 5 日常の買い物が便利だから       | 12 公共施設が充実しているから |
| 2 家賃や地価が妥当または安いから   | 6 近くに知人や親せきがいるから     | 13 防災の面で安心だから    |
| 3 仕事の都合             | 7 教育環境がよいから          | 14 治安の面で安心だから    |
| 4 通勤・通学などの交通が便利だから  | 8 子育て環境がよいから         | 15 特に理由はない       |
|                     | 9 高齢者福祉がよいから         | 16 その他 ( )       |
|                     | 10 自然環境がよいから         |                  |
|                     | 11 道路などの都市基盤が整っているから |                  |

10-1で「1」を選んだ方にうかがいます。

10-2 家族構成や家族の状況が変わった理由は何ですか。(○は1つ)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 配偶者・パートナーとの同居 | 4 子どもの小学校入学    |
| 2 1人目の子どもの誕生    | 5 子どもの中学校以上の進学 |
| 3 2人目以降の子どもの誕生  | 6 その他 ( )      |

「まちの魅力と今後の定住意向」について

11 あなたは、調布のまちに親しみや愛着を感じていますか。 (〇は1つ)

- 1 感じている                      2 感じていない                      3 どちらともいえない

12 あなたは、今後も調布市に住み続けたいと思いますか。 (〇は1つ)

- 1 住み続けるつもりでいる                      3 事情が許せば転出したい  
2 事情が許せば住み続けたい                      4 転出するつもりでいる

12で「1・2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

12で「3・4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

12-1 あなたは、調布のまちの魅力や個性・特色は何だと思えますか。あてはまるものに〇をつけてください。 (〇はいくつでも)

12-2 そう思う理由について、あてはまるものに〇をつけてください。 (〇はいくつでも)

- 1 歴史や伝統を感じられる
- 2 豊かな自然がある
- 3 調布駅周辺のにぎわい
- 4 都心への交通の便がよい
- 5 市内の交通の便が良い
- 6 地震などの災害への備えの面で安心・安全
- 7 浸水被害への備えの面で安心・安全
- 8 土砂災害への備えの面で安心・安全
- 9 治安の面で安全・安心
- 10 地域のふれあいがある
- 11 祭りやイベントが充実
- 12 スポーツ活動が活発
- 13 日常の買い物便利
- 14 好きな店や商店街がある
- 15 深大寺地域の歴史・観光資源
- 16 神代植物公園、野川公園などの公園
- 17 教育環境が良い
- 18 子育て環境が良い
- 19 農地や里山の風景がある
- 20 文化芸術活動が充実
- 21 図書館が充実
- 22 「映画のまち調布」の取組
- 23 「水木マンガの生まれた街 調布」の取組
- 24 サッカーJリーグのチームのホームタウン
- 25 ラグビーリーグワンのチームのホストエリア
- 26 プロ野球球団と連携している
- 27 特に理由はない
- 28 その他 ( )

- 1 家族構成や家族の状況が変わったから
- 2 家賃や地価が高いから
- 3 仕事の都合で
- 4 通勤・通学など交通が不便だから
- 5 市内の交通が不便だから
- 6 地震などの災害への備えに不安があるから
- 7 浸水被害への備えに不安があるから
- 8 土砂災害への備えに不安があるから
- 9 治安の面で不安があるから
- 10 近くに知人や親せきがない、少ないから
- 11 高齢者福祉がよくないから
- 12 自然環境がよくないから
- 13 日常の買い物不便だから
- 14 公共施設が不足しているから
- 15 道路などの都市基盤が整っていないから
- 16 教育環境がよくないから
- 17 子育て環境がよくないから
- 18 特に理由はない
- 19 その他 ( )

「市政全般（くらし）」について

【市政全般（くらし）に対する満足度・優先度について】

13 次のそれぞれの取組に関して、普段のくらしの中で感じている「①満足度」と、今後における市の取組としての「②優先度」をうかがいます。日ごろの印象を含め、あなたご自身のお考えに最も近いものに〇をつけてください。 (〇はそれぞれ1つ)

①満足度：普段のくらしの中で、それぞれの取組に対し、どのくらい満足しているか  
②優先度：今後、調布市がどのくらい優先的に力を入れて解決、改善、向上に向け取り組むべきか

No.	取組項目	高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
		満足している	満足している どちらかといえば 不満である	どちらかといえば 不満である	不満である	取り組むべきである 最優先かつ重点的に 取り組むべきである	優先して 取り組むべきである	現状の取組を 維持すればよい	優先すべきである 他の取組を
	【記入例】	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標1 安全に安心して住み続けられるために									
1	地震への災害対策	1	2	3	4	1	2	3	4
2	風水害などへの災害対策	1	2	3	4	1	2	3	4
3	火災などへの消防対策	1	2	3	4	1	2	3	4
4	防犯対策	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標2 安心して子どもを産み育てられ、将来を担う子ども・若者が力を発揮できるために									
5	子育て支援サービス	1	2	3	4	1	2	3	4
6	ひとり親家庭への生活・経済面の支援	1	2	3	4	1	2	3	4
7	小・中学校の教育	1	2	3	4	1	2	3	4
8	青少年の非行防止や健全育成対策	1	2	3	4	1	2	3	4
9	社会生活を営む上で困難をかかえる子ども・若者 <sup>※1</sup> への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
※1 ひきこもりや無業、生活上の悩みなどの困難を抱える乳幼児期から40歳未満の者。									
基本目標3 みんなで支え合い、いつまでも心穏やかに暮らすために									
10	高齢者の福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
11	障害者の福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
12	労働セミナーや就職面接会の開催など、雇用・就職に向けた取組	1	2	3	4	1	2	3	4
13	健康診断などの保健サービス	1	2	3	4	1	2	3	4
14	医療体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
15	共生社会の充実・パラハートちょうふの取組 <sup>※2</sup>	1	2	3	4	1	2	3	4

※2 東京2020大会を契機として市が展開している、共生社会の重要性をこれまで以上に発信していくためのさまざまな分野にわたる取組。

**パラハートちょうふ**  
つなげよう、ひろげよう、共に生きるまち

No.	取組項目	高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
		満足している	どちらかといえば満足している	不満である	どちらかといえば不満である	最優先かつ重点的に取り組むべきである	優先して取り組むべきである	現状の取組を維持すればよい	他の取組を優先すべきである
基本目標4 学びやスポーツを通じ、誰もが充実した毎日を過ごすために									
16	図書館	1	2	3	4	1	2	3	4
17	たづくりを中心とした生涯学習	1	2	3	4	1	2	3	4
18	スポーツ振興	1	2	3	4	1	2	3	4
19	公民館	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標5 多様性を認め合い、安心して自分らしく暮らせるために									
20	地域コミュニティ（自治会・地区協議会など）の活動支援	1	2	3	4	1	2	3	4
21	人権に関する啓発・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
22	女性の社会参加・参画	1	2	3	4	1	2	3	4
23	多様な性（性的マイノリティなど）の理解への取組	1	2	3	4	1	2	3	4
24	平和・国際交流の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標6 調布ならではの魅力にあふれ、活気に満ちたまちにするために									
25	日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	1	2	3	4
26	市内工業・商業などの活力	1	2	3	4	1	2	3	4
27	市内中小企業に対する支援	1	2	3	4	1	2	3	4
28	深大寺などの地域資源を生かした観光振興	1	2	3	4	1	2	3	4
29	調布花火	1	2	3	4	1	2	3	4
30	「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組	1	2	3	4	1	2	3	4
31	グリーンホール・たづくり・せんがわ劇場などを中心とした文化芸術活動	1	2	3	4	1	2	3	4
32	歴史・文化財の保存や継承	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標7 地域の特徴を生かした快適で利便性に富むまちをつくるために									
33	街並み・景観	1	2	3	4	1	2	3	4
34	中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）の活気・にぎわい	1	2	3	4	1	2	3	4
35	自宅周辺の居住環境（バリアフリーや耐震化など、ハード面の整備）	1	2	3	4	1	2	3	4

No.	取組項目	高 ← ①満足度 → 低				高 ← ②優先度 → 低			
		満足している	どちらかといえば満足している	不満である	どちらかといえば不満である	最優先かつ重点的に取り組むべきである	優先して取り組むべきである	現状の取組を維持すればよい	他の取組を優先すべきである
36	道路の整備（新設、拡幅を伴う改良）	1	2	3	4	1	2	3	4
37	既設道路の維持管理（損傷した部分の補修、清掃、点検等）	1	2	3	4	1	2	3	4
基本目標8 豊かな自然と人が共生する、持続可能なまちをつくるために									
38	緑の保全・創出や自然環境の保護	1	2	3	4	1	2	3	4
39	2050年ゼロカーボンシティ <sup>※1</sup> の実現に向けた取組	1	2	3	4	1	2	3	4
40	公園や遊び場	1	2	3	4	1	2	3	4
41	ごみ処理やりサイクル	1	2	3	4	1	2	3	4
42	生活環境（騒音・悪臭・野焼きなどへの対策）	1	2	3	4	1	2	3	4
※1 脱炭素社会の構築に向けて「2050年に二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指す自治体。「実質ゼロ」とは、二酸化炭素などの温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と、森林などの吸収源による除去量との間の均衡を達成すること。									
行革プラン2023 第1の柱 市民が主役のまちづくり									
43	市民参加と協働の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
44	市報、ホームページ、フェイスブック、調布エフエムなどを活用した市政情報の発信	1	2	3	4	1	2	3	4
45	ホームページの見やすさ	1	2	3	4	1	2	3	4
行革プラン2023 第2の柱 市民のための市役所づくり									
46	民間活力の活用推進など簡素で効率的な組織づくりの取組	1	2	3	4	1	2	3	4
47	窓口・電話における職員の対応	1	2	3	4	1	2	3	4
48	職員数の見直しや職員給与の適正化の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
49	行政サービスのデジタル化 <sup>※2</sup> の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
行革プラン2023 第3の柱 計画的な行政の推進									
50	公共施設等の総合的なマネジメントに関する取組 <sup>※3</sup>	1	2	3	4	1	2	3	4
51	行政評価 <sup>※4</sup> の取組	1	2	3	4	1	2	3	4
52	支出の節減、収入の確保、受益者負担の適正化など	1	2	3	4	1	2	3	4

※2 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）を活用することで、時間・場所・方法等の制約を緩和し、紙や対面での手続の電子化や、子育て、介護、引越、相続等のライフイベントに関する行政手続のオンライン化など、様々な手続を効率化し利便性を高める取組。

※3 公共施設の適正な配置・総量の抑制と併せて、適切な維持保全や長寿命化、民間活力の活用など、インフラを含めた公共施設全体の総合的かつ計画的な管理に取り組むこと。

※4 行政の仕事の有効性・効率性などの視点から点検・評価し、成果の向上や業務の改善につなげるとともに、次年度の予算にも反映させる取組。

13-1 あなたは、13のNo.1～No.52の取組項目の中で、今後、市がもっと力を入れるべきだと思う取組はどれですか。番号を5つまで選んでください。

①	②	③	④	⑤
---	---	---	---	---

「日ごろの意識や行動」について

【防災について】

14 あなたは、日ごろからどのような防災対策に取り組んでいますか。(〇はそれぞれ1つ)

取組内容	十分に 取り組んでいる	少し 取り組んでいる	まだ 取り組んでいないが、 今後 取り組む予定	まだ 取り組んでいないし、 取り組む 予定もない
<b>【記入例】</b>	1	2	3	4
1 市の防災マップや洪水ハザードマップの内容を把握している	1	2	3	4
2 家族の安否確認や連絡の方法をあらかじめ決めている	1	2	3	4
3 スマートフォン等で防災アプリを活用している	1	2	3	4
4 調布市防災・安全情報メールに登録している	1	2	3	4
5 災害時に自宅から避難する場所（避難所、自宅の上層階、親族や友人・知人宅）をあらかじめ決めている	1	2	3	4
6 家具が倒れたり、移動したりしないよう固定している	1	2	3	4
7 家屋やブロック塀などの耐震点検や倒壊防止対策に取り組んでいる	1	2	3	4
8 地域で日常的なつき合いの中で、災害時の協力体制を話し合っている	1	2	3	4
9 大雨等に備え、家庭でできる浸水防止方法の確認をしている	1	2	3	4
10 マイ・タイムライン <sup>*1</sup> を作成している	1	2	3	4
11 ラジオや懐中電灯など、非常時の持出品を用意している	1	2	3	4
12 災害時を意識して、水や食料品などを3日以上備蓄している	1	2	3	4
13 備蓄に当たり、ローリングストック <sup>*2</sup> を実践している	1	2	3	4
14 簡易トイレの備蓄など、非常時のトイレ対策をしている	1	2	3	4

【防災対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

14-1 へ



- ※1 台風や大雨の被害等、これから起こるかもしれない災害に対し、一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせて、「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した自身の防災行動計画のこと。
- ※2 普段から使っているものを常に少し多めに備えておき、消費したらその分を補充して、常に一定量の食品・日用品を備蓄すること。



14の11・12・14で、「4」を1つでも選んだ方にうかがいます。

14-1 「取り組んでいないし、取り組む予定もない」の主な理由をお聞かせください。(〇は1つ)

1 何を準備すればよいかわからないから	6 費用がかかるから
2 保管する場所がないから	7 面倒だから
3 急いで準備する必要がないと思うから	8 特になし
4 災害時も購入できると思うから	9 その他 ( )
5 行政が準備していると思うから	

15 あなたは、台風や地震等の災害時にどのように情報を得ていますか。よく使用する手段を3つまで選んで〇をつけてください。(〇は3つまで)

1 調布市防災・安全情報メール	7 防災行政無線
2 調布市防災マップ・調布市洪水ハザードマップ 調布市土砂災害ハザードマップ	8 テレビ
3 調布市防災河川情報ポータルサイト	9 調布エフエム（ラジオ）
4 調布市ホームページ	10 東京都防災アプリ
5 調布市公式X	11 その他 ( )
6 調布市公式LINE	12 特段、情報の取得はしない

【防犯対策について】

16 あなたは、自分の住んでいる地域が治安の面で安心して暮らせる場所だと感じていますか。(○は1つ)

1 安心している	3 どちらかといえば不安である
2 どちらかといえば安心している	4 不安である
【自分の住んでいる地域が安心、または不安と感じる理由があればご記入ください】	

17 あなたは（ご家族を含む）、特殊詐欺※1被害等防止のためにどのような対策をしていますか。(○はいくつでも)

1 常に留守番電話に設定し、知らない番号からの電話には出ず、留守番電話を聞いてから折り返すようにしている
2 海外からの着信電話（+81で始まる電話番号）への対策を行っている
3 自動通話録音機※2を設置している
4 非通知電話拒否の設定をしている
5 不審な電話を受けたら必ず家族、警察などに相談している
6 ATMを利用するときは、携帯電話を使用しない
7 家族間で合言葉を決めるなど、詐欺対策について話し合っている
8 情報ツール（調布市防災・安全情報メールやデジボリス等）から情報を入手している
9 その他（ ）
10 対策はしていない
【防犯対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

※1 親族や公共機関の職員等を名乗り、現金をだまし取ったり、選付金が受け取れるなどと言って、犯人の口座に振り込ませる犯罪。  
 ※2 市は、振り込み詐欺などの防止対策として、市内に居住する世帯を対象に「自動通話録音機」を無料で貸し出ししています。設置電話機の呼出音が鳴る前に自動で警告メッセージを流し、犯人へ警告を与えます。詳しくは、総合防災安全課生活安全係（電話 042-481-7547）へお問い合わせください。

18 あなたは、消費者トラブルに関する相談を、市役所3階の消費生活センターで受け付けていることを知っていますか。(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

18で「2」を選んだ方にうかがいます

18-1 消費者トラブルにあった場合にはどこに相談していますか。(○はいくつでも)

1 調布市消費生活センター以外の市役所窓口	3 警察機関	7 誰にも相談しなかった
2 東京都消費生活総合センター・消費者ホットライン「188」	4 親族・知人	8 消費者トラブルにあったことがない
	5 弁護士	9 その他（ ）
	6 地域包括支援センター・民生委員等	

【地域福祉・高齢者福祉・障害者福祉について】

19 あなたは、地域福祉や高齢者福祉に関する次の相談窓口を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

地域包括支援センター※1	1 知っている	2 知らない
地域福祉コーディネーター※2	1 知っている	2 知らない
地域支え合い推進員※3	1 知っている	2 知らない
【地域福祉、高齢者・障害者福祉に関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】		

※1 地域包括支援センターは、市内8箇所・サブセンター2箇所が高齢者に関する様々な相談のほか、介護予防ケアマネジメント業務、成年後見制度の利用手続や高齢者虐待に関する相談などの権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務などを行っています。  
 ※2 地域福祉コーディネーターは、市内を8つに分けた福祉圏域にそれぞれ1人を配置し、既存の公的な福祉サービスだけでは十分な対応ができない方、制度の狭間で困っている方などに対し、地域の生活課題の解決に向けた相談・支援を行っています。  
 ※3 地域支え合い推進員は、市全域を活動エリアとする推進員に加え、市内を8つに分けた福祉圏域に段階的に配置を進めています。介護予防や交流を目的とした活動に関する相談等に応じるなど、高齢者等が地域の中で安全・安心に暮らせるよう、生活支援・介護予防サービスの充実や強化に取り組んでいます。

20 あなたは、地域における交流の場（「ひだまりサロン」※など）についてどのように感じますか。(○は1つ)

1 参加・利用してみたい	4 このような場づくりに自分も参加・協力したい
2 機会があれば参加・利用してみたい	5 自分はまだ参加・利用しないが、このような場は重要である
3 参加・利用したくない	

※ 市民が主体となり、自宅や公共施設等のスペースを活用して、ご近所同士など市民が気軽に集い、お茶やお食事をしながら、おしゃべりや趣味活動などを行う場。市内にはひだまりサロン（令和7年8月1日時点現在91箇所）をはじめとした様々な交流活動の場があります。

21 あなたは、障害がある人と会話したり手助けした経験がありますか。(○は1つ)

1 ある	4 ない（自分が何をすればいいのかわからなかったから）
2 ない（機会がなかったから）	5 ない（特に理由はない）
3 ない（コミュニケーション方法がわからなかったから）	6 その他（ ）

22 共生社会※の充実を図り、障害があっても住みやすい社会にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1 学校等で障害理解などに関する教育をすること	4 障害者など、手助けが必要な方がわかるようにすること（ヘルプマークなど）
2 障害者が社会参加できる機会を多く作ること	5 その他（ ）
3 障害者と触れ合う機会を多く作ること	6 特になし

※「共生社会」とは、すべての人々が、障害の有無、国籍、性別によって分け隔てられることなく、相互に人権と個性を尊重し合いながら共生する社会のことです。調布市では「パラハートチャレンジ」を標榜し、12月の1箇月間を「パラハート」月間と位置付け、共生社会の充実に取り組んでいます。



【生活支援について】

23 あなたは、近年の物価高騰により、経済的に困った経験がありますか。 (〇は1つ)

1 現在困っている	2 現在は困っていないが、困ったことがある	3 困ったことはない
【物価高騰に対する生活支援に関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】		

【健康づくりについて】

24 あなたは、心身ともに健康だと感じていますか。 (〇は1つ)

1 感じている	2 どちらかといえば感じている	3 どちらかといえば感じていない	4 感じていない
【健康づくりに関することについて、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】			

25 あなたは定期的に以下の検診を受けていますか。 (〇はそれぞれ1つ)

歯科検診	1 受けている	2 受けていない
がん検診	1 受けている	2 受けていない

26 あなたは普段、たばこ（紙巻きたばこ・加熱式たばこ）を吸いますか。あてはまるものに〇をつけてください。 (〇は1つ)  
 (ここでは、受動喫煙（他の方の喫煙によりたばこの煙を吸ってしまうこと）は含みません。)

1 吸っている（紙巻きたばこ）	2 吸っている（加熱式たばこ）	3 吸っている（紙巻きたばこ・加熱式たばこ両方）	4 吸っているが、もうすぐやめる予定	5 吸っていたが、やめた	6 元々、吸っていない	7 年齢が20歳未満である
-----------------	-----------------	--------------------------	--------------------	--------------	-------------	---------------

27 あなたは、調布市受動喫煙防止条例（平成31年3月公布、令和元年7月施行）を知っていますか。 (〇は1つ)

1 条例の内容を含めて（喫煙禁止区域※1について）知っている	2 条例の内容を含めて（過料※2が規定されていることも）知っている	3 条例があることは知っている	4 知らない
--------------------------------	-----------------------------------	-----------------	--------

※1 市は、受動喫煙による健康への悪影響から市民等を守るとともに受動喫煙及び喫煙による身体への悪影響等に関する啓発及び教育を行うことにより、次代を担う子どもたちをはじめ誰もが健康に暮らせるまち調布の実現に寄与することを目的として「調布市受動喫煙防止条例」を施行しています。  
 条例では、次の場所を喫煙禁止区域として指定しています。

市の施設や公園、緑地・緑道等、市内の鉄道駅を中心とした半径200m程度の路上や駅前広場、市内の公私立の学校・幼稚園・保育園・児童館等の敷地に隣接する路上

※2 喫煙禁止区域において喫煙し、中止の指示に従わなかった場合に2000円の過料を科することを定めています。



【生涯学習について】

28 あなたは、この1年間に、生涯学習※に取り組みましたか。 (〇は1つ)

1 月1回以上取り組んだ	2 年に数回程度取り組んだ	3 年1回取り組んだ	4 取り組まなかった
【生涯学習に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】			

※ 人々が自発的意思に基づいて生涯を通じて行う学習のこと。学校や社会教育施設のほか、家庭・職場・地域などで行われる学習や、文化・スポーツ・レクリエーション・ボランティア・趣味など生活のあらゆる場面で行われる学習が含まれます。

29 あなたは、生涯学習に関する情報を何から入手していますか。 (〇はいくつでも)

1 市報ちょうふ	2 市ホームページ	3 市公式 SNS (LINE, X 等)	4 調布市立図書館公式ホームページ	5 調布市立図書館公式 X	6 友人・知人の紹介	7 市生涯学習情報コーナー（まちづくり推進員）	8 その他（ ）	9 得る手段が分からない
----------	-----------	-----------------------	-------------------	---------------	------------	-------------------------	----------	--------------

30 あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能を、まちづくりや仲間づくり、地域活動など自分以外のために生かしていますか。 (〇は1つ)

1 生かしている	2 どちらかといえば生かしている	3 どちらかといえば生かしていない	4 生かしていない	5 生涯学習に取り組んだことはない
----------	------------------	-------------------	-----------	-------------------

【スポーツ振興について】

31 あなたは、健康・体力づくりのために体を動かしていますか。次のそれぞれについて、あてはまるものに〇をつけてください。 (〇はそれぞれ1つ)

取組項目	週2回以上している	週1回程度している	月1~2回程度している	ほとんどしていない	全くしていない
【記入例】	1	2	3	4	5
スポーツをしている(スポーツジムやプールに通う、ランニングをする、仲間とスポーツをするなど)	1	2	3	4	5
日頃から多く歩くようにしている(電車やバス等の最寄りの駅で降車せず、1駅分多く歩いているなど)	1	2	3	4	5
家事やテレビを見ながらストレッチするなど、「ながら体操」をしている	1	2	3	4	5
テレビやYouTubeなどでエクササイズ番組や動画を見て身体を動かしている	1	2	3	4	5
その他、時間を見つけて身体を動かしている	1	2	3	4	5

【地域コミュニティについて】

32 あなたは、地域のコミュニティ活動が行われていると実感する機会\*がありますか。(〇は1つ)

1 よくある	3 あまりない
2 ある	4 ない
【地域コミュニティ施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

\* 趣味のサークルや環境美化などのボランティア活動、また、自治会や地区協議会等が行う防災訓練など、住民同士のつながりによる地域活動を目にする機会。

33 あなたは、「地区協議会\*」を知っていますか。(〇は1つ)

1 よく知っている	2 聞いたことがある	3 知らない
-----------	------------	--------

\* 自治会をはじめ地域で活動する多様な団体や個人を結ぶ地域主体のネットワーク組織で、地域の情報共有や防災訓練等のまちづくり活動における連携・協力などを行っています。市内に20ある小学校区を単位として、現在19地区で設立されています。

34 あなたは、この1年間に、地域の活動やイベントに参加しましたか。(〇は1つ)

1 ほぼ毎日参加している	3 月1回程度参加している	5 ほとんど参加していない
2 週1回程度参加している	4 年に数回程度参加している	

34で「1～4」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

34-1 参加した団体、活動、場所について、あてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

(団体)	1 自治会・町内会	6 防災市民組織
	2 地区協議会	7 老人クラブ
	3 PTA・保護者会	8 NPO法人
	4 健全育成地区委員会	9 その他の任意のグループ・サークル
	5 学校開放運営委員会	
(活動)	1 消防・防災・防犯	5 高齢者・障害者の見守り
	2 地域美化・ごみ回収	6 環境保全
	3 子ども・子育て支援	7 健康づくり
	4 子どもの見守りや青少年健全育成	8 その他( )
(場所)	1 地域福祉センター	7 文化会館たづくり・グリーンホール
	2 ふれあいの家	8 公民館
	3 ふじみ交流プラザ	9 市民活動支援センター(市民プラザあくろす)
	4 小・中学校	10 オンライン
	5 保育園・幼稚園	11 その他( )
	6 児童館・青少年ステーション	

【地域における子育て支援や教育、青少年健全育成に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

【産業・農業・観光について】

35 あなたはこの1年間に、次のイベントや施設・場所に行ったことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

場所・イベント	何度か行った	初めて行った	まだ行ったことはないが、今後行く予定	行ったことはないし、今後行く予定もない	知らない
【記入例】	1	2	3	4	5
調布駅前広場や市役所前庭で開催されたイベント	1	2	3	4	5
文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場での文化・芸術イベント、展示	1	2	3	4	5
深大寺周辺で開催されたイベント・行事	1	2	3	4	5
ゲゲゲ忍	1	2	3	4	5
映画のまち調布 シネマフェスティバル	1	2	3	4	5
武者小路実篤記念館・実篤公園	1	2	3	4	5
トリエ京王調布	1	2	3	4	5
イオンシネマ シアタス調布(映画館)	1	2	3	4	5
味の素スタジアム(東京スタジアム)	1	2	3	4	5
武蔵野の森総合スポーツプラザ	1	2	3	4	5
深大寺白鳳仏(国宝)	1	2	3	4	5
都立神代植物公園	1	2	3	4	5
深大寺城跡(国指定史跡)	1	2	3	4	5
下布田遺跡(国指定史跡)	1	2	3	4	5
調布市郷土博物館	1	2	3	4	5
鬼太郎ひろば	1	2	3	4	5
布多天神社	1	2	3	4	5
西光寺・近藤勇座像	1	2	3	4	5
東京オーヴァル京王閣(京王閣競輪場)	1	2	3	4	5
調布市観光案内所「ぬくもりステーション」	1	2	3	4	5
深大寺観光案内所	1	2	3	4	5

36 あなたは、調布市が、名誉市民・水木しげる氏が50年以上暮らし、「ゲゲゲの鬼太郎」や「悪魔くん」など、数々の作品を生み出した「水木マンガの生まれた街」であることを知っていますか。

(○は1つ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

37 買い物や食事など、お店選びで重視していることは何ですか。重視している順に3つ選んでください。

1番目に重視している	2番目に重視している	3番目に重視している
1 家や職場からの近さ	6 インターネットやデリバリー対応の可否	10 キャッシュレス決済の導入
2 価格の安さ	7 インターネット上の評判	11 禁煙・分煙の徹底
3 品揃えの良さ	8 感染症対策の実施状況	12 1箇所で購入物が済む
4 入りやすい雰囲気	9 割引・キャンペーンの実施	13 駐輪・駐車場が十分にある
5 商品の質の高さ	14 その他 ( )	

【産業振興に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

38 あなたは、普段の買い物で商店街を利用していますか。

(○は1つ)

1 利用している	3 わからない
2 利用していない	

39 あなたは、友人や知人に対して買い物・遊び、または観光を目的に訪れるまちとして、調布市をお薦めしたいと思いますか。

(○は1つ)

1 お薦めしたいと思う	3 お薦めしたいと思わない
2 どちらともいえない	4 わからない

40 あなたは、市内農家の農産物直売所（市内スーパーの直売コーナー、農協直売コーナーを含む）を利用していますか。

(○は1つ)

1 進んで利用している	3 ほとんど利用していない
2 時々利用している	4 直売所を知らない

41 あなたは、市内に農地が必要だと思いませんか。

必要だと思う場合はその理由について、1～7の選択肢から○をつけてください。(○はいくつでも) 不要だと思う場合は、8に○をつけてください。

1 地場産農産物が手に入る（直売所など）	5 農体験や交流の場となる（市民農園など）
2 防災の面で有効である	6 農や食を通じた教育に役立つ（食育）
3 良好な景観が保全される	7 その他 ( )
4 緑が保全・創出され、自然環境が保護される	8 市内に農地が必要だと思わない

【農業に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

## 【芸術・歴史文化について】

42 あなたは、この1年間に、市内・市外を問わず、文化芸術（音楽、演劇、美術、舞踊等伝統芸能、映画など）の鑑賞や、自ら文化芸術活動を行いましたか。

(○は1つ)

1 文化芸術を鑑賞し、自らも文化芸術活動を行った	4 いずれも行っていない
2 文化芸術を鑑賞した	
3 自ら文化芸術活動を行った	

42で「1～3」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

42-1 文化芸術を鑑賞した、または文化芸術活動を行った場所について、あてはまるものに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 文化会館たづくり・グリーンホール・せんがわ劇場	
2 「1」以外の市内公共施設（施設名： )	
3 市内民間施設（施設名： )	
4 市外の公共・民間施設（施設名： )	
5 その他 ( )	

## 【良好な市街地について】

43 あなたは、調布市を住みよいまちだと思いますか。

(○は1つ)

1 住みよい	3 どちらかといえば住みにくい
2 どちらかといえば住みよい	4 住みにくい

【あなたが上記のように思う理由があればご記入ください】

44 あなたは、調布市内に優れた景観の場所があると思いませんか。

(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

【緑豊かなまちづくりや良好な景観づくりに関する施策について、ご意見ご提案があればご記入ください】

44で「1・2」のいずれかを選んだ方にうかがいます。

44-1 優れた景観だと思う場所について、あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

1 国分寺崖線などの緑地景観	7 集合住宅や戸建住宅などの落ちつきのある住宅地の景観
2 多摩川や野川などの水辺景観	
3 駅周辺の街並み景観	8 イベントやお祭りなどの生活文化景観
4 甲州街道や武蔵境通りなどの沿道景観	9 ライトアップなどで映し出される夜間景観
5 神社仏閣などの歴史文化景観	10 その他 ( )
6 深大寺・佐須地域や染地などの農の景観	

45 あなたは、深大寺周辺の景観が優れていると思いますか。(〇は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

46 あなたは、中心市街地（調布・布田・国領駅周辺）が魅力的なまちであると思いますか。(〇は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

【あなたが上記のように思う理由があればご記入ください】

【中心市街地のまちづくりに関する施策について、ご意見やご提案があればご記入ください】

47 あなたは、次のうち、普段どの駅を最も利用しますか。(〇は1つ)

1 飛田給駅	4 京王多摩川駅	7 柴崎駅
2 西調布駅	5 布田駅	8 つつじヶ丘駅
3 調布駅	6 国領駅	9 仙川駅

47-1 あなたは、その駅（普段最も利用する駅）の周辺は利便性が高いと思いますか。(〇は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

【あなたが普段最も利用する駅周辺のまちづくりに関して、ご意見やご提案があればご記入ください】

## 【道路・交通について】

48 あなたは、市内の道路について、道路の利用者が目的地まで行きやすく、利便性の高い道路ネットワークが形成されていると思いますか。(〇は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

49 あなたは、普段利用する道路について、通行しやすいと感じていますか。実際に利用している交通手段について、あてはまるものに〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つ)

徒歩	1 歩きやすい	2 ある程度歩きやすい	3 やや歩きにくい	4 歩きにくい	
自転車	1 走りやすい	2 ある程度走りやすい	3 やや走りにくい	4 走りにくい	5 自転車に乗らない
バイク	1 走りやすい	2 ある程度走りやすい	3 やや走りにくい	4 走りにくい	5 バイクに乗らない
自動車	1 走りやすい	2 ある程度走りやすい	3 やや走りにくい	4 走りにくい	5 自動車に乗らない
車いす ベビーカー	1 利用しやすい	2 ある程度利用しやすい	3 やや利用しにくい	4 利用しにくい	5 該当なし

【道路の新設整備や維持補修について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

50 あなたは、市内でシェアサイクル\*を利用したことはありますか。(〇は1つ)

1 利用したことがある	3 利用したことはないし、今後も利用予定はない
2 利用したことはないが、今後利用したい	4 シェアサイクルのサービスを知らない

\* ステーション(専用駐輪スペース)間で片道利用のできる自転車サービス。  
会員登録をすれば、(同じサービス会社の)全国どここのステーションでも貸出・返却が可能。

51 あなたは、市内の公共交通機関（電車・路線バス・ミニバス）について利用しやすいと思いますか。(〇は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない

52 あなたは、自転車使用時にヘルメットを着用\*していますか。(〇は1つ)

1 着用している	3 着用していないが、所持する予定
2 着用していない	4 自転車を利用していない。

\* 令和5年4月から改正道路交通法が施行され、自転車利用者のヘルメット着用が全世代に対して努力義務となりました。

## 【住環境づくり・地球温暖化対策について】

53 あなたの住居はバリアフリー（段差解消やスロープの設置など）対応になっていますか。（○は1つ）

- |                        |
|------------------------|
| 1 バリアフリー対応になっている       |
| 2 一部、バリアフリー対応になっている    |
| 3 ほとんどバリアフリー対応にはなっていない |

【住環境づくりに関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

54 あなたの住居は、再生可能エネルギーを利用していますか。また、創エネルギー設備※を設置していますか。（○はいくつでも）

- |                           |
|---------------------------|
| 1 再生可能エネルギー由来の電力を購入している   |
| 2 太陽光発電設備（蓄電池あり）を設置している   |
| 3 太陽光発電設備（蓄電池なし）を設置している   |
| 4 家庭用燃料電池（エネファーム等）を設置している |
| 5 いずれも利用していないが、今後利用したい    |
| 6 いずれも利用していないし、今後も利用予定はない |
| 7 その他（ ）                  |

【地球温暖化対策・ゼロカーボンシティに関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

※ 太陽光発電設備や家庭用燃料電池のように家庭で電力等のエネルギーを創ることのできる設備。

55 あなたは、あなた自身や家族・親戚が所有する市内の物件について、適切な管理が行われていない空き家※とならないための対策が必要だと思いませんか。（○は1つ）

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1 そう思う           | 4 そう思わない     |
| 2 どちらかといえばそう思う   | 5 対象となる物件がない |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 6 その他（ ）     |

※ 適切な管理が行われていない空き家は、地域住民の生活環境において、倒壊の危険性や防犯、衛生、景観等に関する深刻な影響を及ぼすなど、社会的な問題となっています。

55-1 あなたは、空き家対策として、今後、市が優先して取り組むべきことは何だと思いませんか。（○はいくつでも）

- |   |
|---|
| 1 空き家の早期発見のための定期的な見回り                     |
| 2 空き家の発生を未然に防ぐための所有者との個別相談（リフォームや賃貸の提案など） |
| 3 空き家を地域に役立てるための仕組みづくり（集会所やカフェ等にするなど）     |
| 4 所有者による利活用の予定がない空き家の流通（転売）を促す取組          |
| 5 管理不全となっている空き家の管理適正化（除草、建物除却など）への支援      |
| 6 その他（ ）                                  |

【空き家対策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

56 あなたは、地球温暖化などの環境問題に対し、環境を守るためにどのような取組を行っていますか。（○はいくつでも）

- |   |
|---|
| 1 マイバッグ・マイボトルなど、繰り返し使ってごみの削減に寄与する商品を利用している          |
| 2 エコマークなどがついた環境に配慮した商品・サービスを選んでいる                   |
| 3 使い捨てのプラスチック製品（ストローやスプーンなど）はなるべく使わない               |
| 4 ごみを分別し、資源のリサイクルを心がけている                            |
| 5 食品・飲料を使い切り、食品ロスの予防を心がけている                         |
| 6 ゆっくり加速・減速などのエコドライブを実践している                         |
| 7 走行時に二酸化炭素を排出しない自動車（電気自動車やプラグインハイブリット自動車など）を利用している |
| 8 こまめに消灯したり、エアコンの設定温度に注意したりするなど、節電を心がけている           |
| 9 家の照明を LED に交換している                                 |
| 10 太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用する機器を導入している               |
| 11 買い替えの際に、省エネルギー型の製品を選ぶように心がけている                   |
| 12 家庭エコ診断、うちエコ診断 WEB サービスなどを活用し、省エネ専門家の意見を聞いたことある   |
| 13 その他（ ）   |
| 14 特に取り組んでいない                                       |

## 【平和について】

57 あなたは、この1年間に、身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがありますか。（○は1つ）

- |      |      |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

【平和に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

57で「1」を選んだ方にうかがいます。

57-1 それはどんな時ですか。（○はいくつでも）

- |                   |                           |
|-------------------|---------------------------|
| 1 日常の会話の中で        | 4 市の平和祈念事業（展示や講演等）に参加したとき |
| 2 ニュースや報道を見聞きしたとき |                           |
| 3 勉強会や学習活動の中で     | 5 その他（ ）                  |

57-2 それは誰と話し合ったり、誰から聞いたりしましたか。（○はいくつでも）

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 家族・親族            | 4 サークルや市民団体などのグループ |
| 2 友人・知人            | 5 その他（ ）           |
| 3 市の平和祈念事業（展示や講演等） |                    |

【児童虐待・人権・男女共同参画について】

58 あなたは、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）※1に関する次の相談窓口を知っていますか。  
(○は1つ)

ア 児童虐待に関する相談窓口

1 知っている	2 知らない
【相談窓口（知っている窓口すべてに○をつけてください）】	
1 子ども家庭支援センターすこやか（国領駅南側）	2 東京都多摩児童相談所
	3 調布警察署

イ DV（ドメスティックバイオレンス）に関する相談窓口

1 知っている	2 知らない	
【相談窓口（知っている窓口すべてに○をつけてください）】		
1 調布市男女共同参画推進センター （国領駅北側 市民プラザあくろす内）	4 東京都女性相談センター	8 法テラス※3
2 市役所各相談窓口	5 東京ウィメンズプラザ	9 その他窓口（ ）
3 調布警察署	6 弁護士	
	7 民間シェルター※2	

※1 配偶者や恋人など親密な関係にある、又はあつた者から振られる暴力のこと。身体的な暴力のほか、言葉による暴力（大声で怒鳴る、屈辱的なことを言うなど）や、経済的な暴力（生活費を十分に渡さない、お金をせびるなど）も該当します。

※2 民間団体によって運営されている暴力を受けた被害者が緊急一時的に避難できる施設。被害者の一時保護だけに止まらず、相談への対応、被害者の自立へ向けたサポートなど、被害者に対する様々な援助を行っています。

※3 総合法律支援法（平成16年6月2日公布）に基づき、国によって設立された法的トラブル解決のための「総合案内所」のこと。

59 あなたは、家事・子育て・介護などの家庭内での役割は男女がともに担う必要があると思いますか。(○は1つ)

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
【人権・男女共同参画に関する施策について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】	

60 次の場面について、あなたは男女平等だと感じていますか。

(○はそれぞれ1つ)

取組内容	女性が優遇されている	優遇されている どちらかといえば女性が	平等になっている	男性が優遇されている どちらかといえば	男性が優遇されている
【記入例】	1	2	3	4	5
学校教育の場	1	2	3	4	5
家庭生活の場	1	2	3	4	5
地域活動・コミュニティの場	1	2	3	4	5

ジェンダー平等

社会全体で、女性よりも男性が優遇されているという固定的な性別役割分担意識が依然として続いています。男女がお互いの人権を尊重し、あらゆる分野で個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現には、性別、年齢、障害の有無、国籍、性的指向・性自認などにかかわらず、だれもが個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性を認め合う社会を目指すことが重要です。持続可能な開発目標（SDGs）においても、達成すべき目標の1つに「ジェンダー平等」が位置付けられています。

「ジェンダー平等」とは、一人ひとりが性別にかかわらず、平等に責任や権利、機会を分かちあい、あらゆる物事を一緒に決めることができることを意味しています。

61 あなたは、多様な性に関する市の取組について知っていますか。

知っている場合は何によって知ったかあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

取組内容	市役所各窓口	市ホームページ	市報ちょうふ	男女共同参画推進センターのホームページ	チラシ・パンフレット・カード等	その他	ひとつも知らない
1 調布市パートナーシップ宣誓制度※1	1	2	3	4	5	6	7
2 多様な性に関する相談	1	2	3	4	5	6	7
3 LGBT※2やSOGI※3に関する講座	1	2	3	4	5	6	7

※1 同性同士のカップル等について、結婚に相当するパートナー関係であることを公的に証明する制度で、都内では24市区（令和7年9月現在）が実施しています。ただし、法律婚とは異なり法的効力はありません。

※2 Lはレスビアン（女性の同性愛者）、Gはゲイ（男性の同性愛者）、Bはバイセクシャル（両性愛者）、Tはトランスジェンダー（性的違和感を持つ方）の頭文字を取った言葉で、性的マイノリティの総称のひとつとして使われています。さらに、自分の性のあり方について「わからない」「迷っている」「決めたくない」などの人を指すクエスチョニング（Questioning）や性的マイノリティを包括するクイア（Queer）の頭文字と、これ以外の様々な性のあり方を指す「+」からなる「LGBTQ+」という言葉もあります。

性的マイノリティとは、性のあり方が多数派と異なる人のことをいい、「からだの性」と「自分が認識する性」が一致しない人、恋愛感情などの性的な意識が同性又は両性に向かう人（同性愛者、両性愛者）などを総称した言葉です。

※3 「Sexual Orientation and Gender Identity（性的指向と性自認）」の頭文字を取った言葉です。さらに、性表現（Gender Expression）の頭文字を加えた「SOGIE」という言葉もあります。

62 あなたは、多様な性に関する啓発などについて、どのような取組が必要だと思いますか。  
(○はいくつでも)

1 社会制度の見直し（法改正やパートナーシップ宣誓制度の活用など） 2 教育現場での啓発活動（LGBT・SOGIに関する講演会や授業など）の実施 3 LGBT・SOGIについての専門の相談機関（電話相談や面接相談など）の充実 4 LGBT・SOGIの人が安心して集まれるコミュニティスペースの開設 5 行政による啓発活動（広報紙やポスターによるLGBT・SOGIに関しての発言など）の実施 6 その他（ ） 7 わからない
【多様な性に対する理解の促進について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

### 【市民参加について】

63 あなたは、市政・まちづくりに参加したいと思いますか。(○は1つ)

1 積極的に参加したい	3 参加したくない
2 機会があれば参加したい	4 関心がない

64 あなたは、どのような市民参加の手法なら参加できますか。(○はいくつでも)

1 対面での説明会や意見交換会・ワークショップ	4 オンラインの意見投稿
2 Zoom等のオンライン会議システムを活用した説明会や意見交換会・ワークショップ	5 パブリック・コメント手続*
3 街頭やイベント会場などでのアンケート調査	6 委員会・審議会
【市民参加の取組について、ご意見やご提案があればご記入ください】	

※ 市が定めようとする条例や各種の計画等の政策形成過程において、市民から意見を募集し、提出された意見を十分に考慮して意思決定を行うとともに、提出された意見や市の考えなどを公表する一連の手続のこと。

### 【市政等の情報について】

65 あなたの市政・まちづくりに関する情報の入手方法をうかがいます。次のそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。  
(○はそれぞれ1つ)

媒体	よく読む	読むために	読むほど	と読んだ	知らない
市報ちょうふ	1	2	3	4	5
市議会だより	1	2	3	4	5
媒体	よく見る	見るために	見ると	が見たい	知らない
市ホームページ	1	2	3	4	5
ケーブルテレビ（J:COM）	1	2	3	4	5
市公式 X	1	2	3	4	5
市公式 Facebook	1	2	3	4	5
市公式 LINE アカウント	1	2	3	4	5
市公式 Instagram	1	2	3	4	5
メールサービス（防災安全情報メールなど）	1	2	3	4	5
公共施設に掲示したポスター、チラシなど	1	2	3	4	5
自治会の回覧	1	2	3	4	5
媒体	よく聴く	聴くために	聴くほど	と聴きたい	知らない
調布FMラジオ（83.8MHz）	1	2	3	4	5
【市政の情報発信について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】					

66 市議会が行っている広報・広聴活動のうち、あなたが知っているものについて、あてはまるものに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

1 市議会だより	5 議会報告会
2 議会インターネット中継	6 議長へのはがき
3 会議録（市ホームページ内・図書館）	7 知らない
4 視察、政務活動費、議長交際費の報告（市ホームページ内）	8 その他（ ）

## 【行政のデジタル化について】

67 あなたが、調布市が行う行政サービスのデジタル化の取組について、特に力を入れて欲しいと思う取組は何ですか。 (〇はいくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| 1 AI（人工知能）などを活用し、知りたい情報が検索しやすくなるなど、市ホームページが誰にとっても使いやすくなる | 7 市役所のサービスで、わからないことをいつでも問い合わせできる           |
| 2 行政情報や緊急情報が必要な時にスマートフォン等に配信される                          | 8 AIなどデジタルツールで市役所業務を効率化し、住民サービスを向上させる      |
| 3 公共データ（個人情報を除く）を誰もが使えるデータとしてホームページで公開する                 | 9 公共施設にWi-Fiスポットを整備する                      |
| 4 インターネットで市役所への申請や届出ができる                                 | 10 スマートフォン教室（操作方法、行政のオンラインサービスの使い方など）を実施する |
| 5 税金や公共施設の利用料、証明書の手数料がキャッシュレスで支払える                       | 11 センサーやカメラを利用して、高齢者や子どもの見守りを強化する          |
| 6 インターネットで公共施設の利用状況の確認や予約等ができる                           | 12 センサー等を利用して、河川の増水や地下道の水没、道路の冠水の監視を強化する   |
|  | 13 その他（ ）                                  |

【行政のデジタル化の推進について、改善・強化すべき事項などご提案があればご記入ください】

### 調布市のデジタル化の取組について

調布市デジタル行政推進課では、市のデジタル化推進に関する取組について、note（ノート）による情報発信を試行運用しています。右のQRコード（[https://note.com/chofu\\_city](https://note.com/chofu_city)）からデジタル行政推進課が運用するアカウントをご覧ください。  
※アカウントをお持ちでない方でも投稿記事の閲覧ができます。

詳細はこちら ▶



## 公共施設について

68 あなたは、この1年間に、どのような目的でグリーンホールを利用しましたか。(〇はいくつでも)

- |            |                    |
|------------|--------------------|
| 1 演劇       | 6 講演・講座・説明会・研修セミナー |
| 2 音楽・コンサート | 7 式典               |
| 3 映画       | 8 発表会・リハーサル        |
| 4 伝統芸能     | 9 その他（ ）           |
| 5 ダンス・舞踊   | 10 利用していない         |

69 現在のグリーンホールの「“質の高い文化芸術の鑑賞の場”であり、“市民の文化芸術の発表の場”である」というコンセプトについて、どう思いますか。 (〇は1つ)

- 1 新しいホールにおいても、現在のコンセプトを継承した方が良い
- 2 プロによる公演など質の高い文化芸術の鑑賞に重点を置いたホールとした方が良い
- 3 市民の文化芸術の発表に重点を置いた使い勝手の良いホールとした方が良い
- 4 その他（ ）

70 現在、市は新たなグリーンホールの整備を検討していますが、その整備に当たり、特に重要だと思う項目は何ですか。 (〇は2つまで)

- 1 バリアフリー対応が充実していること
- 2 催し開催時だけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること
- 3 施設を使用する際に、市民が気軽に利用しやすい機器・設備等があること
- 4 気軽に交流できる場があるなど、人々の交流が広がる施設であること
- 5 専門のスタッフが技術指導を行うなど、文化芸術の専門相談に対応できること
- 6 その他（ ）

質問は以上で終わりです。

最後まで御協力いただき、誠にありがとうございました。

### 返送期限

御記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、

**令和7年12月25日(木)**までに郵便ポストへ投函してください。

なお、調査票や返信用封筒にお名前・御住所などの記入は必要ありません。

### 調査結果の公表について

御協力いただいた調査の結果については、『調布市民意識調査報告書（令和7年度版）』（令和8年発行予定）により公表します。

公表する報告書については、行政経営部（市役所5階）、公文書資料室（市役所4階）、各図書館、各地域福祉センター及び市のホームページ等で御覧になれます。



登録番号  
(刊行物番号)

2025-265

---

調布市民意識調査報告書 令和7年度版

---

発行日 令和8年3月

発行 調布市

編集 行政経営部企画経営課

〒182-8511 調布市小島町 2-35-1

電話 042-481-7368・7369 (直通)

FAX 042-485-0741